

デコミッショニング評価システムの開発（６）
— 旧JWTFの解体撤去工法の検討 —
(技術報告)

1999年9月

核燃料サイクル開発機構
大洗工学センター

本資料の全部または一部を複写・複製・転載する場合は、下記にお問い合わせ
ください。

〒319-1194 茨城県那珂郡東海村村松4番地49

核燃料サイクル開発機構

技術展開部 技術協力課

Inquiries about copyright and reproduction should be addressed to:
Technical Cooperation Section,
Technology Management Division,
Japan Nuclear Cycle Development Institute
4-49 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki 319-1194,
Japan

© 核燃料サイクル開発機構 (Japan Nuclear Cycle Development Institute)
1999

デコミッショニング評価システムの開発（6）

－旧JWTFの解体撤去工法の検討－

（技術報告書）

小川竜一郎* 石島 昇* 谷本健一*

要 旨

旧「常陽」廃棄物処理建家を解体するにあたって、工法の違いによる工期、作業人工数、被ばく線量当量、廃棄物発生量、コストへの影響を確認するため、デコミッショニング評価システムによる評価計算を行った。

解体工法は建家内の設備の撤去方法により以下の2工法を比較した。

- ・工法A：現場で細断を行い、廃棄物容器に収納して、そのまま廃棄物保管場所に保管する方式。（平成9年度に評価計算を実施。）
- ・工法B：現場で運搬容器に収納できる大きさに切断し、その後、専用の処理施設にて細断および廃棄物容器に収納する方式。尚、工法Bについての評価計算は、専用の処理施設が決まっていないことから運搬容器への収納までを対象とした。

以下に、それらの結果を示す。

- (1) 工期は、工法Aが732日に対して工法Bは517日となった。
- (2) 作業人工数は、工法Aが10,023人・日に対して工法Bは6,931人・日となった。
- (3) 被ばく線量当量は、工法Aが61,967人・mSvに対して工法Bは37,606人・mSvとなった。
- (4) 廃棄物発生量は、工法Aが69,112kgに対して工法Bは68,929kgとなった。
- (5) コストは、工法Aが696,553千円に対して工法Bは442,533千円となった。

工法Aに比べて工法Bが工期、人工数、被ばく線量当量、コスト面で優位であり、廃棄物発生量については同等の結果が得られた。一方で工法Bは、専用の処理施設搬入後の作業が含まれていないため、今後、解体評価計算を実施する必要がある。

Development of the decommissioning management system (6)

· Evaluation of decommissioning method for JWTF old structure ·

Ryuichirou Ogawa*, Noboru Ishijima*, Ken-ichi Tanimoto*

Abstract

An estimation for decommissioning of JWTF old structure using decommissioning management system was done to confirm "work term", "work quantity", "exposure dose", "quantity of radioactive waste", and "cost". Two different decommissioning methods are used in the estimation work. The two methods are as follows.

- Method A: Cutting work is done in the spot of equipments, waste occurred in the cutting work are stored in a waste container, and the waste is keep in a waste storage place.
- Method B: In cutting work, equipments are dismantled to container size in the spot of decommissioning place, and also are dismantled in more small size in exclusive waste treatment facility, and are kept in the exclusive store place. The simulation named method B was ended before the waste was bought in the exclusive waste treatment facility, because we have not had the waste treatment facility.

Those results are shown in the following.

- (1) Work term: 732days using the method A, and 517days using the method B.
- (2) Work quantity: 10,023 man·days using the method A, and 6,931 man·days using the method B.
- (3) Exposure dose: 61,967 man·mSv using the method A, and 37,606 man·mSv using the method B.
- (4) Quantity of radioactive waste: 69,112kg using the method A, and 68,929kg using the method B.
- (5) Cost: 696,553 thousand yen using the method A, and 442,533 thousand yen using the method B.

*) Waste Management Section, O-arai Engineering Center.

目 次

1. はじめに	1
2. 解体シナリオの作成	2
2.1 シナリオ作成の基本条件	2
2.2 シナリオ作成検討項目	2
2.3 シナリオ作成	3
3. 設備データベースの整備	10
3.1 除染後の機器線量当量率	10
3.2 建家情報データベース	10
3.3 内装機器情報データベース	10
3.4 技術情報データベース入力データの整備	11
4. 解体撤去計算データの作成	12
4.1 解体撤去シナリオの作成	12
4.2 入力データの作成・整備	13
4.3 評価計算結果	16
5. 計算結果及び考察	18
5.1 設備解体の比較	18
5.2 管理区域解除の為の建家内壁はつり計算	20
6. あとがき	21
7. 参考文献	22
図 表	23
添付資料 1 内装機器の線量当量率の算出	191
添付資料 2 内装機器データベースの一部変更	200

図表目次

表 2-1	廃液処理室内の設備機器 (1/6) ～ (6/6)	23
表 2-2	作業種類 (WBS)	29
表 2-3	放射エネルギーのインベントリ (1/5) ～ (5/5)	30
表 2-4	各設備機器の線量当量率推定	35
表 2-5	除染方法と除染係数	36
表 3-1	内装機器除染後の線量当量率	37
表 3-2	建家情報データベース (1/6) ～ (6/6)	38
表 3-3	内装機器情報データベース (1/21) ～ (21/21)	41
表 3-4	技術情報データベース (1/5) ～ (5/5)	51
表 4-1	各 WBS 毎の設定作業 (1/31) ～ (31/31)	54
表 4-2	計算データ (個別作業計画要素) (1/86) ～ (86/86)	85
表 4-3	システム保有データ一覧	128
表 4-4	工数、被ばく、人工数 (1/4) ～ (4/4)	129
表 4-5	コスト集計表 (1/4) ～ (4/4)	133
表 4-6	廃棄物発生量 (1/4) ～ (4/4)	137
表 4-7	月別評価指標集計表	141
表 4-8	研削：工数、被ばく、人工数	142
表 4-9	研削：コスト集計表	142
表 4-10	研削：廃棄物発生量	143
表 4-11	研削：月別評価指標集計表	143
表 5-1	工期、工数、被ばく線量当量の比較 (除研削)	144
表 5-2	廃棄物発生量推定の比較 (除研削)	144
表 5-3	放射性廃棄物収納用角型 (19m ³) 容器の数量	145
表 5-4	コストの比較	146
表 5-5	研削の工期、工数、被ばく線量当量、廃棄物発生量	146
表 5-6	事前見積りと計算結果との作業日数等の比較	147
図 2-1	旧 JWF 施設構成 (1 階平面図) (1/2)	149
	旧 JWF 施設構成 (地階平面図) (2/2)	150
図 2-2	旧常陽廃棄物処理建家の解体撤去計算作業用廃棄物容器	151
図 2-3	エリア (部屋) 作業順序図 (1/6) ～ (6/6)	152
図 2-4	中和槽切断要領	158
図 2-5	廃液タンク切断要領	159
図 4-1	解体撤去シナリオ (作業順序) (1/14) ～ (14/14)	160

図 4-2	作業人工数山積図	167
図 4-3	コスト山積図	168
図 4-4	被ばく線量当量山積図	169
図 4-5	1 次廃棄物発生量山積図 (1/4)～(4/4)	170
図 4-6	容器発生数山積図 (1/2)～(2/2)	174
図 4-7	2 次廃棄物発生量山積図 (1/3)～(3/3)	176
図 4-8	カートンボックス発生数山積図 (1/3)～(3/3)	179
図 4-9	2 次廃液発生量山積図	182
図 4-10	研削：作業人工数山積図	183
図 4-11	研削：作業人員変動図	183
図 4-12	研削：コスト山積図	184
図 4-13	研削：被ばく線量当量山積図	184
図 4-14	研削：1 次廃棄物発生量山積図 (1/4)～(4/4)	185
図 4-15	研削：1 次廃棄物収納容器 (200 ㍓ドラム缶) 発生数集計図	187
図 4-16	研削：2 次廃棄物発生量山積図 (1/3)～(3/3)	187
図 4-17	研削：カートンボックス発生数山積図 (1/3)～(3/3)	189
図 4-18	研削：2 次廃液発生量山積図	190

1. はじめに

核燃料サイクル施設等のデコミッショニングの実施にあたっては、人工数、工期、被ばく線量当量、廃棄物発生量、コスト等の指標を最適化させた解体撤去計画を策定し、工程の進捗に臨機応変に対応したプロジェクト管理を行うと共に、作業を通じて取得されたデータを次回のデコミッショニングに反映させることが重要である。

環境保全課では、核燃料サイクル施設等のデコミッショニングを実施する際に、プロジェクト管理を的確に行うための支援ツールとして、デコミッショニング評価システム（decommissioning management system 以下、「DECMAN」⁽¹⁾と略称）の開発を行ってきた。平成 8 年度にシステムの基本機能が完成し、平成 10 年度には機能の検証のため、“旧「常陽」廃棄物処理建家”（以下、「旧 JWTF」と略称）内の設備類を除染・撤去し、現場で粗解体から細断および廃棄物容器への収納までを行うシナリオ（以下、「工法 A」と略称）で計算した⁽²⁾。

本報告書では、工法 A の解体撤去シナリオのうち、現場で行う粗解体、細断、および廃棄物容器への収納までのシナリオを線量当量率の高い汚染塔槽類等を施設から搬出して専用の処理施設において解体することに変更したシナリオ（以下、「工法 B」と略称）を用いて計算し、工期・人工数・コスト・被ばく線量当量・廃棄物発生量の評価を行った。ただし、現時点において専用の処理施設が決まっていないことから一括撤去した機器についての細断、廃棄物容器への収納はシナリオには含めない。また、工程 B には、管理区域解除の為に建家内壁コンクリート面のはつりの作業を新たに追加した。

2. 解体シナリオの作成

2.1 シナリオ作成の基本条件

2.1.1 解体撤去対象物

表 2-1 に示す旧 JWTF 内装設備、および壁の剥離を対象とした。建家本体の解体作業は含まれない。

2.1.2 解体作業範囲

作業の対象となる内装機器類を図 2-1 および表 2-1 に示す。

作業時に相当の被ばくが予想されるもしくは作業スペースの観点から現場での解体が難しい等の機器・部材は、搬出可能な大きさに解体後一括撤去する。撤去された機器は専用の処理施設において解体することを想定したシナリオであり、専用の処理施設における細断や収納容器への収納は含まれない。一括撤去するものは、汚染の拡大防止のために開口部等に養生を施した後に建家外まで搬出する。また、現場で細断し容器に収納できるものについても、収納後の容器を建家外へ搬出するまでをシナリオの範囲とした。

また、解体撤去作業や一括撤去した機器類等の建家外への搬出作業において、通路、開口部やクレーン等荷役設備が必要となる場合には、通路や開口部の確保、荷役設備の設置等についても作業シナリオに含めた。

2.2 シナリオ作成検討項目

2.2.1 計算結果の評価

工法 A、工法 B のシナリオを計算することにより、現場で細断まで行う場合と一括解体する場合のコスト、工程、人工、被ばく量、廃棄物量を比較しどちらのシナリオが適当であるかを評価する。

2.2.2 一括撤去方法の検討

一次放射性廃棄物のうち、金属類撤去物の搬出は、現在 LEDF（固体廃棄物処理技術開発施設）で検討されている最大運搬容器である 19m³ 廃棄物容器（図 2-2；以下、「コンテナ」と略称）で行い、金属類以外はドラム缶に収納するものとした。

コンテナに収納可能な機器類は、最低限の分解を行う。フランジ等ボルト接続部は、メガネレンチ等によりコンテナに収納可能な大きさまで分解することとした。溶接、

ねじ込み配管類は、コンテナに収納可能な大きさの範囲内に切断することとした。

2.2.3 建家内壁はつり（研削）の検討

建家内設備・機器撤去後、建家内壁の床、壁および天井のはつりに関する計算要素を検討し、別途計算を行う。はつりの深さ量は以下のとおりである。

汚染部 : 30mm

非汚染部 : 10mm

2.2.4 WBS の作業種類

シナリオで行う作業は、解体前準備、除染、解体、全内装設備撤去後に行う管理区域解除の為の建家内壁コンクリート面はつり作業とした。作業種類を表 2-2 に示す。

2.2.5 作業時における線量当量率の算定

(1) 機器表面の最大線量当量率

解体作業において人が作業を行うことができる機器表面の線量当量率は、最大で 2mSv/h とした。この値を超える場合は遮蔽措置を行うものとした。

(2) 放射能インベントリー、線量当量率

解体撤去計算時の線量当量率は、機器表面から 1m 離れた点における値とした。その値は、表 2-3 除染前の放射能インベントリー、表 2-4 機器線量当量率および表 2-5 除染係数 (DF) より算出した（算出方法は添付資料 1 参照）。

2.3 シナリオ作成

2.3.1 解体撤去の手順

(1) 切断を要する機器

コンテナに格納できない以下の機器は、据付状態で最小限度内の切断を行う。これら機器への切断装置の取り付けは人手によるが、切断は自動で行うこととした。

・ 中和槽	1 基	(3 分割)
・ 高レベル廃液貯留タンク	2 基	(2 分割)
・ 低レベル廃液貯留タンク	3 基	(2 分割)
・ 上澄水タンク	1 基	(2 分割)
・ 放出予備タンク	1 基	(2 分割)

(2) エリア（部屋）毎の作業順序

中和槽切断時、作業場所を確保するため、あらかじめ固化装置および廃液処理室間

の隔壁を撤去しておく必要がある。また、廃液タンク室内機器の撤去搬出時は、中和槽・B1F 廃液処理室内機器撤去後に隔壁を解体し、動線ルートを確認しておく必要がある。

これらを考慮して、エリア（部屋）毎の作業順序を図 2-3 に示す。

(3) 作業計画詳細

作業の詳細を以下にまとめる。

- ・ 準備、非汚染機器の撤去
 - ① 作業スペース確保（安全作業）のため、先ず非汚染機器・配管類を撤去する。
 - ② 撤去物は酢ビシートで梱包し所定場所に保管する。撤去はフランジ部、基礎部のボルトを外して行う。
 - ③ 取り外し箇所は、最小限となるように選択する。
- ・ 汚染機器の撤去
 - ① 原則としてフランジ部・基礎ボルト部の取り外しにより撤去する。
 - ② 撤去・搬出等の動線ルートにはグリーンハウス（以下、GH と略称）を設ける。
 - ③ 切断を要する場合は、対象部をカバーできる GH をその場所に設置する。
- ・ GH の設営場所

切断・撤去・搬出通路等に GH を以下のとおり設置する。

－ 1 階（1F）－

① 各室前の通路、貯蔵室	: GH3-1F	作業員の出入り、最終汚染検査
② 同上通路（室側）	: GH2-1F	2 重目シート梱包
③ 廃液処理室	: GH1-1F	1 重目シート梱包
④ 固化室	: GH1-1F	1 重目シート梱包
⑤ 蒸発缶室	: GH1-1F	1 重目シート梱包

－ 地階（B1F）－

⑥ 階段及び処理室入口	: GH3-B1F	作業員出入り通路
⑦ 廃液処理室	: GH1-B1F	1 重目シート梱包
⑧ 蒸発缶室	: GH1-B1F	1 重目シート梱包
⑨ 廃液タンク室	: GH1-B1F	1 重目シート梱包

廃液タンク室は廃液処理室の設備を撤去し、図 2-1 の C-4, 5 通りの壁を解体した後に GH を設営する。

- ・ 機器解体用 GH の設営

中和槽、廃液タンクは解体時に解体用 GH を設営する。

- ・ 動線ルート

① 撤去品 ; 各 GH1→GH2→GH3→コンテナ→JWTF トラックヤード

i 廃液処理室および蒸発缶室地階の汚染機器類は、中和槽撤去後の開口部より 1 階に吊り上げ本経路で搬出する。

ii 廃液タンク室の汚染機器は、上記各室の汚染機器撤去後本経路で搬出する。

② 作業者出入り; チェンジングルーム～GH3～GH2～GH1

- ・ 作業装備

細断を行わず、また α 廃棄物がないことから、エアラインスーツは使用しない。

各 GH の作業装備は以下とする。

① GH1 全面マスク+タイベック+スーツカバー

② GH2 半面マスク+タイベック

③ GH3 半面マスク

2.3.2 人員計画

(1) 基本人員

	最小	最大
①総括責任者	1 人(共通)	
②現場責任者	1 人(共通)	+ (分任者:~3 人)
③放管責任者	1 人(共通)	+ (分任者:~5 人)
④作業員	2 人	20 人(最大 4 人×5 班)
計	5 人	最大 31 人

(2) 主要撤去作業における人員配置計画 (平均)

○遮蔽体、扉の撤去

①表面線量率測定、汚染有無チェック、

酢ビシート養生 ; 4 人(放管、現場責任者込)

②撤去作業員(転倒防止、取り外し/搬出) ; 6 人

計 10 人

○GH の組立

①現場責任者 1 人

②放管責任者 1人

③作業員 8人

計 10人×班数（線量当量率による）

○GHの撤去

上記の約半数

○配管、架台、機器等の取り外し、撤去、搬出

(a) 廃液処理室、固化室、蒸発缶室

ア. 取り外し/切断

①現場責任者 1人

②放管責任者 1人

③作業員 4人

計 6人×班数（線量当量率による）

イ. 搬出；作業員は上記の半数とする。

計 4人×班数（線量当量率による）

(b) 廃液タンク室

ア. 取り外し/切断：2ヶ所同時作業として

①現場責任者 1人

②放管責任者 1人

③作業員 8人

計 10人×班数（線量当量率による）

イ. 搬出；作業員はア項と同じ人数とする。

計 4人×班数（線量当量率による）

○中和槽

(a) 切断準備：遮蔽体の養生、GHの組立等

①現場責任者 1人

②放管責任者 1人

③作業員 5人

計 7人×班数（線量当量率による）

(b) 遠隔切断（工具の取付は直接作業）

①現場責任者 1人

②放管責任者 1人

③作業員 3人

計 5人×班数（線量当量率による）

(c) 搬出：作業員は上記と同人数とする。

計 5人×班数（線量当量率による）

○廃液タンク

(a) 切断用 GH の組立

①現場責任者 1人

②放管責任者 1人

③作業員 18人

計 20人

(b) 切断、搬出

中和槽に同じ。

2.3.3 使用工具

一括解体機器と使用工具

- ①中和槽（1基）：エアプラズマ、または高圧ジェット
- ②廃液タンク（7基）：高圧ジェット
- ③配管（合計 1600m）：フランジ部；メガネレンチ、スパナ
溶接配管（長尺）；ロータバンドソー、セイバーソー
- ④架台：エアプラズマ
- ⑤隔壁の破壊：コンクリートハンマ、ディスクグラインダー
- ⑥コンクリートのはつり：スキャブラ等壁面はつり装置

2.3.4 解体方法

主要機器の解体は以下のとおり行うものとする。

(1) 中和槽（φ2500×H3550×8t, 2500kg）

- ① 据付状態で切断（切断は自動）する。切断位置の概念図を図 2-4 に示す。
- ② コーン部には予め吊り上げ金具を取り付けておく。また、切断時落下しないように、テーブルリフターおよび仮設架台でサポートしておく。
- ③ 中和槽の遮蔽体は作業時の被ばく防止のため、汚染防止措置のうえ利用する。
- ④ 遮蔽体と中和槽の間に切断用 GH を設置する。

- ⑤ 接続配管、上部および周辺の機器・架台等は予め切断、撤去しておく。
 - ⑥ 作業スペースを確保するため、固化室側の隔壁(B, C-4)を撤去する。
 - ⑦ 躯体は、コーン部、胴部 2 分割、計 3 分割する。胴部は吊上げ金具で固定しておく。
 - ⑧ コーン部に切断工具をセットし遠隔で切断、移動しておく。
 - ⑨ 直胴部および上蓋部に切断工具をセットし遠隔で切断する。
 - ⑩ 直胴部の切断が支持ハリにより困難な場合は、開口部より支持ハリの上まで所定の直胴部を手で切断しておく。全て自動切断を行う場合は、据付ボルトを外し支持部にスペーサを挿入・ボルトによる固定のうえ切断工具をセットし切断する。
 - ⑪ 切断部材は酢ビシートで包装する。
 - ⑫ 据付ボルトを取り外し（または切断し）、撤去、搬出する。
 - ⑬ コーン部を中和槽撤去後の床開口部に移動し、1 階に吊り上げ搬出する。
- (2) 廃液タンク（最大：φ1900×L3800×6t, 2500kg）
- ① 据付状態で切断する。
 - ② 接続配管、上部および周辺の機器・架台等は予め切断、撤去しておく。
 - ③ 解体撤去の順序は、作業スペースの効率化の点からベントコレクションタンクより高レベル廃液貯槽(TK-62-5A)とする。
 - ④ 動線ルートを確保するため、C-4, 5 通りの壁を破壊・撤去しておく。
 - ⑤ 開口部の大きさ；約 H2300×W3000
 - ⑥ 必要な個所には予め吊上げ金具を取付けておく。
 - ⑦ 切断による汚染の拡大を防止するため、切断するタンクに作業用仮設架台および GH を設ける。この概念図を図 2-5 に示す。タンクの切断位置は、残部長手長さが 3200mm 以内となるように鏡部を切断する。参考までに、高レベル廃液貯槽の切断位置の概念図を図 2-5 に示す。これらの作業順序は以下のとおりとする。
 - a. 超高圧水切断設備の設定
 - b. GH 設置（切断対象機器 1 基毎に順次移動して行く）。
 - c. 防護服等脱着訓練
 - d. タンク回り養生；必要に応じてタンク高線量当量部に鉛板巻き。
 - e. 超高圧水遠隔自動ノズル装置を設置一切断開始。
 - f. アンカーボルトを外し、酢ビシートで切断した鏡および胴部包装。

g. 鏡および胴部をテーブルリフターにより中和槽撤去後の開口部へ移動し、チェーンブロックで吊上げ、各 GH での検査・養生を経てコンテナに収納する。

(3) 配管（全長：1600m、内、高レベル配管：316m）

- ① フランジ部ボルトをメガネレンチ、スパナ等により取外すことを基本とする。
- ② 上記作業が困難な場合および溶接（または、ねじ込み）配管（廃液処理室等）は、ロータバンドソー、セイバーソー等により切断する。
- ③ 一括解体の寸法：L 型として；3000×2400mm 以内。

(4) 架台

ドロスの発生がほとんどなく、切断用ガスのいらないエアプラズマ切断機を使用する。

(5) 隔壁の破壊

隔壁の破壊はコンクリートハンマにより行う。切断面の仕上げを要する場合はディスクグラインダーを用いる。

(6) コンクリートのはつり

汚染コンクリートのはつりは、スキャブラ等により行う。

3. 設備データベースの整備

3.1 除染後の機器線量当量率

表 2-3、2-4 および 2-5 をもとに、解体作業時の内装機器除染後の線量当量率を求めた。結果を表 3-1 に示す。その算出方法を添付資料 1 に示す。

3.2 建家情報データベース

建家情報データベースを表 3-2 に示す。工法 A に用いた建家情報データベースに対する変更・追加点等は以下のとおりである。

① 破壊する隔壁データの追加

隔壁データベースを削除し、今回計画した破壊する隔壁 2 ヶ所のデータをデータベースに追加した。1 は 1F の B, C-4 通りの壁、他は B1F の C-4, 5 通りの壁である。

② コンクリートはつりデータの追加

建家内コンクリート表面のはつりのデータをデータベースに追加した。

3.3 内装機器情報データベース

内装機器情報データベースを表 3-3 に示す。工法 A に用いた内装機器情報データベースとの主な変更、追加点は以下のとおりである。

3.3.1 全般

① 一括撤去する各機器の細断用データを削除

② 切断機器データの見直し・整備（計算要領を添付資料 2 に示す）

- ・ 中和槽：3 分割各切断片（円筒部の縦割り 2 分割とコーン部）のデータを作成
- ・ 廃液タンク類：2 分割切断片のデータを作成

③ シナリオ上必要な不足データの整備

- ・ GH 設置数の変更、各 GH についてのデータの整備
- ・ 表 1-1 設備機器一覧の中に記載されていないが、シナリオの中で必要な作業の機器データ作成（例：廃液処理室および固化室の遮蔽扉）
- ・ 1F, B1F における A, B-3, 6 通路に設ける GH データの追加

④ 今回採用した切断等工具を基に各データベースの見直し

- ⑤ 放射能インベントリおよび機器表面の線量当量率を表 3-1 により見直し

3.3.2 各エリア

(1) 廃液処理室

- ① 遮蔽扉データを追加
- ② 中和槽切断片データを変更
- ③ 廃液処理室 GH、中和槽切断用 GH、動線ルート用 GH を廃液処理室前通路 (1F, B1F) に設置

(2) 固化室

遮蔽扉データを追加

(3) 廃液タンク室

- ① タンクの切断片データを変更
- ② タンク切断用 GH を追加

(4) 機械室

- ① 排気筒切断片を追加
- ② 空調機を追加

3.4 技術情報データベース入力データの整備

技術情報データベースに、今回計画している以下の工具を表 3-4 のとおり追加した。

- ① 線切断技術 : 高圧ジェット、エアプラズマ
- ② 面切断技術 : エアプラズマ、ロータバンドソー、セバーソー
- ③ はつり技術 : スキャブラ等壁面はつり装置、小型研削機
- ④ コンクリート破壊技術 : コンクリートハンマ

4. 解体撤去計算データの作成

4.1 解体撤去シナリオの作成

前章までの条件に基づいて解体撤去シナリオ（作業順序）データを作成する。

4.1.1 共通項目

(1) 準備作業

資機材の搬入、放射線マップの測定・作成、作業員の出入り・汚染機器搬出等の動線ルートの設定、作業計画、切断（または取外し）部位の設定、事前教育・訓練などの作業がある。

(2) 非汚染機器類の撤去

各部屋の作業エリアを確保するため、非汚染機器類を撤去する。地階の機器は1階廃液処理室前通路上のハッチより吊上げ搬出する。

(3) GHの組立

動線ルートにGHを組み立てる。また、各部屋に解体用GHを設置する。

(4) 汚染機器・配管類の撤去

- ① 高線量率の部屋である廃液処理室より撤去（手順は次節に記載）する。
- ② 作業エリア確保のため、通路側より配管、機器類の撤去を行う。また、安全確保のため、上部の配管、機器類から撤去する。
- ③ 撤去にあたり切断を要する場合は、切粉が飛散ないように酢ビシート等でその切断部位を養生する。
- ④ 切断開口部は、汚染物が拡散しないようにビニールシート等でカバーする。
- ⑤ 切り出した配管の長さがコンテナの寸法を超える場合は、予め定めた場所で収納可能の大きさに切断する。
- ⑥ 配管、機器類はGHで汚染検査を行い、必要に応じて汚染固定あるいは酢ビシートによる養生を施す。
- ⑦ 搬出した汚染機器類は、コンテナに収納する。その条件は4.2.2節に示す規定値以内とする。
- ⑧ コンテナの置き場所は1階貯蔵室とする。

(5) 隔壁の破壊

本シナリオにおいて隔壁の破壊は以下の2ヶ所とした。

- ① B, C-4 通り隔壁の破壊 ; 中和槽撤去用
- ② C-4, 5 通り隔壁の破壊 ; 廃液タンク撤去用

(6) GH の撤去

- ① GH の撤去にあたり、その汚染検査・汚染固定を行う。
- ② 作業用 GH は解体・搬出の終了した部屋から撤去する。
- ③ 廃液タンク室撤去後、順次 GH を撤去する。

(7) コンクリートのはつり

- ① 各部屋の汚染状況を測定し、各部屋のコンクリートはつり深さを設定する。
- ② 今回のシナリオでははつり深さを前章記載のとおりとした。

(8) 空間測定

空間測定を行い放射線状況マップを作成する。

(9) 後片付け

資機材の撤去、搬出等を行う。

4.1.2 解体撤去シナリオ（作業順序）および WBS の作成

以上の基本方針、作業計画に基づいて作成した解体撤去シナリオを図 4-1 に示す。
評価計算に必要な WBS 毎の作業期間（日時）、人工を検討し作成した結果を表 4-1 に示す。ここには現場解体方式に記載された作業工数との対比を合わせて示した。

4.2 入力データの作成・整備

4.2.1 計算データの作成・整備

計算機入力用計算データを検討・作成した。結果を表 4-2 に示す。工法 A の計算データに対する検討事項は以下のとおりである。

(1) WBS 作業項目毎の追加項目

○ 共通項目

- ① 計量槽、定量槽用遮蔽体の汚染防止措置(B-16)
- ② 中和槽用遮蔽体の汚染防止措置(B-17)
- ③ GH 仮設足場の設置(B-18)
- ④ 壁貫通配管の撤去・養生（固化室:B-86、廃液タンク室:B-164）

○ 表面測定項目

A, B-3, 6 通り GH 内汚染検査、汚染固定(B-175)

○ 分解項目

- ① 洗浄用薬液廃液タンク用ポンプ取外し(B-103)
- ② 洗浄用受入れポンプ取外し(B-104)
- ③ 濃縮液受槽取外し(B-114)
- ④ 床排水ピットポンプ取外し(B-141)
- ⑤ 空調機取外し(B-303)

○ 表面除染作業項目

A, B-3, 6 通り GH 内除染(B-174)

○ 線切断項目

コールド機器架台切断(B-137)

○ 廃棄物搬出項目

- ① 計量槽、定量槽周り遮蔽体撤去、搬出(B-37, 38)
- ② A, B-3, 6 通り GH 撤去(B-176)
- ③ ピットポンプ搬出(B-142)

(2) 整備事項

- ① 建家情報データベース、内装機器情報データベース、解体撤去シナリオ、技術情報データベース等を整備した。また、作業要素は各 WBS 毎の設定作業工数と整合させた。
- ② 人員構成は、各 WBS 毎の設定工数に合わせた。
- ③ 作業環境における作業装備として、エアラインマスクを使用しないで全面マスクを使用する。
- ④ B-229～B-237「放射線状況測定」を「空間測定」とした。
 - ・ 技術コード、適用技術、標準能力値を変更した。
 - ・ 「測定面積」を「測定点」に直し、測定点数を記載した。
- ⑤ B-82, B-116, B-159, B-167, B-174 の「表面除染作業」における拭き取り除染法の標準 DF、目標 DF、適用 DF を 150 から 10 に変更した。
- ⑥ 線切断作業（作業種類）に使用する切断技術を昨年度報告から以下のとおり変更し、データを整備した。いずれもユニットは遠隔自動切断が行え安全性が高い。エアプラズマはドロス、粉塵等の発生が少なく、ひずみのないシャープできれいな切断面が得られ、かつ手軽に、経済的に切断できる。高圧ジェットはライニン

グされているゴムも合わせて切断できる、などが主な変更の理由である。

- ・ 架台 : ガス切断 → エアプラズマ切断
- ・ 中和槽 : プラズマアーク切断 → エアプラズマ切断
- ・ 上澄水タンク : プラズマアーク切断 → 高圧ジェット切断
- ・ タンク類 : ディスクグラインダ切断 → 高圧ジェット切断

⑦ 小口径配管切断作業については以下のとおり変更した。

- ・ 配管類 : パイプカッター → ロータバンドソー
(設置状態での切断に最適)

⑧ コンクリート破壊作業については以下のとおり変更した。

- ・ 壁の破壊 : ハンドブレーカ → コンクリートハンマ (電動式を採用)

4.2.2 システム保有データの整備

廃棄物搬出作業 (作業種類) に使用するコンテナ (収納容器) および 200 ℓ ドラム缶のデータを以下のとおり整備した。結果を表 4-3 に示す。

(1) コンテナ

- ・ 収納容器種類 : 角型 19m³ (3300L×2400W×2400H)
- ・ 容器搬出速度 : 2 本/h
- ・ コンテナ単価 : 500 千円/本
- ・ 容器充填重量 : 金属 30000 (kg/本)
- ・ 放射線区分ボーダー : 最大 α 含有量 3.50E+10 (Bq/容器)
- : α -B 含有量 3.50E+10 (Bq/容器)
- : α -A 含有量 3.50E+10 (Bq/容器)
- : β - γ 含有量 3.50E+10 (Bq/容器)

(2) 200 ℓ ドラム缶

- ・ 容器充填量 : コンクリート 220kg/本
- : 金属 780kg/本
- : その他 550kg/本
- ・ 放射線区分ボーダー : 最大 α 含有量 3.70E+08 (Bq/容器)
- : α -B 含有量 3.70E+08 (Bq/容器)
- : α -A 含有量 3.70E+05 (Bq/容器)
- : β γ 含有量 3.70E+09 (Bq/容器)

4.2.3 入力情報の検証

(1) 計算データのマトリックス検証

計算データ（表 4-2）が WBS（表 2-2）の項目毎にマトリックスが構成されていることを確認した。結果を表 4-4 に示す。

(2) 技術情報データベースの検証

今回使用した技術情報データベースは以下であることを確認した。

(・) 測定技術能力データベース

- ・空間測定技術：A-2 NaI (TI) シンチレーションカウンター
- ・表面測定技術：B-5 GM カウンター

(・) 除染技術能力データベース

- ・表面除染技術：C-9 拭き取り除染法

(・) 解体技術能力データベース

- ・線切断技術：E-5 高圧ジェット切断、E-6 エアプラズマ切断
- ・面切断技術：F-5 ロータバンドソー
- ・はつり技術：G-3 研削はつり
- ・破壊技術：H-6 コンクリートハンマ破壊

4.3 評価計算結果

解体撤去シナリオに基づいて評価計算を実施した。結果を以下に示す。工程 A には含まれない研削に関する作業はその他の作業と分離して(7)、(8)に記載した。

(1) 工期

工程、被ばく線量当量、人工数集計表：表 4-4

(2) 作業人工数

作業人工数山積図：図 4-2

工程、被ばく線量当量、人工数集計表：表 4-4

(3) コスト

コスト山積図：図 4-3

コスト集計表：表 4-5

(4) 被ばく線量当量

被ばく線量当量山積図：図 4-4

工程、被ばく線量当量、人工数集計表	: 表 4-4
(5) 廃棄物発生量	
一次廃棄物発生量山積図	: 図 4-5
容器発生数山積図	: 図 4-6
二次廃棄物発生量山積図	: 図 4-7
カートンボックス発生数山積図	: 図 4-8
二次廃液発生量山積図	: 図 4-9
廃棄物発生量・収納容器数集計表	: 表 4-6
(6) 月別集計表	: 表 4-7
(7) 研削計算結果集計表	
作業工期、工数、被ばく線量当量集計表	: 表 4-8
コスト集計表	: 表 4-9
廃棄物発生量集計表	: 表 4-10
月別評価指標集計表	: 表 4-11
(8) 研削計算結果図	
作業人工数山積図	: 図 4-10
作業人員変動図	: 図 4-11
コスト山積図	: 図 4-12
被ばく線量当量山積図	: 図 4-13
一次廃棄物発生量山積図	: 図 4-14
一次廃棄物収納容器発生数山積図	: 図 4-15
二次廃棄物発生量山積図	: 図 4-16
カートンボックス発生数山積図	: 図 4-17
二次廃液発生量山積図	: 図 4-18

5. 計算結果及び考察

工期、工数、被ばく線量当量の比較を表 5-1 に、廃棄物発生量を表 5-2 に、放射性廃棄物収納容器数量の比較を表 5-3 に、コストの比較を表 5-4 に示す。また、工法 B のみで行った研削分の評価指標について表 5-5 に示す。

5.1 設備解体の比較

5.1.1 工期（作業日数）

工法 B には解体撤去に必要と思われる以下の項目を加算し、その他、各作業毎に WBS を検討し必要な作業項目を追加したが、平行作業日数を除いた工期の計算結果は、工法 A の 732 日に対して工法 B は 517 日と短くなった。工法 A が現場での細断等を行うシナリオであるのに対して工法 B は一部の機器を一括撤去する方式であることが原因である。

（・）廃液処理室

- ・ 遮蔽扉の撤去を追加
- ・ 動線ルート確保のため廃液処理室 GH、中和槽切断用 GH、動線ルート用 GH を廃液処理室前通路 (1F, B1F) に設置

（・）固化室

- ・ 遮蔽扉の撤去を追加

（・）機械室

- ・ 排気塔、空調機等の解体撤去を追加

5.1.2 作業人工数（人・日）

前項の結果に応じて、作業人工数が工法 A の 10,023 人・日に対して工法 B は 6,931 人・日である。また、平均人数は工法 A が 13.7 人に対して工法 B は 11.4 人である。平均人数が低下した理由は、部屋の狭隘性を考慮して 1 工程に係わる最大人数を押さえたことによる。作業人工数および作業日数について、WBS の設定作業（表 4-1）と評価計算結果との違いの大きいものを表 5-6 に示す。

5.1.3 被ばく線量当量について

被ばく線量当量は、工法 A の 61,967 人・mSv に対して工法 B は 37,606 人・mSv となり、約半分に低減された。これは、各機器の線量当量率を表 3-1 により見直した

ことと、一括撤去の工法により被ばくを伴う作業が減ったことによる。

5.1.4 廃棄物発生量

結果を表 5-2 に示す。

(1) 解体機器の搬出量

一次放射性廃棄物(解体機器の合計)は、表 2-1 より 66,215kg である。これに対して工法 A では 69,112kg、工法 B では 68,929kg の結果となった。66,215kg より大きな値となった主な理由は、各部屋の壁貫通配管の重量が重複して加算されたことによる。

(2) コンテナの所要数量

搬出に使用するコンテナの基数に関して、計算結果は計 80 基となった(表 5-3)。この値は廃棄物の発生回数に対応したものである。実際の作業では、コンテナは収納限度まで格納される。この計算結果をベースとして、収納限度を考慮してコンテナの数量を求めると 20 基となる。今後システムの改良において修正する必要がある。

(3) 200 ㍓ドラム缶本数

200 ㍓ドラム缶本数は、工法 A の 471 本に対して工法 B は 250 本となった。工法 B は一括撤去用 GH 等に使用した酢ビシートと破壊したコンクリートに対して計算している。工法 A に対する減少の理由は、機器の細断用に使用した酢ビシート等が減少した結果である。

(4) 20 ㍓カートンボックス

20 ㍓カートンボックスの個数は、工法 A の 4,547 個に対して工法 B は 2,792 個となった。この差は作業人数の減少による。

(5) 廃液および不燃性廃棄物の発生

工法 A は高圧ジェットによるタンクの切断を行うため、廃液が 3m³発生する。また、その切断時に使用する研磨剤(アブレッシブ: 鑄鉄グリッド)が 469kg 発生する。

(6) その他

プレフィルタが建家の排気用として 6 枚、GH (8 基分) の排気用として 160 枚発生する。また、HEPA フィルタが建家の排気用として 12 個、GH (8 基分) の排気用として 32 個発生する。これらのフィルタは酢ビシートで梱包し搬出する。

5.1.5 コスト

結果を表 5-4 に示す。コスト合計は、工法 A の 696,553 千円に対して工法 B は 442,533 千円となった。この値には、廃棄物輸送費、機器リース費、間接工事費、図書作成費、資材運搬・交通費、諸経費等が除かれている。計算結果の内訳のうち機器費と廃棄物容器費が大きく異なっている。工法 B の機器費はほとんどが高圧ジェットポンプおよび取付けの費用である。廃棄物容器費にはコンテナの費用が加算されている。

5.2 管理区域解除の為の建家内壁はつり計算

はつりに関する工期、工数、被ばく線量当量および廃棄物発生量について、計算結果を表 5-5 に示す。

5.2.1 工期、工数

工期および工数は、それぞれ 118 日（平行作業日数を除く）および 915 人・日となった。なお、この値は部屋の空間線量当量率をバックグラウンドレベルとした場合である。

5.2.2 コスト

コストは、人件費:46,296 千円、資材費:1,960 千円、廃棄物収納容器費:12,560 千円、合計:60,816 千円となった。この値には、機器撤去費と同様に廃棄物輸送費～諸経費等が含まれていない（表 5-4 参照）。

5.2.3 被ばく線量当量

部屋の空間線当量率をバックグラウンドレベルとしたため、被ばく線量当量は 0 となった。

5.2.4 廃棄物発生量

コンクリート搬出量は、研削量に対する計算結果であり、124,688kg となった。この結果に伴い 200 ㍓ドラム缶は、1,256 本となる。ドラム缶に格納するものはコンクリート研削による廃棄物量および研削時の酢ビシートである。

二次廃棄物発生量は合計:1,830kg、これを収納する 20 ㍓カートンボックスは合計:364 個となった。この値は人工数に対して換算されたものである。

6. あとがき

今回 DECMAN を使用した評価計算は、解体工法の違いによって評価計算値がどう変化するかを確認し、設備機器撤去後の管理区域解除の為に建家内壁はつりに要する評価指標を計算した。

① 解体工法の比較

解体工法については、現場で細断を行い、廃棄物容器に収納して、そのまま廃棄物保管場所に保管する方式（工法 A）を平成 9 年度に計算し、今回、現場で運搬容器に収納できる大きさに切断して、専用の処理施設にて細断および廃棄物容器に収納する方式（工法 B）の計算を行い比較した。尚、工法 B についての評価計算は、専用の処理施設が決まっていないことから運搬容器への収納までを対象とした。

評価計算結果は、工期、作業人工数、被ばく線量当量、コストとも工法 B の方が工法 A を下回ることが分かった。しかし、工法 B には、廃棄物解体施設における細断、廃棄物容器の収納作業が含まれていない。従って、今後、廃棄物処理工程の仕様を明らかにして DECMAN により評価計算を行い、工法を選択する必要がある。

② 管理区域解除の為に建家内壁はつり計算

今回の計算に併せて行った管理区域解除の為に建家内壁コンクリート面のはつり作業の計算結果を以下に示す。なお、被ばく線量当量は部屋の空間線量当量率をバックグラウンドとしたため被ばく線量当量は 0 となった。

- i 工期は 118 日、工数は 915 人・日となった。
- ii 廃棄物発生量は研削したコンクリート量は 124,688kg、200 ㍓ドラム缶は 1,256 本である。20 ㍓カートンボックスは 364 個となった。

7. 参考文献

- (1) 小川竜一郎、石島昇、谷本健一：核燃料サイクル施設等のデコミッショニング評価システムの開発(DECMAN), JNC TN9410 99-007 (1999)
- (2) 小川竜一郎、石島昇、森下喜嗣、谷本健一：デコミッショニング評価システムの開発(5)－旧 JWTF の解体撤去計算によるシステムの機能検証－, PNC ZN9410 98-090, (1998)

表 2-1 廃液処理室内の設備機器(1/6)

機 器 名 称		材 質	基 数	概略寸法／仕様	重 量
	① 中和槽	SUS304	1 基	φ 2500×H3550×t8	2500kg
	② 定量槽	SUS304	1 基	φ 650×H1200×t4	150kg
	③ 計量槽	SUS304	1 基	φ 550×H1010×t8	130kg
	④ エアリフトセパレータ	SUS304	1 基	φ 200×H500×t4	30kg
*	⑤ 薬品溶解槽	PVC	1 基	□1350×H900×t6	110kg
	⑥ オフガス凝縮器	SUS304	1 基	φ 450×L1900×t6	600kg
	⑦ 中和槽用ポンプ	SUS304	1 基	キャンドポンプ	25kg
*	⑧ 中和剤供給ポンプ	SUS304	2 基	往復動ポンプ	75kg/基
	⑨ オフガスブロア	SUS304	2 基	ルーツブロア	90kg/基
	⑩ オフガスフィルタ	SUS304	1 基	φ 450×H700×t4	110kg
*	⑪ コンプレッサ	SUS304	1 基	オイルフリー	450kg
	⑫ 配管類	SUS304	270m	(平均径 L 5B)	920kg
	⑬ 空気作動バルブ	SUS304	3 個	(平均径 1 B)	39kg
	⑭ バルブ (手動バルブ等)	SUS304	90 個	(平均径 1 B)	450kg
	⑮ サンプリンクボックス	SUS304	1 基		200kg
	⑯ 中和槽除染装置	SUS304	1 基		300kg
	⑰ pH 自動調整器	SUS304	1 式		110kg
	⑱ 架台	SS41	1 式		6000kg
*	⑲ シャッター前遮蔽体	SS41	8 枚	50×820×1500	3800kg
*	⑳ 中和槽周囲遮蔽体	SS41, 鉛	1 式		27300kg
*	㉑ 遮蔽窓	SS41, 鉛	1 式		1200kg
放射性対象物					11744kg
非汚染物対象					33010kg
合 計					44754kg

注) 上記*印は当該機器の近傍において汚染の履歴がなく、放射性物質または汚染機器等と接触した履歴がないため非汚染機器とみなす。

表 2-1 廃液処理室内の設備機器 (2/6)

機 器 名 称		材 質	基 数	概略寸法／仕様	重 量
	① 蒸発缶(カラム部)	SUS304	2 基	φ 600×H2800×t6	1200kg/基
	蒸発缶(リボイ部)	SUS304	2 基	φ 500×H1800×t6	600kg/基
	② 蒸気凝縮器	SUS304	2 基	φ 400×H2500×t6	200kg/基
	③ 濃縮液受槽	SUS304	1 基	φ 800×H1800×t6	700kg
*	④ 蒸発缶洗浄用薬液タンク	SUS304	1 基	φ 800×H1000×t6	220kg
	⑤ 蒸発缶洗浄用薬液廃タンク	SUS304	1 基	φ 1200×L1300×t6	800kg
*	⑥ 洗浄用薬液タンク用ポンプ	SUS304	1 基	キャンドポンプ	70kg
	⑦ 蒸発缶洗浄用薬液廃タンク用ポンプ	SUS304	1 基	キャンドポンプ	70kg
	⑧ 洗浄液受入れポンプ	SUS304	1 基	キャンドポンプ	150kg
	⑨ 配管類	SUS304	350m	(平均径 L 5B)	1200kg
	⑩ 空気作動バルブ	SUS304	9 個	(平均径 1B)	117kg
	⑪ バルブ (手動バルブ等)	SUS304	132 個	(平均径 1B)	660kg
*	⑫ 架台、グレーチング	SS41	1 式		3000kg
*	⑬ 遮蔽扉	SS41	2 式	1820×2045×t88	3350kg
放射性対象物					7697kg
非汚染物対象					6640kg
合 計					14337kg

注) 上記*印は当該機器の近傍において汚染の履歴がなく、放射性物質または汚染機器等と接触した履歴がないため非汚染機器とみなす。

表 2-1 廃液処理室内の設備機器 (3/6)

機 器 名 称		材 質	基数	概略寸法／仕様	重 量
*	① 乾燥熔融固化装置	SUS304L 等	1 基	800×H1055	110kg
	② 固化装置遮蔽体	SS41	1 基	□1030×600×t3	850kg
	③ 固化ボックス	SUS304 等	1 基	L2600×W1100×H2900×t4	3000kg
	④ 固化ポット移送装置	SUS304 等	1 基	ホイス等	200kg
	⑤ 添加剤ホッパ	SUS304	1 基	振動フィーダ等	130kg
*	⑥ マイクロ波発振器	SS41 等	1 基		110kg
*	⑦ 操作盤	SS41	1 基		500kg
	⑧ 配管類	SUS304	230m	平均径 1 B	550kg
	⑨ 空気作動バルブ	SUS304	2 個	平均径 3/4B	20kg
	⑩ バルブ (手動バルブ等)	SUS304	70 個	平均径 1B	350kg
*	⑪ 架台	SS41	1 式		1000kg
放射性対象物					4360kg
非汚染物対象					2460kg
合 計					6820kg

注) 上記 * 印は当該機器の近傍において汚染の履歴がなく、放射性物質または汚染機器等と接触した履歴がないため非汚染機器とみなす。

表 2-1 廃液処理室内の設備機器(4/6)

機 器 名 称		材 質	基 数	概略寸法／仕様	重 量
*	① 高レベル廃液貯留タンク	SS41+ゴムライ	2 基	φ 1500×L3600×t6	2000kg/基
	② 低レベル廃液貯留タンク		3 基	φ 1900×L3800×t6	2500kg/基
	③ 上澄水タンク		1 基	φ 1500×L3600×t6	2400kg
	④ 放出予備タンク		1 基	φ 1500×L3600×t6	2000kg
	⑤ ベントコレクションタンク		1 基	φ 1000×L2200×t6	670kg
	⑥ 高レベル廃液タンク用ポンプ	SUS304	2 基	堅型ポンプ	280kg/基
	⑦ 低レベル廃液タンク用ポンプ	SUS304	3 基	堅型ポンプ	300kg/基
	⑧ 上澄水タンク用ポンプ	SUS304	1 基	堅型ポンプ	400kg
	⑨ 放出予備タンク用ポンプ	SUS304	1 基	堅型ポンプ	280kg
	⑩ 床排水ピットポンプ	FC	2 基	自吸式ポンプ	30kg/基
	⑪ ベントコレクションプロア	FC	1 基	ターボ式	13kg
	⑫ 配管類	SUS304	750m	平均径 1 B	2600kg
	⑬ 空気作動バルブ	SUS304	14 基	平均径 1.5 B	210kg
	⑭ バルブ (手動バルブ等)	SUS304	197	平均径 1 B	994kg
	⑮ 架台	SS41	1 式		11140kg
放射性対象物					33714kg
非汚染物対象					13kg
合 計					33727kg

注) 上記*印は当該機器の近傍において汚染の履歴がなく、放射性物質または汚染機器等と接触した履歴がないため非汚染機器とみなす。

表 2-1 廃液処理室内の設備機器 (5/6)

機 器 名 称		材 質	基数	概略寸法／仕様	重 量
*	固体廃棄物貯蔵室の機器				
	① 固体廃棄物搬入機	SS41, Pb	1 式	2800×1040×H2500	2000kg
	② 廃液スラッジ回収装置	SUS304, SS41, Pb	1 基	2550×1950×H1550	4000kg
機械室内の設備機器					
	① フィルタユニット(1)	SS41	1 基	L1700×W700×H1420	400kg
	② フィルタユニット(2)	SS41	1 基	L3400×W700×H1420	800kg
*	③ 排風機(1)	FC	1 基	ターボ式	150kg
*	④ 排風機(2)	FC	1 基	ターボ式	251kg
*	⑤ 排風機(3)	FC	1 基	ターボ式	1505kg
*	⑥ 送風機(1)	FC	1 基	ターボ式	150kg
*	⑦ 送風機(2)	FC	1 基	ターボ式	301kg
*	⑧ 送風機(3)	FC	1 基	ターボ式	1505kg
*	⑨ 空調機	SS41	2 基	パッケージ式	200kg
*	⑩ 排気塔	SS41	1 基	6095×10000×9.5t	1600kg
*	⑪ 入気ダクト	SS41	1 式		6300kg
	⑫ 排気ダクト	SS41	1 式		3500kg
*	⑬ コンプレッサ	SS41	1 基		560kg
放射性対象物					8700kg
非汚染物対象					14522kg
合 計					23222kg

注) 上記 * 印は当該機器の近傍において汚染の履歴がなく、放射性物質または汚染機器等と接触した履歴がないため非汚染機器とみなす。

表 2-1 廃液処理室内の設備機器 (6/6)

機 器 名 称		材 質	基 数	概略寸法／仕様	重 量
*	制御室				
	① 制御盤	SS41	1 基	1080×1500×H2450	
		SS41	1 基	2160×1500×H2450	
		SS41	2 基	1200× 500×H2350	
		SS41	1 基	1000× 500×H1200	
*	② P 盤 (動力盤)	SS41	1 基	900× 400×H1900	合計 2000kg
*	③ 換気系	SS41	1 基		37kg
	チェンジングルーム				
*	① 遮蔽体	SS41, Pb	1 式		1370kg
合 計					3407kg

注) 上記*印は当該機器の近傍において汚染の履歴がなく、放射性物質または汚染機器等と接触した履歴がないため非汚染機器とみなす。

表 2-2 作業種類 (WBS)

作業項目		作業概要
共通	作業準備	資機材の搬入、据付等
	作業後始末	資機材の撤去、搬出等
	GH 設置	グリーンハウス設置に係わる作業
	GH 撤去	グリーンハウス撤去に係わる作業
	廃棄物搬出	容器または廃棄物の搬出作業
測定	空間測定	空間線量当量率、放射エネルギー等の測定作業
	表面測定	表面汚染密度、表面線量当量率等の測定作業
除染	表面除染	機器表面の除染作業
	系統除染	機器内部の除染作業
分解	分解	機器、設備等の分解作業
解体	線切断	内装機器等の線切断
	配管切断	小口径配管の面切断による解体作業
	はつり	コンクリートのはつりによる解体作業
	破壊	コンクリートの破壊による解体作業

表 2-3 放射エネルギーのインベントリ (1/5)

機 器 名 称		基 数	推定内表面積 (cm ²)	重 量 (kg)	放 射 能 量 (Bq)
高 レ ベ ル β ・ γ 固 体 廃 棄 物	① 中和槽円錐部 (コーン部)	1 基	69,080	500	8.6×10^{10}
	中和槽本体部		229,316	2000	5.0×10^9
	② 定置槽	1 基	—	150	5.2×10^{10}
	③ 計量槽	1 基	—	130	4.3×10^{10}
	④ エアリフトセパレータ	1 基	4,123	30	5.1×10^9
	⑤ 中和槽用ポンプ	1 基	4,584	25	5.7×10^9
	⑥ 配管類 (高レベル: 1 [※])	193m	176,958 (2.92cm)	363	2.2×10^{11}
	⑦ 空気作動バルブ	2 個	138×2	26	3.4×10^8
	⑧ バルブ (手動バルブ等)	64 個	138×64	320	1.1×10^{10}
低 レ ベ ル β ・ γ 固 体 廃 棄 物	① オフガス凝縮器	1 基	29,743	600	3.7×10^7
	② オフガスブローア	2 基	—	180	※
	③ オフガスフィルタ	1 基	—	110	※
	④ 配管類 (低レベル: 1.5 [※])	77m	83,655 (3.46cm)	557	1.0×10^8
	⑤ 空気作動バルブ	1 個	163	13	2.0×10^5
	⑥ バルブ (手動バルブ等)	26 個	163×26	130	5.3×10^5
	⑦ サンプルボックス	1 基	700,000	200	8.7×10^8
	⑧ 中和槽除染装置	1 基	—	300	※
	⑨ pH自動調整器	1 式	—	110	※
極 低 レベル	① 架 台	1 式	—	6000	—
合 計				11744	

注 1) 高レベル機器 (定置槽、計量槽を除く。) の内面の表面密度は、中和槽円錐部の表面密度と同一とする。低レベルのそれは上記の $1/1000$ の値とする。それぞれの値の表面積とにより各機器ごとの放射エネルギーを算出する。

注 2) 中和槽内の放射能分布は、廃液受け入れ停止時点の線量当量率の比率 (2.0 : 3.4 mSv/h、表 4.2.1) より、中和槽内全放射能がこの比率で分布しているものと仮定する。

$$\text{中和槽本体部} : 9.05 \times 10^{10} \times \{2.0 / (2.0 + 3.4)\} = 5.0 \times 10^9 \text{ Bq}$$

$$\text{中和槽円錐部} : 9.05 \times 10^{10} \times \{3.4 / (2.0 + 3.4)\} = 8.6 \times 10^{10} \text{ Bq}$$

従って中和槽円錐部の内面の表面密度 (高レベル) は以下のとおりとなる。

$$8.6 \times 10^{10} / 69,080 = 1.24 \times 10^6 \text{ Bq/cm}^2$$

注 3) ※印および極低レベルのものの放射エネルギーは無視できるものとする。

表 2-3 放射エネルギーのインベントリ (2/5)

機 器 名 称		基 数	推定内表面積 (cm ²)	重 量 (kg)	放 射 能 量 (Bq)
高 レ ベ ル β・γ 固 体 廃 棄 物	① 蒸発缶 (カラム部)	2 基	58.404 × 2	3600	5.4 × 10 ¹⁰
	蒸発缶 (リボイラ部)	2 基	32.185 × 2		
	② 濃縮液受槽	1 基	55.264	700	2.5 × 10 ¹⁰
	③ 蒸発缶洗浄用薬液廃液タンク	1 基	71.592	800	3.3 × 10 ¹⁰
	④ 洗浄用薬液廃液タンク用ポンプ	1 基	10.000	70	4.6 × 10 ⁹
	⑤ 洗浄液受入れポンプ	1 基	10.000	150	4.6 × 10 ⁹
	⑥ 配管類 (高レベル: 1.5%)	109m	147.856 (4.32cm)	331	6.8 × 10 ¹⁰
	⑦ 空気作動バルブ	3 個	203 × 3	39	2.8 × 10 ⁹
	⑧ バルブ (手動バルブ等)	41個	203 × 41	205	3.8 × 10 ⁹
低 レ ベ ル β・γ 固 体 廃 棄 物	① 蒸気凝縮器	2 基	33.912 × 2	400	3.1 × 10 ⁷
	② 配管類 (低レベル: 1.5%)	241m	319.344 (4.22cm)	869	1.5 × 10 ⁹
	③ 空気作動バルブ	6 個	199 × 6	78	5.5 × 10 ⁵
	④ バルブ (手動バルブ等)	91個	199 × 91	455	8.3 × 10 ⁶
合 計				7697	

注1) 高レベル機器 (濃縮液受槽、蒸発缶洗浄用薬液廃液タンクを除く。) の内面の表面密度は、蒸発缶カラム部内面の表面密度と同一とする。低レベルのそれは上記の 1/1000 の値とする。
それぞれの値と表面積とにより各機器ごとの放射エネルギーを算出する。

注2) 蒸発缶カラム部内面の表面密度 (高レベル) は以下のとおりとなる。

$$2.7 \times 10^{10} / 58.404 = 4.6 \times 10^9 \text{ Bq/cm}^2$$

表 2-3 放射エネルギーのインベントリ (3/5)

機 器 名 称		基 数	推定内装面積 (cm ²)	重 量 (kg)	放 射 能 量 (Bq)
高 レ ベ ル β ・ γ 固 体 廃 棄 物	① 乾燥溶融固化装置	1 基	8.164	110	1.3×10^9
	② 配管類 (高レベル: 2 ³)	14m	23.650 (5.38cm)	66	3.8×10^9
	③ 空気作動バルブ	1 個	253	10	4.0×10^7
	④ バルブ (手動バルブ等)	4 個	253 × 4	20	1.6×10^8
低 レ ベ ル β ・ γ 固 体 廃 棄 物	① 固化ボックス	1 基	226.200	3000	3.6×10^7
	② 固化ポット移送装置	1 基	10.000	200	1.6×10^6
	③ 配管類 (低レベル: 1 ³)	216m	191.264 (2.82cm)	484	3.1×10^7
	④ 空気作動バルブ	1 個	133	10	1.3×10^5
	⑤ バルブ (手動バルブ等)	66個	133 × 66	330	1.4×10^6
合 計				4230	

注 1) 高レベル機器の内面の表面密度は、乾燥溶融固化装置オープン部内面の表面密度と同一とする。

低レベルのそれは上記の $1/1000$ の値とする。それぞれの値と表面積とにより各機器ごとの放射エネルギーを算出する。

注 2) 乾燥溶融固化装置オープン部内表面積を 8.164 cm^2 ($200 \phi \times 1,200 \text{ mm}$) とすれば、内面の表面密度 (高レベル) は以下のとおりとなる。

$$1.3 \times 10^9 / 8.164 = 1.6 \times 10^8 \text{ Bq/cm}^2$$

表 2-3 放射エネルギーのインベントリ (4/5)

機 器 名 称		基 数	推定内表面積 (cm ²)	重 量 (kg)	放 射 能 量 (Bq)
高 レ ベル β・γ 固 体 廃 棄 物	① 高レベル廃液貯留タンク	2基	204.885×2	4000	7.6×10 ⁹
	② 高レベル廃液タンク用ポンプ	2基	1.988×2	560	7.6×10 ⁷
	③ 配管類 (高レベル: 1.5 ⁸)	431m	571.109 (4.22cm)	1554	1.1×10 ¹⁰
	④ 空気作動バルブ	8基	199×8	120	3.0×10 ⁷
	⑤ バルブ (手動バルブ等)	113個	199×113	565	4.3×10 ⁸
低 レ ベル β・γ 固 体 廃 棄 物	① 低レベル廃液貯留タンク	3基	—	7500	—
	② 上澄水タンク	1基	1.061.791	2400	9.1×10 ⁹
	③ 放出予備タンク	1基	(6基合計)	2000	(6基合計)
	④ ベントコレクションタンク	1基	—	670	—
	⑤ 低レベル廃液タンク用ポンプ	3基	6.830	900	5.9×10 ⁷
	⑥ 上澄水タンク用ポンプ	1基	(5基合計)	400	(5基合計)
	⑦ 放出予備タンク用ポンプ	1基	—	280	—
	⑧ 床排水ピットポンプ	2基	—	60	※
	⑨ 配管類 (低レベル: 1 ⁸)	319m	250.415 (2.50cm)	1046	2.2×10 ⁹
	⑩ 空気作動バルブ	6基	118×6	90	6.1×10 ⁶
	⑪ バルブ (手動バルブ等)	84個	118×84	429	8.5×10 ⁷
極低 レベル	① 架 台	1式	—	11140	—
合 計			—	33714	—

注1) 高レベル機器の内面の表面密度は、高レベル廃液貯留タンク2基の平均の表面密度と同一とする。

低レベルのそれはその他のタンク6基の平均の値と同一とする。それぞれの値と表面積とにより各機器ごとの放射エネルギーを算出する。

注2) 高レベル廃液貯留タンク内面の表面密度 (高レベル) は以下のとおりとなる。

$$3.8 \times 10^9 / 204.885 = 1.9 \times 10^7 \text{ Bq/cm}^2$$

また低レベル廃液貯留タンク内面の表面密度 (低レベル) は以下のとおりとなる。

$$9.1 \times 10^9 / 1.061.791 = 8.6 \times 10^7 \text{ Bq/cm}^2$$

注3) ※印および極低レベルのものの放射エネルギーは無視できるものとする。

表 2-3 放射エネルギーのインベントリ (5/5)

機 器 名 称		基 数	推定内表面積 (cm ²)	重 量 (kg)	放 射 能 量 (Bq)
極低 レ ベ ル	① フィルタユニット(1)	1基	—	400	—
	② フィルタユニット(2)	1基	—	800	—
	③ 排気ダクト	1式	—	3500	—
合 計			—	4700	—

注1) 極低レベルのものの放射エネルギーは無視できるものとする。

表 2-4 各設備機器の線量当量率推定

単位：mSv/h

設 備 機 器		平成 2 年の値 ※(1)	平成 7 年度末 の 推 測 値
廃 液 処 理 室	中和槽上部（本体部）	1.3	2.0
	中和槽下部（円錐部）	22.8	34.2
	定置槽下部	30.0	45.0
	計置槽下部	28.0	42.0
	U シール部	30.0	45.0
	蒸発缶洗浄用薬液廃液タンク	15.0	22.5
蒸 発 缶	蒸発缶 A 下部	6.0	9.0
	蒸発缶 B 下部	6.0	9.0
	濃縮液受槽下部	16.5	25.8
固 化 室	固化ボックスオープン部	0.48	0.7
廃 液 タ ン ク	高レベルタンク A 下部	4.0	6.0
	高レベルタンク B 下部	2.5	3.8
	その他タンク平均	0.3	0.5

※(1) 廃液が内蔵されている場合も含んでいるが、これは安全側に評価されるためその値を用いる。

表 2-5 除染方法と除染係数

各内装設備に対応する除染方法と除染係数は以下のとおりである。

設備名称		適用除染技術	目標DF
蒸発缶室内 蒸 発 缶		硝酸溶液熱循環法	100
廃液 処 理 室	中和槽	高圧ハイドログリッドブラスト法	100
	定量槽、計量槽	流動研磨法（高圧ハイドログリッドブラスト法）	1000
	エアリフトセパレータ、配管	流動研磨法	1000
固化室内 乾燥溶融オープン		（高圧）アイスブラスト法	7
廃液タンク室内 廃液タンク		高圧ハイドロジェット法／アイスブラスト法	10
各設備間 連結配管類		流動研磨法	100

表 3-1 内装機器除染後の線量当量率

機器 名称	除染方法	適用DF	除染前の放射能インベ ントリ GBq		除染後の放射能インベ ントリ GBq		除染前の機器線量当量率 msv/hr		除染後の機器線量当量率 msv/hr	
中和槽	表面除染	100	91		0.91		18		0.189	
定量槽	表面除染	2500	52		0.0208		45		0.098	
計量槽	表面除染	2500	43		0.0172		42		0.0092	
蒸発缶カラム部	系統除染	100	35		0.35		9		0.063	
蒸発缶リボイラ部	系統除染	100	19		0.19		9		0.034	
濃縮液受槽	表面除染	10	25		2.5		25.8		0.50	
蒸発缶洗浄用薬液 廃タンク	表面除染	10	33		3.3		22.5		1.20	
乾燥溶融固化装置 本体	表面除染	10	1.3		0.13		0.7		0.038	
高レベル廃液貯留 タンク A, B	表面除染	10	A	4.6	A	0.46	A	6.0	A	0.329
			B	2.9	B	0.29	B	3.8	B	0.207
低レベル廃液貯留 タンク 3基	表面除染	10	1.8		0.18		0.5		0.13	
上澄水タンク	表面除染	10	1.7		0.17		0.5		0.12	
放出予備タンク	表面除染	10	1.7		0.17		0.5		0.12	
ベントコレクショ ンタンク	表面除染	10	0.4		0.04		0.5		0.03	

表3-2 建家情報データベース(1/6)

施設ID	10-1	10-2	10-3	10-4	10-5	10-6	10-7	10-8
施設名称	廃放射線室 (1F)	蒸気発生室 (1F)	固化室	廃放射線室 地下	固体廃棄物 貯蔵室 (1F)	備置室	制御室	燃料貯蔵室
寸法: mm								
高さ: H	5500	5500	5500	5500	8800	3000	3000	3000
幅: W	5665	3800	3800	19000	8200	6668	5735	2810
奥行: D	5000	5500	5000	6000	16200	10000	5000	5000
厚み: t (*6)	200	250	250	250	200	200	150	150
汚染度: mm	30	0	30	30	0	0	0	0
部屋内空気体積: m ³	117.315	113.3	96.8	275	394.24	100.008	64.41	46.86
部屋床面積: m ²	(吹き抜け)0	24.7	19	114	100.44	66.68	28.075	14.05
部屋容積: m ³	155.787	135.85	104.5	627	883.872	200.04	86.025	42.15
材質(*1)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)
材質密度: kg/m ³	2350	2350	2350	2350	2350	2350	2350	2350
コンクリート量: m ³	37.443	44.75	37.4	133.5	124.08	49.884	19.627	12.244
重量: kg	87991.99	105200	87890	313700	291600	117200	45888.802	28773.165
放射線管理区域区分(*2)	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー	グリーン	非管理区域
汚染放射線(*3)	βγ	βγ	βγ	βγ	βγ	汚染無し	汚染無し	汚染無し
表面汚染密度: Bq/cm ²	2	0	2	2	0	0	0	0
汚染形態(*4)	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性	汚染無し	汚染無し	汚染無し
空間線量率: mSv/hr	2000	9000	0.200	0.400	0.008	0.015	0	0
放射性廃棄物区分	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A	放射性でない	放射性でない	放射性でない

施設項目

(*1)普通コンクリート/普通コンクリート (鉄筋)/重コンクリート/重コンクリート (鉄筋)

(*2)レッド/アンバー/グリーン/非放射線管理区域

(*3) α βγ/α+βγ/n/α+βγ+n/無し

(*4)付着性/固着性

(*5)α βγ/汚染無し

(*6)1の値はその室に係わる各種壁厚の平均値

(*7)表面線量率 H2.11 月実測値の 1.5 で推定 (報告書 I 表 7-1)

表3-2 建家情報データベース(2/6)

施設ID	10-9	10-10	10-11	10-12	10-13	10-14	10-15
施設名称	固化室前	廃放射線室 地下	廃放射線室前 (1F)	固化体廃棄物貯蔵室 地下	倉庫	管理室	蒸気発生室 地下
部屋寸法: mm							
高さ: H	5500	3000	5500	3000	3000	3000	3000
幅: W	3800	3800	5665	6000	3250	2925	7600
奥行: D	5000	5000	5000	12750	3125	5000	6500
厚み: t	250	150	150	250	250	150	250
汚染度: mm	0	0	0	30	0	0	30
部屋内空気体積: m ³	96.8	62.8	117.315	112.5	56.25	47.55	84.6
部屋床面積: m ²	19	19	28.325	76.5	19.631	14.825	49.4
部屋容積: m ³	104.5	57	155.787	229.5	68.594	43.875	148.2
材質(*1)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)
材質密度: kg/m ³	2350	2350	2350	2350	2350	2350	2350
コンクリート量: m ³	57.4	14.709	27.577	71.938	27.047	12.53	60.25
重量: kg	87890	34586.15	64805.01	169100	63580.156	29440.088	118100
放射線管理区域区分(*2)	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
汚染放射線(*3)	汚染無し	汚染無し	汚染無し	βγ	汚染無し	汚染無し	βγ
表面汚染密度: Bq/cm ²	0	0	0	2	0	0	2
汚染形態(*4)				固着性			固着性
空間線量率: mSv/hr	0.02	2.0 (*7)	0.05 (*6)	0	0	0	9
放射性廃棄物区分	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A	放射性でない	放射性でない	βγ-A

表3-2 建家情報データベース (3/6)

建家ID	10-16	10-17	10-18	10-19	10-20	10-21	10-22
建家名称	廃放射線室前 地下	蒸発缶室前 (1F)	蒸発缶室前 (地下)	貯蔵 C4,6通リ (地下)	貯蔵 BC4通リ (1F)	通廊 (1F)	通廊 (地下)
断面寸法: mm							
高さ: H	3000	5500	3000	3000	5500	5500	3000
幅: W	5665	3800	7000	3800	0	11400	11400
奥行: D	5000	3500	3500	0	5000	5000	5000
厚み: t	200	200	250	250	250	200	200
汚染深さ: mm	0	00	0	0	0	0	0
部屋内部表面積: m ²	63.99	80.3	66.6	11.4	27.5	180.4	98.4
部屋床面積: m ²	28.325	13.3	28.6	0	0	57	57
部屋容積: m ³	84.975	73.15	79.8	0	0	313.6	171
材質(*1)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)
材質密度: kg/m ³	2350	2350	2350	2350	2350	2350	2350
コンクリート量: m ³	26.378	23.492	33.6	2.85	0.87	02.45	45.65
重量: kg	61989.24	55206.2	78960	6697.5	16144.5	140757	107272.8
放射線管理区域区分(*2)	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
汚染放射能(*3)	汚染無し	汚染無し	汚染無し	βγ	βγ	汚染無し	汚染無し
表面汚染密度: Bq/cm ²	0	0	0	0	0	0	0
汚染形態(*4)				固着性	固着性		
空間線量当量率: μSv/hr	0.05	0.05	0.05	0.400	2.000	0.05	0.05
放射性廃棄物区分	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A

表3-2 建家情報データベース (4/6)

建家ID	10-23	10-24	10-25	10-26	10-27	10-28
建家名称	廃放射線室 (1F) 貯蔵	蒸発缶室 (1F) 貯蔵	酸化室 貯蔵	廃液タンク室 (地下) 貯蔵	固体廃棄物貯蔵室 (1F) 貯蔵	機械室 貯蔵
断面寸法: mm						
高さ: H	5500	5500	5500	5500	8800	3000
幅: W	5065	3800	3800	19000	6200	6668
奥行: D	5000	6500	5000	6000	16200	10000
(*6)厚み: t	200	250	250	250	200	200
汚染深さ: mm	30	30	30	30	10	10
部屋内部表面積: m ²	117.316	113.3	96.8	275	394.24	100.008
部屋床面積: m ²	0	24.7	19	114	100.44	66.68
部屋容積: m ³	155.787	135.85	104.5	627	883.872	200.04
材質(*1)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)	普通コンクリート (鉄筋)
材質密度: kg/m ³	2350	2350	2350	2350	2350	2350
コンクリート量: m ³	37.443	44.75	37.4	133.5	124.08	49.884
重量: kg	87991.99	105200	87890	313700	291600	117200
放射線管理区域区分(*2)	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
汚染放射能(*3)	βγ	βγ	βγ	βγ	βγ	汚染無し
表面汚染密度: Bq/cm ²	2	0	2	2	0	0
汚染形態(*4)	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性	
空間線量当量率: μSv/hr	0	0	0	0	0	0
放射性廃棄物区分	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A	放射性でない

選択項目

(*1) 普通コンクリート/普通コンクリート (鉄筋) /重コンクリート/重コンクリート (鉄筋)

(*2) レッド/アンバー/グリーン/青放射線管理区域

(*3) α βγ/α+βγ/n/α+βγ+n/無し

(*4) 付着性/固着性

(*5) α⁻ βγ⁻/汚染無し

(*6) 1 の値はその室に係わる各種壁厚の平均値

(*7) 表面線量当量率 H2.11 月実測値の 1.5 で推定 (報告書 I 表 7-1)

表3-2 建家情報データベース(5/6)

建家ID	10-29	10-30	10-31	10-32	10-33	10-34
建家名称	新野倉庫	たけががしら	東北倉庫	鹿嶋処理倉庫 地下型	鹿嶋処理倉庫 (1F)型	固体廃棄物貯蔵庫 地下型
断面寸法: mm						
高さ: H	3000	3000	5500	3000	5500	3000
幅: W	5735	2810	3800	3800	5665	6000
奥行: D	5000	5000	5000	5000	6000	12750
(*6)厚み: t	150	150	250	150	150	250
汚染厚さ: mm	10	10	10	30	10	10
断面内装面積: m ²	64.41	40.86	90.8	52.8	117.315	112.5
断面床容積: m ³	28.675	14.06	19	19	28.325	78.5
断面容積: m ³	88.025	42.15	104.5	57	155.787	229.5
材質(*1)	普通コンクリート(鉄筋)	普通コンクリート(鉄筋)	普通コンクリート(鉄筋)	普通コンクリート(鉄筋)	普通コンクリート(鉄筋)	普通コンクリート(鉄筋)
材質密度: kg/m ³	2350	2350	2350	2350	2350	2350
コンクリート量: m ³	19.527	12.244	37.443	44.76	37.4	133.5
重量: kg	45888.802	28773.105	87991.09	105200	87890	313700
放射線管理区域区分(*2)	グリーン	非管理区域	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
汚染放射能(*3)	汚染無し	汚染無し	βγ	βγ	βγ	βγ
表面汚染密度: Bq/cm ²	0	0	2	0	2	2
汚染形態(*4)			固着性	固着性	固着性	固着性
放射線量率: mSv/hr	0	0	0	0	0	2
放射性廃棄物区分	βγA	βγA	βγA	βγA	βγA	βγA

選択項目

(*1)普通コンクリート/普通コンクリート(鉄筋)/重コンクリート/重コンクリート(鉄筋)

(*2)レッド/アンバー/グリーン/非放射線管理区域

(*3) α βγ/α+βγ/n/α+βγ+n/無し

(*4)付着性/固着性

(*5)α⁻ βγ⁻/汚染無し

(*6)1の値はその室に係わる各種壁厚の平均値

(*7)表面放射線量率H2.11月実測値の1.5で推定(報告書I表7-1)

表3-2 建家情報データベース(6/6)

建家ID	10-35	10-36	10-37	10-38	10-39	
建家名称	倉庫型	高見街倉庫 地下型	鹿嶋処理倉庫 地下型	高見街倉庫 (1F)型	高見街倉庫 地下型	
断面寸法: mm						
高さ: H	3000	3000	3000	5500	3000	
幅: W	6250	7600	5865	3800	7600	
奥行: D	3125	3500	500	3500	3500	
(*6)厚み: t	250	250	200	200	250	
汚染厚さ: mm	10	30	10	10	10	
断面内装面積: m ²	55.25	84.6	183.99	80.3	60.6	
断面床容積: m ³	19.631	49.4	28.325	13.3	26.6	
断面容積: m ³	58.694	148.2	148.2	84.975	73.15	
材質(*1)	普通コンクリート(鉄筋)	普通コンクリート(鉄筋)	普通コンクリート(鉄筋)	普通コンクリート(鉄筋)	普通コンクリート(鉄筋)	
材質密度: kg/m ³	2350	2350	2350	2350	2350	
コンクリート量: m ³	124.08	49.884	28.378	23.492	33.6	
重量: kg	291600	117200	118100	55206.2	78960	
放射線管理区域区分(*2)	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー	
汚染放射能(*3)	βγ	汚染無し	βγ	βγ	βγ	
表面汚染密度: Bq/cm ²	0	0	2	0	2	
汚染形態(*4)	固着性		固着性	固着性	固着性	
放射線量率: mSv/hr	0	0	0	0	0	
放射性廃棄物区分	βγA	放射性でない	βγA	βγA	βγA	

選択項目

(*1)普通コンクリート/普通コンクリート(鉄筋)/重コンクリート/重コンクリート(鉄筋)

(*2)レッド/アンバー/グリーン/非放射線管理区域

(*3) α βγ/α+βγ/n/α+βγ+n/無し

(*4)付着性/固着性

(*5)α⁻ βγ⁻/汚染無し

(*6)1の値はその室に係わる各種壁厚の平均値

(*7)表面放射線量率H2.11月実測値の1.5で推定(報告書I表7-1)

表3-3 内装機器情報データベース(1/21)

機器ID	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7
機器名称	中和槽	定数槽	計量槽	1717T バレー	薬品溶解槽	771S 凝縮器	中和槽用 ポンプ
台数	1	1	1	1	1	1	1
形状 (*1)	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型	角型	円筒型	角型
機器分類 (*2)	タンク類	タンク類	タンク類	管類	タンク類	熱交換機類	その他機器
寸法: mm							
外径	2500	650	550	200	900	450	390
高さ (長さ)	3550	1200	1010	500	1350	1900	515
幅					1350		350
奥行					6	6	
厚み	8	4	8	4			
機器表面積 (計算値)	37.699	3114	2.22	0.134	8.505	3.004	0.949
重量: kg	2500	150	130	30	110	600	25
材質	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304	PVC	SUS304	SUS304
廃棄物材質分類 (*3)	金属	金属	金属	金属	その他	金属	金属
内蔵放射能 (*4)	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	無し	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
内部汚染形態 (*5)	固着性	固着性	固着性	固着性	—	固着性	固着性
放射能インベントリ α : GBq	—	—	—	—	—	—	—
放射能インベントリ $\beta\gamma$: GBq	0.91	0.0208	0.0172	5.1	—	0.037	5.7
表面汚染放射能 (*4)	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	汚染無し	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
表面汚染密度: Bq/cm ²	—	—	—	—	—	—	—
機器線量当量率: mSv/hr	0.189	0.0098	0.0092	—	—	—	—
放射性廃棄物区分 (*6)	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	放射性でない	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$
設置部屋名称	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室

選択項目

(*1)角型/円筒型

(*2)タンク型/管類、ダクト類/熱交換機類/フィルタ類/グローブボックス類/凝縮器/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4) α $\beta\gamma$ /n/ α _ $\beta\gamma$ / α _ $\beta\gamma$ _n/汚染無し

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報がない機器に必要 選択項目: α^* / α^* / $\beta\gamma^*$ / $\beta\gamma^*$ /放射性でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量当量率は、報告書Ⅱより抜粋

表3-3 内装機器情報データベース(2/21)

機器ID	1-8	1-9	1-10	1-11	1-12	1-13	1-14
機器名称	中和用供給ポンプ	771S 1717	771S 1717	コンプレッサ	高い圧配管類	低い圧配管類	高い圧空気作動バルブ
台数	2	2	1	1	1	1	2
形状 (*1)	角型	角型	円筒型	角型	円筒型	円筒型	円筒型
機器分類 (*2)	その他機器	その他機器	フィルタ類	その他機器	管類	管類	管類
寸法: mm							
外径	485	350	450	1900	29.2	34.6	550
高さ (長さ)	500	400	700	650	193000	77000	800
幅	350	600		3300			
奥行							
厚み			4		3	3	5
機器表面積 (計算値)	1.341	1.18	1.308	19.3	17.705	8.37	1.382
重量: kg	75	90	110	450	303	557	13
材質	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304
廃棄物材質分類 (*3)	金属	金属	金属	金属	金属	金属	金属
内蔵放射能 (*4)	無し	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	無し	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
内部汚染形態 (*5)	—	固着性	固着性	—	固着性	固着性	固着性
放射能インベントリ α : GBq	—	—	—	—	—	—	—
放射能インベントリ $\beta\gamma$: GBq	—	—	—	—	220	0.1	0.34
表面汚染放射能 (*4)	汚染無し	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	汚染無し	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
表面汚染密度: Bq/cm ²	—	—	—	—	—	—	—
機器線量当量率: mSv/hr	—	—	—	—	—	—	—
放射性廃棄物区分 (*6)	放射性でない	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	放射性でない	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$
設置部屋名称	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室

選択項目

(*1)角型/円筒型

(*2)タンク型/管類、ダクト類/熱交換機類/フィルタ類/グローブボックス類/凝縮器/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4) α $\beta\gamma$ /n/ α _ $\beta\gamma$ / α _ $\beta\gamma$ _n/汚染無し

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報がない機器に必要 選択項目: α^* / α^* / $\beta\gamma^*$ / $\beta\gamma^*$ /放射性でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量当量率は、報告書Ⅱより抜粋

表3-3 内装機器情報データベース (3/21)

機器ID	1-15	1-16	1-17	1-18	1-19	1-20	1-21
機器名称	低圧空気作動バルブ	高圧バルブ	低圧バルブ	サンプリングボックス	中和槽除染装置	15自動測定器	架台
台数	1	64	26	1	1	1	1
形状 (*1)	円筒型	円筒型	円筒型	角型	角型	角型	角型
機器分類 (*2)	管類	管類	管類	グローブボックス	グローブボックス	グローブボックス	その他機器
寸法: mm							
外径	550	140	140	700	1500	700	10000
高さ (長さ)	800	200	200	2200	800	1200	4000
幅				500	1500	500	20
奥行き							
厚み	5	5	5	3	10	3	
機器表面積 (計算値)	1.382	0.088	0.088	5.98	9.3	3.58	80.55
重量: kg	13	5	5	200	300	110	6000
材質	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304	SS41
腐食材料分類 (*3)	金属	金属	金属	金属	金属	金属	金属
内蔵放射能 (*4)	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
内部汚染形態 (*5)	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性	
放射能インベントリ α : GBq							
放射能インベントリ $\beta\gamma$: GBq	0.0002	11	0.0053	0.87			
表面汚染放射能 (*4)	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
表面汚染密度: Bq/cm ²							
機器線量当量率: msv/hr							
放射性廃棄物区分 (*6)	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$
設置部屋名称	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室

選択項目

(*1)角型/円筒型

(*2)タンク型/管類、ダクト類/熱交換機類/フィルタ類/グローブボックス類/遮蔽体/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4) α $\beta\gamma$ /n/ α $\beta\gamma$ / α $\beta\gamma$ _n/汚染無し

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報がない機器に必要 選択項目: α^* / α^* / $\beta\gamma^*$ / $\beta\gamma^*$ /放射性でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量当量は、報告書Ⅱより抜粋

表3-3 内装機器情報データベース (4/21)

機器ID	1-22	1-23	1-24	1-25	1-26	1-27	1-28
機器名称	メタン-前遮蔽体	中和槽用遮蔽体	遮蔽体	遮蔽体	中和槽本体切断片	中和槽本体切断片	中和槽切断片コーン部
台数	8	1	1	2	1	1	1
形状 (*1)	角型	角型	角型	角型	半円筒型	半円筒型	コーン型
機器分類 (*2)	遮蔽体	遮蔽体	遮蔽体	遮蔽体	その他機器	その他機器	その他機器
寸法: mm							
外径							
高さ (長さ)	820	3000	1800	2045	2150	2150	1400
幅	1500	8000	1500	1820	6193	3946	11360
奥行き							
厚み	50	100	50	88	1	8	8
機器表面積 (計算値)	2.692	50.2	5.73	8.124	13.316	8.484	15.9
重量: kg	475	27300	1200	1675	883	563	1054
材質	SS41	SS41, 鉛	SS41, 鉛	SS41	SUS304	SUS304	SUS304
腐食材料分類 (*3)	金属	金属	金属	金属	金属	金属	金属
内蔵放射能 (*4)	無し	無し	無し	無し	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
内部汚染形態 (*5)					固着性	固着性	固着性
放射能インベントリ α : GBq							
放射能インベントリ $\beta\gamma$: GBq					0.03	0.02	0.86
表面汚染放射能 (*4)	汚染無し	汚染無し	汚染無し	汚染無し	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
表面汚染密度: Bq/cm ²							
機器線量当量率: msv/hr					0.74	0.40	21.1
放射性廃棄物区分 (*6)	放射性でない	放射性でない	放射性でない	放射性でない	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma^*$
設置部屋名称	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室

選択項目

(*1)角型/円筒型

(*2)タンク型/管類、ダクト類/熱交換機類/フィルタ類/グローブボックス類/遮蔽体/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4) α $\beta\gamma$ /n/ α $\beta\gamma$ / α $\beta\gamma$ _n/汚染無し

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報がない機器に必要 選択項目: α^* / α^* / $\beta\gamma^*$ / $\beta\gamma^*$ /放射性でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量当量は、報告書Ⅱより抜粋

表3-3 内装機器情報データベース(5/21)

機器ID	1-29	1-30	1-31	1-32	1-33	1-34	
機器名称	高いA配管類 切断片	低いA配管類 切断片	中和槽・H	施設処理室 GH(1F)	通路 GH(1階)	通路 GH(地階)	
台数	65	26	1	1	1	1	
形状(※1)	円筒型	円筒型	角型	角型	角型	角型	
設置分類(※2)	管類	管類	その他機器	その他機器	その他機器	その他機器	
寸法: mm							
外径	29.2	34.6					
高さ(長さ)	3000	3000	8000	5000	5000	4000	
幅			5000	6500	3500	2300	
奥行			3800	3800	12400	9000	
解み	3	3					
塗装表面積(計算値)	0.275	0.326	178.8	152.4	245.6	139.4	
重量: kg	5.58	21.42	100	100	162	91	
材質	SUS304	SUS304	鉄ビ	鉄ビ	鉄ビ	鉄ビ	
設置物材質分類(※3)	金属	金属	その他	その他	その他	その他	
内蔵放射能(※4)	Bγ	Bγ	Bγ	Bγ	Bγ	Bγ	
内部汚染形態(※5)	固着性	固着性	付着性	付着性	付着性	付着性	
放射能インベントリα: Bq							
放射能インベントリβγ: GBq	0.03	0.0090385					
表面汚染放射能(※4)	Bγ	Bγ	Bγ	Bγ	Bγ	Bγ	
表面汚染密度: Bq/cm ²							
環境線量当量率: mSv/hr							
放射性廃棄物区分(※6)	Bγ ⁺	Bγ ⁺	Bγ ⁺	Bγ ⁺	Bγ ⁺	Bγ ⁺	
設置部屋名称	施設処理室	施設処理室	施設処理室	施設処理室	通路GH(1階)	通路GH(地階)	

放射能インベントリ及び機器検査装置は、報告書より抜粋

表3-3 内装機器情報データベース(6/21)

機型ID	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7
機器名称	蒸発缶 カラム部	蒸発缶 リボライザー部	蒸発蒸留器	濃縮被受槽	蒸発缶洗浄用 蒸留タンク	蒸発缶洗浄用 蒸留タンク	洗浄用蒸留タンク 用ポンプ
台数	2	2	2	1	1	1	1
形状 (*1)	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型	角型
接続分銅 (*2)	熱交換機側	熱交換機側	熱交換機側	タンク側	タンク側	タンク側	その他機器
寸法: mm							
外径	600	500	400	800	800	1200	380
高さ (長さ)	2800	1800	2500	1800	1100	1300	600
備 具 集 行 厚 み	6	6	6	6	6	6	300
機器表面積 (計算値)	5.843	3.22	3.393	5.529	3.77	7.163	1.044
質量: kg	1200	600	200	700	220	800	79
材質	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304
廃棄物材質分類 (*3)	金属	金属	金属	金属	金属	金属	金属
内部汚染形態 (*5)	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性	-
放射能インベントリ α: GBq	-	-	-	-	-	-	-
放射能インベントリ β γ: GBq	0.35	0.19	0.031	2.5	-	3.3	-
表面汚染放射能 (*4)	β γ-A	β γ-A	β γ-A	β γ-A	汚染無し	β γ-A	汚染無し
表面汚染密度: Bq/cm ²	-	-	-	-	-	-	-
機器総放射能率: msv/1hr	0.063	0.034	-	0.5	-	1.2	-
放射性廃棄物区分 (*6)	β γ-A	β γ-A	β γ-A	β γ-A	放射性でない	β γ-A	放射性でない
設置場所名称	蒸発缶室	蒸発缶室	蒸留缶室	蒸留缶室	放射能でない 蒸発缶室	蒸発缶室	蒸発缶室

放射能インベントリ及び機関線量当量は、報告書Ⅱより抜粋

表3-3 内装機器情報データベース(7/21)

機器ID	2-8	2-9	2-10	2-11	2-12	2-13	2-14
機器名称	洗浄用薬液旋 タンク用ポンプ	洗浄液受入ポンプ	高レベル 配管類	低レベル配管類	高レベル空気作動 バルブ	低レベル空気作動 バルブ	高レベルバルブ
台数	1	1	1	1	3	6	41
形状 (*1)	角型	角型	角型	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型
機器分類 (*2)	その他機器	その他機器	その他機器	管類	管類	管類	管類
寸法: mm							
外径			42.3	42.2	650	550	140
高さ (長さ)	380	380	109000	241000	800	800	200
幅	600	900					
奥行	300	350					
厚み			3	3	5	5	5
機器表面積 (計算値)	1.044	1.58	14.485	31.951	1.382	1.382	0.088
重量: kg	70	150	384	836	13	13	5
材質	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304
配管材料分類 (*3)	金属	金属	金属	金属	金属	金属	金属
内蔵放射能 (*4)				$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
内蔵汚染形態 (*5)	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性
放射能インベントリ α : GBq				-	-	-	-
放射能インベントリ $\beta\gamma$: GBq	4.6	4.6	68	0.15	0.28	0.00055	3.8
表面汚染放射能 (*4)	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
-	-	-	-	-	-	-	-
機器線量当量率: msv/hr	-	-	-	-	-	-	-
放射性汚染区分 (*6)	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -	$\beta\gamma$ -	$\beta\gamma$ -	$\beta\gamma$ -
設置部屋名称	蒸発浴室	蒸発浴室	蒸発浴室	蒸発浴室	蒸発浴室	蒸発浴室	蒸発浴室

選択項目

(*1)角型/円筒型

(*2)タンク型/管類、ダクト類/熱交換機類/フィルタ類/グローブボックス類/遮蔽体/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4) α $\beta\gamma$ /n/ α - $\beta\gamma$ / α $\beta\gamma$ -n/汚染無し

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報が無い機器に必要 選択項目: α -/ α -b/ $\beta\gamma$ -/ $\beta\gamma$ -b/放射性でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量当量は、報告書Ⅱより抜粋

表3-3 内装機器情報データベース(8/21)

機器ID	2-15	2-16	2-17	2-18	2-19	2-20	
機器名称	低レベルバルブ	集合、 グレーティング	遮蔽体	高レベル配管類 切断片	低レベル配管類 切断片	蒸発浴 G・H	
台数	91	1	2	37	81	1	
形状 (*1)	円筒型	角型	角型	円筒型	円筒型	角型	
機器分類 (*2)	管類	その他機器	遮蔽体	管類	管類	その他機器	
寸法: mm							
外径	140			42.3	42.2		
高さ (長さ)	200	6000	2045	3000	3000	5000	
幅		4000	1820			6500	
奥行		20	88			3800	
厚み	5			3	3		
機器表面積 (計算値)	0.088	40.36	8.124	0.399	0.398	152.4	
重量: kg	5	3000	1675	9.84	10.32	100	
材質	SUS304	SS41	SS41	SUS304	SUS304	鉄ビ	
配管材料分類 (*3)	金属	金属	金属	金属	金属	その他	
内蔵放射能 (*4)	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	
内蔵汚染形態 (*5)	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性	付着性	
放射能インベントリ α : GBq							
放射能インベントリ $\beta\gamma$: GBq				0.0184	0.0000185		
表面汚染放射能 (*4)	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	
表面汚染密度: Bq/cm ²	-	-	-	-	-	-	
機器線量当量率: msv/hr							
放射性汚染区分 (*6)	$\beta\gamma$ -	放射性でない	放射性でない	$\beta\gamma$ -	$\beta\gamma$ -	$\beta\gamma$ -	
設置部屋名称	蒸発浴室	蒸発浴室	蒸発浴室	蒸発浴室	蒸発浴室	蒸発浴室	

選択項目

(*1)角型/円筒型

(*2)タンク型/管類、ダクト類/熱交換機類/フィルタ類/グローブボックス類/遮蔽体/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4) α $\beta\gamma$ /n/ α - $\beta\gamma$ / α $\beta\gamma$ -n/汚染無し

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報が無い機器に必要 選択項目: α -n/ α -b/ $\beta\gamma$ -a/ $\beta\gamma$ -b/放射性でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量当量は、報告書Ⅱより抜粋

表3-3 内装機器情報データベース(9/21)

機器ID	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7
機器名称	乾燥溶融固化装置オープン部	乾燥溶融固化装置本体	固化装置遮蔽体	固化ボックス	固化ポット移送装置	添加剤ホッパ	マイクロ波発振器
台数	1	1	1	1	1	1	1
形状(*1)	円筒型	円筒型	角型	角型	角型	円筒型	角型
機器分類(*2)	その他機器	その他機器	遮蔽体	その他機器	その他機器	管類	その他機器
寸法: mm							
外径	216	800	600	2900	930	400	1275
高さ(長さ)	1030	1055	1030	1100	1100	1200	835
幅			1030	2600	760		500
奥行			3	4		4	
厚み	8	8					
機器表面積(計算値)	0.772	3.657	4.594	27.18	5.132	1.508	4.239
重量: kg	110	110	850	3000	200	130	110
材質	SUS304L	SUS304L	SS41	SUS304	SUS304	SUS304	SS41
遮蔽物材質分類(*3)	金属	金属	金属	金属	金属	金属	金属
内蔵放射能(*4)	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	汚染無し	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	無し
内部汚染形態(*5)	固着性	固着性		固着性	固着性	固着性	
放射能インベントリ α : GBq							
放射能インベントリ $\beta\gamma$: GBq	1.2	0.13		0.036	0.0016	0.0012	
表面汚染放射能(*4)	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	汚染無し	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	汚染無し
表面汚染密度: Bq/cm ²							
機器線量当量率: msv/hr		0.038					
放射性廃棄物区分(*6)	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	放射能でない	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	放射能でない
設置部屋名称	固化室	固化室	固化室	固化室	固化室	固化室	固化室

* オープン部既設寸法

選択項目

(*1)角型/円筒型

(*2)タンク型/管類、ダクト類/熱交換機類/フィルタ類/グローブボックス類/遮蔽体/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4) α $\beta\gamma$ /n/ α $\beta\gamma$ /n/ α $\beta\gamma$ /n/汚染無し

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報がない機器に必要 選択項目: α -a/ α -b/ $\beta\gamma$ -a/ $\beta\gamma$ -b/放射能でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量当量率は、報告書IIより抜粋

表3-3 内装機器情報データベース(10/21)

機器ID	3-8	3-9	3-10	3-11	3-12	3-13	3-14
機器名称	操作盤	高レベル配管類	低レベル配管類	高レベル空気作動バルブ	低レベル空気作動バルブ	高レベルバルブ	低レベルバルブ
台数	1	1	1	1	1	4	66
形状(*1)	角型	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型
機器分類(*2)	その他機器	管類	管類	管類	管類	管類	管類
寸法: mm							
外径		53.8	28.2	320	320	140	140
高さ(長さ)	2250	14000	216000	680	680	200	200
幅	1000						
奥行	800						
厚み		3	3	5	5	5	5
機器表面積(計算値)	9.7	2.366	19.136	0.684	0.684	0.088	0.088
重量: kg	500	66	484	10	10	5	5
材質	SS41	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304
遮蔽物材質分類(*3)	金属	金属	金属	金属	金属	金属	金属
内蔵放射能(*4)	無し	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
内部汚染形態(*5)		固着性	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性
放射能インベントリ α : GBq							
放射能インベントリ $\beta\gamma$: GBq		3.8	0.031	0.04	0.00013	0.16	0.0014
表面汚染放射能(*4)	汚染無し	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
表面汚染密度: Bq/cm ²							
機器線量当量率: msv/hr							
放射性廃棄物区分(*6)	放射能でない	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$
設置部屋名称	固化室	固化室	固化室	固化室	固化室	固化室	固化室

選択項目

(*1)角型/円筒型

(*2)タンク型/管類、ダクト類/熱交換機類/フィルタ類/グローブボックス類/遮蔽体/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4) α $\beta\gamma$ /n/ α $\beta\gamma$ /n/ α $\beta\gamma$ /n/汚染無し

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報がない機器に必要 選択項目: α -a/ α -b/ $\beta\gamma$ -a/ $\beta\gamma$ -b/放射能でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量当量率は、報告書IIより抜粋

表3-3 内装機器情報データベース(11/21)

機器ID	3-15	3-16	3-17	3-18	3-19		
機器名称	架台	高いβ配管類 切断片	低いβ配管類 切断片	固化室 G・H	遮蔽扉		
台数	1	5	72	1	2		
形状(*1)	角型	円筒型	円筒型	角型	角型		
機器分類(*2)	その他機器	管類	管類	その他機器	遮蔽体		
寸法: mm							
外径 高さ(長さ) 幅 奥行 厚み	1700 4000 20	53.8 3000 3	28.2 3000 3	5000 6500 3800	2045 1820 88		
機器表面積(計算値)	13.828	0.507	0.266	152.4	8124		
重量: kg	1000	13.2	6.72	100	1675		
材質	SS41	SUS304	SUS304	炭ビ	SS41		
遮蔽物材質分類(*3)	金属	金属	金属	その他	金属		
内蔵放射能(*4)	無し	βγ	βγ	βγ	無し		
内部汚染形態(*5)		固着性	固着性	付着性	-		
放射能インベントリα: GBq					-		
放射能インベントリβγ: GBq		0.0076	0.0000043		-		
表面汚染放射能(*4)	汚染無し	βγ	βγ	βγ	汚染無し		
表面汚染密度: Bq/cm ²					-		
機器線量率: msv/hr					-		
放射性廃棄物区分(*6)	放射性でない	βγ ^a	βγ ^a	βγ ^a	放射性でない		
設置部屋名称	固化室	固化室	固化室	固化室	固化室		

選択項目

(*1)角型/円筒型

(*2)タンク型/管類、ダクト類/熱交換機類/フィルタ類/グローブボックス類/遮蔽体/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4)α βγ/n/α_βγ/αβγ_n/汚染無し

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報が無い機器に必要 選択項目: α^a/α^b/βγ^a/βγ^b/放射性でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量率は、報告書Ⅱより抜粋

表3-3 内装機器情報データベース(12/21)

機器ID	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8
機器名称	高いβ廃液 貯留タンクA	高いβ廃液 貯留タンクB	低レベル廃液 貯留タンクA	低レベル廃液 貯留タンクB	上澄水タンク	放出予備 タンク	ベントリタンク	高レベル廃液 タンクA用ポンプ
台数	1	1	1	1	1	1	1	1
形状(*1)	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型
機器分類(*2)	タンク類	タンク類	タンク類	タンク類	タンク類	タンク類	タンク類	その他機器
寸法: mm								
外径 高さ(長さ) 幅 奥行 厚み	1500 3600 6	1500 3600 6	1900 3800 6	1000 3800 6	1500 3600 6	1500 3600 6	1000 2200 6	550 2600
機器表面積(計算値)	20.499	20.499	28.353	28.353	20.499	20.499	8.482	4.968
重量: kg	2000	2000	2500	2500	2400	2000	670	280
材質	SS41+γ ^a A51	SS41+γ ^a A51	SS41+γ ^a A51	SS41+γ ^a A51	SS41+γ ^a A51	SS41+γ ^a A51	SS41+γ ^a A51	SUS304
遮蔽物材質分類(*3)	金属	金属	金属	金属	金属	金属	金属	金属
内蔵放射能(*4)	βγ	βγ	βγ	βγ	βγ	βγ	βγ	βγ
内部汚染形態(*5)	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性
放射能インベントリα: GBq								
放射能インベントリβγ: GBq	0.46	0.29	0.18	0.18	0.17	0.17	0.04	0.038
表面汚染放射能(*4)	βγ	βγ	βγ	βγ	βγ	βγ	βγ	βγ
表面汚染密度: Bq/cm ²								
機器線量率: msv/hr	0.329	0.207	0.13	0.13	0.12	0.12	0.03	
放射性廃棄物区分(*6)	βγ ^a	βγ ^a	βγ ^a	βγ ^a	βγ ^a	βγ ^a	βγ ^a	βγ ^a
設置部屋名称	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室

選択項目

(*1)角型/円筒型

(*2)タンク型/管類、ダクト類/熱交換機類/フィルタ類/グローブボックス類/遮蔽体/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4)α βγ/n/α_βγ/αβγ_n/汚染無し

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報が無い機器に必要 選択項目: α^a/α^b/βγ^a/βγ^b/放射性でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量率は、報告書Ⅱより抜粋(*1)角型/円筒型

表3-3 内装機器情報データベース(13/21)

機器ID	4-9	4-10	4-11	4-12	4-13	4-14	4-15
機器名称	低レベル廃液 タンクA用ポンプ	上澄水タンク 用ポンプ	放出予備 タンク用ポンプ	床排水 ピットポンプ	ベントリフレーション フロア	高レベル配管部	低レベル配管部
台数	1	1	1	2	1	1	1
形状 (*1)	円筒型	円筒型	円筒型	角型	角型	円筒型	円筒型
機器分類 (*2)	その他機器	その他機器	その他機器	その他機器	その他機器	管類	管類
寸法: mm							
外径	550	600	550	350	360	42.2	25
高さ (長さ)	3000	2700	2600	270	400	431000	319000
幅				570	280		
奥行							
厚み						3	3
機器表面積 (計算値)	5.659	5.655	4.968	0.896	0.714	57.14	25.054
重量: kg	300	400	280	30	13	1554	1046
材質	SUS304	SUS304	SUS304	FC	PC	SUS304	SUS304
廃棄物材質分類 (*3)	金属	金属	金属	金属	金属	金属	金属
内蔵放射能 (*4)	βγ	βγ	βγ	βγ	無し	βγ	βγ
内部汚染形態 (*5)	固着性	固着性	固着性	固着性		固着性	固着性
放射能インベントリ α: GBq							
放射能インベントリ βγ: GBq	0.012	0.012	0.012			11	2.2
表面汚染放射能 (*4)	βγ	βγ	βγ	βγ	汚染無し	βγ	βγ
表面汚染密度: Bq/cm ²							
機器線量当量率: mSv/hr							
放射性廃棄物区分 (*6)	βγ-a	βγ-a	βγ-a	βγ-a	放射性でない	βγ-a	βγ-a
設置部屋名称	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室

選択項目

(*1)角型/円筒型

(*2)タンク型/管類、ダクト類/熱交換機類/フィルタ類/グローブボックス類/凝縮体/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4)α βγ/n/α_βγ/αβγ_n/汚染無し

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報がない機器に必要 選択項目: α⁺/α⁻/βγ⁺/βγ⁻/放射性でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量当量は、報告書Ⅱより抜粋(*1)角型/円筒型

表3-3 内装機器情報データベース(14/21)

機器ID	4-16	4-17	4-18	4-19	4-20	4-21	4-22
機器名称	高レベル空気作動 バルブ	低レベル空気作動 バルブ	高レベルバルブ	低レベルバルブ	集台	高レベル廃液 貯留タンクA切断片 (胴部)	高レベル廃液 貯留タンクA切断片 (胴部)
台数	8	6	113	84	1	1	1
形状 (*1)	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型	角型	円筒型	円筒型
機器分類 (*2)	管類	管類	管類	管類	その他機器	その他機器	その他機器
寸法: mm							
外径	560	560	140	140	18500	3100	500
高さ (長さ)	830	830	200	200	4000	5694	5694
幅					20		
奥行							
厚み	5	5	5	5		6	6
機器表面積 (計算値)	1.46	1.46	0.088	0.088	148.9	17.648	2.85
重量: kg	15	15	5	5	11140	1722	278
材質	SUS304	SUS304	SUS304	SUS304	SS41	SS41+7A57	SS41+7A57
廃棄物材質分類 (*3)	金属	金属	金属	金属	金属	金属	金属
内蔵放射能 (*4)	βγ	βγ	βγ	βγ	無し	βγ	βγ
内部汚染形態 (*5)	固着性	固着性	固着性	固着性		固着性	固着性
放射能インベントリ α: GBq							
放射能インベントリ βγ: GBq	0.03	0.0061	0.43	0.085		0.327	0.063
表面汚染放射能 (*4)	βγ	βγ	βγ	βγ	βγ	βγ	βγ
表面汚染密度: Bq/cm ²							
機器線量当量率: mSv/hr						8	1.3
放射性廃棄物区分 (*6)	βγ ⁺	βγ ⁺	βγ ⁺	βγ ⁺	放射性でない	βγ ⁺	βγ ⁺
設置部屋名称	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室

選択項目

(*1)角型/円筒型

(*2)タンク型/管類、ダクト類/熱交換機類/フィルタ類/グローブボックス類/凝縮体/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4)α βγ/n/α_βγ/αβγ_n/汚染無し

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報がない機器に必要 選択項目: α⁺/α⁻/βγ⁺/βγ⁻/放射性でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量当量は、報告書Ⅱより抜粋(*1)角型/円筒型

表3-3 内装機器情報データベース(15/21)

機器ID	4-23	4-24	4-25	4-26	4-27	4-28	4-29
機器名称	高レベル廃液貯留タンク切断片(胴部)	高レベル廃液貯留タンク切断片(胴部)	低レベル廃液貯留タンク切断片(胴部)	低レベル廃液貯留タンク切断片(胴部)	上澄水タンク切断片(胴部)	上澄水タンク切断片(胴部)	放射子留タンク切断片(胴部)
台数	1	1	1	1	1	1	1
形状(*1)	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型
機器分類(*2)	その他機器	その他機器	その他機器	管型	その他機器	その他機器	その他機器
寸法: mm							
外径							
高さ(長さ)	3100	500	3100	700	3100	500	3100
幅	5694	5694	7461	7461	5694	5694	5694
奥行							
厚み	6	1	6	1	6	6	6
機器表面積(計算値)	17.049	2.85	23.130	5.223	17.049	2.85	17.049
重量: kg	1722	278	2039	461	2066	334	1722
材質	SS41+J' A3I	SS41+J' A3I	SS41+J' A3I	SUS304	SS41+J' A3I	SS41+J' A3I	SS41+J' A3I
廃棄物材質分類(*3)	金属	金属	金属	金属	金属	金属	金属
内蔵放射能(*4)	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
内部汚染形態(*5)	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性
放射能インベントリ α : GBq							
放射能インベントリ $\beta\gamma$: GBq	0.327	0.053	0.147	0.033	0.146	0.024	0.146
表面汚染放射能(*4)	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
表面汚染密度: Bq/cm ²							
機器線量当量率: mSv/hr	8	1.3	3.6	0.81	3.5	0.59	3.5
放射性廃棄物区分(*6)	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$
設置部屋名称	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室

選択項目

(*1)円筒/円筒型

(*2)タンク型/管型、ダクト型/熱交換機型/フィルタ型/グローブボックス型/遮蔽体/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4) α $\beta\gamma$ /n/ α - $\beta\gamma$ / $\alpha\beta\gamma$ -n/汚染無し

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報が無い機器に必要 選択項目: α^* / α^* / $\beta\gamma^*$ / $\beta\gamma^*$ /放射性でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量当量率、報告書より抜粋

表3-3 内装機器情報データベース(16/21)

機器ID	4-30	4-31	4-32	4-33	4-34	4-35	4-36
機器名称	放射子留タンク切断片(胴部)	高レベル配管類切断片	低レベル配管類切断片	廃液タンク室GH	タンク切断用GH	低レベル廃液貯留タンクC	高レベル廃液タンクB用ポンプ
台数	1	144	107	1	1	1	1
形状(*1)	円筒型	円筒型	円筒型	角型	角型	円筒型	円筒型
機器分類(*2)	その他機器	管型	管型	その他機器	その他機器	タンク類	その他機器
寸法: mm							
外径							
高さ(長さ)	500	42.2	25			1900	550
幅	5694	3000	3000	5000	4000	3900	2600
奥行				19000	3000		
厚み	6	3	3	6000	2700	6	
機器表面積(計算値)	2.85	0.398	0.236	478	432	28.353	4.968
重量: kg	278	10.79	9.78	310	281	2500	280
材質	SS41+J' A3I	SUS304	SUS304	鉛ビ	鉛ビ	SS41+ゴムライ	SUS304
廃棄物材質分類(*3)	金属	金属	金属	その他	その他	金属	金属
内蔵放射能(*4)	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
内部汚染形態(*5)	固着性	固着性	固着性	付着性	付着性	固着性	固着性
放射能インベントリ α : GBq							
放射能インベントリ $\beta\gamma$: GBq	0.024	0.000794	0.000206			0.18	0.038
表面汚染放射能(*4)	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
表面汚染密度: Bq/cm ²							
機器線量当量率: mSv/hr	0.59					0.13	
放射性廃棄物区分(*6)	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$
設置部屋名称	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室

選択項目

(*1)円筒/円筒型

(*2)タンク型/管型、ダクト型/熱交換機型/フィルタ型/グローブボックス型/遮蔽体/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4) α $\beta\gamma$ /n/ α - $\beta\gamma$ / $\alpha\beta\gamma$ -n/汚染無し

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報が無い機器に必要 選択項目: α^* / α^* / $\beta\gamma^*$ / $\beta\gamma^*$ /放射性でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量当量率、報告書より抜粋

表3-3 内装機器情報データベース(17/21)

機器ID	4-37	4-38	4-39	4-40	4-41	4-42
機器名称	低レベル廃液タンク B用ポンプ	低レベル廃液タンク C用ポンプ	低レベル廃液貯留 タンクD切断片(貯留)	低レベル廃液貯留 タンクC切断片(貯留)	低レベル廃液貯留タンク B切断片(貯留)	低レベル廃液貯留タンク C切断片(貯留)
台数	1	1	1	1	1	1
形状 (*1)	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型	円筒型
機器分類 (*2)	その他機器	その他機器	その他機器	その他機器	その他機器	その他機器
寸法: mm						
外径						
高さ(長さ)	550	550	3100	3100	700	700
幅	3000	3000	7461	7461	7461	7461
奥行						
厚み			6	6	6	6
機器表面積 (計算値)	5.659	5.659	23.130	23.130	5.223	5.223
重量: kg	300	300	2039	2039	461	461
材質	SUS304	SUS304	SS41+ゴムライ	SS41+ゴムライ	SUS304	SUS304
廃棄物材質分類 (*3)	金属	金属	金属	金属	金属	金属
内蔵放射能 (*4)	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
内部汚染形態 (*5)	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性	固着性
放射能インベントリ α : GBq						
放射能インベントリ $\beta\gamma$: GBq	0.012	0.012	0.147	0.147	0.033	0.033
表面汚染放射能 (*4)	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$
表面汚染密度: Bq/cm ²						
機器線量当量率: msv/hr			3.6	3.6	0.81	0.81
放射性廃棄物区分 (*6)	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$	$\beta\gamma^*$
設置場所名称	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室

選択項目

(*1)円筒/円筒型

(*2)タンク型/管型、ダクト型/熱交換機型/フィルタ型/グローブボックス型/遮蔽体/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4) α $\beta\gamma$ /n/ α $\beta\gamma$ / α $\beta\gamma$ -n/汚染なし

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報が無い機器に必要 選択項目: α^* / α -b/ $\beta\gamma^*$ / $\beta\gamma$ -b/放射性でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量当量は、報告書より抜粋

表3-3 内装機器情報データベース(18/21)

機器ID	5-1	5-2				
機器名称	固体廃棄物 投入機	廃液スラッジ 回収装置				
台数	1	1				
形状 (*1)	角型	角型				
機器分類 (*2)	その他機器	その他機器				
寸法: mm						
外径						
高さ(長さ)	2500	1550				
幅	2800	2550				
奥行	1040	1950				
厚み						
機器表面積 (計算値)	25.024	23.895				
重量: kg	2000	4000				
材質	SS41, Pb	SUS304, SS41, Pb				
廃棄物材質分類 (*3)	金属	金属				
内蔵放射能 (*4)	無し	$\beta\gamma$				
内部汚染形態 (*5)		固着性				
放射能インベントリ α : GBq						
放射能インベントリ $\beta\gamma$: GBq						
表面汚染放射能 (*4)	汚染なし	$\beta\gamma$				
表面汚染密度: Bq/cm ²						
機器線量当量率: msv/hr						
放射性廃棄物区分 (*6)	放射性でない	$\beta\gamma^*$				
設置場所名称	固体廃棄物貯蔵室	小量廃棄物貯蔵室				

選択項目

(*1)角型/円筒型

(*2)タンク型/管型、ダクト型/熱交換機型/フィルタ型/グローブボックス型/遮蔽体/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4) α $\beta\gamma$ /n/ α $\beta\gamma$ / α $\beta\gamma$ -n/汚染なし

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報が無い機器に必要 選択項目: α -a/ α -b/ $\beta\gamma$ -a/ $\beta\gamma$ -b/放射性でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量当量は、報告書より抜粋

表3-3 内装機器情報データベース(19/21)

機器ID	6-1	6-2	6-3	6-4	6-5	6-6	6-7	6-8
機器名称	フィルタ ユニット1	フィルタ ユニット2	排風機1	排風機2	排風機3	送風機1	送風機2	送風機3
台数	1	1	1	1	1	1	1	1
形状 (*1)	角型	角型	角型	角型	角型	角型	角型	角型
機器分類 (*2)	フィルタ類	フィルタ類	その他機器	その他機器	その他機器	その他機器1	その他機器	その他機器
寸法: mm								
外径								
高さ (長さ)	1420	1420	1010	970	830	1000	740	850
幅	700	700	709	673	747	823	693	629
奥行	1700	3400	805	785	693	845	590	590
厚み	5	5						
機器表面積 (計算値)	9.196	16.404	4.406	3.885	3.426	4.727	2.717	2.815
重量: kg	400	800	150	251	1505	150	301	1505
材質	SS41	SS41	FC	FC	FC	FC	FC	FC
廃棄物材質分類 (*3)	金属	金属	金属	金属	金属	金属	金属	金属
内蔵放射能 (*4)	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	無し	無し	無し	無し	無し	無し
内部汚染形態 (*5)	固着性	固着性						
放射能インベントリ α : GBq								
放射能インベントリ $\beta\gamma$: GBq								
表面汚染放射能 (*4)	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	汚染無し	汚染無し	汚染無し	汚染無し	汚染無し	汚染無し
表面汚染密度: Bq/cm ²								
機器線量当量率: mSv/hr								
放射性廃棄物区分 (*6)	$\beta\gamma$	$\beta\gamma$	放射性でない	放射性でない	放射性でない	放射性でない	放射性でない	放射性でない
設置部屋名称	機械室	機械室	機械室	機械室	機械室	機械室	機械室	機械室

選択項目

(*1)角型/円筒型

(*2)タンク型/管類、ダクト類/熱交換機類/フィルタ類/グローブボックス類/遮蔽体/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4) α $\beta\gamma$ /n/ α - $\beta\gamma$ / $\alpha\beta\gamma$ -n/汚染無し

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報がない機器に必要 選択項目: α / α / $\beta\gamma$ / $\beta\gamma$ /放射性でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量当量率は、報告書より抜粋

表3-3 内装機器情報データベース(20/21)

機器ID	7-1	7-2	7-3	7-4	7-5	7-6	
機器名称	制排盤1	制排盤2	制排盤3	制排盤4	動力盤	換気系	
台数	1	1	2	1	1	1	
形状 (*1)	角型	角型	角型	角型	角型	角型	
機器分類 (*2)	その他機器	その他機器	その他機器	その他機器	その他機器	その他機器	
寸法: mm							
外径							
高さ (長さ)	2450	2450	2350	1200	1900	700	
幅	1500	1500	500	500	400	500	
奥行	1080	2160	1200	1000	900	300	
厚み							
機器表面積 (計算値)	15.882	24.414	9.19	4.6	5.85	1.42	
重量: kg	1700	3400	600	260	300	37	
材質	SS41	SS41	SS41	SS41	SS41	SS41	
廃棄物材質分類 (*3)	金属	金属	金属	金属	金属	金属	
内蔵放射能 (*4)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	
内部汚染形態 (*5)							
放射能インベントリ α : GBq							
放射能インベントリ $\beta\gamma$: GBq							
表面汚染放射能 (*4)	汚染無し	汚染無し	汚染無し	汚染無し	汚染無し	汚染無し	
表面汚染密度: Bq/cm ²							
機器線量当量率: mSv/hr							
放射性廃棄物区分 (*6)	放射性でない	放射性でない	放射性でない	放射性でない	放射性でない	放射性でない	
設置部屋名称	制御室	制御室	制御室	制御室	制御室	制御室	

選択項目

(*1)角型/円筒型

(*2)タンク型/管類、ダクト類/熱交換機類/フィルタ類/グローブボックス類/遮蔽体/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4) α $\beta\gamma$ /n/ α - $\beta\gamma$ / $\alpha\beta\gamma$ -n/汚染無し

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報がない機器に必要 選択項目: α / α / $\beta\gamma$ / $\beta\gamma$ /放射性でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量当量率は、報告書より抜粋

表3-3 内装機器情報データベース (21/21)

機器ID	8-1						
機器名称	遮蔽体						
台数	1						
形状 (*1)	角型						
機器分類 (*2)	遮蔽体						
寸法: mm							
外径	1800						
高さ (長さ)	1200						
幅	50						
奥行き							
厚み							
機器表面積 (計算値)	4.62						
重量: kg	1370						
材質	SS41 鋼						
廃棄物材質分類 (*3)	金属						
内蔵放射能 (*4)	無し						
内部汚染形態 (*5)							
放射能インベントリ α : GBq							
放射能インベントリ $\beta\gamma$: GBq							
表面汚染放射能 (*4)	汚染無し						
表面汚染密度: Bq/cm ²							
機器線量当量率: msv/hr							
放射性廃棄物区分 (*6)	放射性でない						
設置部署名称	ライジングポート						

選択項目

(*1)角型/円筒型

(*2)タンク型/管型、ダクト型/熱交換機型/フィルタ型/グローブボックス型/遮蔽体/ライニング/その他機器

(*3)金属、コンクリート/その他

(*4) α $\beta\gamma$ /n/ α $\beta\gamma$ / α $\beta\gamma$ n/汚染無し

(*5) 固着性/付着性

(*6)放射能インベントリ情報がない機器に必要 選択項目: α / α / $\beta\gamma$ / $\beta\gamma$ /放射性でない/一般

(参考資料)

放射能インベントリ及び機器線量当量率は、報告書Ⅱより抜粋

表3-4 技術情報データベース (1/5)

系統除染技術

登録 ID	D-1	D-2
技術名称	流動研磨方法	刷磨用酸熱循環法
標準所要時間	No Data	No Data
標準 DF	1100	100
除染方法分類	物理的除染	化学的除染
概要説明	研磨剤を添加した除染液を、除染対象の配管内壁で流動させることにより、内面を物理的に研磨して、放射能を除去する方法である。一定以上の流速が必要になる。	刷磨液の除染液を、除染対象の配管内壁で循環させることにより、放射能を除去する方法である。除染効果を増すために、既設のボイラー設備等を利用して除染液を加熱している。
参考 DF の Max	1860	1000
参考 DF の Minb	200	10
汚染形態への適用性	固着性+付着性	固着性+付着性
運転条件	研磨剤: 0.2~0.4% 20wt%、液温: 高温、 流速: 4.8~6.7m/sec	0.5N 硝酸溶液

表3-4 技術情報データベース (2/5)

線切断技術

登録 ID	E-1	E-2	E-3	E-4	E-5	E-6
技術名称	プラズマアーク	ガス切断	セイバーソウ	ディスクグラインダ	高圧ジェット	エアプラズマ
対象物分類						
能力	3.6	9	No Data	No Data	12	54
能力表示対象材質	SUS	CS			SUS	SUS
能力表示対象厚み	40	50			8	8
概要説明	電極と被削体物との間にプラズマアークを発生させ、作動ガスを電離させることにより高温状態を得て、被削体物を加熱溶解し、切断する方法である。	余熱ガス(ブレン、水素等)で被削体物を加熱し、先火温度に適したら高圧度の酸素を吹き付けて、熱を酸化・溶解させて溶融し、その溶融物を酸素ジェットにより除去し、切断する方法である。	直線上のカッター刃を被削断面に押しつけて、高速往復運動させて、機械的に切断を行う方法である。	円板状のカッター刃を被削断面に押しつけて、高速回転させて、機械的に切断を行う方法である。	超高压水を小径噴射ノズルから高速で噴射し、これを被削体物にあてて切断を行う方法である。	炭素アークで金属を溶融し圧縮空気で溶融金属を除去して、切断する方法である。
適用可能材質	CS/SUS/その他金属	CS	CS/SUS/その他金属	CS/SUS/その他金属	CS/SUS/その他金属	CS/SUS/その他金属
厚み上限値	180	700	生キ	157	25	25
運転条件	電圧 200~250V, 250kW, プラズマガス: (60% Ar+40%N ₂) 50L/min	酸素純度: 99.5%以上, 酸素圧力: 4~7kg/cm ²	ストローク: 700~2500 回/min	ノコ刃外形: 415mm, 回転数: 2200rpm	高圧水圧力: 2500kg/cm ² , 高圧水流量: 0.3l/min, アプレシブ供給量: 0.6kg/min	入力電圧: 200V, 出力電流: 45A, 使用ガスエア: 90l/min
2次廃棄物種類 (不燃)	粉塵、ドロス	粉塵、ドロス	粉塵	粉塵	鋼鉄グリッド	なし
2次廃棄物発生量 (不燃)	No Data	No Data	No Data	No Data	3kg/m	なし
2次廃棄物種類 (燃体)	炭酸 (水中切断時)	なし	なし	なし	炭酸	なし
2次廃棄物発生量 (燃体)	No Data	0	0	0	0.032m ³ /m	0

表3-4 技術情報データベース (3/5)

面切断技術

登録 ID	F-1	F-2	F-3	F-4	F-5	F-6
技術名称	パイプカッター	油圧式圧縮切断機	バンドソウ	エアプラズマ	ロータ・バンドソー	セイバーソウ
能力	60	240	20	500	30	60
能力表示対象材質	SUS	SUS	CS	SUS	SUS	SUS
能力表示対象厚み	4	3	4	3	3	3
概要説明	ハサミ状の上下一對の長い刃物を油圧または機械的に押しつけて、中に挟み込んだ配管をせん断により、機械的に切断するシェアカッター方法の一つである。	ハサミ状の上下一對の長い刃物を油圧で押しつけて、中に挟み込んだ切断物をせん断により、機械的に切断する方法である。	帯状のリング式ノコ刃を駆動ホイールに取り付け回転させて、下部に固定した切断物に切り込む(刃を降下させる)ことにより、切断物を切削切断する方法である。	炭素アークで金属を溶融し、圧縮空気で溶融金属を除去して切断する方法である。	環状のリング式ノコ刃を駆動ホイールに取り付け回転させて、下部に固定した切断物に切り込む(刃を降下させる)ことにより、切断物を切削切断する方法である。	直線上のカッター刃を被削断面に押しつけて、高速往復運動させて、機械的に切断を行う方法である。
適用可能材質	CS/SUS/その他金属	CS/SUS/その他金属	CS/SUS/その他金属	CS/SUS/その他金属	CS/SUS/その他金属	CS/SUS/その他金属
厚み上限値	No Data	No Data	No Data	25	No Data	6
外径・長さ上限値	No Data	No Data	185	1000	120	116
運転条件		油圧: 800kg/cm ²	刃の走行速度: 40m/min	出力電流 45A	刃の周速度 55m/min	ストローク: 700~2500 回/min
2次廃棄物種類 (不燃)	なし	なし	粉塵	なし	なし	なし
2次廃棄物発生量 (不燃)	0	0	No Data	0	0	0
2次廃棄物種類 (燃体)	なし	なし	なし	なし	0	なし
2次廃棄物発生量 (燃体)	0	0	0	0	0	0

表3-4 技術情報データベース (4/5)

はつり技術

登録 ID	G-2	G-3
技術名称	壁面はつり装置	小型研削機
能力	18m ² /hr	9m ² /hr
バスはつり長さ	0.005m	0.001m
能力表示対象材質	コンクリート	コンクリート
能力表示対象厚み	300mm	300mm
概要説明	厚層のコンクリート壁面を超高圧水によりはつり表面を均一な目荒し状態にするはつり方法である。	ドラム（カッターブレード保持装置）に取り付けた多数のカッターブレードを回転させ、遠心力の打撃によりコンクリート表面を除去するはつり方法である。
運転条件	2500kgf/cm ² 水流量：23l/min	走行速度：0～10m/min
2次廃棄物種類（不燃）	なし	なし
2次廃棄物発生量（不燃）	0	0
2次廃棄物種類（液体）	廃液	なし
2次廃棄物発生量（液体）	0.077m ³ /m ²	0

表3-4 技術情報データベース (5/5)

破壊技術

登録 ID	H-6
技術名称	コンクリートハンマ
能力	0.35m ² /hr
能力表示対象材質	コンクリート
能力表示対象厚み	300mm
概要説明	ハンマによる強力な打撃力によりコンクリートの壁を破壊する方法である。
運転条件	消費電力：1430W 全員打撃数：850 打撃/分
2次廃棄物種類（不燃）	なし
2次廃棄物発生量（不燃）	0
2次廃棄物種類（液体）	なし
2次廃棄物発生量（液体）	0

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (1/31)

コールド機器の撤去
廃液処理室

		昨年度	備 考	今 回
B-1	機器撤去準備：1 F, B F 足場、切断工具、フェンブロック、台車準備 操作訓練、仮設電源設置、防護資材 コンテナ準備 廃液処理室 遮蔽体、扉撤去・移設(B-3, 4) → (A, B-3)	B-1; 20×5×2 =200	責任者 : 1 放管 : 1 作業者 : 18	人 h/日 日 20×5 ×2 =200
B-2	コールド機器撤去(地階)：中和剤供給ポンプ (P-62-213A&B): 75kg/基×2基 配管切断部養生、 出入口 配管フランジ部取り外し：1/2B×6ヶ所 基礎ボルト：4本/基 取り外し	B-2 5×2 ×1 =10	放管 : 1 作業者 : 3	4×2 ×1 =8
B-3	中和剤供給ポンプ 廃棄物搬出 吊り上げ、横引き、台車上に吊り卸し、ハッチ下部に移動、吊り上げ、搬出 取り外し配管毎搬出:配管:4本、弁:4個	B-3 4×1 ×1 =4	放管 : 1 作業者 : 2	3×1 ×1 =3
B-4	コールド機器撤去(地階)：薬品溶解槽 (TK-62-14): □1350×H900, 110kg 配管フランジ部取り外し：1～4ヶ所 基礎ボルト：本/基 取り外し	B-4 6×1 ×1 =6	放管 : 1 作業者 : 3	4×1.5 ×1 =6
B-5	薬品溶解槽 廃棄物搬出(含攪拌機) 吊り上げ、横引き、台車上に吊り卸し、ハッチ下部に移動、吊り上げ、搬出	B-5 4 ×1 ×1 =4	放管 : 2 作業者 : 4	6×1 ×1 =6
B-6	コールド機器撤去：蒸発缶洗浄用薬液タンク用ポンプ (P-62-14) 70kg 配管フランジ部取り外し：3箇所	B-74 4 ×1 ×1 =4	放管 : 1 作業者 : 3	4 ×1 ×1 =4
B-7	蒸発缶洗浄用薬液タンク用ポンプ 廃棄物搬出 吊り上げ、横引き、台車上に吊り卸し、ハッチ下部に移動、吊り上げ、搬出	B-75 4 ×1 ×1 =4	放管 : 2 作業者 : 4	6 ×1 ×1 =6
B-8	コールド機器撤去：蒸発缶洗浄用薬液タンク (TK-62-23):φ800×H1000, 220kg 配管フランジ部取り外し：4箇所 基礎ボルト取り外し：4箇所	B-6 7 ×2 ×1 =14	放管 : 1 作業者 : 3	4×1.5 ×1 =6

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (2/31)

B-9	蒸発缶洗浄用薬液タンク 廃棄物搬出 吊り上げ、横引き、台車上に吊り卸し、ハッチ下部に移動、吊り上げ、搬出	B-7 $8 \times 1 \times 1$ =8	放管 : 2 作業者 : 4	$6 \times 1 \times 1$ =6
B-10	ユーザ機器撤去 : コンプレッサ 1 台 450kg 取り外し、撤去	B-8 $6 \times 4 \times 1$ =24	放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 1 \times 1$ =4
B-11	コンプレッサ 廃棄物搬出	B-9 $6 \times 3 \times 1$ =18	放管 : 2 作業者 : 4	$6 \times 3 \times 1$ =18
B-247	遮蔽扉撤去 3350kg	B-24 $15 \times 3 \times 1$ =45	責任者 : 1 放管 : 1 作業者 : 6	$7 \times 5 \times 1$ =35
B-248	遮蔽扉 廃棄物搬出	—	放管 : 3 作業者 : 4	$4 \times 5 \times 1$ =20
B-12	シャッター前遮蔽体撤去 3800kg	B-24 $15 \times 3 \times 1$ =45	責任者 : 1 放管 : 1 作業者 : 6	$8 \times 3 \times 1$ =24
B-13	シャッター前遮蔽体 廃棄物搬出	—	放管 : 3 作業者 : 4	$7 \times 3 \times 1$ =21
B-14	遮蔽窓撤去 1200kg	B-25 $27 \times 5 \times 1$ =135	責任者 : 1 放管 : 1 作業者 : 6	$8 \times 3 \times 1$ =24
B-15	遮蔽窓撤去 廃棄物搬出	—	放管 : 3 作業者 : 4	$7 \times 3 \times 1$ =21
B-16	計量槽、定量槽用遮蔽体の汚染防止措置 酢ビシートによる養生	参考 : B-24 $15 \times 3 \times 1$ =45	放管 : 1 作業者 : 5	$6 \times 2 \times 1$ $\times 3 \text{ 班} = 36$
B-17	中和槽用遮蔽体の汚染防止措置 酢ビシートによる養生	参考 : B-34 $20 \times 5 \times 1$ =100	1F+B1F 放管 : 1+1 作業者 : 4+4	$10 \times 2 \times 1$ $\times 3 \text{ 班} = 60$
汚染機器の撤去				
B-18	仮設足場、GHの設置 ; 1 F, B F	B-45; $29 \times 5 \times 11$ =1595	1F+B1F 放管 : 1+1 作業者 : 9+9	$20 \times 5 \times 11$ =1100
B-19	自動中和装置(TK-62-26)撤去 : 110kg 基礎ボルト取り外し	B-17 $5 \times 3 \times 1$ =15	放管 : 1 作業者 : 4	$5 \times 3 \times 1$ =15

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (3/31)

B-20	自動中和装置 廃棄物搬出 吊り上げ、横引き、台車上に吊り卸し、 グリーンハウスへ移送、コンテナに格納、放射線計測、搬出		B-18 $5 \times 1 \times 1$ =5	放管 : 1 作業者 : 4	$5 \times 1 \times 1$ =5
B-21	高レベル配管取り外し 193m 363kg	(B F 分は一時仮置き)	B-10 $5 \times 5 \times 2$ =50	総計: 約70本 切断 放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 1 \times 2$ $\times 3$ 班 = 24
B-22	高レベル配管、養生、撤去(井64個 5kg、空気作動弁2個 13kg)	(B F 分は一時仮置き)	B-11 $4 \times 5 \times 1$ =20	総計: 約70本 放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 2 \times 1$ $\times 3$ 班 = 24
B-23	高レベル配管搬出	(B F 分は一時仮置き)	B-48 $(4 \times 2 \times 1)$ $\times 3$ 班 = 24	総計: 約70本 放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 5 \times 1$ =20
B-249	高レベルバルブ搬出 井64個 5kg	(B F 分は一時仮置き)	B-50 $4 \times 1 \times 1$ =4	計: 2 個 放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 1 \times 1$ =4
B-24	高レベル空気作動バルブ搬出 井2個 13kg	(B F 分は一時仮置き)	B-50 $4 \times 1 \times 1$ =4	計: 2 個 放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 1 \times 1$ =4
B-25	低レベル配管取り外し 77m 557kg		B-12 $5 \times 5 \times 2$ =50	総計: 約16本 切断 放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 2 \times 1$ =8
B-26	低レベル配管、養生、撤去 バルブ 26個 5kg、空気作動バルブ 1個 13kg	(B F 分は一時仮置き)	B-13 $4 \times 5 \times 1$ =20	総計: 約16本 放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 5 \times 1$ =20
B-27	低レベル配管搬出	(B F 分は一時仮置き)	B-52 $(4 \times 2 \times 1)$ $\times 3$ 班 = 24	総計: 約16本 放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 5 \times 1$ =20
B-250	低レベルバルブ搬出 26個 5kg	(B F 分は一時仮置き)	B-54 $4 \times 1 \times 1$ =4	計: 1 個 放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 1 \times 1$ =4
B-28	低レベル空気作動バルブ搬出 1個 13kg	(B F 分は一時仮置き)	B-54 $4 \times 1 \times 1$ =4	計: 1 個 放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 1 \times 1$ =4
B-29	サンプリングボックス(TK-62-26)取り外し: (TK-62-26):W2200×H700×D500 200kg 配管 フランジ 10ヶ所取り外し 基礎ボルト: 4本 取り外し		B-16 $5 \times 4 \times 1$ =20	放管 : 1 作業者 : 4	$5 \times 4 \times 1$ =20
B-30	サンプリングボックス(TK-62-26)養生、搬出		B-56 $4 \times 1 \times 1$ =4	放管 : 1 作業者 : 4	$4 \times 1 \times 1$ =4

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (4/31)

B-31	エアリフトセパレータ取り外し： φ200×H500 30kg 配管 3ヶ所切断、養生、エアリフトセパレータ搬出	B-32 $2 \times 1 \times 1$ =2	作業者：2	$2 \times 1 \times 1$ =2
B-32	エアリフトセパレータ 養生、廃棄物搬出	上記に含む	放管：1 作業者：3	$4 \times 1 \times 1$ =4
B-33	計量槽(TK-62-204) 取り外し、養生： (TK-62-204):φ550×H1010、130kg 基礎ボルト：4本 取り外し	B-23 $21 \times 2 \times 1$ =42	放管：1 取り外し：2~1 補助者：1~2	$4 \times 1 \times 1$ =4
B-34	計量槽 廃棄物搬出 吊り上げ、横引き、台車上に吊り卸し、 グリーンハウスへ移送、コンテナに格納、放射線計測、搬出	B-70 $5 \times 1 \times 1$ =5	放管：3 作業者：5	$8 \times 1 \times 1$ =8
B-35	定量槽(TK-62-203) 取り外し、養生： (TK-62-203):φ650×H1200、150kg 基礎ボルト：4本 取り外し	B-22 $23 \times 2 \times 1$ =46	放管：3 取り外し：2~1 補助者：1~2	$4 \times 1 \times 1$ =4
B-36	定量槽 廃棄物搬出 吊り上げ、横引き、台車上に吊り卸し、 グリーンハウスへ移送、コンテナに格納、放射線計測、搬出	B-68 $5 \times 1 \times 1$ =5	放管：3 作業者：5	$8 \times 1 \times 1$ =8
B-39	オフガスフィルタ(TK-62-207A&B) 取り外し、養生： (TK-62-207A&B):φ450×H700、110kg/基 配管 フランジ 4ヶ所取り外し、配管1ヶ所切断 基礎ボルト：4本 取り外し	B-28 $4 \times 1 \times 1$ =4	放管：1 取り外し：2~1 補助者：1~2	$4 \times 1 \times 1$ =4
B-40	オフガスフィルタ 廃棄物搬出： 吊り上げ、横引き、台車上に吊り卸し、 グリーンハウスへ移送、コンテナに格納、放射線計測、搬出	B-60 $4 \times 1 \times 1$ =4	放管：3 作業者：5	$8 \times 1 \times 1$ =4
B-41	ワガス凝縮器(HX-62-221) 取り外し、養生 (HX-62-221):φ450×H700、600kg 配管 フランジ 4ヶ所取り外し 基礎ボルト：4本 取り外し	B-26 $5 \times 2 \times 1$ =10	放管：1 作業者：4	$5 \times 2 \times 1$ =10
B-42	ワガス凝縮器 廃棄物搬出： 吊り上げ、横引き、台車上に吊り卸し、 グリーンハウスへ移送、コンテナに格納、放射線計測、搬出	B-58 $4 \times 1 \times 1$ =4	放管：3 作業者：5	$8 \times 1 \times 1$ =8

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (5/31)

B-43	オガスプロ7(BL-62-214A&B) 取り外し、養生: (BL-62-214A&B): 90kg/基 配管 フランジ 4ヶ所取り外し 基礎ボルト: 4本 取り外し	B-30 $4 \times 2 \times 1$ =8	放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 2 \times 1$ =8
B-44	オガスプロ7 廃棄物搬出: 吊り上げ、横引き、台車上に吊り卸し、 グリーンハウスへ移送、コンテナに格納、放射線計測、搬出	B-62 $4 \times 1 \times 1$ =4	放管 : 3 作業者 : 5	$8 \times 1 \times 1$ =8
B-45	架台切断 6,000kg 基礎ボルト: 取り外し 定量槽、計量槽下部の床(鉄板)除去	B-19 $20 \times 5 \times 2 = 200$ B-21 $24 \times 5 \times 1 = 120$	形鋼切断: 約 20ヶ所 放管 : 1 切断 : 1 補助者 : 3	$5 \times 5 \times 1$ =25
B-46	架台 廃棄物搬出: 吊り上げ、横引き、台車上に吊り卸し、 グリーンハウスへ移送、コンテナに格納、放射線計測、搬出	B-20 $8 \times 5 \times 2$ =80	放管 : 3 作業者 : 5	$8 \times 5 \times 2$ =80
以下: 固化室撤去、廃棄物搬出後実施				B-60 ↓ B-89
B-47	1 F 仕切り壁(B, C-4通り) の解体	B-113 $20 \times 5 \times 2$ =200	責任者 : 1 放管 : 1 切断 : 3 補助 : 2	$7 \times 5 \times 3 = 105$ ($0.56 \text{ m}^2/\text{h} \cdot \text{人}$)
B-48	1 F 仕切り壁(B, C-4通り) 廃棄物搬出	B-114 $20 \times 5 \times 1$ =100	放管 : 3 作業者 : 7	$10 \times 5 \times 2$ =100
B-49	中和槽撤去準備(1 F、地階) 中和槽切断部材吊り金具設置の準備 GHの拡張、切断用グリーンハウス 取り付け (中和槽遮蔽体は切断時利用する)	B-36 $30 \times 5 \times 15$ =2250	グリーンハウス: $3 \text{ m} \times 5 \text{ m} \times 5 \text{ m H}$ 責任者 : 1 放管 : 1+1 作業者 : 3+3 クレーン: 3+3	グリーンハウス拡張 $10 \times 5 \times 6 = 300$ 切断用グリーンハウス取り付け 1F, B1F計; $15 \times 5 \times 2 \times 2 \text{ 班} = 300$
B-50	中和槽除染装置 取り外し 配管切断 4ヶ所×2ヶ所、計装 1ヶ所	B-38 $4 \times 2 \times 1$ =8	放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 1 \times 1$ $\times 2 \text{ 班} = 8$
B-51	中和槽除染装置搬出	B-39 $2 \times 1 \times 1 = 2$	放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 1 \times 1$ =4
B-52	中和槽(TK-62-202) 切断、養生: (TK-62-202): $\phi 2500 \times \text{H}3550$ 、2,500kg	B-40 $(4 \times 2 \times 1)$ $\times 3 \text{ 班} = 24$	放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 1 \times 2$ $\times 3 \text{ 班} = 24$

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (6/31)

B-53	中和槽 切断片 A 廃棄物搬出： 吊り上げ、横引き、台車に吊り卸し、グリーンハウスに移送、 コンテナに格納、放射線計測、搬出(切断部材：625kg)	B-66 5×2 ×1 =10	責任者：1 放管：3 作業者：3 クレーン：3	10×1 ×1 =10
B-289	中和槽 切断片 B 廃棄物搬出		責任者：1 放管：3 作業者：6	10×1 ×1 =10
B-290	中和槽 切断片コーン部 廃棄物搬出		責任者：1 放管：3 作業者：6	10×1 ×1 =10
B-54	中和槽ポンプ (P-62-212)取外し、移送(地階)：25kg 配管 弁フランジ部 取外し：5ヶ所 基礎ボルト取り外し	B-14 4×1 ×1 =4	放管：1 作業者：3	4×1 ×1 =4
B-55	中和槽ポンプ 廃棄物搬出： 1Fに吊り上げ、横引き、台車に吊り卸し、 グリーンハウスへ移送、コンテナに格納、放射線計測、搬出	B-15 3×1 ×1 =3	放管：1 作業者：4 クレーン：2	7×1 ×1 =7
B-56	中和槽遮蔽体撤去	B-34 20×5 ×1 =100	放管：1 作業者：4 クレーン：2	7×5 ×1 =35
B-57	中和槽遮蔽体 廃棄物搬出：	参考：(B-119) 5×5 ×1 =25	放管：3 作業者：5 クレーン：2	(B-119) 10×5 ×1 =50
B-58	中和槽 GH撤去	B-44 8×3 ×1 ×2 班=48	放管：3 作業者：5	6×3 ×1 ×2 班=36
B-59	中和槽 GH廃棄物搬出			4×3 ×1 ×2 班=24
	廃液処理室：GH撤去、後始末は 廃液タンク室撤去後実施			

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (7/31)

固化室 コールド機器		昨年度	備 考	今 回
B-60	準備： 養生及び電線類(鋼管等)の撤去等	B-117 $23 \times 5 \times 2$ =230	責任者 : 1 放管 : 1 作業者 : 4	$6 \times 5 \times 4$ =120
B-61	遮蔽扉の撤去		放管 : 3 作業者 : 6 クレーン: 1	$7 \times 5 \times 1$ =35
B-62	遮蔽扉 廃棄物搬出			$4 \times 5 \times 1$ =20
B-63	マイクロ波加熱 操作盤撤去: 500kg	122 $12 \times 3 \times 1$ =36	放管 : 1 作業者 : 3	$3 \times 5 \times 1$ =15
B-64	マイクロ波加熱装置、操作盤 廃棄物搬出	123 $12 \times 1 \times 1 = 12$	放管 : 2 作業者 : 4 クレーン: 1	$7 \times 5 \times 1 = 35$
B-311	マイクロ波加熱装置 撤去 110kg	B-120 $6 \times 1 \times 1$ =6	放管 : 1 作業者 : 2	$2 \times 5 \times 1$ =10
B-312	マイクロ波加熱装置 廃棄物搬出	B-121 $4 \times 1 \times 1 = 4$	放管 : 1 作業者 : 2 クレーン: 1	$4 \times 5 \times 1$ =20
汚染機器				
B-65	仮設足場、GHの設置 固化装置遮蔽体の汚染防止措置	B-133 $29 \times 5 \times 11$ =1595	GH: $3.5 \times 5 \times H5m$ 責任者 : 1 放管 : 1 作業者 : 6	$8 \times 5 \times 10$ =400
B-66	高圧配管 (疑管)取り外し 14m, 66kg 弁 4個, 5kg; 空気作動弁 1個, 10kg	B-129 $14 \times 5 \times 1$ =70 (B-139, 140)	総計: 約 5本 切断、 放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 2 \times 1$ =8
B-67	高圧配管、養生、撤去	B-130 $6 \times 5 \times 1$ =30	放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 2 \times 1$ =8
B-68	高圧配管 廃棄物搬出	B-138 $4 \times 1 \times 1$ =4	総計: 約 5本 放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 1 \times 1$ =4
B-251	高圧バルブ搬出 4 個, 5kg	B-140 $4 \times 1 \times 1$ =4	計: 1個 放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 1 \times 1$ =4
B-69	高圧 空気作動バルブ搬出 1個, 10kg	B-140 $4 \times 1 \times 1$ =4	計: 1個 放管 : 1 作業者 : 3	$4 \times 1 \times 1$ =4

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (8/31)

B-70	低レベル 配管 (気管銃)取り外し216m, 484kg 弁 66 個, 5kg; 空気作動弁 1個, 10kg	B-131 28×5 ×1 =140 (B-143, 144)	総計:約 70本 切断、 放管 : 1 作業者 : 3	4×5 ×3 =60
B-71	低レベル 配管撤去	B-132 12×5 ×1 =60	総計:約 70本 放管 : 1 作業者 : 3	4×5 ×1 =20
B-72	低レベル 配管 廃棄物搬出	B-142 4×1 ×1 =4	総計:約 70本 放管 : 3 作業者 : 7	10×5 ×1 =50
B-252	低レベル バルブ搬出 66個, 5kg	B-144 4×1 ×1 =4	計: 1 個 放管 : 1 作業者 : 3	4×1 ×1 =4
B-73	低レベル 空気作動バルブ搬出 1 個, 10kg	B-144 4×1 ×1 =4	計: 1 個 放管 : 1 作業者 : 3	4×1 ×1 =4
B-74	コールド機器 固化装置遮蔽体撤去	B-118 15×5 ×1 =75	放管 : 1 作業者 : 4 クレーン: 1	6×5 ×1 =30
B-75	固化装置遮蔽体廃棄物搬出 吊り上げ、横引き、台車に荷卸、グリーンハウスへ移送、放射線計測、搬出	B-119 5×5 ×1 =25	放管 : 3 作業者 : 6 クレーン: 1	10×5 ×1 =50
B-76	コールド機器 架台の撤去: 架台 1,000kg 基礎ボルト 本取り外し	B-124 12×3 ×1 =36	放管 : 1 作業者 : 4 クレーン: 1	6×3 ×1 =18
B-77	コールド機器 架台 廃棄物搬出: 吊り上げ、横引き、台車に荷卸、放射線計測、搬出	B-125 12×1 ×1 =12	放管 : 3 作業者 : 6 クレーン: 1	10×1 ×1 =10
B-78	添加剤ホッパの撤去(TK-62-206):130kg 配管 フランジ部取り外し:14個	B-126 5×1 ×1 =5	放管 : 1 作業者 : 4	5×3 ×1 =15
B-79	添加剤ホッパ 廃棄物搬出:	B-127 3×1×1=3	放管 : 2 作業者 : 4 クレーン: 1	7×1×1=7
B-313	乾燥溶融装置の撤去 (TK-62-233):φ800×H1055、110kg 横引き、台車に荷卸、グリーンハウスへ移送、放射線計測、搬出	B-134 5×2 ×1 =10	放管 : 1 作業者 : 4	5×2 ×1 =10
B-314	乾燥溶融装置 廃棄物搬出	B-146 4×1×1=4	放管 : 1 作業者 : 2 クレーン: 1	4×1×1=4

表 4-1. 各 WBS 毎の設定作業 (9/31)

B-80	固化ボックス(BX-62-251) の撤去 : BX-62-251:L26000×W11000×H2900 3,000kg 配管 フランジ取り外し:3組 基礎ボルト 本取り外し	B-135 $5 \times 2 \times 1$ =10	放管 : 1 作業者 : 4	$5 \times 2 \times 1$ =10
B-81	固化ボックス 廃棄物搬出	B-136 $4 \times 2 \times 1$ =8	放管 : 3 作業者 : 6 クレーン: 1	$10 \times 2 \times 1$ =20
B-82	1 F 固化室内 GH 除染	B-148 $6 \times 2 \times 1$ =12	放管 : 2 作業者 : 4	$6 \times 2 \times 1$ $\times 2$ 班 =24
B-83	1 F 固化室 GH 内汚染検査、汚染固定	B-149 $8 \times 2 \times 1$ =16	放管 : 3 作業者 : 5	$8 \times 2 \times 1$ $\times 2$ 班 =32
B-84	1 F 固化室 GH 撤去	B-150 $9 \times 5 \times 1$ =45	放管 : 3 作業者 : 6	$7 \times 5 \times 1$ =35
B-85	1 F 固化室 GH 廃棄物搬出			$4 \times 5 \times 1$ =20
B-86	壁貫通配管の撤去、養生	—		$4 \times 5 \times 1$ =20
B-87	壁貫通配管 廃棄物搬出	—		$5 \times 5 \times 1$ =25
B-88	固化室内の汚染検査及び汚染除去	B-151 $20 \times 5 \times 1$ =100	責任者 : 1 放管 : 3 作業者 : 6	$10 \times 5 \times 2$ =100
B-89	1 F 固化室 壁解体用仮設足場設置	B-151 $20 \times 5 \times 1$ =100	作業者 : 6	$6 \times 5 \times 2$ =60
	B, C-4 通り壁解体撤去 1 F. 廃液処理室 GH の拡張			

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (10/31)

蒸発缶室

コールド機器

B-90 準備：
所要部への仮設遮蔽体取り付け
工具類の準備

B-91 1F, BF 遮蔽扉撤去、 3350kg

B-92 遮蔽扉、廃棄物搬出

汚染機器

B-93 GH設置 (1F, BF)

B-94 高レベル配管切断取り外し 109m, 364kg

B-95 高レベル配管 養生、撤去

B-96 高レベル配管 廃棄物搬出

B-253 高レベル空気作動バルブ搬出

B-97 高レベル空気作動バルブ搬出

B-98 低レベル配管切断取り外し 214m, 836kg

B-99 低レベル配管 養生、撤去

B-100 低レベル配管 廃棄物搬出

B-254 低レベルバルブ搬出

昨年度	備 考	今 回
B-72 20×5 ×2 =200	責任者 : 1 放管 : 1 作業員 : 8	10×5 ×4 =200
B-73 20×5 ×1 =100	責任者 : 1 放管 : 1 作業員 : 8	7×5×1=35
—		4×5×1=20
B-84 29×5 ×11 =1595	責任者 : 1 放管 : 1 作業員 : 18	20×5 ×11 =1100
B-79 16×5 ×1 =80	放管 : 1 作業員 : 5	配管 : 約36本 6×2 ×2 ×3 班=72
B-80 6×4 ×1 =24	放管 : 1 作業員 : 5	6×2 ×1 ×3 班=36
B-95 5×2 ×1 =10	放管 : 1 作業員 : 7	8×2 ×1 =16
B-97 5×2 ×1 =10	放管 : 1 作業員 : 3	4×1 ×1 =4
B-97 5×2 ×1 =10	放管 : 1 作業員 : 3	4×1 ×1 =4
B-81 17×5 ×2 =170	放管 : 1 作業員 : 6	配管 : 約70本 7×2 ×5 ×2 班=140
B-82 10×5 ×1 =50	放管 : 1 作業員 : 6	7×2 ×2 ×3 班=84
B-99 5×2 ×1 =10	放管 : 1 作業員 : 7	8×2 ×1 =16
B-101 5×2 ×1 =10	放管 : 1 作業員 : 3	4×1 ×1 =4

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (11/31)

B-101	低レベル空気作動バルブ搬出	B-101 $5 \times 2 \times 1$ =10	放管 : 1 作業員 : 3	$4 \times 1 \times 1$ =4
B-102	洗浄用薬液廃液タンク 用ポンプ 取り外し (P-62-15) 70kg 配管 フランジ 11 箇所取り外し 基礎ボルト 本取り外し	B-88 $5 \times 3 \times 1$ =15	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 3 \times 1$ =15
B-103	洗浄用薬液廃液タンク 用ポンプ 廃棄物搬出 1Fに吊り上げ、横引き、台車に荷卸、 グリーンハウスへ移送、コンテナに格納、放射線計測、搬出	B-88 $5 \times 3 \times 1$ =15	放管 : 1 作業員 : 3	$4 \times 1 \times 1$ =4
B-104	洗浄用受入れポンプ 取り外し (P-62-18) 150kg 配管 フランジ 3 箇所取り外し 基礎ボルト 本取り外し	B-89 $7 \times 5 \times 1$ =35	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 3 \times 1$ $\times 2$ 班 = 30
B-105	洗浄用受入れポンプ 廃棄物搬出 1Fに吊り上げ、横引き、台車に荷卸、 グリーンハウスへ移送、コンテナに格納、放射線計測、搬出	参考 : B-75 $4 \times 1 \times 1$ =4	放管 : 1 作業員 : 3	$4 \times 1 \times 1$ =4
B-106	蒸発缶 洗浄用薬液廃液タンク 取り外し (TK-62-24) 800kg 配管 フランジ 11 箇所取り外し 基礎ボルト 本取り外し	B-35 $22 \times 4 \times 2$ =176	放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 2 \times 3$ $\times 2$ 班 = 120
B-107	蒸発缶 洗浄用薬液廃液タンク 廃棄物搬出 1Fに吊り上げ、横引き、台車に荷卸、 グリーンハウスへ移送、コンテナに格納、放射線計測、搬出	B-64 $5 \times 1 \times 2$ =5	放管 : 1 作業員 : 8	$9 \times 1 \times 1$ =9
B-108	蒸発缶 [カラム(TK-62-16B&A)] 撤去 : カラム部 : $\phi 600 \times H2800$, 1200kg $\times 2$ 基 架台上部 1 部撤去、基礎ボルト取り外し	B-85 $5 \times 2 \times 1$ =10	放管 : 1 作業員 : 3	$4 \times 2 \times 1$ $\times 2$ 班 = 16
B-109	蒸発缶 カラム部(TK-62-16B&A) 廃棄物搬出	B-105 $5 \times 2 \times 1$ =10	放管 : 1 作業員 : 3	$4 \times 2 \times 1$ $\times 2$ 班 = 16
B-315	蒸発缶 [リボイラ(TK-62-16B&A)] 撤去 : リボイラ部 : $\phi 500 \times H1800$, 600kg $\times 2$ 基	B-86 $5 \times 2 \times 1$ =10	放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 2 \times 1$ $\times 2$ 班 = 12

表4-1 各WBS毎の設定作業 (12/31)

B-316	蒸発缶リフト部(TK-62-16B&A) 廃棄物搬出	B-107 $5 \times 2 \times 1$ =10	放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 2 \times 1$ $\times 2$ 班 = 12
B-110	蒸気凝縮器(HX-62-1A&B)取り外し:2基 (HX-62-1A): $\phi 400 \times L 3500$ 、200kg/基	B-83 $5 \times 2 \times 1$ =10	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 2 \times 1$ =10
B-111	蒸気凝縮器 廃棄物搬出	B-103 $5 \times 2 \times 1$ =10	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 2 \times 1$ =10
B-112	架台切断、基礎ボルト取り外し 3000kg	B-76 $22 \times 5 \times 1$ =110	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 5 \times 2$ =60
B-113	架台 廃棄物搬出	B-77 $22 \times 5 \times 1$ =110	放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 5 \times 2$ =100
地階機器				
B-114	濃縮液受槽 撤去: (TK-62-18): $\phi 800 \times H 1800$ 、700kg	B-87 $5 \times 2 \times 1$ =10	放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 2 \times 1$ =20
B-115	濃縮液受槽 廃棄物搬出:1Fに吊り上げ、荷引き、台車に荷卸、グリーンハウスへ移送、コンテナに格納、放射線計測、搬出	B-109 $5 \times 2 \times 1$ =10	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 2 \times 1$ =10
B-116	GH内除染(1F, BF)	B-91 $6 \times 2 \times 1$ $\times 3$ 班 = 36	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1$ $\times 3$ 班 = 36
B-117	GH内汚染検査、汚染固定(1F, BF)	B-92 $6 \times 2 \times 1$ $\times 2$ 班 = 24	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1$ $\times 2$ 班 = 24
B-118	GH撤去(1F, BF)	B-93 $9 \times 5 \times 1$ =45	作業員 : 9	$7 \times 5 \times 1$ =35
B-119	GH 廃棄物搬出			$4 \times 5 \times 1$ =20
B-120	壁貫通配管の除去	B-112 $4 \times 5 \times 1$ $\times 3$ 班 = 60	放管 : 1 作業員 : 5	$4 \times 5 \times 1$ =20
B-121	壁貫通配管 廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 5 \times 1$ =25
B-122	蒸発缶室内汚染検査、除染(1F, BF)	B-110 $25 \times 5 \times 2$ =250	放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 5 \times 4$ =200

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (13/31)

		昨年度	備 考	今 回
廃液タンク室				
B-123	C-4, 5 通りの壁の撤去		3500×2800, 300t 放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 5 \times 4 = 200$
B-124	壁破壊片搬出	B-114 $20 \times 5 \times 1 = 100$	放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 5 \times 2 = 100$
B-125	準備: 地下廃液処理室 足場設置、仮設クレーン設置 グリーンハウス 設置、台車、工具等準備 養生及び電線類の撤去	B-152 $18 \times 5 \times 2 = 180$	放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 5 \times 2 = 180$
コールド機器撤去				
B-126	コールド; ベントコレクションブロー(BL-62-2) 撤去: (BL-62-1&2) : 13kg/1 基 ブロー基礎ボルト取り外し	B-153 $9 \times 5 \times 1 = 45$	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1 = 12$
B-127	ベントコレクションブロー 廃棄物搬出: 吊り上げ、横引き、台車上に吊り卸し、中和槽下部に移送、 1Fに吊り上げ、搬出	B-154 $10 \times 2 \times 1 = 20$	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1 = 12$
汚染機器の撤去				
B-128	グリーンハウスの設置	B-163 $29 \times 5 \times 11 = 1595$	放管 : 1 作業員 : 19	$20 \times 5 \times 11 = 1100$
B-129	高レベル配管取り外し 431m, 1554kg 弁 個、空気作動弁 個	B-158 $25 \times 5 \times 2 = 250$	(配管: 約 130本) 放管 : 1 作業員 : 14	$15 \times 2 \times 4 \times 2 \text{ 班} = 240$
B-130	高レベル配管 養生、撤去	B-159 $30 \times 5 \times 1 = 150$	放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 2 \times 4 \times 2 \text{ 班} = 160$
B-131	高レベル配管 廃棄物搬出	B-159 $30 \times 5 \times 1 = 150$	放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 3 \times 1 \times 2 \text{ 班} = 60$
B-255	高レベルバルブ搬出	B-185 $8 \times 2 \times 1 = 16$	放管 : 1 作業員 : 3	$4 \times 1 \times 1 = 4$
B-132	高レベル空気作動バルブ搬出	B-185 $8 \times 2 \times 1 = 16$	放管 : 1 作業員 : 3	$4 \times 1 \times 1 = 4$
B-133	低レベル配管取り外し 319m, 1046kg 弁 個、空気作動弁 個	B-160 $23 \times 5 \times 2 = 230$	(配管: 約 100本) 放管 : 1 作業員 : 14	$15 \times 2 \times 3 \times 2 \text{ 班} = 180$

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (14/31)

B-134	低レベル配管 養生、撤去	B-161 24×5 ×1 =120	放管 : 1 作業員 : 9	10×2 ×2 ×2 班=80
B-135	低レベル配管 廃棄物搬出	B-161 24×5 ×1 =120	放管 : 1 作業員 : 9	10×3 ×1 ×2 班=60
B-256	低レベルバルブ搬出	B-189 7×2 ×1 =14	放管 : 1 作業員 : 3	4×1 ×1 =4
B-136	低レベル空気作動バルブ搬出	B-189 7×2 ×1 =14	放管 : 1 作業員 : 3	4×1 ×1 =4
B-137	コールド機器: グレーチング、架台切断	B-155 24×5 ×3 =360	放管 : 1 作業員 : 14	15×2 ×5 ×2 班=300
B-138	グレーチング、架台廃棄物搬出	B-156 30×5 ×1 =150	放管 : 1 作業員 : 9	10×6 ×2 =120
B-139	タンク切断用GHの設置	B-162 30×5 ×4 =600	放管 : 1 作業員 : 19	20×5 ×11 =1100
B-140	ベントコレクションタンク取り外し: 仮置き (TK-62-19): φ1000×L2200 670kg 基礎ボルト取り外し、6通り側へ仮置き	B-169 3×2 ×1 =6	放管 : 1 作業員 : 5	6×1 ×1 =6
B-141	床排水ピットポンプ(P-62-10B&A)取り外し: (P-62-10B&A): 30kg/基×2 基 基礎ボルト取り外し	参考: B-2 5×2 ×1 =10	放管 : 1 作業員 : 5	6×2 ×1 =12
B-142	ピットポンプ 廃棄物搬出: 吊り上げ、横引き、台車上に吊り卸し、中和槽下部に移送、1Fに吊り上げ、台 車に荷卸、グリーンハウスへ移送、コンテナに格納、放射線計測、搬出	参考: B-3 4×1 ×1 =4	放管 : 1 作業員 : 5	6×2 ×1 =12
B-317	上澄水タンク(TK-62-10)用ポンプ:400kg 基礎ボルト取り外し		放管 : 1 作業員 : 5	6×2 ×1 =12
B-318	上澄水タンク用ポンプ 廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 5	6×2 ×1 =12
B-143	上澄水タンク(TK-62-10)切断: (TK-62-10): φ1500×L3600 2,400kg	B-164 6×2 ×1 ×2 班=24	放管 : 1 作業員 : 5	6×2 ×2 ×2 班=48

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (15/31)

B-144	上澄水タンク胴部 廃棄物搬出	B-165 $6 \times 2 \times 1$ =12	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1$ =12
B-291	上澄水タンク鏡部 廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 1 \times 1$ =3
B-319	放出予備タンク 用ポンプ取り外し:280kg		放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1$ =12
B-320	放出予備タンク 用ポンプ廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1$ =12
B-145	放出予備タンク(TK-62-7)切断: (TK-62-7): $\phi 1500 \times L3600$ 2,000kg	B-166 $5 \times 2 \times 1$ $\times 2$ 班=20	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 2$ $\times 2$ 班=48
B-146	放出予備タンク 胴部 廃棄物搬出	B-167 $5 \times 2 \times 1$ =10	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1$ =12
B-292	放出予備タンク 鏡部 廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 1 \times 1$ =3
B-147	ベントコレクションタンク廃棄物搬出	B-169 $3 \times 2 \times 1$ =6	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1$ =12
B-321	低レベル廃液貯留タンク(TK-62-6B) 用ポンプ 取り外し		放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1$ =12
B-322	低レベル廃液貯留タンク(TK-62-6B) 用ポンプ 廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1$ =12
B-148	低レベル廃液貯留タンク(TK-62-6B) 切断: (TK-62-6B): $\phi 1900 \times L3600$ 2,500kg	B-170 $5 \times 2 \times 2$ $\times 2$ 班=40 (2基切断)	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 2$ $\times 2$ 班=48
B-149	低レベル廃液貯留タンク(TK-62-6B) 胴部廃棄物搬出 吊り上げ、横引き、台車上に吊り卸し、中和槽下部に移送、 IFに吊り上げ、コンテナに格納、放射線計測、搬出	B-171 $6 \times 4 \times 2$ =48	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1$ =12
B-293	低レベル廃液貯留タンク(TK-62-6B) 鏡部廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 1 \times 1$ =3
B-323	低レベル廃液貯留タンク(TK-62-6A) 用ポンプ 取り外し		放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1$ =12

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (16/31)

B-324	低レベル廃液貯留タンク(TK-62-6A) 用ポンプ 廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1 = 12$
B-150	低レベル廃液貯留タンク(TK-62-6A) 切断 : (TK-62-6A): $\phi 1900 \times L3600$ 2,500kg	B-170 に含む	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 2 \times 2 \text{ 班} = 48$
B-151	低レベル廃液貯留タンク(TK-62-6A) 胴部廃棄物搬出	B-171 に含む	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1 = 12$
B-294	低レベル廃液貯留タンク(TK-62-6A) 鏡部廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 1 \times 1 = 3$
B-325	低レベル廃液貯留タンク(TK-62-6C) 用ポンプ 取り外し		放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1 = 12$
B-326	低レベル廃液貯留タンク(TK-62-6A) 用ポンプ 廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1 = 12$
B-152	低レベル廃液貯留タンク(TK-62-6C) 切断 : (TK-62-6A): $\phi 1900 \times L3600$ 2,500kg	B-172 $5 \times 2 \times 1 \times 3 \text{ 班} = 30$	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 2 \times 2 \text{ 班} = 48$
B-153	低レベル廃液貯留タンク(TK-62-6C) 胴部廃棄物搬出	B-173 $6 \times 2 \times 1 = 12$	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1 = 12$
B-295	低レベル廃液貯留タンク(TK-62-6C) 鏡部廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 1 \times 1 = 3$
B-327	高レベル廃液貯留タンク(TK-62-5B) 用ポンプ 取り外し		放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1 = 12$
B-328	高レベル廃液貯留タンク(TK-62-5B) 用ポンプ 廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1 = 12$
B-154	高レベル廃液貯留タンク(TK-62-5B) 切断 : (TK-62-5B): $\phi 1500 \times L3600$ 2,000kg	B-174 $5 \times 2 \times 1 \times 2 \text{ 班} = 20$	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 2 \times 2 \text{ 班} = 48$
B-155	高レベル廃液貯留タンク(5B) 胴部廃棄物搬出	B-175 $5 \times 2 \times 1 = 10$	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1 = 12$
B-296	高レベル廃液貯留タンク(5B) 鏡部廃棄物搬出	B-175 $5 \times 2 \times 1 = 10$	放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 1 \times 1 = 3$

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (17/31)

B-329	高レベル廃液貯留タンク(TK-62-5A) 用ポンプ 取り外し		放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1 = 12$
B-330	高レベル廃液貯留タンク(TK-62-5A) 用ポンプ 廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1 = 12$
B-156	高レベル廃液貯留タンク(TK-62-5A) 切断 : (TK-62-5B): $\phi 1500 \times L3600$ 2,000kg	B-176 $5 \times 2 \times 1 \times 2 \text{ 班} = 20$	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 2 \times 2 \text{ 班} = 48$
B-157	高レベル廃液貯留タンク(5A) 胴部廃棄物搬出	B-177 $5 \times 2 \times 1 = 10$	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1 = 12$
B-297	高レベル廃液貯留タンク(5A) 鏡部廃棄物搬出	B-177 $5 \times 2 \times 1 = 10$	放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 1 \times 1 = 3$
B-158	切断機器の除染、養生	B-178 $5 \times 2 \times 1 = 10$	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 2 \times 1 = 10$
B-159	GH内除染	B-179 $5 \times 2 \times 1 \times 2 \text{ 班} = 20$	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 2 \times 1 \times 3 \text{ 班} = 30$
B-160	GH内汚染検査、汚染固定	B-180 $5 \times 2 \times 1 = 10$	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 3 \times 1 \times 2 \text{ 班} = 36$
B-161	GH撤去	B-181 $9 \times 5 \times 1 = 45$	放管 : 1 作業員 : 8	$6 \times 5 \times 1 = 30$
B-162	GH廃棄物搬出	B-181 $9 \times 5 \times 1 = 45$	放管 : 1 作業員 : 8	$4 \times 5 \times 1 = 20$
B-163	後片付け : 換気系ダクト撤去及び建家汚染検査用足場等の設置、送風機の停止措置、吸気系ダクト・換気系ダクト撤去、フィルタ除去、排風機の停止	B-206 $27 \times 5 \times 3 = 405$	放管 : 1×3 作業員 : 8×3	$27 \times 5 \times 3 = 405$
B-164	壁貫通配管類の除去	参考 : B-112 $4 \times 5 \times 1 \times 3 \text{ 班} = 60$		$4 \times 5 \times 1 = 20$
B-165	壁貫通配管類 廃棄物搬出	参考 : B-112 $4 \times 5 \times 1 \times 3 \text{ 班} = 60$		$5 \times 5 \times 1 = 25$
B-166	廃液タンク室内建家の汚染検査及び汚染除去	B-207 $27 \times 5 \times 3 = 405$	放管 : 3 作業員 : 17	$20 \times 5 \times 4 = 400$

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (18/31)

廃液処理室 GH撤去				
B-167	廃液処理室；GH内除染（1F，BF）	B-42 5×2×1 ×4班=40	放管：1 作業員：4	5×2×1 ×4班=40
B-168	廃液処理室；GH内汚染検査、汚染固定	B-43 5×2×1 ×2班=20	放管：1 作業員：3	4×2×1 ×2班=16
B-169	廃液処理室；GH撤去	B-44 8×3×2 ×2班=96	1F, B1F 放管：1 作業員：7	6×4×2 =48
B-170	廃液処理室；GH廃棄物搬出	B-44 8×3×2 ×2班=96		4×4×2 =32
B-171	廃液処理室；壁貫通配管の撤去、養生	B-44 4×5×1 ×3班=60		4×5×1 =20
B-172	廃液処理室；壁貫通配管 廃棄物搬出	上記に含む		5×5×1 =25
B-173	廃液処理室；汚染検査、汚染除去	B-71 20×5×4 =400	放管：2 作業員：8	10×5×4 =200
B-174	A, B-3～6 通り GH内除染（1F）		放管：1 作業員：3	4×2×1 ×3班=24
B-298	A, B-3～6 通り GH内除染（地下）		放管：1 作業員：3	4×2×1 ×3班=24
B-175	A, B-3～6 通り GH内汚染検査、汚染固定（1F）		放管：1 作業員：4	5×3×1 ×2班=30
B-299	A, B-3～6 通り GH内汚染検査、汚染固定（地下）		放管：1 作業員：4	5×3×1 ×2班=30
B-176	A, B-3～6 通り GH撤去（1F）		放管：1 作業員：4	5×5×1 =25
B-300	A, B-3～6 通り GH撤去（地下）		放管：1 作業員：4	5×5×1 =25
B-177	A, B-3～6 通り GH廃棄物搬出（1F）			2×5×1 =10
B-301	A, B-3～6 通り GH廃棄物搬出（地下）			2×5×1 =10

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (19/31)

B-178	A, B-3 ~6 通り汚染検査、汚染除去(1F)	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 5 \times 4$ =100
B-302	A, B-3 ~6 通り汚染検査、汚染除去(地下)	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 5 \times 4$ =100

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (20/31)

コンクリート研削の場合

機械室		昨年度	備 考	今 回
B-179	コールド機器撤去準備： 廃液タンク室以外の配管類撤去準備 及び足場等の設置	B-214 $28 \times 5 \times 10$ =1400	放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 6 \times 10$ =600
B-180	給気ダクトの撤去	B-215 $26 \times 5 \times 2$ =260	放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 5 \times 1$ =50
B-181	給気ダクト 廃棄物搬出	B-216 $26 \times 5 \times 2$ =260	放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 5 \times 1$ =50
B-305	排気ダクトの撤去	B-215 $26 \times 5 \times 2$ =260	放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 5 \times 1$ =50
B-306	排気ダクト 廃棄物搬出	B-216 $26 \times 5 \times 2$ =260	放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 5 \times 1$ =50
B-182	コールド機器撤去：コンプレッサ 560kg	B-218 $10 \times 4 \times 1$ =40	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 4 \times 1$ =20
B-183	コンプレッサ 廃棄物搬出	B-218 $10 \times 4 \times 1$ =40	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 4 \times 1$ =20
B-184	コールド機器撤去：排風機(1) 150kg	B-219 $5 \times 4 \times 1$ =20	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 4 \times 1$ =20
B-185	排風機(1) 廃棄物搬出	B-219 $5 \times 4 \times 1$ =20	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 4 \times 1$ =20
B-186	コールド機器撤去：排風機(2) 301kg	B-220 $10 \times 4 \times 1$ =40	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 4 \times 1$ =20
B-187	排風機(2) 廃棄物搬出	B-220 $10 \times 4 \times 1$ =40	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 4 \times 1$ =40
B-188	コールド機器撤去：排風機(3) 1505kg	B-221 $18 \times 5 \times 2$ =180	放管 : 1 作業員 : 6	$7 \times 5 \times 1$ =35
B-189	排風機(3) 廃棄物搬出	B-221 $18 \times 5 \times 2$ =180	放管 : 1 作業員 : 6	$7 \times 5 \times 1$ =35

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (21/31)

B-190	ｺｰﾙﾄﾞ機器撤去：送風機(1) 150kg	B-222 $5 \times 4 \times 1$ =20	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 4 \times 1$ =20
B-191	送風機(1) 廃棄物搬出	B-222 $5 \times 4 \times 1$ =20	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 4 \times 1$ =20
B-192	ｺｰﾙﾄﾞ機器撤去：送風機(2) 251kg	B-223 $11 \times 4 \times 1$ =44	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 4 \times 1$ =20
B-193	送風機(2) 廃棄物搬出	B-223 $11 \times 4 \times 1$ =44	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 4 \times 1$ =20
B-194	ｺｰﾙﾄﾞ機器撤去：送風機(3) 1505kg	B-224 $17 \times 5 \times 2$ =170	放管 : 1 作業員 : 6	$7 \times 5 \times 1$ =35
B-195	送風機(3) 廃棄物搬出	B-224 $17 \times 5 \times 2$ =170	放管 : 1 作業員 : 6	$7 \times 5 \times 1$ =35
B-196	ﾌｨﾙﾄﾞｳﾆｯﾄ(2) 解体： L3400 × W700 × H1420 800kg 1基	B-226 $5 \times 2 \times 1$ ×3 班=30	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 2 \times 1$ ×3 班=30
B-197	ﾌｨﾙﾄﾞｳﾆｯﾄ(2) 搬出	B-227 $5 \times 2 \times 1$ ×2 班=20	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 2 \times 1$ ×2 班=20
B-198	ﾌｨﾙﾄﾞｳﾆｯﾄ(1) 解体： L1700 × W700 × H1420 400kg 1基	B-226 $5 \times 2 \times 1$ ×3 班=30	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 2 \times 1$ ×2 班=20
B-199	ﾌｨﾙﾄﾞｳﾆｯﾄ(1) 搬出	B-227 $5 \times 2 \times 1$ ×2 班=20	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 2 \times 1$ ×2 班=20
B-303	空調機撤去 100kg/基、2基		放管 : 1 作業員 : 3	$4 \times 2 \times 1$ =8
B-304	空調機搬出		放管 : 1 作業員 : 3	$4 \times 2 \times 1$ =8
B-307	排気筒撤去準備		責任者 : 1 放管 : 1 作業員 : 18	$20 \times 5 \times 5$ =500
B-308	排気筒 表面測定		放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 3 \times 1$ =30

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (22/31)

B-309	排気筒－切断、撤去	1600kg		放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 5 \times 4$ =200
B-310	排気筒切断片－廃棄物搬出			放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 4 \times 2$ =48
B-200	後始末：壁貫通配管撤去、仮設排風機停止		B-231 $26 \times 5 \times 5$ =650	放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 5 \times 6$ =300
B-201	機械室内の汚染検査及び汚染除去		B-234 $10 \times 3 \times 1$ =30	放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 3 \times 1$ =30
B-202	機械室 後片付け		B-235 $10 \times 2 \times 1$ =20	放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 2 \times 1$ =20

表 4 - 1 各 WBS 毎の設定作業 (23/31)

		昨年度	備 考	今 回
固体廃棄物貯蔵室				
B-203	準備：電源断、電線類の除去		放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 6 \times 1$ =60
B-204	汚染検査、除染、養生等		放管 : 1 作業員 : 7	$8 \times 5 \times 1$ =40
B-205	廃液スラッジ回収装置撤去： 2550×1950×H1550 4000kg	B-210 $25 \times 5 \times 2$ =250	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1$ =12
B-206	廃液スラッジ回収装置 廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1$ =12
B-207	固体廃棄物貯蔵室内の汚染検査、 管理区域解除措置	B-213 $10 \times 5 \times 1$ =50	放管 : 1 作業員 : 9	$10 \times 5 \times 1$ =50
B-208	固体廃棄物貯蔵室内の後片付け	B-212 $30 \times 5 \times 1$ =150	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 3 \times 1$ =15

表4-1 各WBS毎の設定作業 (24/31)

		昨年度	備 考	今 回
制御室				
B-209	準備：汚染検査、等		放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 6 \times 1$ =30
B-210	除染：汚染部の除去等		放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 6 \times 1$ =30
B-211	ｺｰﾙﾄﾞ機器撤去：制御盤(1)搬出 1700kg 1基	B-238 $7 \times 5 \times 1$ =35	放管 : 1 作業員 : 6	$7 \times 2 \times 1$ =14
B-212	ｺｰﾙﾄﾞ機器撤去：制御盤(2)搬出 3400kg 1基	B-239 $14 \times 5 \times 1$ =70	放管 : 1 作業員 : 6	$7 \times 2 \times 1$ =14
B-213	ｺｰﾙﾄﾞ機器撤去：制御盤(3)搬出 600kg 2基	B-240 $5 \times 5 \times 1$ =25	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 2 \times 1$ =10
B-214	ｺｰﾙﾄﾞ機器撤去：制御盤(4)搬出 260kg 1基	B-241 $4 \times 2 \times 1$ =8	放管 : 1 作業員 : 3	$4 \times 2 \times 1$ =8
B-215	ｺｰﾙﾄﾞ機器撤去：動力盤搬出 300kg 1基	B-242 $5 \times 2 \times 1$ =10	放管 : 1 作業員 : 3	$4 \times 2 \times 1$ =8
B-216	ｺｰﾙﾄﾞ機器撤去：換気系搬出 37kg 1基	B-243 $3 \times 1 \times 1$ =3	放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 1 \times 1$ =3
B-217	制御室内の汚染検査、管理区域解除措置	B-244 $5 \times 2 \times 1$ =10	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 2 \times 1$ =10
B-218	制御室 後片付け	B-245 $5 \times 3 \times 1$ =15	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 3 \times 1$ =15

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (25/31)

		昨年度	備 考	今 回
チェンジングルーム				
B-219	チェンジングルーム 機器搬出：遮蔽体 1370kg	B-246 10×5 ×1 =50	放管 : 1 作業員 : 6	6×5 ×1 =30
廃液処理室				
B-220	準備：放射線測定作業準備、足場等設置	B-247 30×5 ×1 =150	放管 : 1 作業員 : 9	10×2 ×1 =20
蒸発缶室				
B-221	準備：放射線測定作業準備、足場等設置	B-248 27×5 ×1 =135	放管 : 1 作業員 : 9	10×2 ×1 =20
固化室				
B-222	準備：放射線測定作業準備、足場等設置	B-249 22×5 ×2 =220	放管 : 1 作業員 : 4	5×2 ×1 =10
廃液タンク室				
B-223	準備：放射線測定作業準備、足場等設置	B-250 30×5 ×2 =300	放管 : 1 作業員 : 14	15×5 ×2 =150
固体廃棄物貯蔵室				
B-224	準備：放射線測定作業準備、足場等設置	B-251 24×5 ×3 =360	放管 : 1 作業員 : 9	10×5 ×3 =150
機械室				
B-225	準備：放射線測定作業準備、足場等設置	B-252 24×5 ×1 =120	放管 : 1 作業員 : 9	10×5 ×1 =50
制御室				
B-226	準備：放射線測定作業準備、足場等設置	B-253 18×5 ×1 =90	放管 : 1 作業員 : 4	5×2 ×1 =10

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (26/31)

倉庫				
B-227	準備：放射線測定作業準備、足場等設置	B-254 9×5 ×1 =45	放管 : 1 作業員 : 8	9×5 ×1 =45
チェンジングルーム				
B-228	準備：放射線測定作業準備、足場等設置	—	放管 : 1 作業員 : 4	5×2 ×1 =60
廃液タンク室				
B-257	廃液タンク室 コンクリート研削		放管 : 1 作業員 : 4	5×5 ×14 =350
B-258	廃液タンク室 コンクリート 廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 2	3×5 ×1 =15
廃液処理室(B1F)				
B-259	廃液処理室(B1F) コンクリート研削		放管 : 1 作業員 : 4	5×5 ×6 =150
B-260	廃液処理室(B1F) コンクリート 廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 2	3×5 ×1 =15
蒸発缶室(B1F)				
B-261	蒸発缶室(B1F) コンクリート研削		放管 : 1 作業員 : 4	5×5 ×5 =125
B-262	蒸発缶室(B1F) コンクリート廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 2	3×5 ×1 =15
機械室				
B-263	機械室 コンクリート研削		放管 : 1 作業員 : 4	5×5 ×2 =50

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (27/31)

B-264	機械室 コンクリート廃棄物搬出	放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 5 \times 1$ =15
倉庫			
B-265	倉庫 コンクリート研削	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 5 \times 1$ =25
B-266	倉庫 コンクリート廃棄物搬出	放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 5 \times 1$ =15
廃液処理室(B1F) 前通路			
B-267	廃液処理室(B1F) 前通路 コンクリート研削	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 5 \times 1$ =25
B-268	廃液処理室(B1F) 前通路 コンクリート廃棄物搬出	放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 5 \times 1$ =15
蒸発缶室前通路(B1F)			
B-269	蒸発缶室前通路(B1F) コンクリート研削	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 5 \times 1$ =25
B-270	蒸発缶室前通路(B1F) コンクリート廃棄物搬出	放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 5 \times 1$ =15
廃液処理室(1F)			
B-271	廃液処理室(1F) コンクリート研削	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 5 \times 4$ =100
B-272	廃液処理室(1F) コンクリート 廃棄物搬出	放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 5 \times 1$ =15

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (28/31)

固化室				
B-273	固化室 コンクリート研削		放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 5 \times 3$ = 75
B-274	固化室 コンクリート 廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 5 \times 1$ = 15
蒸発缶室(1F)				
B-275	蒸発缶室(1F) コンクリート研削	—	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 5 \times 5$ = 125
B-276	蒸発缶室(1F) コンクリート 廃棄物搬出	—	放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 5 \times 1$ = 15
制御室				
B-277	制御室 コンクリート研削	—	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 5 \times 1$ = 25
B-278	制御室 コンクリート 廃棄物搬出	—	放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 5 \times 1$ = 15
チェンジングルーム				
B-279	チェンジングルーム コンクリート研削	—	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 5 \times 1$ = 25
B-280	チェンジングルーム コンクリート 廃棄物搬出	—	放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 5 \times 1$ = 15
廃液処理室(1F) 前通路				
B-281	廃液処理室(1F) 前通路 コンクリート研削		放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 5 \times 1$ = 25
B-282	廃液処理室(1F) 前通路 コンクリート 廃棄物搬出	—	放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 5 \times 1$ = 15

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (29/31)

固化室前通路(1F)				
B-283	固化室前通路(1F) コンクリート研削	—	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 5 \times 1$ =25
B-284	固化室前通路(1F) コンクリート 廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 5 \times 1$ =15
蒸発缶室前(1F)通路				
B-285	蒸発缶室前(1F)通路 コンクリート研削		放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 5 \times 1$ =25
B-286	蒸発缶室前(1F)通路 コンクリート 廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 5 \times 1$ =15
固体廃棄物貯蔵室(1F)				
B-287	固体廃棄物貯蔵室(1F) コンクリート研削		放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 5 \times 1$ =25
B-288	固体廃棄物貯蔵室(1F) コンクリート 廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 5 \times 1$ =15
固体廃棄物貯蔵室 (B1F)				
B-331	固体廃棄物貯蔵室(B1F) コンクリート 研削		放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 5 \times 1$ =25
B-332	固体廃棄物貯蔵室(B1F) コンクリート 廃棄物搬出		放管 : 1 作業員 : 2	$3 \times 5 \times 1$ =15
廃液処理室				
B-229	空間測定	B-256 $6 \times 3 \times 1$ =18	放管 : 1 作業員 : 7	$8 \times 2 \times 1$ =16
蒸発缶室				
B-230	空間測定	B-257 $8 \times 2 \times 1$ =16	放管 : 1 作業員 : 7	$8 \times 2 \times 1$ =16
固化室				
B-231	空間測定	B-258 $13 \times 2 \times 1$ =26	放管 : 1 作業員 : 5	$6 \times 2 \times 1$ =12
廃液タンク室				
B-232	空間測定	B-259 $12 \times 3 \times 1$ =36	放管 : 1 作業員 : 11	$12 \times 3 \times 1$ =36

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (30/31)

固体廃棄物貯蔵室				
B-233	空間測定	B-260 $14 \times 3 \times 1$ =42	放管 : 1 作業員 : 13	$14 \times 3 \times 1$ =42
機械室				
B-234	空間測定	B-261 $7 \times 2 \times 1$ =14	放管 : 1 作業員 : 6	$7 \times 2 \times 1$ =14
制御室				
B-235	空間測定	B-262 $5 \times 2 \times 1$ =10	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 2 \times 1$ =10
倉庫				
B-236	空間測定	B-263 $5 \times 1 \times 1$ =5	放管 : 1 作業員 : 4	$5 \times 1 \times 1$ =5
チェンジングルーム				
B-237	空間測定	B-264 $7 \times 1 \times 1$ =7	放管 : 1 作業員 : 6	$7 \times 1 \times 1$ =7
廃液処理室				
B-238	後片付け：放射線測定用足場等の撤去 放射線状況マップの作成	B-265 $18 \times 5 \times 2$ =180	放管 : 2 作業員 : 10	$12 \times 5 \times 2$ =120
蒸発缶室				
B-239	後片付け：放射線測定用足場等の撤去 放射線状況マップの作成	B-266 $16 \times 5 \times 2$ =160	放管 : 2 作業員 : 8	$10 \times 5 \times 2$ =100
固化室				
B-240	後片付け：放射線測定用足場等の撤去 放射線状況マップの作成	B-267 $27 \times 5 \times 2$ =270	放管 : 2 作業員 : 6	$8 \times 5 \times 2$ =80
廃液タンク室				
B-241	後片付け：放射線測定用足場等の撤去 放射線状況マップの作成	B-268 $25 \times 5 \times 3$ =375	放管 : 3 作業員 : 15	$18 \times 5 \times 3$ =270

表 4-1 各 WBS 毎の設定作業 (31/31)

固体廃棄物貯蔵室				
B-242	後片付け：放射線測定用足場等の撤去 放射線状況マップの作成	B-269 $29 \times 5 \times 3$ =435	放管 : 2 作業員 : 10	$12 \times 5 \times 3$ =180
機械室				
B-243	後片付け：放射線測定用足場等の撤去 放射線状況マップの作成	B-270 $28 \times 5 \times 1$ =140	放管 : 2 作業員 : 10	$12 \times 5 \times 1$ =60
制御室				
B-244	後片付け：放射線測定用足場等の撤去 放射線状況マップの作成	B-271 $22 \times 5 \times 1$ =110	放管 : 2 作業員 : 6	$8 \times 5 \times 1$ =40
倉庫				
B-245	後片付け：放射線測定用足場等の撤去 放射線状況マップの作成	B-272 $11 \times 5 \times 1$ =55	放管 : 2 作業員 : 6	$8 \times 5 \times 1$ =40
チェンジングルーム				
B-246	後片付け：放射線測定用足場等の撤去 放射線状況マップの作成	B-273 $14 \times 5 \times 1$ =70	放管 : 2 作業員 : 6	$8 \times 5 \times 1$ =40

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (1/86)

作業種類	情報	単位	廃液処理室準備: 切断機器準備・操作 訓練、仮設電線設置	コールド機器撤去 中和剤供給ポンプ	コールド機器撤去 薬品溶解槽	コールド機器撤去 蒸発缶洗浄用薬液 タンク
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤 去	作業 ID	・	XB-1	XB-2	XB-4	XB-8
	対象機器	・	廃液処理室	中和剤供給ポンプ	薬品溶解槽	蒸発缶洗浄用薬液タンク
	部屋名称	・	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	蒸発缶室
	作業名称	・	廃液処理室 -準備	中和剤供給ポンプ -撤去	薬品溶解槽 -撤去	蒸発缶洗浄用薬液タンク -撤去
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	無し	半面マスク	半面マスク	半面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	1	1.5	1.5	1.5
	作業実施時間	hr/day	6	6	6	6
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	17	3	3	3
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
技術	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	標準作業期間	・	2	1	1	1
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (2/86)

作業種類	情報	単位	計量槽、定置槽用遮蔽体 の汚染防止措置	中和槽用遮蔽体の 汚染防止と措置	コールド機器撤去 コンプレッサ	
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤 去	作業 ID	・	XB-16	XB-17	XB-10	
	対象機器	・	遮蔽体	遮蔽体	コンプレッサ	
	部屋名称	・	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	
	作業名称	・	遮蔽体 -養生	遮蔽体 -養生	コンプレッサ -撤去	
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	
	作業装備	・	半面マスク	半面マスク	半面マスク	
	作業能率係数	・	1	1	1	
	減衰係数	・	1	1	1	
	装備能率係数	・	1.5	1.5	1.5	
	作業実施時間	hr/day	6	6	6	
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	
	放射線管理者数	人	1	1	1	
	作業班長数	人/班	1	1	1	
	作業者数	人/班	5	8	3	
	同時並行作業班数	班	3	3	1	
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	
	特殊設備数	基	0	0	0	
技術	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	
	標準作業期間	・	1	1	1	
	能力係数	・	1	1	1	

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (3/86)

作業種別	情報	単位	高レベル配管撤去 開口部に盲栓	低レベル配管撤去 開口部に盲栓	高レベル配管撤去 開口部に盲栓	低レベル配管撤去 開口部に盲栓
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	作業 ID	・	XB-22	XB-26	XB-95	XB-99
	対象機器 部屋名称 作業名称	・ ・ ・	高レベル配管類 廃液処理室 高レベル配管類-撤去	低レベル配管類 廃液処理室 低レベル配管類-撤去	高レベル配管類 蒸発缶室 高レベル配管類 -撤去	低レベル配管類 蒸発缶室 低レベル配管類 -撤去
	二次放射性廃棄物区分	・	B Y-A	B Y-A	B Y-A	B Y-A
	作業環境	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	放射線管理区域区分	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業整備	・	1	1	1	1
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	2	2	2	2
	整備能率係数	・	5	5	5	5
	作業実施時間	hr/day	1	1	1	1
人員構成	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	3	3	5	6
	同時並行作業班数	班	3	1	3	3
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準作業期間	・	1	1	1	2
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (4/86)

作業種別	情報	単位	中和槽への G・H 取付 (1F, B1F)	GH 仮設足場の設置: 1F, B1F	1F 固化室 脱脂体用仮設足場設置	シャッター前 遮蔽体撤去
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	作業 ID	・	XB-49	XB-18	XB-89	XB-12
	対象機器 部屋名称 作業名称	・ ・ ・	中和槽 GH 廃液処理室 中和 GH -GH 設置	廃液処理室 廃液処理室 足場の設置 -GH 設置	固化室 固化室 固化室 -仮設足場の設置	遮蔽体 廃液処理室 シャッター前遮蔽体 -撤去
	二次放射性廃棄物区分	・	B Y-A	B Y-A	B Y-A	B Y-A
	作業環境	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	放射線管理区域区分	・	半面マスク	半面マスク	半面マスク	半面マスク
	作業整備	・	1	1	1	1
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1.5	1.5	1.5	1.5
	整備能率係数	・	6	6	6	6
	作業実施時間	hr/day	1	1	1	1
人員構成	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	12	18	6	6
	同時並行作業班数	班	2	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準作業期間	・	8	11	2	1
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (5/86)

作業種別	情報	単位	蒸発缶室準備	コールド機器除去 洗浄用薬液タンク用ダンプ	中和槽 GH 撤去	遮蔽原の撤去
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	作業 ID	・	XB-90	XB-6	XB-68	XB-61
	対象機器	・	蒸発缶室	洗浄用薬液タンク用ダンプ	中和槽 GH	遮蔽原
	部屋名称	・	蒸発缶室	蒸発缶室	廃液処理室	固化室
	作業名称	・	蒸発缶室-準備	洗浄用薬液タンク用ダンプ 一撤去	中和槽 GH 一撤去	遮蔽原 一撤去
	二次放射性廃棄物区分		B Y-A	B Y-A	B Y-A	B Y-A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	半面マスク	半面マスク	全面マスク	半面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	1.5	1.5	2	1.5
	作業実施時間	hr/day	6	6	5	6
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	8	3	5	6
	同時並行作業班数	班	1	1	2	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準作業期間	・	4	1	1	1
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (6/86)

作業種別	情報	単位	1F,BF 遮蔽原 撤去	1F 固化室 GH 撤去	蒸発缶室 G・H 取付 (1F、B1F)	遮蔽窓 撤去
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	作業 ID	・	XB-91	XB-84	XB-93	XB-14
	対象機器	・	遮蔽原	GH	蒸発缶室 GH	遮蔽窓
	部屋名称	・	蒸発缶室	固化室	蒸発缶室	廃液処理室
	作業名称	・	1F,B1F 遮蔽原 一撤去	1F 固化室 GH 一撤去	蒸発缶室 GH 一 GH 設置	遮蔽窓 一撤去
	二次放射性廃棄物区分		B Y-A	B Y-A	B Y-A	B Y-A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	半面マスク	全面マスク	半面マスク	半面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	1.5	2	1.5	1.5
	作業実施時間	hr/day	6	5	6	6
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	6	6	17	6
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準作業期間	・	1	1	11	1
	能力係数	・	1	1	0.1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (7/86)

作業種類	情報	単位	中和槽濃縮体除去	コールド機器除去 マイクロ加熱装置	通路 1 F GH 除去	GH (IF,B1F) 除去
準備作業/後始末 GH 設置/GH 除去	作業 ID	・	XB-56	XB-311	XB-176	XB-118
	対象機器	・	中和槽濃縮体	マイクロ加熱装置	GH	GH
	部屋名称	・	廃液処理室	固化室	通路 1 F	蒸発缶室
	作業名称	・	中和槽濃縮体 一除去	マイクロ加熱装置 一除去	GH 一除去	GH 一除去
	二次放射性廃棄物区分		$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	半面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業効率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備効率係数	・	2	1.5	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	6	5	5
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	5	2	4	6
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
技術	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	標準作業期間	・	1	1	1	1
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (8/86)

作業種類	情報	単位	濃縮液配管類の除去	固化室準備	廃液処理室 GH 除去	蒸発缶の除去
準備作業/後始末 GH 設置/GH 除去	作業 ID	・	XB-120	XB-60	XB-169	XB-247
	対象機器	・	蒸発缶室	固化室	GH	濃縮液
	部屋名称	・	蒸発缶室	固化室	廃液処理室	廃液処理室
	作業名称	・	蒸発缶室 一配管除去	固化室 一準備	廃液処理室 GH 一除去	濃縮液 一除去
	二次放射性廃棄物区分		$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	半面マスク	全面マスク	半面マスク
	作業効率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備効率係数	・	2	1.5	2	1.5
	作業実施時間	hr/day	5	6	5	6
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	5	4	5	6
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
技術	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	標準作業期間	・	1	4	2	1
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (9/86)

作業種類	情報	単位	コールド機器撤去 固化装置遮蔽体	コールド機器撤去 マイクロ波加熱、操作盤	コールド機器撤去 架台	吸気配管の撤去 養生 (固化室)
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	作業 ID	・	XB-74	XB-63	XB-76	XB-86
	対象機器	・	固化装置遮蔽体	マイクロ波加熱、操作盤	架台	固化室
	部屋名称	・	固化室	固化室	固化室	固化室
	作業名称	・	固化装置遮蔽体 一撤去	マイクロ波加熱、操作盤 一撤去	架台 一撤去	固化室 一撤去
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	半面マスク	半面マスク	半面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	1.5	1.5	1.5	2
	作業実施時間	hr/day	6	6	6	5
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	5	3	5	4
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
	資材費					
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	技術					
	標準作業期間	・	1	1	1	1
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (10/86)

作業種類	情報	単位	添加剤ホッパ撤去	高い配管撤去 開口部に盲栓	低い配管撤去 開口部に盲栓	GH 撤去
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	作業 ID	・	XB-78	XB-67	XB-71	XB-161
	対象機器	・	添加剤ホッパ	高い配管類	低い配管類	GH
	部屋名称	・	固化室	固化室	固化室	廃液タンク室
	作業名称	・	添加剤ホッパ 一撤去	高い配管類 一撤去	低い配管類 一撤去	GH 一撤去
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	4	3	3	6
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
	資材費					
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	技術					
	標準作業期間	・	1	1	1	1
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (11/86)

作業種類	情報	単位	固化室 GH 設備	乾燥溶解固化装置 本体撤去	廃液タンク準備	蒸発缶 (h54部) 撤去
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	作業 ID	・	XB-05	XB-313	XB-125	XB-108
	対象機器	・	固化室 GH	乾燥溶解固化装置	廃液タンク室	蒸発缶 (h54部)
	部屋名称	・	固化室	固化室	廃液タンク室	蒸発缶室
	作業名称	・	固化室 GH → GH 設置	乾燥溶解固化装置 → 撤去	廃液タンク室 → 準備	蒸発缶 → 撤去 (h54部)
	二次放射性廃棄物区分		$\beta\gamma-A$	$\beta\gamma-A$	$\beta\gamma-A$	$\beta\gamma-A$
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	半面マスク	全面マスク	半面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	1.5	2	1.5	2
	作業実施時間	hr/dny	6	5	6	5
人員構成	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	6	4	9	3
	同時並行作業班数	班	1	1	1	2
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準作業期間	・	10	1	2	1
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (12/86)

作業種類	情報	単位	コールド機器撤去 ベントリクショング 07	高レベル配管撤去 開口部に盲栓	低レベル配管撤去 開口部に盲栓	タンク切断用 GH 設置
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	作業 ID	・	XB-126	XB-130	XB-134	XB-139
	対象機器	・	ベントリクショング 07	高レベル配管類	低レベル配管類	タンク切断用 GH
	部屋名称	・	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室
	作業名称	・	ベントリクショング 07 → 撤去	高レベル配管類 → 撤去	低レベル配管類 → 撤去	タンク切断用 GH → 設置
	二次放射性廃棄物区分		$\beta\gamma-A$	$\beta\gamma-A$	$\beta\gamma-A$	$\beta\gamma-A$
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	半面マスク	全面マスク	全面マスク	半面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	1.5	2	2	1.5
	作業実施時間	hr/day	6	5	5	6
人員構成	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	5	9	9	18
	同時並行作業班数	班	1	2	2	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準作業期間	・	1	4	2	11
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (13/86)

作業種類	情報	単位	廃液貯留室 GH 設備	ベントリコクション取り外し	蒸発缶 (リボイラ部) 撤去	A,B-3~6 通り GH 撤去 (地下)
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	作業 ID	・	XB-128	XB-140	XB-315	XB-300
	対象機器	・	廃液貯留室 GH	ベントリコクション取り外し	蒸発缶 (リボイラ部)	A,B-3~6 通り GH (地下)
	部屋名称	・	廃液貯留室	廃液貯留室	蒸発缶室	通路 (地下)
	作業名称	・	廃液貯留室 GH — GH 設置	ベントリコクション取り外し	蒸発缶 (リボイラ部) — 撤去	A,B-3~6 通り GH (地下) — 撤去
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	半面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	1.5	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	6	5	5	5
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	18	5	2	4
	同時並行作業班数	班	1	1	2	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準作業期間	・	11	1	1	1
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (14/86)

作業種類	情報	単位	入気ダクト撤去	コールド機器撤去 コンプレッサ	排気ダクト撤去	排気筒撤去準備
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	作業 ID	・	XB-180	XB-182	XB-305	XB-307
	対象機器	・	入気ダクト	コンプレッサ	排気ダクト	排気筒
	部屋名称	・	機械室	機械室	機械室	機械室
	作業名称	・	入気ダクト — 撤去	コンプレッサ — 撤去	排気ダクト — 撤去	排気筒 — 準備
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	半面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	1.5	2	1
	作業実施時間	hr/day	6	6	5	6
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	9	4	9	17
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準作業期間	・	1	1	1	5
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (15/86)

作業種類	情報	単位	切断機器の除染、発生	既貫通配管類の除去 (廃液タンク室)	汚染検査等 —準備	既貫通配管類の撤去 (廃液処理室)
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	作業 ID	・	XB-158	XB-164	XB-209	XB-171
	対象機器	・	廃液タンク室	廃液タンク室	制御室	廃液処理室
	部屋名称	・	廃液タンク室	廃液タンク室	制御室	廃液処理室
	作業名称	・	廃液タンク室 —発生	廃液タンク室 —既配管除去	制御室 —準備	廃液処理室 —既配管除去
	二次放射性廃棄物区分		$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	半面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	2	1.5	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	6	5
人員構成	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	4	4	4	4
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準作業期間	・	1	1	1	1
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (16/86)

作業種類	情報	単位	廃液タンク室後片付け	固体廃棄物貯蔵室 後片付け	機械室準備	廃液スラッジ回収装置 撤去
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	作業 ID	・	B-163	B-208	B-179	B-205
	対象機器	・	廃液タンク室	固体廃棄物貯蔵室	機械室	廃液スラッジ回収装置
	部屋名称	・	廃液タンク室	固体廃棄物貯蔵室	機械室	固体廃棄物貯蔵室
	作業名称	・	廃液タンク室 —後始末	固体廃棄物貯蔵室 —後始末	機械室 —準備	廃液スラッジ回収装置 —撤去
	二次放射性廃棄物区分		$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	半面マスク	装備無し	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	1.5	1	2
	作業実施時間	hr/day	5	6	6	5
人員構成	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	8	4	9	5
	同時並行作業班数	班	3	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準作業期間	・	3	1	10	1
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (17/86)

作業種別	情報	単位	機械室 後始末	コ-4' 機器撤去 排風機 (1)	コ-6' 機器撤去 排風機 (2)	コ-8' 機器撤去 排風機 (3)
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	作業 ID	・	XB-200	XB-184	XB-186	XB-188
	対象機器	・	機械室	排風機 (1)	排風機 (2)	排風機 (3)
	部屋名称	・	機械室	機械室	機械室	機械室
	作業名称	・	機械室 一後始末	排風機 (1) 一撤去	排風機 (2) 一撤去	排風機 (3) 一撤去
	二次放射性廃棄物区分		B r-A	B r-A	B r-A	B r-A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	半面マスク	半面マスク	半面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	1.5	1.5	1.5
	作業実施時間	hr/day	5	6	6	6
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	9	4	4	6
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
	資材費					
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	技術					
	標準作業期間	・	6	1	1	1
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (18/86)

作業種別	情報	単位	コ-4' 機器撤去 送風機 (1)	コ-4' 機器撤去 送風機 (2)	コ-4' 機器撤去 送風機 (3)	コ-8' 機器撤去 空調機
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	作業 ID	・	XB-190	XB-192	XB-194	XB-303
	対象機器	・	送風機 (1)	送風機 (2)	送風機 (3)	空調機
	部屋名称	・	機械室	機械室	機械室	機械室
	作業名称	・	送風機 (1) 一撤去	送風機 (2) 一撤去	送風機 (3) 一撤去	空調機 一撤去
	二次放射性廃棄物区分		B r-A	B r-A	B r-A	B r-A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	半面マスク	半面マスク	半面マスク	半面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	1.5	1.5	1.5	1.5
	作業実施時間	hr/day	6	6	6	6
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	4	4	6	3
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
	資材費					
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	技術					
	標準作業期間	・	1	1	1	1
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素)(19/86)

作業種別	情報	単位	機城室 後片付け	制御室後片付け	準備： 放射線状況測定作業準備、足場等の設置	準備：電源、電線等の除去
準備作業／後始末 GH 設置／GH 撤去	作業 ID	・	XB-202	XB-218	XB-220	XB-203
	対象機器	・	機城室	制御室	廃液処理室	固体廃棄物貯蔵室
	部屋名称	・	機城室	制御室	廃液処理室	固体廃棄物貯蔵室
	作業名称	・	機城室 一後片付け	機城室 一後始末	機城室 一準備	機城室 一準備
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	グリーン	アンバー	アンバー
	作業準備	・	装備無し	装備無し	装備無し	装備無し
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	1	1	1	1
	作業実施時間	hr/day	6	6	6	6
人員構成	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	9	4	9	9
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準作業期間	・	1	1	1	1
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素)(20/86)

作業種別	情報	単位	準備： 放射線状況測定作業準備、足場等の設置	準備： 放射線状況測定作業準備、足場等の設置	準備： 放射線状況測定作業準備、足場等の設置	準備： 放射線状況測定作業準備、足場等の設置
準備作業／後始末 GH 設置／GH 撤去	作業 ID	・	XB-221	XB-222	XB-223	XB-224
	対象機器	・	蒸発缶室	固化室	廃液タンク室	固体廃棄物貯蔵室
	部屋名称	・	蒸発缶室	固化室	廃液タンク室	固体廃棄物貯蔵室
	作業名称	・	蒸発缶室 一準備	固化室 一準備	廃液タンク室 一準備	固体廃棄物貯蔵室 一準備
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業準備	・	装備無し	装備無し	装備無し	装備無し
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	1	1	1	1
	作業実施時間	hr/day	6	6	6	6
人員構成	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	9	4	14	9
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準作業期間	・	1	1	2	3
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (21/86)

作業種類	情報	単位	準備： 放射線状況測定作業 準備、足場等の設置	準備： 放射線状況測定作業 準備、足場等の設置	準備： 放射線状況測定作業 準備、足場等の設置	準備： 放射線状況測定作業 準備、足場等の設置
準備作業/後始末 GII 設置/GII 撤去	作業 ID	・	XB-225	XB-226	XB-227	XB-228
	対象機器	・	機械室	制御室	倉庫	倉庫
	部屋名称	・	機械室	制御室	倉庫	倉庫
	作業名称	・	機械室 一準備	制御室 一準備	倉庫 一準備	倉庫 一準備
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	一般
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	グリーン	グリーン	nc
	作業装備	・	装備無し	装備無し	装備無し	装備無し
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	1	1	1	1
	作業実施時間	hr/day	6	6	6	7
人員構成	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	9	4	8	3
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準作業期間	・	1	1	1	1
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (22/86)

作業種類	情報	単位	後片付け： 放射線状況測定用足場等の撤去、放射線状況マップの作成	後片付け： 放射線状況測定用足場等の撤去、放射線状況マップの作成	後片付け： 放射線状況測定用足場等の撤去、放射線状況マップの作成	後片付け： 放射線状況測定用足場等の撤去、放射線状況マップの作成
準備作業/後始末 GII 設置/GII 撤去	作業 ID	・	XB-238	XB-239	XB-240	XB-241
	対象機器	・	廃液処理室	蒸発缶室	固化室	廃液タンク室
	部屋名称	・	廃液処理室	蒸発缶室	固化室	廃液タンク室
	作業名称	・	廃液処理室 一後始末	蒸発缶室 一後始末	固化室 一後始末	廃液タンク室 一後始末
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	装備無し	装備無し	装備無し	装備無し
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	1	1	1	1
	作業実施時間	hr/day	6	6	6	6
人員構成	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	10	8	6	15
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準作業期間	・	2	2	2	3
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (23/86)

作業種類	情報	単位	後片付け： 放射線状況測定用足場等の撤去、放射線状況マップの作成	後片付け： 放射線状況測定用足場等の撤去、放射線状況マップの作成	後片付け： 放射線状況測定用足場等の撤去、放射線状況マップの作成	後片付け： 放射線状況測定用足場等の撤去、放射線状況マップの作成
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	作業 ID	・	XB-242	XB-243	XB-244	XB-245
	対象機器	・	固体廃棄物貯蔵室	機械室	制御室	倉庫
	部屋名称	・	固体廃棄物貯蔵室	機械室	制御室	倉庫
	作業名称	・	固体廃棄物貯蔵室 一後始末	機械室 一後始末	制御室 一後始末	倉庫 一後始末
	二次放射性廃棄物区分		B Y-A	B Y-A	B Y-A	B Y-A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	グリーン	グリーン
	作業装備	・	装備無し	装備無し	装備無し	装備無し
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	1	1	1	1
	作業実施時間	hr/day	6	6	6	6
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	10	10	6	6
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準作業期間	・	3	1	1	1
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (24/86)

作業種類	情報	単位	後片付け： 放射線状況測定用足場等の撤去、 放射線状況マップの作成			
準備作業/後始末 GH 設置/GH 撤去	作業 ID	・	B-246			
	対象機器	・	エンジンルーム			
	部屋名称	・	エンジンルーム			
	作業名称	・	エンジンルーム 一後始末			
	二次放射性廃棄物区分		一般			
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	nc			
	作業装備	・	装備無し			
	作業能率係数	・	1			
	減衰係数	・	1			
	装備能率係数	・	1			
	作業実施時間	hr/day	7			
	人員構成					
	現場責任者数	人	1			
	放射線管理者数	人	1			
	作業班長数	人/班	1			
	作業者数	人/班	6			
	同時並行作業班数	班	1			
資材費	設備名称	・	無し			
	特殊設備数	基	0			
	特殊設備単価	千円/基	0			
技術	標準作業期間	・	1			
	能力係数	・	1			

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (25/86)

作業種類	情報	単位	G・H内汚染検査、汚染固定	廃液処理室内汚染検査、除染	蒸発缶室G・H内汚染検査、汚染固定	蒸発缶室内汚染検査及び汚染除去
表面測定作業	作業 ID	・	XB-168	XB-173	XB-117	XB-122
	対象機器	・	中和槽G11	廃液処理室	蒸発缶室G11	蒸発缶室
	部屋名称	・	廃液処理室	廃液処理室	蒸発缶室	蒸発缶室
	作業名称	・	中和槽G11 一表面測定	廃液処理室 一表面測定	蒸発缶室G11 一表面測定	蒸発缶室 一表面測定
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	半面マスク	全面マスク	半面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	1.5	2	1.5
	作業実施時間	hr/day	5	6	5	6
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
表面測定作業	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	3	8	5	9
	同時並行作業班数	班	2	1	2	1
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	管理区域解除確認	-	0	0	0	0
	測定面積	m ²	178.8	117.315	152.4	162.7
	技術コード	-	B-5	B-5	B-5	B-5
	適用技術	-	GMカウンター	GMカウンター	GMカウンター	GMカウンター
	標準能力値	m ² /h	1.44 * 2	2.88 * 1	2.88	2.88 * 1
	能力係数	-	30	10	30	10

* 1. 0.36m²/h×8名=2.88 m²/hr* 2. 0.36 m²/h×2名×2班=1.44 m²/hr

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (26/86)

作業種類	情報	単位	固化室G・H内汚染検査、汚染固定	固化室内の汚染検査及び汚染除去	廃液缶室G11内汚染検査、汚染固定	A.B-3～6 通りG11内汚染検査、汚染固定
表面測定作業	作業 ID	・	XB-83	XB-88	XB-160	XB-175
	対象機器	・	固化室GH	固化室	廃液缶室GH	通路1FG11
	部屋名称	・	固化室	固化室	廃液缶室	通路1F
	作業名称	・	固化室G11 一表面測定	固化室 一表面測定	廃液缶室GH 一表面測定	通路1FG11 一表面測定
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	半面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	1.5	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	6	5	5
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
表面測定作業	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	6	7	5	6
	同時並行作業班数	班	2	1	2	2
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	管理区域解除確認	-	0	0	0	0
	測定面積	m ²	152.4	134.8	144	245.6
	技術コード	-	B-5	B-5	B-5	B-5
	適用技術	-	GMカウンター	GMカウンター	GMカウンター	GMカウンター
	標準能力値	m ² /h	4.32	2.52	2.88	2.88
	能力係数	-	30	10	30	30

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (27/86)

作業種類	情報	単位	廃液タンク室内汚染検査 及び汚染除去	固体廃棄物貯蔵室内の 汚染検査	風機室内の汚染検査 及び汚染除去	通路 1 F 汚染検査、 汚染除去
表面測定作業	作業 ID	・	XB-166	XB-207	XB-201	XB-178
	対象機器	・	廃液タンク室	固体廃棄物貯蔵室	風機室	通路 1 F
	部屋名称	・	廃液タンク室	固体廃棄物貯蔵室	風機室	通路 1 F
	作業名称	・	廃液タンク室 一表面測定	固体廃棄物貯蔵室 一表面測定	風機室 一表面測定	通路 1 F 一表面測定
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	半面マスク	半面マスク	半面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	1.5	1.5	1.5	2
	作業実施時間	hr/day	6	6	6	5
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	18	9	8	8
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	管理区域解除確認	-	0	0	0	0
技術	測定面積	m ²	503	595.12	233.4	294.4
	技術コード	-	B-5	B-5	B-5	B-5
	適用技術	-	GM カウンター	GM カウンター	GM カウンター	GM カウンター
	標準能力値	m ² /h	6.48	2.88	2.88	2.88
	能力係数	-	10	10	10	10

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (28/86)

作業種類	情報	単位	制御室内の汚染検査	通路 (地下) 汚染検査、 汚染除去	排気筒 表面測定	
表面測定作業	作業 ID	・	XB-217	XB-302	XB-308	
	対象機器	・	制御室	通路 (地下)	排気筒	
	部屋名称	・	制御室	通路 (地下)	機械室	
	作業名称	・	制御室 一生半測定	通路 (地下) 一表面測定	排気筒 一表面測定	
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	
	放射線管理区域区分	・	グリーン	アンバー	アンバー	
	作業装備	・	装備無し	全面マスク	装備無し	
	作業能率係数	・	1	1	1	
	減衰係数	・	1	1	1	
	装備能率係数	・	1	2	1	
	作業実施時間	hr/day	6	5	6	
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	
	放射線管理者数	人	1	1	1	
	作業班長数	人/班	1	1	1	
	作業者数	人/班	4	4	9	
	同時並行作業班数	班	1	1	1	
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	
	特殊設備数	基	0	0	0	
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	
	管理区域解除確認	-	0	0	0	
技術	測定面積	m	121.76	212.4	74.95	
	技術コード	-	B-5	B-5	B-5	
	適用技術	-	GM カウンター	GM カウンター	GM カウンター	
	標準能力値	m/h	0.72	1.05	2.88	
	能力係数	-	10	10	10	

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (29/86)

業務種別	情報	単位	汚染 (地下) GII内汚染 検査、汚染除去	空間測定	空間測定	空間測定
表面測定作業	作業 ID 対象機器 部屋名称 作業名称	・ ・ ・ ・	XB-200 通路 (地下) GH 通路 (地下) 通路 (地下) GH —表面測定	XB-229 廃液処理室 廃液処理室 廃液処理室 —空間測定	XB-230 蒸発缶室 蒸発缶室 蒸発缶室 —空間測定	XB-231 固化室 固化室 固化室 —空間測定
	二次放射性廃棄物区分		$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A
	作業環境 放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装束	・	全面マスク	装束無し	装束無し	装束無し
	作業効率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装束効率係数	・	2	1	1	1
	作業実施時間	hr/day	5	6	6	6
	人員構成 現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	4	7	7	5
資材費	同時並行作業班数	班	2	1	1	1
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	管理区域解除確認	-	0	0	0	0
	測定点	点	139.4	50	82	68
	技術コード	-	B-5	A-2	A-2	A-2
	適用技術	-	GM カウンター	NaI(Tl)シンチレーションカウンタ	NaI(Tl)シンチレーションカウンタ	NaI(Tl)シンチレーションカウンタ
	標準能力値	点/hr	2.88	50	50	50
	能力係数	-	30	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (30/86)

業務種別	情報	単位	空間測定	空間測定	空間測定	空間測定
表面測定作業	作業 ID 対象機器 部屋名称 作業名称	・ ・ ・ ・	XB-232 廃液タンク室 廃液タンク室 廃液タンク室 —空間測定	XB-233 固体廃棄物貯蔵室 固体廃棄物貯蔵室 固体廃棄物貯蔵室 —空間測定	XB-234 機械室 機械室 機械室 —空間測定	XB-235 制御室 制御室 制御室 —空間測定
	二次放射性廃棄物区分		$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A
	作業環境 放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装束	・	装束無し	装束無し	装束無し	装束無し
	作業効率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装束効率係数	・	1	1	1	1
	作業実施時間	hr/day	6	6	6	6
	人員構成 現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	11	13	6	4
資材費	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	管理区域解除確認	-	0	0	0	0
	測定点	点	252	298	117	61
	技術コード	-	A-2	A-2	A-2	A-2
	適用技術	-	NaI(Tl)シンチレーションカウンタ	NaI(Tl)シンチレーションカウンタ	NaI(Tl)シンチレーションカウンタ	NaI(Tl)シンチレーションカウンタ
	標準能力値	点/hr	50	50	50	50
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (31/86)

作業種類	情報	単位	空間測定	空間測定		
表面測定作業	作業 ID 対象機器 部署名称 作業名称	・ ・ ・ ・	XB-236 倉庫 倉庫 倉庫 —空間測定	XB-237 チェンジャー チェンジャー チェンジャー チェンジャー —空間測定		
	二次放射性廃棄物区分		Bγ-A	一般		
	作業環境 放射線管理区域区分	・	グリーン	nc		
	作業装備	・	装備無し	装備無し		
	作業能率係数	・	1	1		
	減衰係数	・	1	1		
	装備能率係数	・	1	1		
	作業実施時間	hr/day	6	7		
	人員構成 現場責任者数	人	1	1		
	放射線管理者数	人	1	1		
	作業班長数	人/班	1	1		
	作業者数	人/班	4	6		
	同時並行作業班数	班	1	1		
資材費	設備名称	・	無し	無し		
	特殊設備数	基	0	0		
	特殊設備単価	千円/基	0	0		
技術	管理区域解除確認	-	0	0		
	測定点	点	48	38		
	技術コード	-	A-2	A-2		
	適用技術	-	NaI(CI)シンチレーションカウンタ	NaI(CI)シンチレーションカウンタ		
	感測能力値	点/hr	50	50		
	能力係数	-	1	1		

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (32/86)

作業種類	情報	単位	中和槽用ダンプ 取外し	サンプリングボックス 取外し	PH自動調整器 取外し	定置槽の取外し
分解作業	作業 ID 対象機器 部署名称 作業名称	・ ・ ・ ・	B-54 中和槽用ダンプ 廃液処理室 中和槽用ダンプ分解	B-29 サンプリングボックス 廃液処理室 ダンプリフトダンプ取外し	B-19 PH自動調整器 廃液処理室 PH自動調整器取外し	B-35 定置槽 廃液処理室 定置槽取外し
	二次放射性廃棄物区分		Bγ-A	Bγ-A	Bγ-A	Bγ-A
	作業環境 放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	人員構成 現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	3	4	4	3
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	感測能力値	台/hr	0.43*	1	1	1
	能力係数	-	2	1	1	1

* 100kg の機器を標準とした

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (33/86)

作業種別	情報	単位	計量情報の取外し	オフガス凝縮器 取外し、移動	オフガスフィルタ 取外し、移動	オフガス707 取外し、移動
分解作業	作業 ID	・	XB-33	XB-41	XB-39	XB-43
	対象機器	・	計量槽	オフガス凝縮器	オフガスフィルタ	オフガス707
	部屋名称	・	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室
	作業名称	・	計量槽 一取外し	オフガス凝縮器 一取外し	オフガスフィルタ 一分解	オフガス707 一分解
	二次放射性廃棄物区分		B Y-A	B Y-A	B Y-A	B Y-A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	3	4	3	3
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準能力値	台/hr	1	1	0.29	0.43
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (34/86)

作業種別	情報	単位	エアリフトセパレータ 取外し、移動	蒸発缶洗浄用薬液廃液 タンク取外し、移動	中和槽除染装置 取外し	蒸気凝縮器 取外し
分解作業	作業 ID	・	XB-31	XB-106	XB-50	XB-110
	対象機器	・	エアリフトセパレータ	蒸発缶洗浄用薬液廃液タンク	中和槽除染装置	蒸気凝縮器
	部屋名称	・	廃液処理室	蒸発缶室	廃液処理室	蒸発缶室
	作業名称	・	エアリフトセパレータ 一取外し	蒸発缶洗浄用薬液廃液タンク 一取外し	中和槽除染装置 一取外し	蒸気凝縮器 一取外し
	二次放射性廃棄物区分		B Y-A	B Y-A	B Y-A	B Y-A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	2	9	3	4
	同時並行作業班数	班	1	2	2	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準能力値	台/hr	1	1	1	1
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (35/86)

作業種類	情報	単位	固化ボックス 解体	洗浄用受入れタンク 取外し	濃縮液受槽撤去 取外し	床排水ピットタンク 取外し
分解作業	作業 ID	・	XB-80	XB-104	XB-114	XB-141
	対象機器	・	固化ボックス	洗浄用受入れタンク	濃縮液受槽	床排水ピットタンク
	部屋名称	・	同化室	蒸発缶室	蒸発缶室	脱液タンク室
	作業名称	・	固化ボックス 一分解	洗浄用受入れタンク 一取外し	濃縮液受槽 一取外し	床排水ピットタンク 一取外し
	二次放射性廃棄物区分	・	B Y-A	B Y-A	B Y-A	B Y-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装束	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装束能率係数	・	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1
人員構成	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	4	4	9	5
	同時並行作業班数	班	1	2	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準能力値	台/hr	0.43	0.43	1	0.43
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (36/86)

作業種類	情報	単位	フィルタユニット(2)解体:	フィルタユニット(1)解体:	洗浄用薬液廃液 タンク用タンク取外し	
分解作業	作業 ID	・	XB-196	XB-198	XB-102	
	対象機器	・	フィルタユニット 2	フィルタユニット 1	洗浄用薬液廃液タンク用タンク	
	部屋名称	・	同化室	同化室	蒸発缶室	
	作業名称	・	フィルタユニット 2 一取外し	フィルタユニット 1 一取外し	洗浄用薬液廃液タンク用タンク 一取外し	
	二次放射性廃棄物区分	・	B Y-A	B Y-A	B Y-A	
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	
	作業装束	・	全面マスク	全面マスク	半面マスク	
	作業能率係数	・	1	1	1	
	減衰係数	・	1	1	1	
	装束能率係数	・	2	2	1.5	
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	
	現場責任者数	人	1	1	1	
人員構成	放射線管理者数	人	1	1	1	
	作業班長数	人/班	1	1	1	
	作業者数	人/班	4	4	4	
	同時並行作業班数	班	3	2	1	
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	
	特殊設備数	基	0	0	0	
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	
技術	標準能力値	台/hr	0.29	0.29	0.43	
	能力係数	-	1	1	1	

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (37/86)

作業種類	情報	単位	上澄水タンク用ポンプ 取り外し	放出予備タンク用ポンプ 取り外し	低レベル廃液タンク(B) 用ポンプ 取り外し	低レベル廃液タンク(A) 用ポンプ 取り外し
分解作業	作業 ID	・	XB-317	XB-319	XB-321	XB-323
	対象機器	・	上澄水タンク用ポンプ	放出予備タンク用ポンプ	低レベル廃液タンク(B)用ポンプ	低レベル廃液タンク(A)用ポンプ
	部屋名称	・	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室
	作業名称	・	上澄水タンク用ポンプ —取り外し	放出予備タンク用ポンプ —取り外し	低レベル廃液タンク(B)用ポンプ —取り外し	低レベル廃液タンク(A)用ポンプ —取り外し
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装束	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業効率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装束効率係数	・	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1
人員構成	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	5	5	5	5
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	標準能力値	台/hr	0.43	0.43	0.43	0.43
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (38/86)

作業種類	情報	単位	低レベル廃液タンク(C)用 ポンプ 取り外し	高レベル廃液タンク(B)用ポンプ 取り外し	高レベル廃液タンク(A)用ポンプ 取り外し	
分解作業	作業 ID	・	XB-325	XB-327	XB-329	
	対象機器	・	低レベル廃液タンク(C)用ポンプ	高レベル廃液タンク(B)用ポンプ	高レベル廃液タンク(A)用ポンプ	
	部屋名称	・	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	
	作業名称	・	低レベル廃液タンク(C)用ポンプ —取り外し	高レベル廃液タンク(B)用ポンプ —取り外し	高レベル廃液タンク(A)用ポンプ —取り外し	
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	
	作業装束	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	
	作業効率係数	・	1	1	1	
	減衰係数	・	1	1	1	
	装束効率係数	・	2	2	2	
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	
	現場責任者数	人	1	1	1	
人員構成	放射線管理者数	人	1	1	1	
	作業班長数	人/班	1	1	1	
	作業者数	人/班	5	5	5	
	同時並行作業班数	班	1	1	1	
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	
	特殊設備数	基	0	0	0	
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	
技術	標準能力値	台/hr	0.43	0.43	0.43	
	能力係数	-	1	1	1	

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (39/86)

作業種別	情報	単位	GH 内除染 (IF, DIF)	蒸発缶室 GH 内除染	固化室 GH 内除染	廃液タンク室 GH 内除染
表面除染作業	作業 ID	・	XB-167	XB-116	XB-82	XB-159
	対象機器	・	中和槽 GH	蒸発缶室 GH	固化室 GH	廃液タンク室 GH
	部屋名称	・	廃液処理室	蒸発缶室	固化室	廃液タンク
	作業名称	・	中和槽 GH —表面除染	蒸発缶室 GH —表面除染	固化室 GH —表面除染	廃液タンク室 GH —表面除染
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装束	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装束能率係数	・	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	4	5	4	4
	同時並行作業班数	班	4	3	2	3
	資材費					
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	技術コード	-	C-9	C-9	C-9	C-9
	適用技術	-	拭き取り除染法	拭き取り除染法	拭き取り除染法	拭き取り除染法
	除染面積	m ²	178.8	152.4	152.4	144
	標準能力値	m ² /h	240 * 1	240	160	180
	能力係数	-	1	1	1	1
	標準 DF	-	10	10	10	10
	目標 DF	-	10	10	10	10
	DF 補正係数	-	1	1	1	1
	除染回数	-	1	1	1	1
	適用 DF	-	10	10	10	10
二次廃液	運搬方式	-	無し	無し	無し	無し
	使用量	m ³ /h	0	0	0	0
	系内液量	m ³	0	0	0	0
	廃棄割合	%	0	0	0	0

*1: 標準能力 (20m²/人・h) × 作業者数 (人/班) × 4 班

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (40/86)

作業種別	情報	単位	汚染部の除去	再染検査、除去	通路 (地下) GH 内除染 (地下)	通路 IF GH 内除染 (IF)
表面除染作業	作業 ID	・	XB-210	XB-204	XB-298	XB-174
	対象機器	・	制御室	固体廃棄物貯蔵室	GH 内除染 (地下)	GH 内除染 (IF)
	部屋名称	・	制御室	固体廃棄物貯蔵室	通路地下	通路 IF
	作業名称	・	制御室 —除染	固体廃棄物貯蔵室 —除染	GH 内除染 (地下) —表面除染	GH 内除染 (IF) —表面除染
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	グリーン	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装束	・	半面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装束能率係数	・	1.5	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	6	5	5	5
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	4	7	3	3
	同時並行作業班数	班	1	1	3	3
	資材費					
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	技術コード	-	C-9	C-9	C-9	C-9
	適用技術	-	拭き取り除染法	拭き取り除染法	拭き取り除染法	拭き取り除染法
	除染面積	m ²	121.76	595.12	139.4	245.6
	標準能力値	m ² /hr	80	140	180	180
	能力係数	-	1	1	1	1
	標準 DF	-	10	10	10	10
	目標 DF	-	10	10	10	10
	DF 補正係数	-	1	1	1	1
	除染回数	-	1	1	1	1
	適用 DF	-	10	10	10	10
二次廃液	運搬方式	-	無し	無し	無し	無し
	使用量	m ³ /hr	0	0	0	0
	系内液量	m ³	0	0	0	0
	廃棄割合	%	0	0	0	0

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素)(41/86)

作業種類	情報	単位	架台 切断	中和槽 切断、移動	架台、ダレーンダ 切断	
線切断作業 (金属)	作業 ID	・	XB-45	XB-52	XB-112	
	対象機器	・	架台	中和槽	架台、ダレーンダ	
	部屋名称	・	廃液処理室	廃液処理室	蒸発係室	
	作業名称	・	架台 一線切断	中和槽 一線切断	架台、ダレーンダ 一線切断	
	二次放射性廃棄物区分		$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	
	作業装置	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	
	作業能率係数	・	1	1	1	
	減衰係数	・	1	1	1	
	装置能率係数	・	2	2	1.5	
	作業実施時間	hr/day	5	5	6	
	現場責任者数	人	1	1	1	
	放射線管理者数	人	1	1	1	
	作業班長数	人/班	1	1	1	
	作業者数	人/班	3	3	5	
	同時並行作業班数	班	1	3	1	
	設備名称	・	177 3X 7 切断装置	無し	無し	
	特殊設備数	基	1	0	0	
	特殊設備単価	千円/基	500	0	0	
二次廃液	運転方式	-	無し	無し	無し	
	使用量	m ³ /hr	0	0	0	
	系内液量	m ³	0	0	0	
	廃棄割合	%	0	0	0	
技術	技術コード	-	E-6	E-6	E-6	
	適用技術	-	177 3X 7 切断	177 3X 7 切断	177 3X 7 切断	
	標準能力値	m/hr	54	54	54	
	能力係数	-	1	1	1	
	解体片長	mm	3000	2150	3000	

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素)(42/86)

作業種類	情報	単位	上澄水タンク 切断	冷却機器 架台切断	排気筒切断 撤去	
線切断作業 (金属)	作業 ID	・	XB-143	XB-137	XB-309	
	対象機器	・	上澄水タンク	架台	排気筒	
	部屋名称	・	廃液タンク室	廃液タンク室	機械室	
	作業名称	・	上澄水タンク 一線切断	架台 一線切断	排気筒 一線切断	
	二次放射性廃棄物区分		$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	
	作業装置	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	
	作業能率係数	・	1	1	1	
	減衰係数	・	1	1	1	
	装置能率係数	・	2	2	1.5	
	作業実施時間	hr/day	5	5	6	
	現場責任者数	人	1	1	1	
	放射線管理者数	人	1	1	1	
	作業班長数	人/班	1	1	1	
	作業者数	人/班	5	14	9	
	同時並行作業班数	班	2	2	1	
	設備名称	・	高圧ジェット切断装置	無し	無し	
	特殊設備数	基	1	0	0	
	特殊設備単価	千円/基	75000	0	0	
二次廃液	運転方式	-	ワンスルー	無し	無し	
	使用量	m ³ /hr	0.37	0	0	
	系内液量	m ³	0	0	0	
	廃棄割合	%	0	0	0	
技術	技術コード	-	E-6	E-6	E-6	
	適用技術	-	高圧ジェット切断	177 3X 7 切断	177 3X 7 切断	
	標準能力値	m/hr	12	54	54	
	能力係数	-	1.3	1	1	
	解体片長	mm	3100	3000	3000	

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (43/86)

作業種類	情報	単位	放出予備タンク 切断	低レベル廃液貯留タンク 1 基 切断	低レベル廃液貯留タンク 1 基 切断	低レベル廃液貯留タンク C 1 基切断
線切断作業 (金属)	作業 ID	-	XB-145	XB-148	XB-150	XB-152
	対象機器	-	放出予備タンク	低レベル廃液貯留タンク B	低レベル廃液貯留タンク A	低レベル廃液貯留タンク C
	部屋名称	-	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室
	作業名称	-	放出予備タンク 一線切断	低レベル廃液貯留タンク B 一線切断	低レベル廃液貯留タンク A 一線切断	低レベル廃液貯留タンク C 一線切断
	二次放射性廃棄物区分	-	B Y-A	B Y-A	B Y-A	B Y-A
	放射線管理区域区分	-	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業範囲	-	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業効率係数	-	1	1	1	1
	減衰係数	-	1	1	1	1
	装備効率係数	-	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	人員構成	-	1	1	1	1
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	5	5	5	5
	同時並行作業班数	班	2	2	2	2
資材費	設備名称	-	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	二次廃液	-	ワンスルー	ワンスルー	ワンスルー	ワンスルー
技術	運転方式	-	0.37	0.37	0.37	0.37
	使用量	m ³ /hr	0	0	0	0
	系内液量	m ³	0	0	100	0
	廃棄割合	%	0	0	0	0
技術	技術コード	-	E-5	E-5	E-5	E-5
	適用技術	-	高圧ジェット切断	高圧ジェット切断	高圧ジェット切断	高圧ジェット切断
	標準能力値	m/hr	12	12	12	12
	能力係数	-	1.3	1.3	1.3	1.3
技術	解体片長	mm	3100	3100	3100	3100

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (44/86)

作業種類	情報	単位	高レベル廃液貯留タンク A 切断	高レベル廃液貯留タンク B 切断	高レベル配管 切断	低レベル配管 切断
線切断作業 (金属)	作業 ID	-	XB-154	XB-156	XB-21	XB-25
	対象機器	-	高レベル廃液貯留タンク A	高レベル廃液貯留タンク B	高レベル配管類	低レベル配管類
	部屋名称	-	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液処理室	廃液処理室
	作業名称	-	高レベル廃液貯留タンク A 一線切断	高レベル廃液貯留タンク B 一線切断	高レベル配管類 一配管切断	低レベル配管類 一配管切断
	二次放射性廃棄物区分	-	B Y-A	B Y-A	B Y-A	B Y-A
	放射線管理区域区分	-	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業範囲	-	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業効率係数	-	1	1	2*	2*
	減衰係数	-	1	1	1	1
	装備効率係数	-	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	人員構成	-	1	1	1	1
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	5	5	3	3
	同時並行作業班数	班	2	2	3	1
資材費	設備名称	-	無し	無し	ロータバンドソー	無し
	特殊設備数	基	0	0	4	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	83	0
	二次廃液	-	ワンスルー	ワンスルー	無し	無し
技術	運転方式	-	0.37	0.37	0	0
	使用量	m ³ /hr	0	0	0	0
	系内液量	m ³	0	0	0	0
	廃棄割合	%	100	0	0	0
技術	技術コード	-	E-5	E-5	E-5	E-5
	適用技術	-	高圧ジェット切断	高圧ジェット切断	ロータバンドソー切断	ロータバンドソー切断
	標準能力値	m/hr	12	12	30	30
	能力係数	-	1.33	1.3	1	1
技術	解体片長	mm	3100	3100	3000	3000

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (45/86)

作業種類	情報	単位	高レベル配管切断	低レベル配管切断	高レベル配管 (気送管含む) 切断	低レベル配管撤去、切断
小口低配管切断作業計画	作業 ID	・	XB-94	XB-98	XB-66	XB-70
	対象機器	・	高レベル配管類	低レベル配管類	高レベル配管類	低レベル配管類
	部屋名称	・	蒸発缶室	蒸発缶室	固化室	固化室
	作業名称	・	高レベル配管類一配管切断	低レベル配管類一配管切断	高レベル配管類一配管切断	低レベル配管類一配管切断
	二次放射性廃棄物区分	・	B Y-A	B Y-A	B Y-A	B Y-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業範囲	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	2*1	2*1	2*1	2*1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装置能率係数	・	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	人員構成	・	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	5	6	3	3
	同時並行作業班数	班	3	2	1	1
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
二次廃液	運転方式	・	無し	無し	無し	無し
	使用量	m ³ /hr	0	0	0	0
	系内液量	m ³	0	0	0	0
	廃棄割合	%	0	0	0	0
技術	技術コード	・	F-5	F-5	F-5	F-5
	適用技術	・	ロータバンドソー切断	ロータバンドソー切断	ロータバンドソー切断	ロータバンドソー切断
	標準能力値	面/hr	30	30	30	30
	能力係数	・	1	1	1	1
	解体片長	mm	3000	3000	3000	3000

* 1. B-21 に同じ

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (46/86)

作業種類	情報	単位	高レベル配管切断	低レベル配管切断		
小口低配管切断作業計画	作業 ID	・	XB-129	XB-133		
	対象機器	・	高レベル配管類	低レベル配管類		
	部屋名称	・	廃液タンク室	廃液タンク室		
	作業名称	・	高レベル配管類一配管切断	低レベル配管類一配管切断		
	二次放射性廃棄物区分	・	B Y-A	B Y-A		
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー		
	作業範囲	・	全面マスク	全面マスク		
	作業能率係数	・	2*1	2*1		
	減衰係数	・	1	1		
	装置能率係数	・	2	2		
	作業実施時間	hr/day	5	5		
	人員構成	・	1	1		
	放射線管理者数	人	1	1		
	作業班長数	人/班	1	1		
	作業者数	人/班	14	14		
	同時並行作業班数	班	2	2		
	設備名称	・	無し	無し		
	特殊設備数	基	0	0		
	特殊設備単価	千円/基	0	0		
技術	技術コード	・	F-5	F-5		
	適用技術	・	ロータバンドソー	ロータバンドソー		
	標準能力値	面/hr	30	30		
	能力係数	・	1	1		
	解体片長	mm	3000	3000		
	運転方式	・	無し	無し		
二次廃液	使用量	m ³ /hr	0	0		
	系内液量	m ³	0	0		
	廃棄割合	%	0	0		

* 1. B-21 に同じ

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (47/86)

作業種類	情報	単位	壁除去作業 C-4.5 通り	1F 仕切り壁 B,C-4 通り		
破壊作業	作業 ID	・	XB-123	XB-127		
	対象機器	・	壁	壁		
	部屋名称	・	壁	壁		
	作業名称	・	一破壊	一破壊		
	二次放射性廃棄物区分		$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A		
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー		
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク		
	作業能率係数	・	1	1		
	減衰係数	・	1	1		
	装備能率係数	・	2	2		
	作業実施時間	hr/day	5	5		
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1		
	放射線管理者数	人	1	1		
	作業班長数	人/班	1	1		
	作業者数	人/班	9	5		
	同時並行作業班数	班	1	1		
資材費	設備名称	・	コンクリートハンマ	無し		
	特殊設備数	基	1	0		
技術	特殊設備単価	千円/基	136	0		
	技術コード	-	H-6	H-6		
	適用技術	-	コンクリートハンマ破壊	コンクリートハンマ破壊		
	標準能力値	m ² /hr	0.35	0.35		
二次廃液	能力係数	-	1	1		
	運搬方式	-	無し	無し		
	使用量	m ³ /hr	0	0		
	系内液量	m ³	0	0		
	廃棄割合	%	0	0		

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (48/86)

作業種類	情報	単位	中和剤供給タンク 廃棄物搬出	薬品溶解槽 廃棄物搬出	蒸発後洗浄用薬液タンク 廃棄物搬出	コンプレッサ 廃棄物搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-3	XB-5	XB-9	XB-11
	対象機器	・	中和剤供給タンク	薬品溶解槽	蒸発後洗浄用薬液タンク	コンプレッサ
	部屋名称	・	廃液処理室	廃液処理室	蒸発後室	廃液処理室
	作業名称	・	中和剤供給タンク 一廃棄物搬出	薬品溶解槽 一廃棄物搬出	蒸発後洗浄用薬液タンク 一廃棄物搬出	コンプレッサ 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	半面マスク	半面マスク	半面マスク	半面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	1.5	1.5	1.5	1.5
	作業実施時間	hr/day	6	6	6	6
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	2	4	4	4
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
技術	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	一次放射性廃棄物区分	-	放射性でない	放射性でない	放射性でない	放射性でない
	収納容器価値	-	無し	無し	無し	無し
	収納容器充填重量	-	1	1	1	1
二次廃液	標準能力値	本/hr or kg/hr	500	500	500	500
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (49/86)

作業種類	情報	単位	中和槽用ダンプ 廃棄物搬出	架台 廃棄物搬出	シャッター前遮蔽体 撤去	
廃棄物搬出作業	作業 ID	-	XB-55	XB-46	XB-13	
	対象機器	-	中和槽用ダンプ	架台	シャッター前遮蔽体	
	部屋名称	-	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	
	作業名称	-	中和槽用ダンプ 一廃棄物搬出	架台 一廃棄物搬出	シャッター前遮蔽体 一廃棄物搬出	
	二次放射性廃棄物区分	-	βγ-A	βγ-A	βγ-A	
	放射線管理区域区分	-	アンバー	アンバー	アンバー	
	作業範囲	-	全面マスク	全面マスク	全面マスク	
	作業能率係数	-	1	1	1	
	減衰係数	-	1	1	1	
	装備能率係数	-	2	2	1.5	
	作業実施時間	hr/day	5	5	6	
	人員構成	-	-	-	-	
	現場責任者数	人	1	1	1	
	放射線管理者数	人	1	1	1	
	作業班長数	人/班	1	1	1	
	作業者数	人/班	6	5	4	
	同時並行作業班数	班	1	1	1	
資材費	設備名称	-	無し	無し	無し	
	特殊設備数	基	0	0	0	
技術	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	
	一次放射性廃棄物区分	-	βγ-A	βγ-A	放射性でない	
	収納容器種類	-	角型 19m ³	角型 19m ³	無し	
	収納容器充填重量	-	30000	30000	1	
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2(本/hr)	2(本/hr)	5000(kg/hr)	
	能力係数	-	1	1	1	

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (50/86)

作業種類	情報	単位	中和槽周囲遮蔽体 搬出	中和槽除染装置 搬出	中和槽 GII 搬出	
廃棄物搬出作業	作業 ID	-	XB-57	XB-51	XB-59	
	対象機器	-	中和槽周囲遮蔽体	中和槽除染装置	中和槽 GII	
	部屋名称	-	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	
	作業名称	-	中和槽周囲遮蔽体 一廃棄物搬出	中和槽除染装置 一廃棄物搬出	中和槽 GII 一廃棄物搬出	
	二次放射性廃棄物区分	-	βγ-A	βγ-A	βγ-A	
	放射線管理区域区分	-	アンバー	アンバー	アンバー	
	作業範囲	-	全面マスク	全面マスク	全面マスク	
	作業能率係数	-	1	1	1	
	減衰係数	-	1	1	1	
	装備能率係数	-	1.5	2	2	
	作業実施時間	hr/day	6	5	5	
	人員構成	-	-	-	-	
	現場責任者数	人	1	1	1	
	放射線管理者数	人	1	1	1	
	作業班長数	人/班	1	1	1	
	作業者数	人/班	8	3	3	
	同時並行作業班数	班	1	1	2	
資材費	設備名称	-	無し	無し	無し	
	特殊設備数	基	0	0	0	
技術	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	
	一次放射性廃棄物区分	-	放射性でない	βγ-A	βγ-A	
	収納容器種類	-	無し	角型 19m ³	角型 19m ³	
	収納容器充填重量	-	1	30000	10000	
	標準能力値	本/hr or kg/hr	500(kg/hr)	2(本/hr)	2(本/hr)	
	能力係数	-	5	1	1	

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (51/86)

作業種類	情報	単位	高レベル配管 発生、搬出	高レベル空気作動バルブ 搬出	低レベル配管 発生、搬出	遮蔽室搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-23	XB-24	XB-27	XB-15
	対象機器	・	高レベル配管類切断片	高レベル空気作動バルブ	低レベル配管類切断片	遮蔽室
	部屋名称	・	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	遮蔽室
	作業名称	・	高レベル配管類切断片 —廃棄物搬出	高レベル空気作動バルブ —廃棄物搬出	低レベル配管類切断片 —廃棄物搬出	遮蔽室 —廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	半面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	2	2	1.5
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	6
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	2	2	2	5
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
技術	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	一次放射性廃棄物区分	-	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	放射性でない
技術	収納容器種類	-	角型 19m ²	角型 19m ²	角型 19m ²	無し
	収納容器充填重量	-	30000	30000	30000	1
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2	2	2	500(kg/hr)
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (52/86)

作業種類	情報	単位	低レベル空気作動バルブ 搬出	サブリングボックス 発生、搬出	オフガス凝縮器 発生、搬出	自動中和装置 搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-28	XB-30	XB-42	XB-20
	対象機器	・	低レベル空気作動バルブ	サブリングボックス	オフガス凝縮器	自動中和装置
	部屋名称	・	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室
	作業名称	・	低レベル空気作動バルブ —廃棄物搬出	サブリングボックス —廃棄物搬出	オフガス凝縮器 —廃棄物搬出	自動中和装置 —廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A
	作業環境					
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	3	4	5	4
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
技術	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	一次放射性廃棄物区分	-	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A
技術	収納容器種類	-	角型 19m ²	角型 19m ²	角型 19m ²	角型 19m ²
	収納容器充填重量	-	30000	30000	30000	30000
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2	2	2	2
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (53/86)

作業種類	情報	単位	オフガスフィルタ 発生、搬出	オフガスプロア 発生、搬出	蒸発缶洗浄用薬液 廃タンク 発生、搬出	中和槽 発生、搬出	中和槽 発生、搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-40	XB-44	XB-107	XB-53	XB-289
	対象機器	・	オフガスフィルタ	オフガスプロア	蒸発缶洗浄用薬液廃タンク	中和槽切断片 A	中和槽切断片 B
	部組名称	・	廃液処理室	廃液処理室	蒸発缶室	廃液処理室	廃液処理室
	作業名称	・	オフガスフィルタ 一廃棄物搬出	オフガスプロア 一廃棄物搬出	蒸発缶洗浄用薬液廃タンク 一廃棄物搬出	中和槽切断片 A 一廃棄物搬出	中和槽切断片 B 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1	1
	装束能率係数	・	2	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1	1
	作業者数	人/班	6	6	8	8	8
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	-	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A
	収納容器種類	-	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³
	収納容器充填量	-	30000	30000	30000	30000	30000
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2	2	2	2	2
	能力係数	-	1	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (54/86)

作業種類	情報	単位	中和槽 発生、搬出	定置槽 発生、搬出	計量槽 発生、搬出	蒸発缶の搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-290	XB-36	XB-34	XB-92
	対象機器	・	中和槽切断片コーン部	定置槽	計量槽	蒸発缶
	部組名称	・	廃液処理室	廃液処理室	廃液処理室	蒸発缶室
	作業名称	・	中和槽切断片コーン部 一廃棄物搬出	定置槽 一廃棄物搬出	計量槽 一廃棄物搬出	蒸発缶 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装束能率係数	・	2	2	2	1.5
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	4
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	8	6	6	3
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	-	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	放射性でない
	収納容器種類	-	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³	無し
	収納容器充填量	-	30000	30000	30000	1
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2	2	2	500(kg/hr)
	能力係数	-	1	1	1	5

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (55/86)

作業種類	情報	単位	架台、グレーンゲ 搬出	洗浄用薬液廃液タンク用ポンプ 搬出	洗浄液受入れポンプ 搬去	蒸発缶室 G11 搬去
廃棄物搬出作業	作業 ID	-	XB-113	XB-103	XB-105	XB-119
	対象機器	-	架台、グレーンゲ	洗浄用薬液廃液タンク用ポンプ	洗浄液受入れポンプ	蒸発缶室 G11
	部品名称	-	蒸発缶室	蒸発缶室	蒸発缶室	蒸発缶室
	作業名称	-	架台、グレーンゲ 一廃棄物搬出	洗浄用薬液廃液タンク用ポンプ 一廃棄物搬出	洗浄液受入れポンプ 一廃棄物搬出	蒸発缶室 G11 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分	-	β γ-A	β γ-A	β γ-A	β γ-A
	放射線管理区域区分	-	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	-	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	-	1	1	1	1
	減衰係数	-	1	1	1	1
	装備能率係数	-	1.5	2	2	2
作業環境	作業実施時間	hr/day	6	5	5	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	9	3	3	3
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
	設備名称	-	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	一次放射性廃棄物区分	-	放射性でない	β γ-A	β γ-A	β γ-A
技術	収納容器種類	-	無し	角型 19m ³	角型 19m ³	200L ドラム缶
	収納容器充填重量	-	無し	30000	30000	50
	標準能力値	本/hr or kg/hr	500(kg/hr)	2(本/hr)	2(本/hr)	2(本/hr)
	能力係数	-	5	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (56/86)

作業種類	情報	単位	高レベル配管 発生、搬出	高レベル空気作動バルブ 搬出	低レベル配管 発生、搬出	エアリフトセパレータ 発生、搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	-	XB-96	XB-97	XB-100	XB-32
	対象機器	-	高レベル配管類切断片	高レベル空気作動バルブ	低レベル配管類切断片	エアリフトセパレータ
	部品名称	-	蒸発缶室	蒸発缶室	蒸発缶室	廃液処理室
	作業名称	-	高レベル配管類切断片 一廃棄物搬出	高レベル空気作動バルブ 一廃棄物搬出	低レベル配管類切断片 一廃棄物搬出	エアリフトセパレータ 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分	-	β γ-A	β γ-A	β γ-A	β γ-A
	放射線管理区域区分	-	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	-	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	-	1	1	1	1
	減衰係数	-	1	1	1	1
	装備能率係数	-	2	2	2	2
作業環境	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	7	3	7	3
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
	設備名称	-	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	一次放射性廃棄物区分	-	β γ-A	β γ-A	β γ-A	β γ-A
技術	収納容器種類	-	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³
	収納容器充填重量	-	30000	30000	30000	30000
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2	2	2	2
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (57/86)

作業種類	情報	単位	低レベル空気作動バルブ 放出	蒸気凝縮器 発生、放出	蒸発缶カラム部 発生、放出	蒸発缶 除去、放出
廃棄物搬出作業	作業 ID 対象機器 部屋名称 作業名称	・ ・ ・ ・	XB-101 低レベル空気作動バルブ 蒸発缶室 低レベル空気作動バルブ 一廃棄物搬出	XB-111 蒸気凝縮器 蒸発缶室 蒸気凝縮器 一廃棄物搬出	XB-109 蒸発缶カラム部 蒸発缶室 蒸発缶カラム部 一廃棄物搬出	XB-248 蒸発缶 廃棄物搬出 蒸発缶 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	2	2	1.5
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	6
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
放射線管理者数	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	3	4	3	4
	同時並行作業班数	班	1	1	2	1
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	一次放射性廃棄物区分	-	βγ-A	βγ-A	βγ-A	放射性でない
	収納容器種類	-	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³	無し
	収納容器充填重量	-	30000	30000	30000	1
技術	標準能力値	B/hr or kg/hr	2	2	2	500 (kg/hr)
	能力係数	-	1	1	1	5

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (58/86)

作業種類	情報	単位	濃縮液受槽 発生、放出	破壊塊片 廃棄物搬出	固化装置濃縮液 廃棄物搬出	蒸発缶 (リボイラ部) 発生、放出
廃棄物搬出作業	作業 ID 対象機器 部屋名称 作業名称	・ ・ ・ ・	XB-115 濃縮液受槽 蒸発缶室 濃縮液受槽 一廃棄物搬出	XB-124 壁 壁 壁 一廃棄物搬出	XB-75 固化装置濃縮液 固化室 固化装置濃縮液 一廃棄物搬出	XB-316 蒸発缶 (リボイラ部) 蒸発缶室 蒸発缶 (リボイラ部) 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	1.5	1.5	2
	作業実施時間	hr/day	5	6	6	5
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
放射線管理者数	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	4	9	8	2
	同時並行作業班数	班	1	1	1	2
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	一次放射性廃棄物区分	-	βγ-A	βγ-A	放射性でない	βγ-A
	収納容器種類	-	角型 19m ³	200Lドラム缶	無し	角型 19m ³
	収納容器充填重量	-	30000	100	1	30000
技術	標準能力値	B/hr or kg/hr	2	6 (B/hr)	500 (kg/hr)	2 (B/hr)
	能力係数	-	1	6	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (59/86)

作業種類	情報	単位	マイクロ波加熱 廃棄物搬出	架台 廃棄物搬出	添加剤ホッパ 廃棄物搬出	マイクロ波加熱装置 廃棄物搬出	乾燥溶解固化装置 廃棄物搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-64	XB-77	XB-79	XB-312	XB-314
	対象機器	・	マイクロ波加熱、操作盤	架台	添加剤ホッパ	マイクロ波加熱装置	乾燥溶解固化装置
	部屋名称	・	固化室	固化室	固化室	固化室	固化室
	作業名称	・	マイクロ波加熱、操作盤 一廃棄物搬出	架台 一廃棄物搬出	添加剤ホッパ 一廃棄物搬出	マイクロ波加熱装置 一廃棄物搬出	乾燥溶解固化装置 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	半面マスク	半面マスク	全面マスク	半面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1	1
	装置能率係数	・	1.5	1.5	2	1.5	2
	作業実施時間	hr/day	6	6	5	6	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1	1
人員構成	放射線管理者数	人	1	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1	1
	作業者数	人/班	5	7	5	3	3
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	-	放射性でない	放射性でない	βγ-A	放射性でない	βγ-A
	収納容器種類	-	無し	無し	角型 19m ³	無し	角型 19m ³
	収納容器充填重量	-	1	1	30000	1	30000
	標準能力値	本/hr or kg/hr	500 (kg/hr)	500 (kg/hr)	2(本/hr)	500 (kg/hr)	2(本/hr)
	能力係数	-	1	3	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (60/86)

作業種類	情報	単位	固化ボックス 廃棄物搬出	高レベル配管 発生、搬出	高レベル空気作動バルブ 搬出	1F 仕切り壁 (B, C-4 通り)廃棄物搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-81	XB-68	XB-69	XB-48
	対象機器	・	固化ボックス	高レベル配管類切断機	高レベル空気作動バルブ	壁
	部屋名称	・	固化室	固化室	固化室	壁
	作業名称	・	固化ボックス 一廃棄物搬出	高レベル配管類切断機 一廃棄物搬出	高レベル空気作動バルブ 一廃棄物搬出	壁 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装置能率係数	・	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1
人員構成	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	7	3	3	7
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	-	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	収納容器種類	-	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³	200L ドラム缶
	収納容器充填重量	-	30000	30000	30000	100
	標準能力値	本/hr or kg/hr	21	2	2	6
	能力係数	-	1	1	1	6

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (61/86)

	情報	単位	低レベル配管 発生、搬出	低レベル空気作動バルブ 搬出	遮蔽庫 搬去、搬出	壁貫通配管 廃棄物搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	.	XB-72	XB-73	XB-62	XB-87
	対象機器	.	低レベル配管切断断片	低レベル空気作動バルブ	遮蔽庫	壁貫通配管
	部屋名称	.	固化室	固化室	固化室	固化室
	作業名称	.	低レベル配管切断断片 一廃棄物搬出	低レベル空気作動バルブ 一廃棄物搬出	遮蔽庫 一廃棄物搬出	壁貫通配管 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		β γ -A	β γ -A	β γ -A	β γ -A
	放射線管理区域区分	.	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	.	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	.	1	1	1	1
	減衰係数	.	1	1	1	1
	装備能率係数	.	2	2	1.5	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	6	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	8	3	3	3
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	.	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	-	β γ -A	β γ -A	放射性でない	β γ -A
	収納容器種類	-	角型 19m ³	角型 19m ³	無し	角型 19m ³
	収納容器充填重量	-	30000	30000	1	30000
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2 (本/hr)	2 (本/hr)	500 (kg/hr)	2 (本/hr)
	能力係数	-	1	1	5	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (62/86)

	情報	単位	固化室 GH 搬出	ベントキャッチャー 07 廃棄物搬出	廃液タンク室 GH 搬去	洗浄用薬液タンク用ポンプ 廃棄物搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	.	XB-85	XB-127	XB-162	XB-7
	対象機器	.	固化室 GH	ベントキャッチャー 07	廃液タンク室 GH	洗浄用薬液タンク用ポンプ
	部屋名称	.	固化室	廃液タンク室	廃液タンク室	蒸発缶室
	作業名称	.	固化室 GH 一廃棄物搬出	ベントキャッチャー 07 一廃棄物搬出	廃液タンク室 GH 一廃棄物搬出	洗浄用薬液タンク用ポンプ 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		β γ -A	β γ -A	β γ -A	β γ -A
	放射線管理区域区分	.	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	.	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	.	1	1	1	1
	減衰係数	.	1	1	1	1
	装備能率係数	.	2	1.5	2	1.5
	作業実施時間	hr/day	5	6	5	6
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	5	5	3	4
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	.	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	-	β γ -A	放射性でない	β γ -A	放射性でない
	収納容器種類	-	200Lドラム缶	無し	200Lドラム缶	無し
	収納容器充填重量	-	50	1	50	1
	標準能力値	本/hr or kg/hr	6 (本/hr)	500 (kg/hr)	6 (本/hr)	500 (kg/hr)
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (63/86)

	情報	単位	廃棄物搬出	A. B-3~6 通り(1F) GH 搬去	A. B-3~6 通り (地下) GH 搬去	コールド機器搬去: 空調機搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	.	XB-138	XB-177	XB-301	XB-304
	対象機器	.	架台	通路 (1 F) GH	通路 (地下) GH	空調機
	部屋名称	.	廃液タンク室	通路 (1 F)	通路 (地下)	機坑室
	作業名称	.	架台	通路 (1 F) GH	通路 (地下) GH	空調機
		.	一廃棄物搬出	一廃棄物搬出	一廃棄物搬出	一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分	.	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	.	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	.	半面マスク	全面マスク	全面マスク	半面マスク
	作業能率係数	.	1	1	1	1
	減衰係数	.	1	1	1	1
作業環境	設備能率係数	.	1.5	2	2	1.5
	作業実施時間	hr/day	6	5	5	6
人員構成	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	9	3	3	3
資材費	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
	設備名称	.	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
技術	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	一次放射性廃棄物区分	-	βγ-A	βγ-A	βγ-A	放射線でない
	収納容器種類	-	角型 19m ³	200L ドラム缶	200L ドラム缶	無し
	収納容器充填重量	-	30000	50	50	1
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2	6 (本/hr)	6 (本/hr)	500(kg/hr)
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (64/86)

作業種類	情報	単位	高レベル配管 発生、搬出	壁貫通管 搬出	高レベル空気作動バルブ 搬出	低レベル配管 発生、搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	.	XB-131	XB-121	XB-132	XB-135
	対象機器	.	高レベル配管類切断片	壁貫通管	高レベル空気作動バルブ	低レベル配管類切断片
	部屋名称	.	廃液タンク室	蒸発缶室	廃液タンク室	廃液タンク室
	作業名称	.	高レベル配管類切断片	壁貫通管	高レベル空気作動バルブ	低レベル配管類切断片
		.	一廃棄物搬出	一廃棄物搬出	一廃棄物搬出	一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分	.	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	.	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	.	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	.	1	1	1	1
	減衰係数	.	1	1	1	1
作業環境	設備能率係数	.	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
人員構成	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	9	4	3	9
資材費	同時並行作業班数	班	2	1	1	2
	設備名称	.	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
技術	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	一次放射性廃棄物区分	-	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	収納容器種類	-	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³
	収納容器充填重量	-	30000	30000	30000	30000
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2(本/hr)	2	2(本/hr)	2(本/hr)
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (65/86)

作業種別	情報	単位	低レベル空気作動バルブ 放出	上澄水タンク切断片胴部 発生、放出	放出予備タンク切断片胴部 発生、放出	ビットポンプ 廃棄物放出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-136	XB-144	XB-146	XB-142
	対象機器	・	低レベル空気作動バルブ	上澄水タンク切断片胴部	放出予備タンク切断片胴部	ビットポンプ
	部屋名称	・	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室
	作業名称	・	低レベル空気作動バルブ 一廃棄物搬出	上澄水タンク切断片胴部 一廃棄物搬出	放出予備タンク切断片胴部 一廃棄物搬出	ビットポンプ 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		β γ-A	β γ-A	β γ-A	β γ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業効率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備効率係数	・	2	2	2	2
人員構成	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	3	5	5	4
資材費	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
技術	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	一次放射性廃棄物区分	-	β γ-A	β γ-A	β γ-A	β γ-A
	収納容器種類	-	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³
	収納容器充填重量	-	30000	30000	30000	30000
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2(本/hr)	2(本/hr)	2(本/hr)	2(本/hr)
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (66/86)

作業種別	情報	単位	ベントレーションの 発生、放出	低レベル廃液貯留タンク切断片胴部 (TK-62-GB) 発生、放出	高レベル廃液貯留タンク A 切断片胴部発生、放出	高レベル廃液貯留タンク B 切断片胴部発生、放出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-147	XB-149	XB-157	XB-155
	対象機器	・	ベントレーションの	低レベル廃液貯留タンク切断片胴部	高レベル廃液貯留タンク A 切断片胴部	高レベル廃液貯留タンク B 切断片胴部
	部屋名称	・	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室
	作業名称	・	ベントレーションの 一廃棄物搬出	低レベル廃液貯留タンク切断片胴部 一廃棄物搬出	高レベル廃液貯留タンク A 切断片胴部 一廃棄物搬出	高レベル廃液貯留タンク B 切断片胴部 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		β γ-A	β γ-A	β γ-A	β γ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業効率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備効率係数	・	2	2	2	2
人員構成	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	5	5	5	5
資材費	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
技術	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	一次放射性廃棄物区分	-	β γ-A	β γ-A	β γ-A	β γ-A
	収納容器種類	-	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³
	収納容器充填重量	-	30000	30000	30000	30000
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2	2	2	2
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (67/86)

作業種類	情報	単位	廃液スラッジ回収装置 搬出	給気ダクトの撤去	低レベル廃液貯留タンク 切断片胴部 (TK-62-GA)、 発生、搬出	低レベル廃液貯留タンク 切断片、胴部 (TK-62-GC)、 発生、搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-206	XB-181	XB-151	XB-153
	対象機器	・	廃液スラッジ回収装置	入気ダクト	低レベル廃液貯留タンク切断片胴部	低レベル廃液貯留タンク切断片胴部
	部屋名称	・	内体廃棄物貯蔵室	機械室	廃液タンク室	廃液タンク室
	作業名称	・	廃液スラッジ回収装置 一廃棄物搬出	入気ダクト 一廃棄物搬出	低レベル廃液貯留タンク切断片胴部 一廃棄物搬出	低レベル廃液貯留タンク切断片胴部 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	半面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	1.5	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	6	5	5
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	5	9	5	5
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
技術	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	一次放射性廃棄物区分	-	$\beta\gamma$ -A	放射性でない	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A
	収納容器種類	-	角型 19m ³	無し	角型 19m ³	角型 19m ³
	収納容器充填重量	-	30000	1	30000	30000
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2	500(kg/hr)	2	2
	能力係数	-	2	2	2	2

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (68/86)

作業種類	情報	単位	排気ダクトの撤去	コ-ホ 機器撤去: コンプレッサ	コ-ホ 機器撤去: 排風機 (1)	コ-ホ 機器撤去: 排風機 (2)
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-306	XB-183	XB-185	XB-187
	対象機器	・	排気ダクト	コンプレッサ	排風機 1	排風機 2
	部屋名称	・	機械室	機械室	機械室	機械室
	作業名称	・	排気ダクト 一廃棄物搬出	コンプレッサ 一廃棄物搬出	排風機 1 一廃棄物搬出	排風機 2 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	半面マスク	半面マスク	半面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	1.5	1.5	1.5
	作業実施時間	hr/day	5	6	6	6
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	9	4	4	4
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
技術	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	一次放射性廃棄物区分	-	$\beta\gamma$ -A	放射性でない	放射性でない	放射性でない
	収納容器種類	-	角型 19m ³	無し	無し	無し
	収納容器充填重量	-	30000	1	1	1
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2(本/hr)	500(kg/hr)	500(kg/hr)	500(kg/hr)
	能力係数	-	2	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (69/86)

作業種類	情報	単位	コ-射' 機器除去: 排風機 (3)	コ-射' 機器除去: 送風機 (1)	コ-射' 機器除去: 送風機 (2)	コ-射' 機器除去: 送風機 (3)
廃棄物搬出作業	作業 ID	.	XB-189	XB-191	XB-193	XB-195
	対象機器	.	排風機 3	送風機 1	送風機 2	送風機 3
	部屋名称	.	機械室	機械室	機械室	機械室
	作業名称	.	排風機 3 一廃棄物搬出	送風機 1 一廃棄物搬出	送風機 2 一廃棄物搬出	送風機 3 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A
	放射線管理区域区分	.	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業員数	.	半面マスク	半面マスク	半面マスク	半面マスク
	作業効率係数	.	1	1	1	1
	減衰係数	.	1	1	1	1
	装備効率係数	.	1.5	1.5	1.5	1.5
	作業実施時間	hr/day	6	6	6	6
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	6	4	4	6
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	.	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	-	放射性でない	放射性でない	放射性でない	放射性でない
	収納容器種類	-	無し	無し	無し	無し
	収納容器充填重量	-	1	1	1	1
	標準能力値	本/hr or kg/hr	500(kg/hr)	500(kg/hr)	500(kg/hr)	500(kg/hr)
	能力係数	-	2	1	1	2

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (70/86)

作業種類	情報	単位	フィルタユニット(2) 搬出	フィルタユニット (1) 搬出	コ-射' 機器除去: 制御盤 (1) 搬出	既貫通配管類の搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	.	XB-197	XB-199	XB-211	XB-165
	対象機器	.	フィルタユニット(2)	フィルタユニット(1)	制御盤(1)	既貫通配管類
	部屋名称	.	機械室	機械室	制御室	廃液タンク室
	作業名称	.	フィルタユニット(2) 一廃棄物搬出	フィルタユニット(1) 一廃棄物搬出	制御盤(1) 一廃棄物搬出	既貫通配管類 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A
	放射線管理区域区分	.	アンバー	アンバー	グリーン	アンバー
	作業員数	.	全面マスク	全面マスク	半面マスク	全面マスク
	作業効率係数	.	1	1	1	1
	減衰係数	.	1	1	1	1
	装備効率係数	.	2	2	1.5	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	6	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	4	4	6	3
	同時並行作業班数	班	2	2	1	1
資材費	設備名称	.	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	-	$\beta \gamma$ -A	$\beta \gamma$ -A	放射性でない	$\beta \gamma$ -A
	収納容器種類	-	角型 19m ²	角型 19m ²	無し	角型 19m ²
	収納容器充填重量	-	30000	30000	1	30000
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2(本/hr)	2(本/hr)	500(kg/hr)	2
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (71/86)

作業種類	情報	単位	上澄水タンク用ポンプ 放出	放出予備タンク用ポンプ 放出	低レベル廃液タンク(B)用 ポンプ 放出	低レベル廃液タンク(A)用 ポンプ 放出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-318	XB-320	XB-322	XB-324
	対象機器	・	上澄水タンク用ポンプ	放出予備タンク用ポンプ	低レベル廃液タンク(B)用ポンプ	低レベル廃液タンク(A)用ポンプ
	部屋名称	・	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室
	作業名称	・	上澄水タンク用ポンプ —廃棄物搬出	放出予備タンク用ポンプ —廃棄物搬出	低レベル廃液タンク(B)用ポンプ —廃棄物搬出	低レベル廃液タンク(A)用ポンプ —廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装束能率係数	・	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	5	5	5	5
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	-	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	収納容器種類	-	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³
	収納容器充填量	-	30000	30000	30000	30000
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2	2	2	2
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (72/86)

作業種類	情報	単位	低レベル廃液タンク(C)用ポンプ 放出	高レベル廃液タンク(B)用ポンプ 放出	高レベル廃液タンク(A)用ポンプ 放出	排気筒切断片 廃棄物搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-326	XB-328	XB-330	XB-310
	対象機器	・	低レベル廃液タンク(C)用ポンプ	高レベル廃液タンク(B)用ポンプ	高レベル廃液タンク(A)用ポンプ	排気筒切断片
	部屋名称	・	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	機械室
	作業名称	・	低レベル廃液タンク(C)用ポンプ —廃棄物搬出	高レベル廃液タンク(B)用ポンプ —廃棄物搬出	高レベル廃液タンク(A)用ポンプ —廃棄物搬出	排気筒切断片 —廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	装備無し
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装束能率係数	・	2	2	2	1
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	6
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	5	5	5	5
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	-	βγ-A	βγ-A	βγ-A	放射線でない
	収納容器種類	-	角型	角型	角型	無し
	収納容器充填量	-	30000	30000	30000	1
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2	2	2	500(kg/hr)
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (73/86)

作業種類	情報	単位	コ-ホﾞ 機器撤去: 制御盤(2)撤出	コ-ホﾞ 機器撤去: 制御盤(3)撤出	コ-ホﾞ 機器撤去: 制御盤(4)撤出	コ-ホﾞ 機器撤去: 動力盤撤出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-212	XB-213	XB-214	XB-215
	対象機器	・	制御盤 2	制御盤 3	制御盤 4	動力盤
	部屋名称	・	制御室	制御室	制御室	制御室
	作業名称	・	制御盤 2 一廃棄物搬出	制御盤 3 一廃棄物搬出	制御盤 4 一廃棄物搬出	動力盤 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン
	作業装備	・	半面マスク	半面マスク	半面マスク	半面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	1.5	1.5	1.5	1.5
	作業実施時間	hr/day	6	6	6	6
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	6	4	3	3
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	-	放射性でない	放射性でない	放射性でない	放射性でない
	収納容器種類	-	無し	無し	無し	無し
	収納容器充填量	-	1	1	1	1
	標準能力値	本/hr or kg/hr	500(kg/hr)	500(kg/hr)	500(kg/hr)	500(kg/hr)
	能力係数	-	2	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (74/86)

作業種類	情報	単位	コ-ホﾞ 機器撤去: 換気系撤出	ファン・グ・ホ-ム 設備機器撤出: 遮蔽体	廃液処理室 GII 撤去、搬出	既貫通配管 撤出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-216	XB-219	XB-170	XB-172
	対象機器	・	換気系	遮蔽体	廃液処理室 GII	既貫通配管
	部屋名称	・	制御室	ファン・グ・ホ-ム	廃液処理室	廃液処理室
	作業名称	・	換気系 一廃棄物搬出	遮蔽体 一廃棄物搬出	廃液処理室 GII 一廃棄物搬出	既貫通配管 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	一般	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	グリーン	nc	アンバー	アンバー
	作業装備	・	半面マスク	無し	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	1.5	1	2	2
	作業実施時間	hr/day	6	7	5	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	2	6	3	3
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	-	放射性でない	一般	βγ-A	βγ-A
	収納容器種類	-	無し	無し	200L ドラム缶	角型 19m3
	収納容器充填量	-	1	1	50	30000
	標準能力値	本/hr or kg/hr	500(kg/hr)	500(kg/hr)	6	2
	能力係数	-	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (75/86)

作業種類	情報	単位	高レベルバルブ 搬出	低レベルバルブ 搬出	高レベルバルブ 搬出	低レベルバルブ 搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-249	XB-250	XB-251	XB-252
	対象機器	・	高レベルバルブ	低レベルバルブ	高レベルバルブ	低レベルバルブ
	部屋名称	・	廃液処理室	廃液処理室	固化室	固化室
	作業名称	・	高レベルバルブ 一廃棄物搬出	低レベルバルブ 一廃棄物搬出	高レベルバルブ 一廃棄物搬出	低レベルバルブ 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装束	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業効率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装束効率係数	・	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	3	3	3	3
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	・	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	収納容器種類	・	角型 19m3	角型 19m3	角型 19m3	角型 19m3
	収納容器充填量	・	30000	30000	30000	30000
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2 (本/hr)	2 (本/hr)	2 (本/hr)	2 (本/hr)
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (76/86)

作業種類	情報	単位	高レベルバルブ 搬出	低レベルバルブ 搬出	高レベルバルブ 搬出	低レベルバルブ 搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-253	XB-254	XB-255	XB-256
	対象機器	・	高レベルバルブ	低レベルバルブ	高レベルバルブ	低レベルバルブ
	部屋名称	・	蒸発缶室	蒸発缶室	廃液タンク室	廃液タンク室
	作業名称	・	高レベルバルブ 一廃棄物搬出	低レベルバルブ 一廃棄物搬出	高レベルバルブ 一廃棄物搬出	低レベルバルブ 一廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装束	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業効率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装束効率係数	・	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	3	3	3	3
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	・	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	収納容器種類	・	角型 19m3	角型 19m3	角型 19m3	角型 19m3
	収納容器充填量	・	30000	30000	30000	30000
	標準能力値	本/hr or kg/hr	2 (本/hr)	2 (本/hr)	2 (本/hr)	2 (本/hr)
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (77/86)

作業種類	情報	単位	廃液タンク室 —コンクリート研削	廃液処理室B1F —コンクリート研削	蒸発缶室B1F —コンクリート研削	機械室 —コンクリート研削
はつり作業	作業ID	・	XB-257	XB-259	XB-261	XB-263
	対象機器	・	壁	壁	壁	壁
	部署名称	・	廃液タンク室	廃液処理室B1F	蒸発缶室B1F	機械室
	作業名称	・	壁 —研削	壁 —研削	壁 —研削	壁 —研削
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業範囲	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	4	4	4	4
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
二次廃液	運搬方式		無し	無し	無し	無し
	使用量	m ³ /hr	0	0	0	0
	系内液量	m ³	0	0	0	0
	廃棄割合	%	0	0	0	0
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	技術コード	・	G-2	G-2	G-2	G-2
	適用技術	・	研削機はつり	研削機はつり	研削機はつり	研削機はつり
	はつり面積	m ²	389	71.8	134	166.688
	標準能力値	m ² /hr	0.09*	0.09*	0.09*	0.09*
	能力係数	・	1	1	1	1
	1パスはつり深さ	mm	5	5	5	5
	はつり深さ	mm	30	30	30	10

*18m²/hr (はつり速度) × 0.005m (1パスでのはつり深さ)

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (78/86)

作業種類	情報	単位	固化室1F —コンクリート研削	蒸発缶室1F —コンクリート研削	制御室 —コンクリート研削	チェンジャーーム —コンクリート研削
はつり作業	作業ID	・	XB-273	XB-275	XB-277	XB-279
	対象機器	・	壁	壁	壁	壁
	部署名称	・	固化室	蒸発缶室	制御室	チェンジャーーム
	作業名称	・	壁 —研削	壁 —研削	壁 —研削	壁 —研削
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	一般
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	グリーン	非管理区域
	作業範囲	・	全面マスク	全面マスク	半面マスク	半面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	2	1.5	1.5
	作業実施時間	hr/day	5	5	6	6
	人員構成					
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	4	4	4	4
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
二次廃液	運搬方式	・	無し	無し	無し	無し
	使用量	m ³ /hr	0	0	0	0
	系内液量	m ³	0	0	0	0
	廃棄割合	%	0	0	0	0
技術	技術コード	・	G-2	G-2	G-2	G-2
	適用技術	・	研削機はつり	研削機はつり	研削機はつり	研削機はつり
	はつり面積	m ²	115.8	138	93.085	60.91
	標準能力値	m ² /hr	0.09*	0.09*	0.09*	0.09*
	能力係数	・	1	1	1	1
	1パスはつり深さ	mm	5	5	5	5
	はつり深さ	mm	30	30	10	10

*18m²/hr (はつり速度) × 0.005m (1パスでのはつり深さ)

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (79/86)

作業種類	情報	単位	倉庫 —コンクリート研削	廃液処理室B 1 F 前通路 —コンクリート研削	蒸発缶室B 1 F 前通路 —コンクリート研削	廃液処理室 1 F —コンクリート研削
はつり作業	作業 ID	・	XB-265	XB-267	XB-269	XB-271
	対象機器	・	壁	壁	壁	壁
	施設名称	・	廃液処理室B 1 F 前通路	蒸発缶室B 1 F 前通路	蒸発缶室B 1 F 前通路	廃液処理室
	作業名称	・	壁 —研削	壁 —研削	壁 —研削	壁 —研削
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	グリーン	アンバー	アンバー	アンバー
	作業時間	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装束能率係数	・	1.5	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	6	5	5	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	4	4	4	4
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
二次廃液	運搬方式	・	無し	無し	無し	無し
	使用量	m ³ /h	0	0	0	0
	系内液量	m ³	0	0	0	0
	廃液割合	%	0	0	0	0
技術	技術コード	・	G-2	G-2	G-2	G-2
	適用技術	・	研削機はつり	研削機はつり	研削機はつり	研削機はつり
	はつり面積	m ²	75.781	92.315	93.2	117.315
	標準能力値	m ² /hr	0.09*	0.09*	0.09*	0.09*
	能力係数	・	1	1	1	1
	1パスはつり深さ	mm	5	5	5	5
	はつり深さ	mm	10	10	10	30

*18m²/hr (はつり速度) × 0.005m (1パスでのはつり深さ)

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (80/86)

作業種類	情報	単位	廃液処理室 1 F 前通路 —コンクリート研削	固化室 1 F 前通路 —コンクリート研削	蒸発缶室 1 F 前通路 —コンクリート研削	固体廃棄物貯蔵室 —コンクリート研削	固体廃棄物貯蔵室(B1F) —コンクリート研削
はつり作業	作業 ID	・	XB-281	XB-283	XB-285	XB-287	XB-331
	対象機器	・	壁	壁	壁	壁	壁
	施設名称	・	廃液処理室 1 F 前通路	固化室 1 F 前通路	蒸発缶室 1 F 前通路	固体廃棄物貯蔵室	固体廃棄物貯蔵室(B1F)
	作業名称	・	壁 —研削	壁 —研削	壁 —研削	壁 —研削	壁 —研削
	二次放射性廃棄物区分		βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業時間	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1	1
	装束能率係数	・	2	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1	1
	作業者数	人/班	4	4	4	4	4
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1	1
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0	0
二次廃液	運搬方式	・	無し	無し	無し	無し	無し
	使用量	m ³ /h	0	0	0	0	0
	系内液量	m ³	0	0	0	0	0
	廃液割合	%	0	0	0	0	0
技術	技術コード	・	G-2	G-2	G-2	G-2	G-2
	適用技術	・	研削機はつり	研削機はつり	研削機はつり	研削機はつり	研削機はつり
	はつり面積	m ²	145.64	115.8	93.6	491.68	189
	標準能力値	m ² /hr	0.09*	0.09*	0.09*	0.09*	0.09*
	能力係数	・	1	1	1	1	1
	1パスはつり深さ	mm	5	5	5	5	5
	はつり深さ	mm	10	10	10	10	10

*18m²/hr (はつり速度) × 0.005m (1パスでのはつり深さ)

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (81/86)

作業種別	情報	単位	廃液タンク室 —コンクリート研削片 搬出	廃液処理室 (B1F) —コンクリート研削片 搬出	蒸発缶室 (B1F) —コンクリート研削片 搬出	機械室 —コンクリート研削片 搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID 対象機器 部屋名称 作業名称	・ ・ ・ ・	XB-258 コンクリート研削片 廃液タンク室 コンクリート研削片 —廃棄物搬出	XB-260 コンクリート研削片 廃液処理室 (B1F) コンクリート研削片 —廃棄物搬出	XB-262 コンクリート研削片 蒸発缶室 (B1F) コンクリート研削片 —廃棄物搬出	XB-264 コンクリート研削片 機械室 コンクリート研削片 —廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分	—	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業効率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	実働効率係数	・	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	人員構成	・	—	—	—	—
	現場責任者数	人	1	1	1	1
放射線管理者数	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	2	2	2	2
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	—	βγ-A	βγ-A	βγ-A	放射性でない
	収納容器種類	—	200Lドラム缶	200Lドラム缶	200Lドラム缶	無し
	収納容器積込量	—	100	100	100	1
	標準能力値	本/hr or kg/hr	6	6	6	500(kg/hr)
能力係数	能力係数	—	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (82/86)

作業種別	情報	単位	廃液処理室 (1F) 前通路 —コンクリート研削片 搬出	固化室前通路 (1F) —コンクリート研削片 搬出	蒸発缶室前通路 (1F) —コンクリート研削片 搬出	固体廃棄物貯蔵室 —コンクリート研削片 搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID 対象機器 部屋名称 作業名称	・ ・ ・ ・	XB-282 コンクリート研削片 廃液処理室 (1F) コンクリート研削片 —廃棄物搬出	XB-284 コンクリート研削片 固化室前通路 (1F) コンクリート研削片 —廃棄物搬出	XB-286 コンクリート研削片 蒸発缶室前通路 (1F) コンクリート研削片 —廃棄物搬出	XB-288 コンクリート研削片 固体廃棄物貯蔵室 コンクリート研削片 —廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分	—	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業効率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	実働効率係数	・	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	人員構成	・	—	—	—	—
	現場責任者数	人	1	1	1	1
放射線管理者数	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	2	2	2	2
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	—	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	収納容器種類	—	200Lドラム缶	200Lドラム缶	200Lドラム缶	200Lドラム缶
	収納容器積込量	—	100	100	100	100
	標準能力値	本/hr or kg/hr	6	6	6	6
能力係数	能力係数	—	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (83/86)

作業種別	情報	単位	倉庫 —コンクリート研削片 搬出	廃液処理室(B1F) —コンクリート研削片 搬出	蒸発缶室前通路(B1F) —コンクリート研削片 搬出	廃液処理室(B1F) —コンクリート研削片 搬出	固体廃棄物貯蔵室(B1F) —コンクリート研削片 搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-266	XB-268	XB-270	XB-272	XB-332
	対象機器	・	コンクリート研削片 倉庫	コンクリート研削片 廃液処理室(B1F)	コンクリート研削片 蒸発缶室前通路(B1F)	コンクリート研削片 廃液処理室 (1 F)	コンクリート研削片 固体廃棄物貯蔵室(B1F)
	部屋名称	・	コンクリート研削片 —廃棄物搬出	コンクリート研削片 —廃棄物搬出	コンクリート研削片 —廃棄物搬出	コンクリート研削片 —廃棄物搬出	コンクリート研削片 —廃棄物搬出
	作業名称	・					
	二次放射性廃棄物区分	・	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射線管理区域区分	・	グリーン	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	半面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1	1
	裝備能率係数	・	1.5	2	2	2	2
	作業実施時間	hr/day	6	5	5	5	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1	1
人員構成	放射線管理者数	人	1	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1	1
	作業者数	人/班	2	2	2	2	2
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	・	放射性でない	βγ-A	βγ-A	βγ-A	βγ-A
	放射容器積容量	・	無し	200Lドラム缶	200Lドラム缶	200Lドラム缶	200Lドラム缶
	放射容器積重量	kg/hr or	1	100	100	100	100
	標準能力値	kg/hr	500	6	6	6	6
	能力係数	・	1	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (84/86)

作業種別	情報	単位	固化室 —コンクリート研削片 搬出	蒸発缶室 (1 F) —コンクリート研削片 搬出	制御室 —コンクリート研削片 搬出	タンク/ドラム —コンクリート研削片 搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-274	XB-276	XB-278	XB-280
	対象機器	・	コンクリート研削片 固化室	コンクリート研削片 蒸発缶室 (1 F)	コンクリート研削片 制御室	コンクリート研削片 タンク/ドラム
	部屋名称	・	コンクリート研削片 —廃棄物搬出	コンクリート研削片 —廃棄物搬出	コンクリート研削片 —廃棄物搬出	コンクリート研削片 —廃棄物搬出
	作業名称	・				
	二次放射性廃棄物区分	・	βγ-A	βγ-A	βγ-A	一般
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	グリーン	非管理区域
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	半面マスク	半面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	裝備能率係数	・	2	2	1.5	1.5
	作業実施時間	hr/day	5	5	6	6
	現場責任者数	人	1	1	1	1
人員構成	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	2	2	2	2
	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
資材費	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
技術	一次放射性廃棄物区分	・	βγ-A	βγ-A	放射性でない	一般
	放射容器積容量	・	200Lドラム缶	200Lドラム缶	無し	無し
	放射容器積重量	kg/hr or	100	100	1	1
	標準能力値	kg/hr	6	6	500	500
	能力係数	・	1	1	1	1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (85/86)

作業種類	情報	単位	上澄水タンク 発生、搬出	放出予備タンク 発生、搬出	低レベル廃液貯留タンク (TK-62-6B) 発生、搬出	高レベル廃液貯留タンク A 発生、搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-201	XB-202	XB-203	XB-207
	対象機器	・	上澄水タンク切断片搬部	放出予備タンク切断片搬部	低レベル廃液貯留タンク切断片搬部	高レベル廃液貯留タンク A 切断片搬部
	部屋名称	・	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室
	作業名称	・	上澄水タンク切断片搬部 - 廃棄物搬出	放出予備タンク切断片搬部 - 廃棄物搬出	低レベル廃液貯留タンク切断片搬部 - 廃棄物搬出	高レベル廃液貯留タンク A 切断片搬部 - 廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分	-	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1	1
	装備能率係数	・	2	2	2	2
人員構成	作業実施時間	hr/day	5	5	5	5
	現場責任者数	人	1	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1	1
	作業者数	人/班	2	2	2	2
資材費	同時並行作業班数	班	1	1	1	1
	設備名称	・	無し	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0	0
技術	特殊設備単価	千円/基	0	0	0	0
	一次放射性廃棄物区分	-	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A
	収納容器種類	-	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³
	収納容器積重量	kg/hr or kg/hr	30000 2 1	30000 2 1	30000 2 1	30000 2 1

表 4-2 計算データ (個別作業計画要素) (86/86)

作業種類	情報	単位	高レベル廃液貯留タンク B 発生、搬出	低レベル廃液貯留タンク (TK-62-6A) 発生、搬出	低レベル廃液貯留タンク (TK-62-6C) 発生、搬出
廃棄物搬出作業	作業 ID	・	XB-296	XB-294	XB-295
	対象機器	・	高レベル廃液貯留タンク B 切断片搬部	低レベル廃液貯留タンク切断片搬部	低レベル廃液貯留タンク切断片搬部
	部屋名称	・	廃液タンク室	廃液タンク室	廃液タンク室
	作業名称	・	高レベル廃液貯留タンク B 切断片搬部 - 廃棄物搬出	低レベル廃液貯留タンク切断片搬部 - 廃棄物搬出	低レベル廃液貯留タンク切断片搬部 - 廃棄物搬出
	二次放射性廃棄物区分	-	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A
	放射線管理区域区分	・	アンバー	アンバー	アンバー
	作業装備	・	全面マスク	全面マスク	全面マスク
	作業能率係数	・	1	1	1
	減衰係数	・	1	1	1
	装備能率係数	・	2	2	2
人員構成	作業実施時間	hr/day	5	5	5
	現場責任者数	人	1	1	1
	放射線管理者数	人	1	1	1
	作業班長数	人/班	1	1	1
	作業者数	人/班	2	2	2
資材費	同時並行作業班数	班	1	1	1
	設備名称	・	無し	無し	無し
	特殊設備数	基	0	0	0
技術	特殊設備単価	千円/基	0	0	0
	一次放射性廃棄物区分	-	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A	$\beta\gamma$ -A
	収納容器種類	-	角型 19m ³	角型 19m ³	角型 19m ³
	収納容器積重量	kg/hr or kg/hr	30000 2 1	30000 2 1	30000 2 1

表 4-3 システム保有データ一覧

データ名称	分類	初期設定値	単位	
装備能率係数	装備無し	1	-	
	半面マスク	1.5	-	
	全面マスク	2	-	
	エアラインマスク	3	-	
装備作業実働時間	装備無し	7	hr	
	半面マスク	6	hr	
	全面マスク	5	hr	
	エアラインマスク	4	hr	
管理区域作業実働時間	レッド	4	hr	
	アンバー	6	hr	
	グリーン	6	hr	
	ホワイト	7	hr	
容器搬出速度	200Lドラム缶	6	本/hr	
	1m ³ 鋼製容器	2	本/hr	
	20L容器	12	本/hr	
	角型19m ³ 容器	2	本/hr	
一般廃棄物搬出速度		500	kg/hr	
分解速度	フィルタ類	0.29	台/hr	
	その他	0.43	台/hr	
人工単価	現場責任者	38	千円/man・day	
	放射線管理者	35	千円/man・day	
	作業班長	30	千円/man・day	
	作業者	28	千円/man・day	
一般資材費換算係数	ホワイト区域	3	千円/man・day	
	装備無し	3.5	千円/man・day	
	半面マスク	4	千円/man・day	
	全面マスク	4.5	千円/man・day	
	エアラインマスク	5	千円/man・day	
放射性廃棄物収納容器単価	200Lドラム缶	30	千円/本	
	1m ³ 鋼製容器	150	千円/本	
	20L容器	20	千円/本	
	角型19m ³ 容器	500	千円/本	
容器充填重量	200Lドラム缶	コンクリート	220	kg/本
		金属	780	kg/本
		その他	110	kg/本
	1m ³ 鋼製容器	コンクリート	1100	kg/本
		金属	3900	kg/本
		その他	550	kg/本
	20L容器	コンクリート	22	kg/本
		金属	20	kg/本
		その他	11	kg/本
	角型19m ³ 容器	金属	30000	Kg/本
放射性区分ボーダー	200Lドラム缶	最大α含有量	3.70E+08	Bq/容器
		α-B含有量	3.70E+08	Bq/容器
		α-A含有量	3.70E+05	Bq/容器
		βγ含有量	3.70E+09	Bq/容器
	1m ³ 鋼製容器	最大α含有量	1.85E+09	Bq/容器
		α-B含有量	1.85E+09	Bq/容器
		α-A含有量	1.85E+06	Bq/容器
		βγ含有量	1.85E+10	Bq/容器
	20L容器	最大α含有量	3.70E+07	Bq/容器
		α-B含有量	3.70E+07	Bq/容器
		α-A含有量	3.70E+04	Bq/容器
		βγ含有量	3.70E+08	Bq/容器
	角型19m ³ 容器	最大α含有量	3.50E+10	Bq/容器
		α-B含有量	3.50E+10	Bq/容器
		α-A含有量	3.50E+07	Bq/容器
		βγ含有量	3.50E+11	Bq/容器
	α表面線量当量率		0.5	mSv/hr
	βγ表面線量当量率		2	mSv/hr
2次廃棄物量換算係数	可燃性	1	kg/man・day	
	不燃性	1	kg/man・day	
20Lドラム缶・缶充填重量	可燃性	5	kg/個	
	不燃性	5	kg/個	
放射性管理区域解除ボーダー	表面汚染密度		Bq/m ³	
	空間線量率		mSv/hr	
管理区域解除認可取得期間		10	日	

表4-4 工数、被ばく、人工数(1/4)

作業ID	作業名称	対象機器	開始日	終了日	作業日数	被ばく線量 (man・mSv)	作業人員数	現場監督	放管	作業班長	作業員	合計 (人日)
b-1	廃液処理室	- 準備	0/1	0/3	3	5.60E+02	20	3	3	3	51	60
b-2	中和剤供給ポンプ	- 撤去	0/4	0/5	2	1.26E+02	6	2	2	2	6	12
b-3	中和剤供給ポンプ	- 廃棄物搬出	0/8	0/6	1	4.50E+00	5	1	1	1	2	5
b-4	薬品溶解槽	- 撤去	0/6	0/7	2	1.26E+02	6	2	2	2	6	12
b-5	薬品溶解槽	- 廃棄物搬出	0/8	0/8	1	4.62E+00	7	1	1	1	4	7
b-6	洗浄用薬液タンク用ポン	- 撤去	0/8	0/9	2	5.67E+02	6	2	2	2	6	12
b-7	洗浄用薬液タンク用ポン	- 廃棄物搬出	0/10	0/10	1	1.32E+01	7	1	1	1	4	7
b-8	蒸発缶洗浄用薬液タン	- 撤去	0/10	0/11	2	5.67E+02	6	2	2	2	6	12
b-9	蒸発缶洗浄用薬液タン	- 廃棄物搬出	0/12	0/12	1	4.16E+01	7	1	1	1	4	7
b-10	コンプレッサー	- 撤去	0/12	0/13	2	1.26E+02	6	2	2	2	6	12
b-11	コンプレッサー	- 廃棄物搬出	0/14	0/14	1	1.89E+01	7	1	1	1	4	7
b-247	遮蔽扉	- 撤去	0/14	0/15	2	1.68E+02	8	2	2	2	10	16
b-248	遮蔽扉	- 廃棄物搬出	0/16	0/16	1	1.41E+01	7	1	1	1	4	7
b-12	シャッター前遮蔽体	- 撤去	0/16	0/17	2	1.89E+02	9	2	2	2	12	18
b-13	シャッター前遮蔽体	- 廃棄物搬出	0/18	0/19	2	1.60E+02	7	2	2	2	8	14
b-14	遮蔽扉	- 撤去	0/18	0/19	2	1.89E+02	9	2	2	2	12	18
b-15	遮蔽扉	- 廃棄物搬出	0/20	0/20	1	5.76E+01	8	1	1	1	5	8
b-16	遮蔽体	- 養生	0/20	0/20	1	1.40E+02	20	1	1	1	3	15
b-17	遮蔽体	- 養生	1/1	1/1	1	2.03E+02	29	1	1	1	3	24
b-18	足場の設置	- rh設置	1/2	2/1	20	4.85E+03	21	20	20	20	360	420
b-19	ph自動調整器	- 撤去	2/2	2/4	3	1.96E+02	7	3	3	3	12	21
b-21	高レベル配管類	- 配管切断	2/5	2/5	1	8.21E+01	14	1	1	1	3	9
b-20	ph自動調整器	- 廃棄物搬出	2/5	2/5	1	1.40E+01	7	1	1	1	4	7
b-22	高レベル配管類	- 後始末	2/6	2/6	1	1.31E+02	14	1	1	1	3	9
b-23	高レベル配管類切断片	- 廃棄物搬出	2/7	2/7	1	1.20E+01	6	1	1	1	3	6
b-25	低レベル配管類	- 配管切断	2/7	2/7	1	4.32E+01	6	1	1	1	3	6
b-249	高レベルバルブ	- 廃棄物搬出	2/8	2/8	1	1.20E+01	6	1	1	1	3	6
b-24	高レベル空気作動バル	- 廃棄物搬出	2/9	2/9	1	1.20E+01	6	1	1	1	3	6
b-26	低レベル配管類	- 撤去	2/8	2/10	3	1.68E+02	6	3	3	3	9	18
b-27	低レベル配管類切断片	- 廃棄物搬出	2/11	2/11	1	1.20E+01	6	1	1	1	3	6
b-250	低レベルバルブ	- 廃棄物搬出	2/12	2/12	1	1.20E+01	6	1	1	1	3	6
b-28	低レベル空気作動バル	- 廃棄物搬出	2/13	2/13	1	1.20E+01	6	1	1	1	3	6
b-29	サンプリングボックス	- 取り外し	2/14	2/16	3	1.96E+02	7	3	3	3	12	21
b-30	サンプリングボックス	- 廃棄物搬出	2/17	2/17	1	1.40E+01	7	1	1	1	4	7
b-31	エアリフトセパレータ	- 取り外し	2/17	2/19	3	1.40E+02	5	3	3	3	6	15
b-32	エアリフトセパレータ	- 廃棄物搬出	2/20	2/20	1	1.20E+01	6	1	1	1	3	6
b-33	計量槽	- 取り外し	2/20	3/2	3	7.73E-01	6	3	3	3	9	18
b-34	計量槽	- 廃棄物搬出	3/3	3/3	1	8.30E-02	9	1	1	1	6	9
b-35	定置槽	- 取り外し	3/3	3/5	3	8.23E-01	6	3	3	3	9	18
b-36	定置槽	- 廃棄物搬出	3/6	3/6	1	1.80E-02	9	1	1	1	6	9
b-39	オフガスフィルタ	- 分解	3/7	3/8	2	8.28E+01	6	2	2	2	6	12
b-40	オフガスフィルタ	- 廃棄物搬出	3/9	3/9	1	1.80E+01	9	1	1	1	6	9
b-41	オフガス凝縮器	- 取り外し	3/9	3/11	3	1.96E+02	7	3	3	3	12	21
b-42	オフガス凝縮器	- 廃棄物搬出	3/12	3/12	1	1.60E+01	8	1	1	1	5	8
b-43	オフガスプロア	- 分解	3/12	3/13	2	1.12E+02	6	2	2	2	6	12
b-45	架台	- 線切断	3/14	3/14	1	1.96E+01	6	1	1	1	3	6
b-44	オフガスプロア	- 廃棄物搬出	3/14	3/14	1	1.80E+01	9	1	1	1	6	9
b-46	架台	- 廃棄物搬出	3/15	3/15	1	1.60E+01	8	1	1	1	5	8
b-60	固化室	- 準備	3/16	4/2	7	5.88E+01	7	7	7	7	28	49
b-61	遮蔽扉	- 後始末	4/3	4/4	2	1.89E+01	9	2	2	2	12	18
b-62	遮蔽扉	- 廃棄物搬出	4/5	4/5	1	1.21E+00	6	1	1	1	3	6
b-63	操作盤	- 撤去	4/5	4/6	2	1.26E+01	6	2	2	2	6	12
b-64	操作盤	- 廃棄物搬出	4/7	4/7	1	2.40E+00	8	1	1	1	5	8
b-311	マイクロ波発振器	- 後始末	4/7	4/8	2	1.05E+01	5	2	2	2	4	10
b-312	マイクロ波発振器	- 廃棄物搬出	4/9	4/9	1	3.96E-01	6	1	1	1	3	6
b-65	固化室rh	- rh設置	4/9	5/6	18	1.89E+02	9	18	18	18	108	162
b-66	高レベル配管類	- 配管切断	5/7	5/7	1	9.60E-01	6	1	1	1	3	6
b-67	高レベル配管類	- 後始末	5/8	5/10	3	1.68E+01	6	3	3	3	9	18
b-68	高レベル配管類切断片	- 廃棄物搬出	5/11	5/11	1	1.20E+00	6	1	1	1	3	6
b-70	低レベル配管類	- 配管切断	5/11	5/12	2	1.17E+01	6	2	2	2	6	12
b-251	高レベルバルブ	- 廃棄物搬出	5/12	5/12	1	1.20E+00	6	1	1	1	3	6
b-69	高レベル空気作動バル	- 廃棄物搬出	5/13	5/13	1	1.20E+00	6	1	1	1	3	6
b-71	低レベル配管類	- 後始末	5/13	5/15	3	1.68E+01	6	3	3	3	9	18
b-72	低レベル配管類切断片	- 廃棄物搬出	5/16	5/16	1	2.20E+00	11	1	1	1	8	11
b-252	低レベルバルブ	- 廃棄物搬出	5/17	5/17	1	1.20E+00	6	1	1	1	3	6
b-73	低レベル空気作動バル	- 廃棄物搬出	5/18	5/18	1	1.20E+00	6	1	1	1	3	6
b-74	固化装置遮蔽体	- 撤去	5/19	5/20	2	1.68E+01	8	2	2	2	10	16
b-75	固化装置遮蔽体	- 廃棄物搬出	6/1	6/1	1	5.61E+00	11	1	1	1	8	11
b-76	架台	- 撤去	6/1	6/2	2	1.68E+01	8	2	2	2	10	16
b-77	架台	- 廃棄物搬出	6/3	6/3	1	2.00E+00	10	1	1	1	7	10
b-78	添加剤ホッパ	- 撤去	6/3	6/5	3	1.96E+01	7	3	3	3	12	21
b-79	添加剤ホッパ	- 廃棄物搬出	6/6	6/6	1	1.60E+00	8	1	1	1	5	8
b-313	乾燥熔融固化装置本体	- 撤去	6/6	6/8	3	3.72E+00	7	3	3	3	12	21
b-80	固化ボックス	- 分解	6/9	6/9	1	6.51E+00	7	1	1	1	4	7
b-314	乾燥熔融固化装置本体	- 廃棄物搬出	6/9	6/9	1	2.28E-01	6	1	1	1	3	6
b-82	固化室rh	- 表面除染	6/10	6/10	1	2.29E+00	12	1	1	1	2	8
b-81	固化ボックス	- 廃棄物搬出	6/10	6/10	1	2.00E+00	10	1	1	1	7	10
b-83	固化室rh	- 表面測定	6/11	6/11	1	3.76E+00	16	1	1	1	2	12
b-84	固化室rh	- rh撤去	6/12	6/14	3	2.52E+01	9	3	3	3	18	27
b-85	固化室rh	- 廃棄物搬出	6/15	6/15	1	1.07E+00	8	1	1	1	5	8
b-86	固化室	- 残配管除去	6/15	6/17	3	1.96E+01	7	3	3	3	12	21
b-87	壁貫通配管	- 廃棄物搬出	6/18	6/18	1	1.20E+00	6	1	1	1	3	6
b-88	固化室	- 表面測定	6/18	6/19	2	1.60E+01	10	2	2	2	14	20
b-89	固化室	- 仮設足場の設置	6/20	7/3	4	3.78E+01	9	4	4	4	24	36
b-47	壁IF	- 破壊	7/4	7/11	8	6.28E+02	8	8	8	8	40	64
b-48	壁IF	- 廃棄物搬出	7/12	7/13	2	1.80E+02	10	2	2	2	14	20
b-49	中和槽rh	- rh設置	7/12	7/13	2	5.88E+02	28	2	2	2	4	56

表4-4 工数、被ばく、人工数(2/4)

作業ID	作業名称	対象機器	開始日	終了日	作業日数	被ばく量 (man·mSv)	作業人数	現場監督	放管	作業班長	作業者	合計 (人日)
b-50	中和槽除染装置	- 取り外し	中和槽除染装置	7/14	7/15	2	1.40E+02	10	2	2	4	12
b-52	中和槽	- 線切断	中和槽	7/16	7/16	1	1.46E+00	14	1	1	3	9
b-51	中和槽除染装置	- 廃棄物搬出	中和槽除染装置	7/16	7/16	1	1.20E+01	6	1	1	1	3
b-54	中和槽用ポンプ	- 分解	中和槽用ポンプ	7/17	7/17	1	2.79E+01	6	1	1	1	3
b-53	中和槽本体切断片a	- 廃棄物搬出	中和槽本体切断片a	7/17	7/17	1	8.14E+00	11	1	1	1	8
b-289	中和槽本体切断片b	- 廃棄物搬出	中和槽本体切断片b	7/18	7/18	1	5.39E+00	11	1	1	1	8
b-290	中和槽切断片コーン部	- 廃棄物搬出	中和槽切断片コーン部	7/19	7/19	1	2.32E+02	11	1	1	1	8
b-56	中和槽周囲遮蔽体	- 撤去	中和槽周囲遮蔽体	7/18	7/20	3	2.52E+02	9	3	3	3	18
b-55	中和槽用ポンプ	- 廃棄物搬出	中和槽用ポンプ	7/20	7/20	1	1.80E+01	9	1	1	1	6
b-58	中和槽rh	- rh撤去	中和槽rh	8/1	8/2	2	1.96E+02	14	2	2	4	20
b-57	中和槽周囲遮蔽体	- 廃棄物搬出	中和槽周囲遮蔽体	8/1	8/3	3	3.60E+02	11	3	3	3	24
b-59	中和槽rh	- 廃棄物搬出	中和槽rh	8/4	8/4	1	6.67E+00	10	1	1	2	6
b-90	蒸発缶	- 準備	蒸発缶	8/5	8/11	7	4.16E+03	11	7	7	7	56
b-91	遮蔽扉	- 撤去	遮蔽扉	8/12	8/13	2	8.51E+02	9	2	2	2	12
b-92	遮蔽扉	- 廃棄物搬出	遮蔽扉	8/14	8/14	1	1.09E+02	6	1	1	1	3
b-93	蒸発缶rh	- rh設置	蒸発缶rh	8/14	8/15	2	2.08E+03	20	2	2	2	34
b-94	高レベル配管類	- 配管切断	高レベル配管類	8/16	8/16	1	3.04E+02	20	1	1	3	15
b-95	高レベル配管類	- 後始末	高レベル配管類	8/17	8/17	1	8.40E+02	20	1	1	3	15
b-96	高レベル配管類切断片	- 廃棄物搬出	高レベル配管類切断片	8/18	8/18	1	9.00E+01	10	1	1	1	7
b-98	低レベル配管類	- 配管切断	低レベル配管類	8/18	8/19	2	7.87E+02	16	2	2	4	24
b-253	高レベルバルブ	- 廃棄物搬出	高レベルバルブ	8/19	8/19	1	5.40E+01	6	1	1	1	3
b-97	高レベル空気作動バルブ	- 廃棄物搬出	高レベル空気作動バルブ	8/20	8/20	1	5.40E+01	6	1	1	1	3
b-99	低レベル配管類	- 後始末	低レベル配管類	8/20	9/1	2	1.93E+03	23	2	2	6	36
b-100	低レベル配管類切断片	- 廃棄物搬出	低レベル配管類切断片	9/2	9/2	1	9.00E+01	10	1	1	1	7
b-254	低レベルバルブ	- 廃棄物搬出	低レベルバルブ	9/3	9/3	1	5.40E+01	6	1	1	1	3
b-101	低レベル空気作動バルブ	- 廃棄物搬出	低レベル空気作動バルブ	9/4	9/4	1	5.40E+01	6	1	1	1	3
b-102	洗浄用薬液貯留タンク用ポンプ	- 分解	洗浄用薬液貯留タンク用ポンプ	9/5	9/5	1	2.20E+02	7	1	1	1	4
b-104	洗浄液受入れポンプ	- 分解	洗浄液受入れポンプ	9/6	9/6	1	2.51E+02	12	1	1	2	8
b-103	洗浄用薬液タンク用ポンプ	- 廃棄物搬出	洗浄用薬液タンク用ポンプ	9/6	9/6	1	5.40E+01	6	1	1	1	3
b-105	洗浄液受入れポンプ	- 廃棄物搬出	洗浄液受入れポンプ	9/7	9/7	1	5.40E+01	6	1	1	1	3
b-106	蒸発缶洗浄用薬液タンク	- 取り外し	蒸発缶洗浄用薬液タンク	9/7	9/8	2	1.85E+02	22	2	2	4	36
b-107	蒸発缶洗浄用薬液タンク	- 廃棄物搬出	蒸発缶洗浄用薬液タンク	9/9	9/9	1	1.32E+01	11	1	1	1	8
b-108	蒸発缶カラム部	- 取り外し	蒸発缶カラム部	9/9	9/10	2	4.41E+00	10	2	2	4	12
b-109	蒸発缶カラム部	- 廃棄物搬出	蒸発缶カラム部	9/11	9/11	1	3.15E-01	10	1	1	2	6
b-315	蒸発缶リボイラー部	- 取り外し	蒸発缶リボイラー部	9/11	9/12	2	1.90E+00	8	2	2	4	8
b-316	蒸発缶リボイラー部	- 廃棄物搬出	蒸発缶リボイラー部	9/13	9/13	1	1.36E-01	8	1	1	2	4
b-110	蒸気凝縮器	- 取り外し	蒸気凝縮器	9/13	9/15	3	8.82E+02	7	3	3	3	12
b-112	架台グレーチング	- 線切断	架台グレーチング	9/16	9/16	1	3.62E+01	8	1	1	1	5
b-111	蒸気凝縮器	- 廃棄物搬出	蒸気凝縮器	9/16	9/16	1	6.30E+01	7	1	1	1	4
b-113	架台グレーチング	- 廃棄物搬出	架台グレーチング	9/17	9/17	1	1.94E+02	12	1	1	1	9
b-114	凝縮液受槽	- 取り外し	凝縮液受槽	9/17	9/19	3	8.40E+01	12	3	3	3	27
b-115	凝縮液受槽	- 廃棄物搬出	凝縮液受槽	9/20	9/20	1	3.50E+00	7	1	1	1	4
b-116	蒸発缶rh	- 表面除染	蒸発缶rh	10/1	10/1	1	7.62E+01	20	1	1	3	15
b-117	蒸発缶rh	- 表面測定	蒸発缶rh	10/2	10/2	1	2.22E+02	14	1	1	2	10
b-118	蒸発缶rh	- rh撤去	蒸発缶rh	10/3	10/5	3	1.13E+03	9	3	3	3	18
b-119	蒸発缶rh	- 廃棄物搬出	蒸発缶rh	10/6	10/6	1	3.60E+01	6	1	1	1	3
b-120	蒸発缶室	- 残配管除去	蒸発缶室	10/6	10/8	3	1.01E+03	8	3	3	3	15
b-121	壁貫通配管	- 廃棄物搬出	低レベル配管類切断片	10/9	10/9	1	6.30E+01	7	1	1	1	4
b-122	蒸発缶室	- 表面測定	蒸発缶室	10/9	10/10	2	9.15E+02	12	2	2	2	18
b-123	壁地下	- 破壊	壁地下	10/11	10/14	4	7.82E+01	12	4	4	4	36
b-124	壁地下	- 廃棄物搬出	壁地下	10/15	10/15	1	1.34E+01	12	1	1	1	9
b-125	廃液タンク室	- 準備	廃液タンク室	10/15	10/18	4	1.01E+02	12	4	4	4	36
b-126	ベントコレクションブロア	- 撤去	ベントコレクションブロア	10/19	10/20	2	3.36E+01	8	2	2	2	10
b-127	ベントコレクションブロア	- 廃棄物搬出	ベントコレクションブロア	11/1	11/1	1	1.25E-01	8	1	1	1	5
b-128	廃液タンク室rh	- rh設置	廃液タンク室rh	11/1	11/20	20	9.70E+02	21	20	20	20	360
b-129	高レベル配管類	- 配管切断	高レベル配管類	12/1	12/2	2	1.24E+02	32	2	2	4	56
b-130	高レベル配管類	- 撤去	高レベル配管類	12/3	12/8	6	2.46E+02	22	6	6	12	108
b-131	高レベル配管類切断片	- 廃棄物搬出	高レベル配管類切断片	12/9	12/9	1	4.40E+00	22	1	1	2	18
b-133	低レベル配管類	- 配管切断	低レベル配管類	12/9	12/10	2	9.22E+01	32	2	2	4	56
b-255	高レベルバルブ	- 廃棄物搬出	高レベルバルブ	12/10	12/10	1	2.40E+00	6	1	1	1	3
b-132	高レベル空気作動バルブ	- 廃棄物搬出	高レベル空気作動バルブ	12/11	12/11	1	2.40E+00	6	1	1	1	3
b-134	低レベル配管類	- 撤去	低レベル配管類	12/11	12/13	3	1.23E+02	22	3	3	6	54
b-135	低レベル配管類切断片	- 廃棄物搬出	低レベル配管類切断片	12/14	12/14	1	4.40E+00	22	1	1	2	18
b-137	架台	- 線切断	架台	12/14	12/14	1	2.02E+01	32	1	1	2	28
b-256	低レベルバルブ	- 廃棄物搬出	低レベルバルブ	12/15	12/15	1	2.40E+00	6	1	1	1	3
b-136	低レベル空気作動バルブ	- 廃棄物搬出	低レベル空気作動バルブ	12/16	12/16	1	2.40E+00	6	1	1	1	3
b-138	架台	- 廃棄物搬出	架台	12/17	12/17	1	3.60E+00	12	1	1	1	9
b-139	タンク切断用rh	- rh設置	タンク切断用rh	12/18	13/17	20	9.70E+02	21	20	20	20	360
b-140	ベントコレクションタンク	- 取り外し	ベントコレクションタンク	13/18	13/20	3	3.36E+00	8	3	3	3	15
b-141	床排水ピットポンプ	- 取り外し	床排水ピットポンプ	14/1	14/2	2	2.98E+01	8	2	2	2	10
b-317	上澄水タンク用ポンプ	- 取り外し	上澄水タンク用ポンプ	14/3	14/3	1	1.49E+01	8	1	1	1	5
b-142	床排水ピットポンプ	- 廃棄物搬出	床排水ピットポンプ	14/3	14/3	1	2.80E+00	7	1	1	1	4
b-143	上澄水タンク	- 線切断	上澄水タンク	14/4	14/4	1	2.30E+00	14	1	1	2	10
b-318	上澄水タンク用ポンプ	- 廃棄物搬出	上澄水タンク用ポンプ	14/4	14/4	1	3.20E+00	8	1	1	1	5
b-319	放出予備タンク用ポンプ	- 取り外し	放出予備タンク用ポンプ	14/5	14/5	1	1.49E+01	8	1	1	1	5
b-144	上澄水タンク切断片胴	- 廃棄物搬出	上澄水タンク切断片胴部	14/5	14/5	1	2.80E+01	8	1	1	1	5
b-145	放出予備タンク	- 線切断	放出予備タンク	14/6	14/6	1	2.30E+00	14	1	1	2	10
b-291	上澄水タンク切断片鏡	- 廃棄物搬出	上澄水タンク切断片鏡部	14/6	14/6	1	2.95E+00	5	1	1	1	2
b-320	放出予備タンク用ポンプ	- 廃棄物搬出	放出予備タンク用ポンプ	14/7	14/7	1	3.20E+00	8	1	1	1	5
b-146	放出予備タンク切断片	- 廃棄物搬出	放出予備タンク切断片胴	14/8	14/8	1	2.80E+01	8	1	1	1	5
b-292	放出予備タンク切断片	- 廃棄物搬出	放出予備タンク切断片鏡	14/9	14/9	1	4.13E+00	7	1	1	1	4
b-147	ベントコレクションタンク	- 廃棄物搬出	ベントコレクションタンク	14/10	14/10	1	2.40E-01	8	1	1	1	5
b-321	低レベル廃液タンクB用ポンプ	- 取り外し	低レベル廃液タンクB用ポンプ	14/11	14/11	1	1.49E+01	8	1	1	1	5
b-148	低レベル廃液貯留タンク	- 線切断	低レベル廃液貯留タンクB	14/12	14/12	1	2.98E+00	14	1	1	2	10

表4-4 工数、被ばく、人工数(3/4)

作業 ID	作業名称	対象機器	開始日	終了日	作業 日数	被ばく線量 (man・mSv)	作業人 員数	現場 監督	放管	作業 班長	作業 者	合計 (人日)
b-322	低レベル廃液タンクB用 - 廃棄物搬出 ポンプ	低レベル廃液タンクB用ポンプ	14/12	14/12	1	3.20E+00	8	1	1	1	5	8
b-323	低レベル廃液タンクA用 - 取り外し ポンプ	低レベル廃液タンクA用ポンプ	14/13	14/13	1	1.49E+01	8	1	1	1	5	8
b-149	低レベル廃液貯留タンク - 廃棄物搬出 B切断片胴部	低レベル廃液貯留タンクB切断片胴部	14/13	14/13	1	2.88E+01	8	1	1	1	5	8
b-150	低レベル廃液貯留タンク - 線切断	低レベル廃液貯留タンクA	14/14	14/14	1	2.98E+00	14	1	1	2	10	14
b-293	低レベル廃液貯留タンク - 廃棄物搬出 B切断片鏡部	低レベル廃液貯留タンクB切断片鏡部	14/14	14/14	1	4.05E+00	5	1	1	1	2	5
b-325	低レベル廃液タンクC用 - 取り外し ポンプ	低レベル廃液タンクC用ポンプ	14/15	14/15	1	1.49E+01	8	1	1	1	5	8
b-324	低レベル廃液タンクA用 - 廃棄物搬出 ポンプ	低レベル廃液タンクA用ポンプ	14/15	14/15	1	3.20E+00	8	1	1	1	5	8
b-152	低レベル廃液貯留タンク - 線切断	低レベル廃液貯留タンクC	14/16	14/16	1	2.98E+00	14	1	1	2	10	14
b-151	低レベル廃液貯留タンク - 廃棄物搬出 A切断片胴部	低レベル廃液貯留タンクA切断片胴部	14/16	14/16	1	1.44E+01	8	1	1	1	5	8
b-327	高レベル廃液タンクB用 - 取り外し ポンプ	高レベル廃液タンクB用ポンプ	14/17	14/17	1	1.49E+01	8	1	1	1	5	8
b-294	低レベル廃液貯留タンク - 廃棄物搬出 A切断片鏡部	低レベル廃液貯留タンクA切断片鏡部	14/17	14/17	1	4.05E+00	5	1	1	1	2	5
b-326	低レベル廃液タンクC用 - 廃棄物搬出 ポンプ	低レベル廃液タンクC用ポンプ	14/18	14/18	1	3.20E+00	8	1	1	1	5	8
b-156	高レベル廃液貯留タンク - 線切断	高レベル廃液貯留タンクB	14/18	14/18	1	3.96E+00	14	1	1	2	10	14
b-153	低レベル廃液貯留タンク - 廃棄物搬出 C切断片胴部	低レベル廃液貯留タンクC切断片胴部	14/19	14/19	1	1.44E+01	8	1	1	1	5	8
b-295	低レベル廃液貯留タンク - 廃棄物搬出 C切断片鏡部	低レベル廃液貯留タンクC切断片鏡部	14/20	14/20	1	4.05E+00	5	1	1	1	2	5
b-328	高レベル廃液タンクB用 - 廃棄物搬出 ポンプ	高レベル廃液タンクB用ポンプ	15/1	15/1	1	3.20E+00	8	1	1	1	5	8
b-155	高レベル廃液タンクB切 - 廃棄物搬出 断片胴部	高レベル廃液タンクB切断片胴部	15/2	15/2	1	6.40E+01	8	1	1	1	5	8
b-296	高レベル廃液タンクB切 - 廃棄物搬出 断片鏡部	高レベル廃液タンクB切断片鏡部	15/3	15/3	1	6.50E+00	5	1	1	1	2	5
b-329	高レベル廃液タンクa用 - 取り外し ポンプ	高レベル廃液タンクa用ポンプ	15/4	15/4	1	1.49E+01	8	1	1	1	5	8
b-330	高レベル廃液タンクa用 - 廃棄物搬出 ポンプ	高レベル廃液タンクa用ポンプ	15/5	15/5	1	3.20E+00	8	1	1	1	5	8
b-154	高レベル廃液貯留タンク - 取り外し	高レベル廃液貯留タンクA	15/5	15/5	1	6.16E+00	14	1	1	2	10	14
b-157	高レベル廃液貯留タンク - 廃棄物搬出 A切断片胴部	高レベル廃液貯留タンクA切断片胴部	15/6	15/6	1	6.40E+01	8	1	1	1	5	8
b-297	高レベル廃液貯留タンク - 廃棄物搬出 A切断片鏡部	高レベル廃液貯留タンクA切断片鏡部	15/7	15/7	1	6.50E+00	5	1	1	1	2	5
b-158	廃液タンク室 - 養生	廃液タンク室	15/6	15/8	3	3.92E+01	7	3	3	3	12	21
b-159	廃液タンク室rh - 表面除染	廃液タンク室rh	15/9	15/9	1	3.63E+00	17	1	1	3	12	17
b-160	廃液タンク室rh - 表面測定	廃液タンク室rh	15/10	15/10	1	9.33E+00	14	1	1	2	10	14
b-161	廃液タンク室rh - rh撤去	廃液タンク室rh	15/11	15/13	3	5.04E+01	9	3	3	3	18	27
b-162	廃液タンク室rh - 廃棄物搬出	廃液タンク室rh	15/14	15/14	1	5.60E+00	6	1	1	1	3	6
b-163	廃液タンク室 - 後始末	廃液タンク室	15/14	15/16	3	1.62E+02	29	3	3	9	72	87
b-164	廃液タンク室 - 残配管除去	廃液タンク室	15/17	15/19	3	3.92E+01	7	3	3	3	12	21
b-165	壁貫通配管類 - 廃棄物搬出	低レベル配管類切断片	15/20	15/20	1	2.40E+00	6	1	1	1	3	6
b-166	廃液タンク室 - 表面測定	廃液タンク室	15/20	16/1	2	9.78E+01	21	2	2	2	36	42
b-167	中和槽rh - 表面除染	中和槽rh	16/2	16/2	1	1.64E+01	22	1	1	4	16	22
b-168	中和槽rh - 表面測定	中和槽rh	16/3	16/3	1	8.28E+01	10	1	1	2	6	10
b-169	廃液処理室rh1F - 撤去	廃液処理室rh1F	16/4	16/9	6	3.92E+02	7	6	6	6	24	42
b-170	廃液処理室rh1F - 廃棄物搬出	廃液処理室rh1F	16/10	16/10	1	8.00E+00	6	1	1	1	3	6
b-171	廃液処理室 - 残配管除去	廃液処理室	16/10	16/12	3	1.96E+02	7	3	3	3	12	21
b-172	壁貫通配管 - 廃棄物搬出	低レベル配管類切断片	16/13	16/13	1	1.20E+01	6	1	1	1	3	6
b-173	廃液処理室 - 表面測定	廃液処理室	16/13	16/14	2	1.34E+02	11	2	2	2	16	22
b-174	通路rh1F - 表面除染	通路rh1F	16/15	16/15	1	6.37E-01	14	1	1	3	9	14
b-298	通路rh地下 - 表面除染	通路rh地下	16/16	16/16	1	3.61E-01	14	1	1	3	9	14
b-175	通路rh1F - 表面測定	通路rh1F	16/17	16/17	1	2.27E+00	16	1	1	2	12	16
b-299	通路rh地下 - 表面測定	通路rh地下	16/18	16/18	1	9.68E-01	12	1	1	2	8	12
b-176	通路rh1F - rh撤去	通路rh1F	16/19	17/1	3	4.90E+00	7	3	3	3	12	21
b-177	通路rh1F - 廃棄物搬出	通路rh1F	17/2	17/2	1	4.00E-01	6	1	1	1	3	6
b-300	通路rh地下 - rh撤去	通路rh地下	17/2	17/4	3	4.90E+00	7	3	3	3	12	21
b-301	通路rh地下 - 廃棄物搬出	通路rh地下	17/5	17/5	1	2.00E-01	6	1	1	1	3	6
b-178	通路1f - 表面測定	通路1f	17/5	17/9	5	1.12E+01	11	5	5	5	40	55
b-302	通路地下 - 表面測定	通路地下	17/10	17/18	9	1.40E+01	7	9	9	9	36	63
b-179	機器室 - 準備	機器室	17/19	18/10	12	1.26E+01	12	12	12	12	108	144
b-180	入気ダクト - 撤去	入気ダクト	18/11	18/13	3	2.52E+00	12	3	3	3	27	36
b-181	入気ダクト - 廃棄物搬出	入気ダクト	18/14	18/15	2	1.70E+00	12	2	2	2	18	24
b-305	排気ダクト - 撤去	排気ダクト	18/14	18/16	3	2.52E+00	12	3	3	3	27	36
b-306	排気ダクト - 廃棄物搬出	排気ダクト	18/17	18/17	1	9.00E-02	12	1	1	1	9	12
b-182	コンプレッサ - 撤去	コンプレッサ	18/17	18/18	2	1.10E+00	7	2	2	2	8	14
b-183	コンプレッサ - 廃棄物搬出	コンプレッサ	18/19	18/19	1	1.76E-01	7	1	1	1	4	7
b-184	排風機1 - 撤去	排風機1	18/19	18/20	2	1.10E+00	7	2	2	2	8	14
b-185	排風機1 - 廃棄物搬出	排風機1	19/1	19/1	1	4.70E-02	7	1	1	1	4	7
b-186	排風機2 - 撤去	排風機2	19/1	19/2	2	1.10E+00	7	2	2	2	8	14
b-187	排風機2 - 廃棄物搬出	排風機2	19/3	19/3	1	7.90E-02	7	1	1	1	4	7
b-188	排風機3 - 撤去	排風機3	19/3	19/4	2	1.42E+00	9	2	2	2	12	18
b-189	排風機3 - 廃棄物搬出	排風機3	19/5	19/5	1	3.05E-01	9	1	1	1	6	9
b-190	送風機1 - 後始末	送風機1	19/5	19/6	2	1.10E+00	7	2	2	2	8	14
b-191	送風機1 - 廃棄物搬出	送風機1	19/7	19/7	1	4.70E-02	7	1	1	1	4	7
b-192	送風機2 - 撤去	送風機2	19/8	19/9	2	1.10E+00	7	2	2	2	8	14
b-193	送風機2 - 廃棄物搬出	送風機2	19/10	19/10	1	9.50E-02	7	1	1	1	4	7
b-194	送風機3 - 撤去	送風機3	19/10	19/11	2	1.42E+00	9	2	2	2	12	18
b-196	フィルタユニット2 - 取り外し	フィルタユニット2	19/12	19/12	1	5.86E-01	17	1	1	1	3	17

表4-4 工数、被ばく、人工数(4/4)

作業 ID	作業名称	対象機器	開始日	終了日	作業 日数	被ばく線量 (man・mSv)	作業人 員数	現場 監督	放管	作業 班長	作業 者	合計 (人日)
b-195	送風機3	- 廃棄物搬出	送風機3	19/12	19/12	1	3.05E-01	9	1	1	1	6
b-198	フィルタユニット1	- 取り外し	フィルタユニット1	19/13	19/13	1	6.21E-01	12	1	1	2	8
b-197	フィルタユニット2	- 廃棄物搬出	フィルタユニット2	19/13	19/13	1	9.00E-02	12	1	1	2	8
b-199	フィルタユニット1	- 廃棄物搬出	フィルタユニット1	19/14	19/14	1	9.00E-02	12	1	1	2	8
b-303	空調機	- 搬去	空調機	19/14	19/15	2	9.45E-01	6	2	2	2	6
b-304	空調機	- 廃棄物搬出	空調機	19/16	19/16	1	5.40E-02	6	1	1	1	3
b-307	排気筒	- 準備	排気筒	19/16	20/9	14	2.10E+01	20	14	14	14	238
b-308	排気筒	- 表面測定	排気筒	20/10	20/10	1	4.68E-01	12	1	1	1	9
b-309	排気筒	- 線切断	排気筒	20/11	20/11	1	9.81E-01	12	1	1	1	9
b-310	排気筒切断片	- 廃棄物搬出	排気筒切断片	20/12	20/12	1	3.84E-01	8	1	1	1	6
b-200	機械室	- 後始末	機械室	20/13	21/9	17	1.51E+01	12	17	17	17	153
b-201	機械室	- 表面測定	機械室	21/10	21/12	3	2.01E+00	11	3	3	3	24
b-202	機械室	- 後片付け	機械室	21/13	21/14	2	1.26E+00	12	2	2	2	18
b-203	固体廃棄物貯蔵室	- 準備	固体廃棄物貯蔵室	21/15	21/16	2	6.72E-01	12	2	2	2	18
b-204	固体廃棄物貯蔵室	- 表面除染	固体廃棄物貯蔵室	21/17	21/18	2	6.80E-01	10	2	2	2	14
b-205	廃液スラッジ回収装置	- 搬去	廃液スラッジ回収装置	21/19	22/1	3	9.00E-02	8	3	3	3	15
b-206	廃液スラッジ回収装置	- 廃棄物搬出	廃液スラッジ回収装置	22/2	22/2	1	3.00E-03	8	1	1	1	5
b-207	固体廃棄物貯蔵室	- 表面測定	固体廃棄物貯蔵室	22/2	22/7	6	2.98E-01	12	6	6	6	54
b-208	固体廃棄物貯蔵室	- 後始末	固体廃棄物貯蔵室	22/8	22/9	2	5.90E-02	7	2	2	2	8
b-209	制御室	- 準備	制御室	22/10	22/11	2	0.00E+00	7	2	2	2	10
b-210	制御室	- 表面除染	制御室	22/12	22/12	1	0.00E+00	7	1	1	1	4
b-211	制御室1	- 廃棄物搬出	制御室1	22/13	22/13	1	0.00E+00	9	1	1	1	6
b-212	制御室2	- 廃棄物搬出	制御室2	22/14	22/14	1	0.00E+00	9	1	1	1	6
b-213	制御室3	- 廃棄物搬出	制御室3	22/15	22/15	1	0.00E+00	7	1	1	1	4
b-214	制御室4	- 廃棄物搬出	制御室4	22/16	22/16	1	0.00E+00	6	1	1	1	3
b-215	動力盤	- 廃棄物搬出	動力盤	22/17	22/17	1	0.00E+00	6	1	1	1	3
b-216	換気系	- 廃棄物搬出	換気系	22/18	22/18	1	0.00E+00	5	1	1	1	2
b-217	制御室	- 汚染測定	制御室	22/19	23/1	3	0.00E+00	7	3	3	3	12
b-218	制御室	- 後始末	制御室	23/2	23/3	2	0.00E+00	7	2	2	2	8
b-219	遮蔽体	- 廃棄物搬出	遮蔽体	23/4	23/4	1	0.00E+00	9	1	1	1	6
b-220	廃液処理室	- 準備	廃液処理室	23/5	23/6	2	1.68E+02	12	2	2	2	18
b-221	蒸発缶室	- 準備	蒸発缶室	23/7	23/8	2	7.56E+02	12	2	2	2	18
b-222	固化室	- 準備	固化室	23/9	23/10	2	9.80E+00	7	2	2	2	8
b-223	廃液タンク室	- 準備	廃液タンク室	23/11	23/13	3	9.52E+01	17	3	3	3	42
b-224	固体廃棄物貯蔵室	- 準備	固体廃棄物貯蔵室	23/14	23/17	4	2.02E-01	12	4	4	4	36
b-225	機械室	- 準備	機械室	23/18	23/19	2	1.26E+00	12	2	2	2	18
b-226	制御室	- 準備	制御室	23/20	24/1	2	0.00E+00	7	2	2	2	8
b-227	倉庫	- 準備	倉庫	24/2	24/3	2	0.00E+00	11	2	2	2	16
b-228	チェンジングループ	- 準備	チェンジングループ	24/4	24/4	1	0.00E+00	6	1	1	1	3
b-229	廃液処理室	- 空間測定	廃液処理室	24/5	24/5	1	2.36E+01	10	1	1	1	7
b-230	蒸発缶室	- 空間測定	蒸発缶室	24/6	24/6	1	1.48E+02	10	1	1	1	7
b-231	固化室	- 空間測定	固化室	24/7	24/7	1	2.18E+00	8	1	1	1	5
b-232	廃液タンク室	- 空間測定	廃液タンク室	24/8	24/8	1	2.82E+01	14	1	1	1	11
b-233	固体廃棄物貯蔵室	- 空間測定	固体廃棄物貯蔵室	24/9	24/9	1	7.20E-02	15	1	1	1	12
b-234	機械室	- 空間測定	機械室	24/10	24/10	1	3.16E-01	9	1	1	1	6
b-235	制御室	- 空間測定	制御室	24/11	24/11	1	0.00E+00	7	1	1	1	4
b-236	倉庫	- 空間測定	倉庫	24/12	24/12	1	0.00E+00	7	1	1	1	4
b-237	チェンジングループ	- 空間測定	チェンジングループ	24/13	24/13	1	0.00E+00	9	1	1	1	6
b-238	廃液処理室	- 後始末	廃液処理室	24/14	24/16	3	3.64E+02	13	3	3	3	30
b-239	蒸発缶室	- 後始末	蒸発缶室	24/17	24/19	3	1.39E+03	11	3	3	3	24
b-240	固化室	- 後始末	固化室	24/20	25/2	3	2.52E+01	9	3	3	3	18
b-241	廃液タンク室	- 後始末	廃液タンク室	25/3	25/6	4	1.60E+02	19	4	4	4	64
b-242	固体廃棄物貯蔵室	- 後始末	固体廃棄物貯蔵室	25/7	25/10	4	2.18E-01	13	4	4	4	40
b-243	機械室	- 後始末	機械室	25/11	25/12	2	1.37E+00	13	2	2	2	20
b-244	制御室	- 後始末	制御室	25/13	25/14	2	0.00E+00	9	2	2	2	12
b-245	倉庫	- 後始末	倉庫	25/15	25/16	2	0.00E+00	9	2	2	2	12
b-246	チェンジングループ	- 後始末	チェンジングループ	25/17	25/17	1	0.00E+00	9	1	1	1	6
						608	37605.707	2928	608	610	698	5015
												6931

表4-5 コスト集計表(1/4)

作業ID	作業名称	人件費	一般資材費	特殊設備費	資材費計	放射性廃棄物収納容器費	トータルコスト(千円)
b-1	廃液処理室 - 準備	2412	179	0	179	0	2591
b-2	中和剤供給ポンプ - 撤去	600	24	0	24	0	624
b-3	中和剤供給ポンプ - 廃棄物搬出	264	8	0	8	0	272
b-4	薬品溶解槽 - 撤去	600	24	0	24	0	624
b-5	薬品溶解槽 - 廃棄物搬出	336	16	0	16	0	352
b-6	洗浄用薬液タンク用ポン - 撤去	600	24	0	24	0	624
b-7	洗浄用薬液タンク用ポン - 廃棄物搬出	336	16	0	16	0	352
b-8	蒸発缶洗浄用薬液タン - 撤去	600	24	0	24	0	624
b-9	蒸発缶洗浄用薬液タン - 廃棄物搬出	336	16	0	16	0	352
b-10	コンプレッサー - 撤去	600	24	0	24	0	624
b-11	コンプレッサー - 廃棄物搬出	336	16	0	16	0	352
b-247	遮蔽扉 - 撤去	744	40	0	40	0	784
b-248	遮蔽扉 - 廃棄物搬出	336	16	0	16	0	352
b-12	シャッター前遮蔽体 - 撤去	816	48	0	48	0	864
b-13	シャッター前遮蔽体 - 廃棄物搬出	672	32	0	32	0	704
b-14	遮蔽扉 - 撤去	816	48	0	48	0	864
b-15	遮蔽扉 - 廃棄物搬出	372	20	0	20	0	392
b-16	遮蔽体 - 養生	860	60	0	60	0	920
b-17	遮蔽体 - 養生	1184	96	0	96	0	1280
b-18	足場の設置 - rh設置	16800	1440	0	1440	0	18240
b-19	ph自動調整器 - 撤去	1008	54	0	54	0	1062
b-21	高レベル配管類 - 配管切断	644	41	332	373	0	1017
b-20	ph自動調整器 - 廃棄物搬出	336	18	0	18	500	854
b-22	高レベル配管類 - 後始末	644	41	0	41	0	685
b-23	高レベル配管類切断片 - 廃棄物搬出	300	14	0	14	500	814
b-25	低レベル配管類 - 配管切断	300	14	0	14	0	314
b-249	高レベルバルブ - 廃棄物搬出	300	14	0	14	500	814
b-24	高レベル空気作動バル - 廃棄物搬出	300	14	0	14	500	814
b-26	低レベル配管類 - 撤去	900	41	0	41	0	941
b-27	低レベル配管類切断片 - 廃棄物搬出	300	14	0	14	500	814
b-250	低レベルバルブ - 廃棄物搬出	300	14	0	14	500	814
b-28	低レベル空気作動バル - 廃棄物搬出	300	14	0	14	500	814
b-29	サンプリングボックス - 取り外し	1008	54	0	54	0	1062
b-30	サンプリングボックス - 廃棄物搬出	336	18	0	18	500	854
b-31	エアリフトセパレータ - 取り外し	792	27	0	27	0	819
b-32	エアリフトセパレータ - 廃棄物搬出	300	14	0	14	500	814
b-33	計量槽 - 取り外し	900	41	0	41	0	941
b-34	計量槽 - 廃棄物搬出	408	27	0	27	500	935
b-35	定置槽 - 取り外し	900	41	0	41	0	941
b-36	定置槽 - 廃棄物搬出	408	27	0	27	500	935
b-39	オフガスフィルタ - 分解	600	27	0	27	0	627
b-40	オフガスフィルタ - 廃棄物搬出	408	27	0	27	500	935
b-41	オフガス凝縮器 - 取り外し	1008	54	0	54	0	1062
b-42	オフガス凝縮器 - 廃棄物搬出	372	23	0	23	500	895
b-43	オフガスプロア - 分解	600	27	0	27	0	627
b-45	架台 - 線切断	300	14	500	514	0	814
b-44	オフガスプロア - 廃棄物搬出	408	27	0	27	500	935
b-46	架台 - 廃棄物搬出	372	23	0	23	500	895
b-60	固化室 - 準備	2352	112	0	112	0	2464
b-61	遮蔽扉 - 後始末	816	48	0	48	0	864
b-62	遮蔽扉 - 廃棄物搬出	300	12	0	12	0	312
b-63	操作盤 - 撤去	600	24	0	24	0	624
b-64	操作盤 - 廃棄物搬出	372	20	0	20	0	392
b-311	マイクロ波発振器 - 後始末	528	16	0	16	0	544
b-312	マイクロ波発振器 - 廃棄物搬出	300	12	0	12	0	312
b-65	固化室rh - rh設置	7344	432	0	432	0	7776
b-66	高レベル配管類 - 配管切断	300	14	0	14	0	314
b-67	高レベル配管類 - 後始末	900	41	0	41	0	941
b-68	高レベル配管類切断片 - 廃棄物搬出	300	14	0	14	500	814
b-70	低レベル配管類 - 配管切断	600	27	0	27	0	627
b-251	高レベルバルブ - 廃棄物搬出	300	14	0	14	500	814
b-69	高レベル空気作動バル - 廃棄物搬出	300	14	0	14	500	814
b-71	低レベル配管類 - 後始末	900	41	0	41	0	941
b-72	低レベル配管類切断片 - 廃棄物搬出	480	36	0	36	500	1016
b-252	低レベルバルブ - 廃棄物搬出	300	14	0	14	500	814
b-73	低レベル空気作動バル - 廃棄物搬出	300	14	0	14	500	814
b-74	固化装置遮蔽体 - 撤去	744	40	0	40	0	784
b-75	固化装置遮蔽体 - 廃棄物搬出	480	32	0	32	0	512
b-76	架台 - 撤去	744	40	0	40	0	784
b-77	架台 - 廃棄物搬出	444	28	0	28	0	472
b-78	添加剤ホッパ - 撤去	1008	54	0	54	0	1062
b-79	添加剤ホッパ - 廃棄物搬出	372	23	0	23	500	895
b-313	乾燥熔融固化装置本体 - 撤去	1008	54	0	54	0	1062
b-80	固化ボックス - 分解	336	18	0	18	0	354
b-314	乾燥熔融固化装置本体 - 廃棄物搬出	300	14	0	14	500	814
b-82	固化室rh - 表面除染	544	36	0	36	0	580
b-81	固化ボックス - 廃棄物搬出	444	32	0	32	500	976
b-83	固化室rh - 表面測定	688	54	0	54	0	742
b-84	固化室rh - rh撤去	1224	81	0	81	0	1305
b-85	固化室rh - 廃棄物搬出	372	23	0	23	20	415
b-86	固化室 - 残配管除去	1008	54	0	54	0	1062
b-87	壁貫通配管 - 廃棄物搬出	300	14	0	14	500	814
b-88	固化室 - 表面測定	888	56	0	56	0	944
b-89	固化室 - 仮設足場の設置	1632	96	0	96	0	1728
b-47	壁1F - 破壊	2976	180	0	180	0	3156
b-48	壁1F - 廃棄物搬出	888	63	0	63	1620	2571
b-49	中和槽rh - rh設置	2240	192	0	192	0	2432
b-50	中和槽除染装置 - 取り外し	944	54	0	54	0	998
b-52	中和槽 - 線切断	644	41	0	41	0	685
b-51	中和槽除染装置 - 廃棄物搬出	300	14	0	14	500	814
b-54	中和槽用ポンプ - 分解	300	14	0	14	0	314
b-53	中和槽本体切断片a - 廃棄物搬出	480	36	0	36	500	1016

表4-5 コスト集計表(2/4)

作業ID	作業名称	人件費	一般資材費	特殊設備費	資材費計	放射性廃棄物収納容器費	トータルコスト(千円)
b-289	中和槽本体切断片b	480	36	0	36	500	1016
b-290	中和槽切断片コーン部	480	36	0	36	500	1016
b-56	中和槽周囲遮蔽体	1224	81	0	81	0	1305
b-55	中和槽用ポンプ	408	27	0	27	500	935
b-58	中和槽rh	1232	90	0	90	0	1322
b-57	中和槽周囲遮蔽体	1440	96	0	96	0	1536
b-59	中和槽rh	472	27	0	27	20	519
b-90	蒸発缶室	3360	224	0	224	0	3584
b-91	遮蔽扉	816	48	0	48	0	864
b-92	遮蔽扉	300	12	0	12	0	312
b-93	蒸発缶室rh	1608	136	0	136	0	1744
b-94	高レベル配管類	860	68	0	68	0	928
b-95	高レベル配管類	860	68	0	68	0	928
b-96	高レベル配管類切断片	444	32	0	32	500	976
b-98	低レベル配管類	1376	108	0	108	0	1484
b-253	高レベルバルブ	300	14	0	14	500	814
b-97	高レベル空気作動バル	300	14	0	14	500	814
b-99	低レベル配管類	1936	162	0	162	0	2098
b-100	低レベル配管類切断片	444	32	0	32	500	976
b-254	低レベルバルブ	300	14	0	14	500	814
b-101	低レベル空気作動バル	300	14	0	14	500	814
b-102	洗浄用薬液廃タンク用ポンプ	336	16	0	16	0	352
b-104	洗浄液受入れポンプ	544	36	0	36	0	580
b-103	洗浄用薬液タンク用ポン	300	14	0	14	500	814
b-105	洗浄液受入れポンプ	300	14	0	14	500	814
b-106	蒸発缶洗浄用薬液廃タ	1808	162	0	162	0	1970
b-107	蒸発缶洗浄用薬液廃タ	480	36	0	36	500	1016
b-108	蒸発缶カラム部	944	54	0	54	0	998
b-109	蒸発缶カラム部	472	27	0	27	500	999
b-315	蒸発缶リボイラー部	800	36	0	36	0	836
b-316	蒸発缶リボイラー部	400	18	0	18	500	918
b-110	蒸気凝縮器	1008	54	0	54	0	1062
b-112	架台グレーチング	372	20	0	20	0	392
b-111	蒸気凝縮器	336	18	0	18	500	854
b-113	架台グレーチング	516	36	0	36	0	552
b-114	凝縮液受槽	1548	122	0	122	0	1670
b-115	凝縮液受槽	336	18	0	18	500	854
b-116	蒸発缶rh	860	68	0	68	0	928
b-117	蒸発缶rh	616	45	0	45	0	661
b-118	蒸発缶rh	1224	81	0	81	0	1305
b-119	蒸発缶rh	300	14	0	14	20	334
b-120	蒸発缶室	1116	68	0	68	0	1184
b-121	壁貫通配管	336	18	0	18	500	854
b-122	蒸発缶室	1032	72	0	72	0	1104
b-123	壁地下	2064	162	136	298	0	2362
b-124	壁地下	516	36	0	36	670	1222
b-125	廃液タンク室	2064	144	0	144	0	2208
b-126	ベントコレクションプロ	744	40	0	40	0	784
b-127	ベントコレクションプロ	372	20	0	20	0	392
b-128	廃液タンク室rh	16800	1440	0	1440	0	18240
b-129	高レベル配管類	2528	252	0	252	0	2780
b-130	高レベル配管類	5424	486	0	486	0	5910
b-131	高レベル配管類切断片	904	81	0	81	500	1485
b-133	低レベル配管類	2528	252	0	252	0	2780
b-255	高レベルバルブ	300	14	0	14	500	814
b-132	高レベル空気作動バル	300	14	0	14	500	814
b-134	低レベル配管類	2712	243	0	243	0	2955
b-135	低レベル配管類切断片	904	81	0	81	500	1485
b-137	架台	1264	126	0	126	0	1390
b-256	低レベルバルブ	300	14	0	14	500	814
b-136	低レベル空気作動バル	300	14	0	14	500	814
b-138	架台	516	36	0	36	500	1052
b-139	タンク切断用rh	16800	1440	0	1440	0	18240
b-140	ベントコレクションタンク	1116	68	0	68	0	1184
b-141	床排水ビットポンプ	744	45	0	45	0	789
b-317	上澄水タンク用ポンプ	372	23	0	23	0	395
b-142	床排水ビットポンプ	336	18	0	18	500	854
b-143	上澄水タンク	616	45	75000	75045	0	75661
b-318	上澄水タンク用ポンプ	372	23	0	23	500	895
b-319	放出予備タンク用ポン	372	23	0	23	0	395
b-144	上澄水タンク切断片胴	372	23	0	23	500	895
b-145	放出予備タンク	616	45	0	45	0	661
b-291	上澄水タンク切断片銃	264	9	0	9	500	773
b-320	放出予備タンク用ポン	372	23	0	23	500	895
b-146	放出予備タンク切断片	372	23	0	23	500	895
b-292	放出予備タンク切断片	336	18	0	18	500	854
b-147	ベントコレクションタンク	372	23	0	23	500	895
b-321	低レベル廃液タンクB用	372	23	0	23	0	395
b-148	低レベル廃液貯留タンク	616	45	0	45	0	661
b-322	低レベル廃液タンクB用	372	23	0	23	500	895
b-323	低レベル廃液タンクA用	372	23	0	23	0	395
b-149	低レベル廃液貯留タンク	372	23	0	23	500	895
b-150	低レベル廃液貯留タンク	616	45	0	45	0	661
b-293	低レベル廃液貯留タンク	264	9	0	9	500	773
b-325	低レベル廃液タンクC用	372	23	0	23	0	395

表4-5 コスト集計表(3/4)

作業ID	作業名称	人件費	一般資材費	特殊設備費	資材費計	放射性廃棄物収 納容器費	トータルコスト (千円)
b-324	低レベル廃液タンクA用 - 廃棄物搬出 ポンプ	372	23	0	23	500	895
b-152	低レベル廃液貯留タンク - 線切断	616	45	0	45	0	661
b-161	低レベル廃液貯留タンク - 廃棄物搬出 A切断片胴部	372	23	0	23	500	895
b-327	高レベル廃液タンクB用 - 取り外し ポンプ	372	23	0	23	0	395
b-294	低レベル廃液貯留タンク - 廃棄物搬出 A切断片鏡部	264	9	0	9	500	773
b-326	低レベル廃液タンクC用 - 廃棄物搬出 ポンプ	372	23	0	23	500	895
b-156	高レベル廃液貯留タンク - 線切断	616	45	0	45	0	661
b-153	低レベル廃液貯留タンク - 廃棄物搬出 C切断片胴部	372	23	0	23	500	895
b-295	低レベル廃液貯留タンク - 廃棄物搬出 C切断片鏡部	264	9	0	9	500	773
b-328	高レベル廃液タンクB用 - 廃棄物搬出 ポンプ	372	23	0	23	500	895
b-155	高レベル廃液タンクB切 - 廃棄物搬出 断片胴部	372	23	0	23	500	895
b-296	高レベル廃液タンクB切 - 廃棄物搬出 断片鏡部	264	9	0	9	500	773
b-329	高レベル廃液タンクa用 - 取り外し ポンプ	372	23	0	23	0	395
b-330	高レベル廃液タンクa用 - 廃棄物搬出 ポンプ	372	23	0	23	500	895
b-154	高レベル廃液貯留タンク - 取り外し	616	45	0	45	0	661
b-157	高レベル廃液貯留タンク - 廃棄物搬出 A切断片胴部	372	23	0	23	500	895
b-297	高レベル廃液貯留タンク - 廃棄物搬出 A切断片鏡部	264	9	0	9	500	773
b-158	廃液タンク室 - 養生	1008	54	0	54	0	1062
b-159	廃液タンク室rh - 表面除染	752	54	0	54	0	806
b-160	廃液タンク室rh - 表面測定	616	45	0	45	0	661
b-161	廃液タンク室rh - rh撤去	1224	81	0	81	0	1305
b-162	廃液タンク室rh - 廃棄物搬出	300	14	0	14	70	384
b-163	廃液タンク室 - 後始末	3552	324	0	324	0	3876
b-164	廃液タンク室 - 残配管除去	1008	54	0	54	0	1062
b-165	壁貫通配管類 - 廃棄物搬出	300	14	0	14	500	814
b-166	廃液タンク室 - 表面測定	1680	144	0	144	0	1824
b-167	中和槽rh - 表面除染	960	72	0	72	0	1032
b-168	中和槽rh - 表面測定	472	27	0	27	0	499
b-169	廃液処理室rh1F - 撤去	2016	108	0	108	0	2124
b-170	廃液処理室rh1F - 廃棄物搬出	300	14	0	14	20	334
b-171	廃液処理室 - 残配管除去	1008	54	0	54	0	1062
b-172	壁貫通配管 - 廃棄物搬出	300	14	0	14	500	814
b-173	廃液処理室 - 表面測定	960	64	0	64	0	1024
b-174	通路rh1F - 表面除染	644	41	0	41	0	685
b-298	通路rh地下 - 表面除染	644	41	0	41	0	685
b-175	通路rh1F - 表面測定	688	54	0	54	0	742
b-299	通路rh地下 - 表面測定	544	36	0	36	0	580
b-176	通路rh1F - rh撤去	1008	54	0	54	0	1062
b-177	通路rh1F - 廃棄物搬出	300	14	0	14	40	354
b-300	通路rh地下 - rh撤去	1008	54	0	54	0	1062
b-301	通路rh地下 - 廃棄物搬出	300	14	0	14	20	334
b-178	通路1f - 表面測定	2400	180	0	180	0	2580
b-302	通路地下 - 表面測定	3024	162	0	162	0	3186
b-179	機器室 - 準備	6192	378	0	378	0	6570
b-180	入気ダクト - 撤去	1548	122	0	122	0	1670
b-181	入気ダクト - 廃棄物搬出	1032	72	0	72	0	1104
b-305	排気ダクト - 撤去	1548	122	0	122	0	1670
b-306	排気ダクト - 廃棄物搬出	516	41	0	41	500	1057
b-182	コンプレッサ - 撤去	672	32	0	32	0	704
b-183	コンプレッサ - 廃棄物搬出	336	16	0	16	0	352
b-184	排風機1 - 撤去	672	32	0	32	0	704
b-185	排風機1 - 廃棄物搬出	336	16	0	16	0	352
b-186	排風機2 - 撤去	672	32	0	32	0	704
b-187	排風機2 - 廃棄物搬出	336	16	0	16	0	352
b-188	排風機3 - 撤去	816	48	0	48	0	864
b-189	排風機3 - 廃棄物搬出	408	24	0	24	0	432
b-190	送風機1 - 後始末	672	32	0	32	0	704
b-191	送風機1 - 廃棄物搬出	336	16	0	16	0	352
b-192	送風機2 - 撤去	672	32	0	32	0	704
b-193	送風機2 - 廃棄物搬出	336	16	0	16	0	352
b-194	送風機3 - 撤去	816	48	0	48	0	864
b-196	フィルタユニット2 - 取り外し	752	54	0	54	0	806
b-195	送風機3 - 廃棄物搬出	408	24	0	24	0	432
b-198	フィルタユニット1 - 取り外し	544	36	0	36	0	580
b-197	フィルタユニット2 - 廃棄物搬出	544	36	0	36	500	1080
b-199	フィルタユニット1 - 廃棄物搬出	544	36	0	36	500	1080
b-303	空調機 - 撤去	600	24	0	24	0	624
b-304	空調機 - 廃棄物搬出	300	12	0	12	0	312
b-307	排気筒 - 準備	11256	1071	0	1071	0	12327
b-308	排気筒 - 表面測定	516	32	0	32	0	548
b-309	排気筒 - 線切断	516	36	0	36	0	552
b-310	排気筒切断片 - 廃棄物搬出	372	18	0	18	0	390
b-200	機械室 - 後始末	8772	689	0	689	0	9461
b-201	機械室 - 表面測定	1440	96	0	96	0	1536
b-202	機械室 - 後片付け	1032	63	0	63	0	1095
b-203	固体廃棄物貯蔵室 - 準備	1032	63	0	63	0	1095
b-204	固体廃棄物貯蔵室 - 表面除染	888	63	0	63	0	951
b-205	廃液スラッジ回収装置 - 撤去	1116	68	0	68	0	1184

表4-5 コスト集計表(3/4)

作業 ID	作業名称	人件費	一般資材費	特殊設備費	資材費計	放射性廃棄物収 納容器費	トータルコスト (千円)
b-206	廃液スラッジ回収装置	372	23	0	23	500	895
b-207	固体廃棄物貯蔵室	3096	216	0	216	0	3312
b-208	固体廃棄物貯蔵室	672	32	0	32	0	704
b-209	制御室	672	32	0	32	0	704
b-210	制御室	336	16	0	16	0	352
b-211	制御室1	408	24	0	24	0	432
b-212	制御室2	408	24	0	24	0	432
b-213	制御室3	336	16	0	16	0	352
b-214	制御室4	300	12	0	12	0	312
b-215	動力盤	300	12	0	12	0	312
b-216	換気系	264	8	0	8	0	272
b-217	制御室	1008	42	0	42	0	1050
b-218	制御室	672	28	0	28	0	700
b-219	遮蔽体	408	21	0	21	0	429
b-220	廃液処理室	1032	63	0	63	0	1095
b-221	蒸発缶室	1032	63	0	63	0	1095
b-222	固化室	672	28	0	28	0	700
b-223	廃液タンク室	2088	147	0	147	0	2235
b-224	固体廃棄物貯蔵室	2064	126	0	126	0	2190
b-225	機械室	1032	63	0	63	0	1095
b-226	制御室	672	28	0	28	0	700
b-227	倉庫	960	56	0	56	0	1016
b-228	チェンジングルーム	300	11	0	11	0	311
b-229	廃液処理室	444	25	0	25	0	469
b-230	蒸発缶室	444	25	0	25	0	469
b-231	固化室	372	18	0	18	0	390
b-232	廃液タンク室	588	39	0	39	0	627
b-233	固体廃棄物貯蔵室	624	42	0	42	0	666
b-234	機械室	408	21	0	21	0	429
b-235	制御室	336	14	0	14	0	350
b-236	倉庫	336	14	0	14	0	350
b-237	チェンジングルーム	408	21	0	21	0	429
b-238	廃液処理室	1656	105	0	105	0	1761
b-239	蒸発缶室	1440	84	0	84	0	1524
b-240	固化室	1224	63	0	63	0	1287
b-241	廃液タンク室	3072	224	0	224	0	3296
b-242	固体廃棄物貯蔵室	2208	140	0	140	0	2348
b-243	機械室	1104	70	0	70	0	1174
b-244	制御室	816	42	0	42	0	858
b-245	倉庫	816	42	0	42	0	858
b-246	チェンジングルーム	408	21	0	21	0	429
		303220	20892	75968	96860	42500	442580

表4-6 廃棄物発生量(1/4)

作業 ID	作業名称	1次廃棄物				2次廃棄物							
		廃棄物区分	発生 量(kg)	容器種類	容器 数	廃棄物 区分	発生量 (可燃: 不燃: 合計(kg))	発生量 (可燃: 不燃: 合計(kg))	発生量 (可燃: 不燃: 合計(kg))	カーボンボック ス(可燃: ス(可燃: 計(可燃:箱))	カーボンボック ス(可燃: ス(可燃: 計(可燃:箱))	カーボンボックス 計(可燃:箱)	廃液量 (m3)
b-1	廃液処理室 - 準備					β γ-A	60	60	120	12	12	24	0
b-2	中和剤供給ポンプ - 撤去					β γ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-3	中和剤供給ポンプ - 廃棄物搬出	放射性でない	150		0	β γ-A	5	5	10	1	1	2	0
b-4	薬品溶解槽 - 撤去					β γ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-5	薬品溶解槽 - 廃棄物搬出	放射性でない	110		0	β γ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-6	洗浄用薬液タンク用ポンプ - 撤去					β γ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-7	洗浄用薬液タンク用ポンプ - 廃棄物搬出	放射性でない	70		0	β γ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-8	蒸発缶洗浄用薬液タンク - 撤去					β γ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-9	蒸発缶洗浄用薬液タンク - 廃棄物搬出	放射性でない	220		0	β γ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-10	コンプレッサー - 撤去					β γ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-11	コンプレッサー - 廃棄物搬出	放射性でない	450		0	β γ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-247	遮蔽扉 - 撤去					β γ-A	16	16	32	3	3	6	0
b-248	遮蔽扉 - 廃棄物搬出	放射性でない	1675		0	β γ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-12	シャッター前遮蔽体 - 撤去					β γ-A	18	18	36	4	4	8	0
b-13	シャッター前遮蔽体 - 廃棄物搬出	放射性でない	3800		0	β γ-A	14	14	28	3	3	6	0
b-14	遮蔽扉 - 撤去					β γ-A	18	18	36	4	4	8	0
b-15	遮蔽扉 - 廃棄物搬出	放射性でない	1200		0	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
b-16	遮蔽体 - 養生					β γ-A	20	20	40	4	4	8	0
b-17	遮蔽体 - 養生					β γ-A	29	29	58	6	6	12	0
b-18	足場の設置	rh設置				β γ-A	420	420	840	84	84	168	0
b-19	ph自動調整器 - 撤去					β γ-A	21	21	42	4	4	8	0
b-21	高レベル配管類 - 配管切断					β γ-A	14	14	28	3	3	6	0
b-20	ph自動調整器 - 廃棄物搬出	β γ-A	110	角型19m3	1	β γ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-22	高レベル配管類 - 後始末					β γ-A	14	14	28	3	3	6	0
b-23	高レベル配管類切断 - 廃棄物搬出	β γ-A	363	角型19m3	1	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-25	低レベル配管類 - 配管切断					β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-249	高レベルバルブ - 廃棄物搬出	β γ-A	320	角型19m3	1	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-24	高レベル空気作動バルブ - 廃棄物搬出	β γ-A	26	角型19m3	1	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-26	低レベル配管類 - 撤去					β γ-A	18	18	36	4	4	8	0
b-27	低レベル配管類切断 - 廃棄物搬出	β γ-A	557	角型19m3	1	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-250	低レベルバルブ - 廃棄物搬出	β γ-A	130	角型19m3	1	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-28	低レベル空気作動バルブ - 廃棄物搬出	β γ-A	13	角型19m3	1	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-29	サンプリングボックス - 取り外し					β γ-A	21	21	42	4	4	8	0
b-30	サンプリングボックス - 廃棄物搬出	β γ-A	200	角型19m3	1	β γ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-31	エアリフトセパレータ - 取り外し					β γ-A	15	15	30	3	3	6	0
b-32	エアリフトセパレータ - 廃棄物搬出	β γ-A	30	角型19m3	1	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-33	計量槽 - 取り外し					β γ-A	18	18	36	4	4	8	0
b-34	計量槽 - 廃棄物搬出	β γ-A	130	角型19m3	1	β γ-A	9	9	18	2	2	4	0
b-35	定量槽 - 取り外し					β γ-A	18	18	36	4	4	8	0
b-36	定量槽 - 廃棄物搬出	β γ-A	150	角型19m3	1	β γ-A	9	9	18	2	2	4	0
b-39	オフガスフィルタ - 分解					β γ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-40	オフガスフィルタ - 廃棄物搬出	β γ-A	110	角型19m3	1	β γ-A	9	9	18	2	2	4	0
b-41	オフガス凝縮器 - 取り外し					β γ-A	21	21	42	4	4	8	0
b-42	オフガス凝縮器 - 廃棄物搬出	β γ-A	600	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
b-43	オフガスプロア - 分解					β γ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-45	架台 - 線切断					β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-44	オフガスプロア - 廃棄物搬出	β γ-A	180	角型19m3	1	β γ-A	9	9	18	2	2	4	0
b-46	架台 - 廃棄物搬出	β γ-A	6000	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
b-60	固化室 - 準備					β γ-A	49	49	98	10	10	20	0
b-61	遮蔽扉 - 後始末					β γ-A	18	18	36	4	4	8	0
b-62	遮蔽扉 - 廃棄物搬出	放射性でない	1675		0	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-63	操作盤 - 撤去					β γ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-64	操作盤 - 廃棄物搬出	放射性でない	500		0	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
b-311	マイクロ波発振器 - 後始末					β γ-A	10	10	20	2	2	4	0
b-312	マイクロ波発振器 - 廃棄物搬出	放射性でない	110		0	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-65	固化室rh - rh設置					β γ-A	162	162	324	32	32	64	0
b-66	高レベル配管類 - 配管切断					β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-67	高レベル配管類 - 後始末					β γ-A	18	18	36	4	4	8	0
b-68	高レベル配管類切断 - 廃棄物搬出	β γ-A	66	角型19m3	1	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-70	低レベル配管類 - 配管切断					β γ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-251	高レベルバルブ - 廃棄物搬出	β γ-A	20	角型19m3	1	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-69	高レベル空気作動バルブ - 廃棄物搬出	β γ-A	10	角型19m3	1	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-71	低レベル配管類 - 後始末					β γ-A	18	18	36	4	4	8	0
b-72	低レベル配管類切断 - 廃棄物搬出	β γ-A	484	角型19m3	1	β γ-A	11	11	22	2	2	4	0
b-252	低レベルバルブ - 廃棄物搬出	β γ-A	330	角型19m3	1	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-73	低レベル空気作動バルブ - 廃棄物搬出	β γ-A	10	角型19m3	1	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-74	固化装置遮蔽体 - 撤去					β γ-A	16	16	32	3	3	6	0
b-75	固化装置遮蔽体 - 廃棄物搬出	放射性でない	850		0	β γ-A	11	11	22	2	2	4	0
b-76	架台 - 撤去					β γ-A	16	16	32	3	3	6	0
b-77	架台 - 廃棄物搬出	放射性でない	1000		0	β γ-A	10	10	20	2	2	4	0
b-78	添加剤ホッパ - 撤去					β γ-A	21	21	42	4	4	8	0
b-79	添加剤ホッパ - 廃棄物搬出	β γ-A	130	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
b-313	乾燥溶融固化装置本 - 撤去					β γ-A	21	21	42	4	4	8	0
b-80	固化ボックス - 分解					β γ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-314	乾燥溶融固化装置本 - 廃棄物搬出	β γ-A	110	角型19m3	1	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-82	固化室rh - 表面除染					β γ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-81	固化ボックス - 廃棄物搬出	β γ-A	3000	角型19m3	1	β γ-A	10	10	20	2	2	4	0
b-83	固化室rh - 表面測定					β γ-A	16	16	32	3	3	6	0
b-84	固化室rh - rh撤去					β γ-A	27	27	54	5	5	10	0
b-85	固化室gh - 廃棄物搬出	β γ-A	100	200ℓドラム缶	2	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
b-86	固化室 - 残配管除去					β γ-A	21	21	42	4	4	8	0

表4-6 廃棄物発生量(2/4)

作業ID	作業名称		1次廃棄物			2次廃棄物								
			廃棄物区分	発生量(kg)	容器種類	容器数	廃棄物区分	発生量(可燃: 不燃: 合計(kg))	発生量(可燃)	発生量(不燃)	発生量(合計)	カートンボックス(可燃)	カートンボックス(不燃)	カートンボックス(計)
b-87	壁貫通配管	— 廃棄物搬出	βγ-A	484	角型19m3	1	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-88	固化室	— 表面測定					βγ-A	20	20	40	4	4	8	0
b-89	固化室	— 仮設足場の設置					βγ-A	36	36	72	7	7	14	0
b-47	壁1F	— 破壊					βγ-A	64	64	128	13	13	26	0
b-48	壁1F	— 廃棄物搬出	βγ-A	16156	200ℓドラム缶	162	βγ-A	20	20	40	4	4	8	0
b-49	中和槽rh	— rh設置					βγ-A	56	56	112	11	11	22	0
b-50	中和槽除染装置	— 取り外し					βγ-A	20	20	40	4	4	8	0
b-52	中和槽	— 線切断					βγ-A	14	14	28	3	3	6	0
b-51	中和槽除染装置	— 廃棄物搬出	βγ-A	300	角型19m3	1	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-54	中和槽用ポンプ	— 分解					βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-53	中和槽本体切断片a	— 廃棄物搬出	α-B	883	角型19m3	1	βγ-A	11	11	22	2	2	4	0
b-289	中和槽本体切断片b	— 廃棄物搬出	βγ-A	563			βγ-A	11	11	22	2	2	4	0
b-290	中和槽切断片コン	— 廃棄物搬出	α-B	1054	角型19m3	1	βγ-A	11	11	22	2	2	4	0
b-56	中和槽周囲遮蔽体	— 撤去					βγ-A	27	27	54	5	5	10	0
b-55	中和槽用ポンプ	— 廃棄物搬出	βγ-A	25	角型19m3	1	βγ-A	9	9	18	2	2	4	0
b-58	中和槽rh	— rh撤去					βγ-A	28	28	56	6	6	12	0
b-57	中和槽周囲遮蔽体	— 廃棄物搬出	放射性でない	27300		0	βγ-A	33	33	66	7	7	14	0
b-59	中和槽gh	— 廃棄物搬出	βγ-A	100	200ℓドラム缶	1	βγ-A	10	10	20	2	2	4	0
b-90	蒸発缶室	— 準備					βγ-A	77	77	154	15	15	30	0
b-91	遮蔽扉	— 撤去					βγ-A	18	18	36	4	4	8	0
b-92	遮蔽扉	— 廃棄物搬出	放射性でない	3350		0	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-93	蒸発缶室rh	— rh設置					βγ-A	40	40	80	8	8	16	0
b-94	高レベル配管類	— 配管切断					βγ-A	20	20	40	4	4	8	0
b-95	高レベル配管類	— 後始末					βγ-A	20	20	40	4	4	8	0
b-96	高レベル配管類切断	— 廃棄物搬出	βγ-A	364	角型19m3	1	βγ-A	10	10	20	2	2	4	0
b-98	低レベル配管類	— 配管切断					βγ-A	32	32	64	6	6	12	0
b-253	高レベルバルブ	— 廃棄物搬出	βγ-A	205	角型19m3	1	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-97	高レベル空気作動バルブ	— 廃棄物搬出	βγ-A	39	角型19m3	1	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-99	低レベル配管類	— 後始末					βγ-A	46	46	92	9	9	18	0
b-100	低レベル配管類切断	— 廃棄物搬出	βγ-A	836	角型19m3	1	βγ-A	10	10	20	2	2	4	0
b-254	低レベルバルブ	— 廃棄物搬出	βγ-A	455	角型19m3	1	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-101	低レベル空気作動バルブ	— 廃棄物搬出	βγ-A	78	角型19m3	1	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-102	洗浄用薬液廃タンク用ポンプ	— 分解					βγ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-104	洗浄液受入れポンプ	— 分解					βγ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-103	洗浄用薬液タンク用ポンプ	— 廃棄物搬出	βγ-A	70	角型19m3	1	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-105	洗浄液受入れポンプ	— 廃棄物搬出	βγ-A	150	角型19m3	1	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-106	蒸発缶洗浄用薬液廃タンク	— 取り外し					βγ-A	44	44	88	9	9	18	0
b-107	蒸発缶洗浄用薬液廃タンク	— 廃棄物搬出	α-B	800	角型19m3	1	βγ-A	11	11	22	2	2	4	0
b-108	蒸発缶カラム部	— 取り外し					βγ-A	20	20	40	4	4	8	0
b-109	蒸発缶カラム部	— 廃棄物搬出	βγ-A	2400	角型19m3	1	βγ-A	10	10	20	2	2	4	0
b-315	蒸発缶リボイラー部	— 取り外し					βγ-A	16	16	32	3	3	6	0
b-316	蒸発缶リボイラー部	— 廃棄物搬出	βγ-A	1200	角型19m3	1	βγ-A	8	8	16	2	2	4	0
b-110	蒸気凝縮器	— 取り外し					βγ-A	21	21	42	4	4	8	0
b-112	架台グレーチング	— 線切断					βγ-A	8	8	16	2	2	4	0
b-111	蒸気凝縮器	— 廃棄物搬出	βγ-A	400	角型19m3	1	βγ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-113	架台グレーチング	— 廃棄物搬出	放射性でない	3000		0	βγ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-114	凝縮液受槽	— 取り外し					βγ-A	36	36	72	7	7	14	0
b-115	凝縮液受槽	— 廃棄物搬出	α-B	700	角型19m3	1	βγ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-116	蒸発缶rh	— 表面除染					βγ-A	20	20	40	4	4	8	0
b-117	蒸発缶rh	— 表面測定					βγ-A	14	14	28	3	3	6	0
b-118	蒸発缶rh	— rh撤去					βγ-A	27	27	54	5	5	10	0
b-119	蒸発缶gh	— 廃棄物搬出	βγ-A	100	200ℓドラム缶	2	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-120	蒸発缶室	— 残配管除去					βγ-A	24	24	48	5	5	10	0
b-121	壁貫通配管	— 廃棄物搬出	βγ-A	836	角型19m3	1	βγ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-122	蒸発缶室	— 表面測定					βγ-A	24	24	48	5	5	10	0
b-123	壁地下	— 破壊					βγ-A	48	48	96	10	10	20	0
b-124	壁地下	— 廃棄物搬出	βγ-A	6698	200ℓドラム缶	67	βγ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-125	廃液タンク室	— 準備					βγ-A	48	48	96	10	10	20	0
b-126	ベントコレクションプロ	— 撤去					βγ-A	16	16	32	3	3	6	0
b-127	ベントコレクションプロ	— 廃棄物搬出	放射性でない	13		0	βγ-A	8	8	16	2	2	4	0
b-128	廃液タンク室rh	— rh設置					βγ-A	420	420	840	84	84	168	0
b-129	高レベル配管類	— 配管切断					βγ-A	64	64	128	13	13	26	0
b-130	高レベル配管類	— 撤去					βγ-A	132	132	264	26	26	52	0
b-131	高レベル配管類切断	— 廃棄物搬出	βγ-A	1554	角型19m3	1	βγ-A	22	22	44	4	4	8	0
b-133	低レベル配管類	— 配管切断					βγ-A	64	64	128	13	13	26	0
b-255	高レベルバルブ	— 廃棄物搬出	βγ-A	565	角型19m3	1	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-132	高レベル空気作動バルブ	— 廃棄物搬出	βγ-A	120	角型19m3	1	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-134	低レベル配管類	— 撤去					βγ-A	66	66	132	13	13	26	0
b-135	低レベル配管類切断	— 廃棄物搬出	βγ-A	1046	角型19m3	1	βγ-A	22	22	44	4	4	8	0
b-137	架台	— 線切断					βγ-A	32	32	64	6	6	12	0
b-256	低レベルバルブ	— 廃棄物搬出	βγ-A	420	角型19m3	1	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-136	低レベル空気作動バルブ	— 廃棄物搬出	βγ-A	90	角型19m3	1	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-138	架台	— 廃棄物搬出	βγ-A	11140	角型19m3	1	βγ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-139	タンク切断用rh	— rh設置					βγ-A	420	420	840	84	84	168	0
b-140	ベントコレクションタン	— 取り外し					βγ-A	24	24	48	5	5	10	0
b-141	床排水ピットポンプ	— 取り外し					βγ-A	16	16	32	3	3	6	0
b-317	上澄水タンク用ポン	— 取り外し					βγ-A	8	8	16	2	2	4	0
b-142	床排水ピットポンプ	— 廃棄物搬出	βγ-A	60	角型19m3	1	βγ-A	7	7	14	1	1	2	0

表4-6 廃棄物発生量(3/4)

作業 ID	作業名称	1次廃棄物				2次廃棄物								
		廃棄物区分	発生 量(kg)	容器種類	容器 数	廃棄物 区分	発生量 (可燃: 不燃: 合計(kg))	発生量	発生量	発生量	カートンボックス ス(可燃: ス(不燃: ス(合計: 箱))	カートンボックス ス(可燃: ス(不燃: ス(合計: 箱))	カートンボックス 計(可燃: 箱)	廃液量 (m3)
b-143	上澄水タンク	— 線切断				β γ-A	14	14	28		3	3	6	0
b-318	上澄水タンク用ポン	— 廃棄物搬出	β γ-A	400	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
b-319	放出予備タンク用ボ	— 取り外し				β γ-A	8	8	16	2	2	4	0	
b-144	上澄水タンク切断片	— 廃棄物搬出	α-B	2066	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
	胴部													
b-145	放出予備タンク	— 線切断				β γ-A	14	14	28	3	3	6	0	
b-291	上澄水タンク切断片	— 廃棄物搬出	α-B	334	角型19m3	1	β γ-A	5	5	10	1	1	2	0
	鏡部													
b-320	放出予備タンク用ボ	— 廃棄物搬出	β γ-A	280	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
b-146	放出予備タンク切断	— 廃棄物搬出	α-B	1722	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
	片胴部													
b-292	放出予備タンク切断	— 廃棄物搬出	α-B	278	角型19m3	1	β γ-A	7	7	14	1	1	2	0
	片鏡部													
b-147	ペントコレクションタン	— 廃棄物搬出	β γ-A	670	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
b-321	低レベル廃液タンクB	— 取り外し				β γ-A	8	8	16	2	2	4	0	
	用ポン													
b-148	低レベル廃液貯留タ	— 線切断				β γ-A	14	14	28	3	3	6	0	
	ンクB													
b-322	低レベル廃液タンクB	— 廃棄物搬出	β γ-A	300	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
	用ポン													
b-323	低レベル廃液タンクA	— 取り外し				β γ-A	8	8	16	2	2	4	0	
	用ポン													
b-149	低レベル廃液貯留タ	— 廃棄物搬出	α-B	2039	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
	ンクB切断片胴部													
b-150	低レベル廃液貯留タ	— 線切断				β γ-A	14	14	28	3	3	6	0	
	ンクA													
b-293	低レベル廃液貯留タ	— 廃棄物搬出	α-B	461	角型19m3	1	β γ-A	5	5	10	1	1	2	0
	ンクB切断片鏡部													
b-325	低レベル廃液タンクC	— 取り外し				β γ-A	8	8	16	2	2	4	0	
	用ポン													
b-324	低レベル廃液タンクA	— 廃棄物搬出	β γ-A	300	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
	用ポン													
b-152	低レベル廃液貯留タ	— 線切断				β γ-A	14	14	28	3	3	6	0	
	ンクC													
b-151	低レベル廃液貯留タ	— 廃棄物搬出	α-B	2039	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
	ンクA切断片胴部													
b-327	高レベル廃液タンクB	— 取り外し				β γ-A	8	8	16	2	2	4	0	
	用ポン													
b-294	低レベル廃液貯留タ	— 廃棄物搬出	α-B	461	角型19m3	1	β γ-A	5	5	10	1	1	2	0
	ンクA切断片鏡部													
b-326	低レベル廃液タンクC	— 廃棄物搬出	β γ-A	300	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
	用ポン													
b-156	高レベル廃液貯留タ	— 線切断				β γ-A	14	14	28	3	3	6	0	
	ンクB													
b-153	低レベル廃液貯留タ	— 廃棄物搬出	α-B	2039	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
	ンクC切断片胴部													
b-295	低レベル廃液貯留タ	— 廃棄物搬出	α-B	461	角型19m3	1	β γ-A	5	5	10	1	1	2	0
	ンクC切断片鏡部													
b-328	高レベル廃液タンクB	— 廃棄物搬出	β γ-A	280	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
	用ポン													
b-155	高レベル廃液タンクB	— 廃棄物搬出	α-B	1722	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
	切断片胴部													
b-296	高レベル廃液タンクB	— 廃棄物搬出	α-B	278	角型19m3	1	β γ-A	5	5	10	1	1	2	0
	切断片鏡部													
b-329	高レベル廃液タンクa	— 取り外し				β γ-A	8	8	16	2	2	4	0	
	用ポン													
b-330	高レベル廃液タンクa	— 廃棄物搬出	β γ-A	280	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
	用ポン													
b-154	高レベル廃液貯留タ	— 取り外し				β γ-A	14	14	28	3	3	6	0	
	ンクA													
b-157	高レベル廃液貯留タ	— 廃棄物搬出	α-B	1722	角型19m3	1	β γ-A	8	8	16	2	2	4	0
	ンクA切断片胴部													
b-297	高レベル廃液貯留タ	— 廃棄物搬出	α-B	278	角型19m3	1	β γ-A	5	5	10	1	1	2	0
	ンクA切断片鏡部													
b-158	廃液タンク室	— 養生				β γ-A	21	21	42	4	4	8	0	
b-159	廃液タンク室rh	— 表面除染				β γ-A	17	17	34	3	3	6	0	
b-160	廃液タンク室rh	— 表面測定				β γ-A	14	14	28	3	3	6	0	
b-161	廃液タンク室rh	— rh撤去				β γ-A	27	27	54	5	5	10	0	
b-162	廃液タンク室gh	— 廃棄物搬出	β γ-A	310	200ℓドラム缶	7	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-163	廃液タンク室	— 後始末				β γ-A	87	87	174	17	17	34	0	
b-164	廃液タンク室	— 残配管除去				β γ-A	21	21	42	4	4	8	0	
b-165	壁貫通配管類	— 廃棄物搬出	β γ-A	1046	角型19m3	1	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-166	廃液タンク室	— 表面測定				β γ-A	42	42	84	8	8	16	0	
b-167	中和槽rh	— 表面除染				β γ-A	22	22	44	4	4	8	0	
b-168	中和槽rh	— 表面測定				β γ-A	10	10	20	2	2	4	0	
b-169	廃液処理室gh1F	— 撤去				β γ-A	42	42	84	8	8	16	0	
b-170	廃液処理室gh1F	— 廃棄物搬出	β γ-A	100	200ℓドラム缶	2	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-171	廃液処理室	— 残配管除去				β γ-A	21	21	42	4	4	8	0	
b-172	壁貫通配管	— 廃棄物搬出	β γ-A	557	角型19m3	1	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-173	廃液処理室	— 表面測定				β γ-A	22	22	44	4	4	8	0	
b-174	通路rh1F	— 表面除染				β γ-A	14	14	28	3	3	6	0	
b-298	通路rh地下	— 表面除染				β γ-A	14	14	28	3	3	6	0	
b-175	通路rh1F	— 表面測定				β γ-A	16	16	32	3	3	6	0	
b-299	通路rh地下	— 表面測定				β γ-A	12	12	24	2	2	4	0	
b-176	通路rh1F	— rh撤去				β γ-A	21	21	42	4	4	8	0	
b-177	通路gh1F	— 廃棄物搬出	β γ-A	162	200ℓドラム缶	4	β γ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-300	通路rh地下	— rh撤去				β γ-A	21	21	42	4	4	8	0	

表4-6 廃棄物発生量(4/4)

作業 ID	作業名称	1次廃棄物				2次廃棄物								
		廃棄物区分	発生 量(kg)	容器種類	容器 数	廃棄物 区分	発生量 (可燃: 不燃: 合計(kg))	発生量 (可燃: 不燃: 合計(kg))	発生量 (可燃: 不燃: 合計(kg))	カートンボックス s(可燃: 不燃: 合計(箱))	カートンボックス s(可燃: 不燃: 合計(箱))	カートンボックス s(可燃: 不燃: 合計(箱))	廃液量 (m3)	
b-301	通路gh地下	— 廃棄物搬出	βγ-A	91	200ℓドラム缶	2	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-178	通路lf	— 表面測定					βγ-A	55	55	110	11	11	22	0
b-302	通路地下	— 表面測定					βγ-A	63	63	126	13	13	26	0
b-179	機器室	— 準備					βγ-A	144	144	288	29	29	58	0
b-180	入気ダクト	— 撤去					βγ-A	36	36	72	7	7	14	0
b-181	入気ダクト	— 廃棄物搬出	放射性でない	6300		0	βγ-A	24	24	48	5	5	10	0
b-305	排気ダクト	— 撤去					βγ-A	36	36	72	7	7	14	0
b-306	排気ダクト	— 廃棄物搬出	βγ-A	3500	角型19m3	1	βγ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-182	コンプレッサ	— 撤去					βγ-A	14	14	28	3	3	6	0
b-183	コンプレッサ	— 廃棄物搬出	放射性でない	560		0	βγ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-184	排風機1	— 撤去					βγ-A	14	14	28	3	3	6	0
b-185	排風機1	— 廃棄物搬出	放射性でない	150		0	βγ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-186	排風機2	— 撤去					βγ-A	14	14	28	3	3	6	0
b-187	排風機2	— 廃棄物搬出	放射性でない	251		0	βγ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-188	排風機3	— 撤去					βγ-A	18	18	36	4	4	8	0
b-189	排風機3	— 廃棄物搬出	放射性でない	1505		0	βγ-A	9	9	18	2	2	4	0
b-190	送風機1	— 後始末					βγ-A	14	14	28	3	3	6	0
b-191	送風機1	— 廃棄物搬出	放射性でない	150		0	βγ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-192	送風機2	— 撤去					βγ-A	14	14	28	3	3	6	0
b-193	送風機2	— 廃棄物搬出	放射性でない	301		0	βγ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-194	送風機3	— 撤去					βγ-A	18	18	36	4	4	8	0
b-196	フィルタユニット2	— 取り外し					βγ-A	17	17	34	3	3	6	0
b-195	送風機3	— 廃棄物搬出	放射性でない	1505		0	βγ-A	9	9	18	2	2	4	0
b-198	フィルタユニット1	— 取り外し					βγ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-197	フィルタユニット2	— 廃棄物搬出	βγ-A	800	角型19m3	1	βγ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-199	フィルタユニット1	— 廃棄物搬出	βγ-A	400	角型19m3	1	βγ-A	12	12	24	2	2	4	0
—303	空調機	— 撤去					βγ-A	12	12	24	2	2	4	0
—304	空調機	— 廃棄物搬出	放射性でない	200		0	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
—307	排気筒	— 準備					βγ-A	280	280	560	56	56	112	0
b-308	排気筒	— 表面測定					βγ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-309	排気筒	— 線切断					βγ-A	12	12	24	2	2	4	0
b-310	排気筒切断片	— 廃棄物搬出	放射性でない	1600		0	βγ-A	8	8	16	2	2	4	0
b-200	機械室	— 後始末					βγ-A	204	204	408	41	41	82	0
b-201	機械室	— 表面測定					βγ-A	33	33	66	7	7	14	0
b-202	機械室	— 後片付け					βγ-A	24	24	48	5	5	10	0
b-203	固体廃棄物貯蔵室	— 準備					βγ-A	24	24	48	5	5	10	0
b-204	固体廃棄物貯蔵室	— 表面除染					βγ-A	20	20	40	4	4	8	0
b-205	廃液スラッジ回収装置	— 撤去					βγ-A	24	24	48	5	5	10	0
b-206	廃液スラッジ回収装置	— 廃棄物搬出	βγ-A	4000	角型19m3	1	βγ-A	8	8	16	2	2	4	0
b-207	固体廃棄物貯蔵室	— 表面測定					βγ-A	72	72	144	14	14	28	0
b-208	固体廃棄物貯蔵室	— 後始末					βγ-A	14	14	28	3	3	6	0
b-209	制御室	— 準備					βγ-A	14	14	28	3	3	6	0
b-210	制御室	— 表面除染					βγ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-211	制御盤1	— 廃棄物搬出	放射性でない	1700		0	βγ-A	9	9	18	2	2	4	0
b-212	制御盤2	— 廃棄物搬出	放射性でない	3400		0	βγ-A	9	9	18	2	2	4	0
b-213	制御盤3	— 廃棄物搬出	放射性でない	1200		0	βγ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-214	制御盤4	— 廃棄物搬出	放射性でない	260		0	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-215	動力盤	— 廃棄物搬出	放射性でない	300		0	βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-216	換気系	— 廃棄物搬出	放射性でない	37		0	βγ-A	5	5	10	1	1	2	0
b-217	制御室	— 汚染測定					βγ-A	21	21	42	4	4	8	0
b-218	制御室	— 後始末					βγ-A	14	14	28	3	3	6	0
b-219	遮蔽体	— 廃棄物搬出	放射性でない	1370		0	βγ-A	9	9	18	2	2	4	0
b-220	廃液処理室	— 準備					βγ-A	24	24	48	5	5	10	0
b-221	蒸発缶室	— 準備					βγ-A	24	24	48	5	5	10	0
b-222	固化室	— 準備					βγ-A	14	14	28	3	3	6	0
b-223	廃液タンク室	— 準備					βγ-A	51	51	102	10	10	20	0
b-224	固体廃棄物貯蔵室	— 準備					βγ-A	48	48	96	10	10	20	0
b-225	機械室	— 準備					βγ-A	24	24	48	5	5	10	0
b-226	制御室	— 準備					βγ-A	14	14	28	3	3	6	0
b-227	倉庫	— 準備					βγ-A	22	22	44	4	4	8	0
b-228	チェンジングルーム	— 準備					βγ-A	6	6	12	1	1	2	0
b-229	廃液処理室	— 空間測定					βγ-A	10	10	20	2	2	4	0
b-230	蒸発缶室	— 空間測定					βγ-A	10	10	20	2	2	4	0
b-231	固化室	— 空間測定					βγ-A	8	8	16	2	2	4	0
b-232	廃液タンク室	— 空間測定					βγ-A	14	14	28	3	3	6	0
b-233	固体廃棄物貯蔵室	— 空間測定					βγ-A	15	15	30	3	3	6	0
b-234	機械室	— 空間測定					βγ-A	9	9	18	2	2	4	0
b-235	制御室	— 空間測定					βγ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-236	倉庫	— 空間測定					βγ-A	7	7	14	1	1	2	0
b-237	チェンジングルーム	— 空間測定					βγ-A	9	9	18	2	2	4	0
b-238	廃液処理室	— 後始末					βγ-A	39	39	78	8	8	16	0
b-239	蒸発缶室	— 後始末					βγ-A	33	33	66	7	7	14	0
b-240	固化室	— 後始末					βγ-A	27	27	54	5	5	10	0
b-241	廃液タンク室	— 後始末					βγ-A	76	76	152	15	15	30	0
b-242	固体廃棄物貯蔵室	— 後始末					βγ-A	52	52	104	10	10	20	0
b-243	機械室	— 後始末					βγ-A	26	26	52	5	5	10	0
b-244	制御室	— 後始末					βγ-A	18	18	36	4	4	8	0
b-245	倉庫	— 後始末					βγ-A	18	18	36	4	4	8	0
b-246	チェンジングルーム	— 後始末					βγ-A	9	9	18	2	2	4	0
			2E+0		328		6931	6931	13862	1377	1377	2754	0	

表4-7 月別評価指標集計表

期間(月)	工法A								
	人工数 (人日)	人件費	資材費	放射性廃棄 物収納容器	コスト合計 (千円)	被ばく線量 (man・mSv)	1次廃棄物 発生量(kg)	2次廃棄物 発生量(kg)	2次廃液 発生量
1	254	11636	635	0	12271	3073	7675	508	0
2	428	17144	1464	0	18608	4812	0	856	0
3	192	9208	818	4500	14526	1311	1749	384	0
4	168	8064	922	3000	11986	522	7170	336	0
5	182	8484	452	0	8936	189	2285	364	0
6	165	7872	409	3000	11281	135	920	330	0
7	229	10568	635	2020	13223	137	5674	458	0
8	282	12588	845	4120	17553	2122	18982	564	0
9	329	14336	1016	1520	16872	10855	31359	658	0
10	276	12512	819	5000	18331	3211	10089	552	0
11	246	10872	883	1190	12945	3681	7634	492	0
12	428	17172	1460	0	18632	971	13	856	0
13	501	20500	1827	3500	25827	774	14936	1002	0
14	381	15396	1292	0	16688	829	0	762	0
15	270	12492	150770	8500	171762	289	14210	540	3
16	284	12604	887	3570	17061	530	5917	568	1
17	220	10048	631	520	11199	899	657	440	0
18	182	8400	504	60	8964	35	253	364	0
19	263	11484	751	500	12735	20	10360	526	0
20	295	13112	885	1000	14997	17	5262	590	0
21	308	12768	1098	0	13866	23	1600	616	0
22	225	9780	695	0	10475	13	0	450	0
23	179	8208	465	500	9173	1	10897	358	0
24	222	9672	567	0	10239	1031	1370	444	0
25	205	9060	508	0	9568	1961	0	410	0
26	217	9240	581	0	9821	178	0	434	0
	6931	303220	171819	42500	517539	37619	159012	13862	4

表4-8 研削:工数、被ばく、人工数(1/1)

作業ID	作業名称	対象機器	開始日	終了日	作業日数	被ばく線量 (man・mSv)	作業人員数	現場監督	放管	作業班長	作業者	合計 (人日)
b-257	廃液タンク室1F壁	研削	0/1	0/14	14	0.00E+00	7	14	14	14	56	98
b-259	廃液処理室地下壁	はつり	0/15	0/17	3	0.00E+00	7	3	3	3	12	21
b-261	蒸発缶室地下壁	研削	0/18	1/2	5	0.00E+00	7	5	5	5	20	35
b-263	機械室壁	研削	1/3	1/5	3	0.00E+00	7	3	3	3	12	21
b-265	倉庫壁	研削	1/6	1/6	1	0.00E+00	7	1	1	1	4	7
b-267	廃液処理室前地下壁	研削	1/7	1/8	2	0.00E+00	7	2	2	2	8	14
b-269	蒸発缶室前地下壁	研削	1/9	1/10	2	0.00E+00	7	2	2	2	8	14
b-271	廃液処理室1F壁	研削	1/11	1/15	5	0.00E+00	7	5	5	5	20	35
b-258	廃液タンク室1F壁	廃棄物搬出	0/15	1/18	24	0.00E+00	5	24	24	24	48	120
b-273	固化室1F壁	研削	1/16	1/19	4	0.00E+00	7	4	4	4	16	28
b-260	廃液処理室地下壁	廃棄物搬出	1/19	2/3	5	0.00E+00	5	5	5	5	10	25
b-262	蒸発缶室地下壁	廃棄物搬出	2/4	2/12	9	0.00E+00	5	9	9	9	18	45
b-264	機械室壁	廃棄物搬出	2/13	2/17	5	0.00E+00	5	5	5	5	10	25
b-266	倉庫壁	廃棄物搬出	2/18	2/19	2	0.00E+00	5	2	2	2	4	10
b-268	廃液処理室前地下壁	廃棄物搬出	2/20	3/1	2	0.00E+00	5	2	2	2	4	10
b-270	蒸発缶室前地下壁	廃棄物搬出	3/2	3/3	2	0.00E+00	5	2	2	2	4	10
b-272	廃液処理室1F壁	研削	3/4	3/12	9	0.00E+00	5	9	9	9	18	45
b-274	固化室1F壁	研削	3/13	3/19	7	0.00E+00	5	7	7	7	14	35
b-275	蒸発缶室1F壁	研削	3/20	4/4	5	0.00E+00	7	5	5	5	20	35
b-277	制御室壁	研削	4/5	4/5	1	0.00E+00	7	1	1	1	4	7
b-279	チェンジングルーム壁	研削	4/6	4/6	1	0.00E+00	7	1	1	1	4	7
b-281	廃液処理室前壁	研削	4/7	4/8	2	0.00E+00	7	2	2	2	8	14
b-283	固化室前壁	研削	4/9	4/10	2	0.00E+00	7	2	2	2	8	14
b-285	蒸発缶室前壁	研削	4/11	4/11	1	0.00E+00	7	1	1	1	4	7
b-276	蒸発缶室1F壁	廃棄物搬出	4/5	4/12	8	0.00E+00	5	8	8	8	16	40
b-278	制御室壁	廃棄物搬出	4/13	4/14	2	0.00E+00	5	2	2	2	4	10
b-280	チェンジングルーム壁	廃棄物搬出	4/15	4/15	1	0.00E+00	5	1	1	1	2	5
b-287	固体廃棄物貯蔵室1F壁	研削	4/12	4/17	6	0.00E+00	7	6	6	6	24	42
b-282	廃液処理室前壁	廃棄物搬出	4/16	4/18	3	0.00E+00	5	3	3	3	6	15
b-331	固体廃棄物貯蔵室地下	研削	4/18	4/20	3	0.00E+00	7	3	3	3	12	21
b-284	固化室前壁	廃棄物搬出	4/19	5/1	3	0.00E+00	5	3	3	3	6	15
b-286	蒸発缶室前壁	廃棄物搬出	5/2	5/3	2	0.00E+00	5	2	2	2	4	10
b-288	固体廃棄物貯蔵室1F壁	廃棄物搬出	5/4	5/13	10	0.00E+00	5	10	10	10	20	50
b-332	固体廃棄物貯蔵室地下	廃棄物搬出	5/14	5/18	5	0.00E+00	5	5	5	5	10	25
					159	0	204	159	159	159	438	915

表4-9 研削:コスト集計表(1/1)

作業ID	作業名称	人件費	一般資材費	特殊設備費	資材費計	放射性廃棄物収 納容器費	トータルコスト (千円)
b-257	廃液タンク室1F壁	4704	252	0	252	0	4956
b-259	廃液処理室地下壁	1008	54	0	54	0	1062
b-261	蒸発缶室地下壁	1680	90	0	90	0	1770
b-263	機械室壁	1008	54	0	54	0	1062
b-265	倉庫壁	336	16	0	16	0	352
b-267	廃液処理室前地下壁	672	36	0	36	0	708
b-269	蒸発缶室前地下壁	672	36	0	36	0	708
b-271	廃液処理室1F壁	1680	90	0	90	0	1770
b-258	廃液タンク室1F壁	6336	216	0	216	3580	10132
b-273	固化室1F壁	1344	72	0	72	0	1416
b-260	廃液処理室地下壁	1320	45	0	45	660	2025
b-262	蒸発缶室地下壁	2376	81	0	81	1310	3767
b-264	機械室壁	1320	45	0	45	0	1365
b-266	倉庫壁	528	16	0	16	0	544
b-268	廃液処理室前地下壁	528	18	0	18	290	836
b-270	蒸発缶室前地下壁	528	18	0	18	290	836
b-272	廃液処理室1F壁	2376	81	0	81	1250	3707
b-274	固化室1F壁	1848	63	0	63	970	2881
b-275	蒸発缶室1F壁	1680	90	0	90	0	1770
b-277	制御室壁	336	16	0	16	0	352
b-279	チェンジングルーム壁	336	16	0	16	0	352
b-281	廃液処理室前壁	672	36	0	36	0	708
b-283	固化室前壁	672	36	0	36	0	708
b-285	蒸発缶室前壁	336	18	0	18	0	354
b-276	蒸発缶室1F壁	2112	72	0	72	1170	3354
b-278	制御室壁	528	16	0	16	0	544
b-280	チェンジングルーム壁	264	8	0	8	0	272
b-287	固体廃棄物貯蔵室1F壁	2016	108	0	108	0	2124
b-282	廃液処理室前壁	792	27	0	27	420	1239
b-331	固体廃棄物貯蔵室地下	1008	54	0	54	0	1062
b-284	固化室前壁	792	27	0	27	320	1139
b-286	蒸発缶室前壁	528	18	0	18	260	806
b-288	固体廃棄物貯蔵室1F壁	2640	90	0	90	1410	4140
b-332	固体廃棄物貯蔵室地下	1320	45	0	45	630	1995
		46296	1960	0	1960	12560	60816

表4-10 研削:廃棄物発生量(1/1)

作業 ID	作業名称	1次廃棄物				2次廃棄物								
		廃棄物区分	発生 量(kg)	容器種類	容器 数	廃棄物 区分	発生量 (可燃:	発生量 (不燃:	発生量 合計(kg)	カートンボックス (可燃:	カートンボックス (不燃:	カートンボックス 計(可燃:箱)	廃液量 (m3)	
b-257	廃液タンク室1F壁	— 研削				β γ-A	98	98	196	20	20	40	0	
b-259	廃液処理室地下壁	— はつり				β γ-A	21	21	42	4	4	8	0	
b-261	蒸発缶室地下壁	— 研削				β γ-A	35	35	70	7	7	14	0	
b-263	機械室壁	— 研削				β γ-A	21	21	42	4	4	8	0	
b-265	倉庫壁	— 研削				β γ-A	7	7	14	1	1	2	0	
b-267	廃液処理室前地下壁	— 研削				β γ-A	14	14	28	3	3	6	0	
b-269	蒸発缶室前地下壁	— 研削				β γ-A	14	14	28	3	3	6	0	
b-271	廃液処理室1F壁	— 研削				β γ-A	35	35	70	7	7	14	0	
b-258	廃液タンク室1F壁	— 廃棄物搬出	β γ-A	35720	200ℓドラム缶	358	β γ-A	120	120	240	24	24	48	0
b-273	固化室1F壁	— 研削				β γ-A	28	28	56	6	6	12	0	
b-260	廃液処理室地下壁	— 廃棄物搬出	β γ-A	6502	200ℓドラム缶	66	β γ-A	25	25	50	5	5	10	0
b-262	蒸発缶室地下壁	— 廃棄物搬出	β γ-A	13075	200ℓドラム缶	131	β γ-A	45	45	90	9	9	18	0
b-264	機械室壁	— 廃棄物搬出	放射性でない	5503		β γ-A	25	25	50	5	5	10	0	
b-266	倉庫壁	— 廃棄物搬出	放射性でない	2251		β γ-A	10	10	20	2	2	4	0	
b-268	廃液処理室前地下壁	— 廃棄物搬出	β γ-A	2848	200ℓドラム缶	29	β γ-A	10	10	20	2	2	4	0
b-270	蒸発缶室前地下壁	— 廃棄物搬出	β γ-A	2829	200ℓドラム缶	29	β γ-A	10	10	20	2	2	4	0
b-272	廃液処理室1F壁	— 廃棄物搬出	β γ-A	12402	200ℓドラム缶	125	β γ-A	45	45	90	9	9	18	0
b-274	固化室1F壁	— 廃棄物搬出	β γ-A	9625	200ℓドラム缶	97	β γ-A	35	35	70	7	7	14	0
b-275	蒸発缶室1F壁	— 研削				β γ-A	35	35	70	7	7	14	0	
b-277	制御室壁	— 研削				β γ-A	7	7	14	1	1	2	0	
b-279	チェンジングルーム	— 研削				β γ-A	7	7	14	1	1	2	0	
b-281	廃液処理室前壁	— 研削				β γ-A	14	14	28	3	3	6	0	
b-283	固化室前壁	— 研削				β γ-A	14	14	28	3	3	6	0	
b-285	蒸発缶室前壁	— 研削				β γ-A	7	7	14	1	1	2	0	
b-276	蒸発缶室1F壁	— 廃棄物搬出	β γ-A	11605	200ℓドラム缶	117	β γ-A	40	40	80	8	8	16	0
b-278	制御室壁	— 廃棄物搬出				β γ-A	10	10	20	2	2	4	0	
b-280	チェンジングルーム	— 廃棄物搬出				β γ-A	5	5	10	1	1	2	0	
b-287	固体廃棄物貯蔵室1F壁	— 研削				β γ-A	42	42	84	8	8	16	0	
b-282	廃液処理室前壁	— 廃棄物搬出	β γ-A	4103	200ℓドラム缶	42	β γ-A	15	15	30	3	3	6	0
b-331	固体廃棄物貯蔵室地下壁	— 研削				β γ-A	21	21	42	4	4	8	0	
b-284	固化室前壁	— 廃棄物搬出	β γ-A	3181	200ℓドラム缶	32	β γ-A	15	15	30	3	3	6	0
b-286	蒸発缶室前壁	— 廃棄物搬出	β γ-A	2524	200ℓドラム缶	26	β γ-A	10	10	20	2	2	4	0
b-288	固体廃棄物貯蔵室1F壁	— 廃棄物搬出	β γ-A	14015	200ℓドラム缶	141	β γ-A	50	50	100	10	10	20	0
b-332	固体廃棄物貯蔵室地下壁	— 廃棄物搬出	β γ-A	6260	200ℓドラム缶	63	β γ-A	25	25	50	5	5	10	0
			1E+0		1256		915	915	1830	182	182	364	0	

表4-11 研削:月別評価指標集計表

研削									
期間(月)	人工数 (人日)	人件費	資材費	放射性廃棄物 収納容器	コスト合計 (千円)	被ばく線量 (man・mSv)	1次廃棄物 発生量(kg)	2次廃棄物 発生量(kg)	2次廃液 発生量
1	170	8304	414	895	9613	0	8931	340	0
2	233	11664	520	2949	15133	0	29391	466	0
3	100	5280	178	1851	7309	0	26155	200	0
4	102	5352	189	2655	8196	0	26280	204	0
5	220	10944	497	1804	13245	0	22475	440	0
6	90	4752	162	2407	7321	0	23860	180	0
	915	46296	1960	12561	60817	0	137092	1830	0

表 5-1 工期、工数、被ばく線量当量の比較（除研削）

	集計区分	工期（作業日数）		工数（人・日）		被ばく線量当量率(mS)	
		工程 A	工程 B	工程 A	工程 B	工程 A	工程 B
準備	事前準備	76	—	1,343	—	15,561	—
除染	小 計	225	—	2,006	—	37,400	—
解体	1.準備作業	—	—	—	—	—	—
	2.廃液処理室	210	165	2,204	1,690	19,651	13,212
	3.固化室	139	81	1,098	638	31,554	530
	4.蒸発缶室	111	59	1,094	656	1,037	16,957
	5.廃液タンク室	283	143	2,678	2,009	4,789	3,664
	6.機械室	23	88	241	1,055	4	72
	7.固体廃棄物貯蔵室	87	16	1,536	162	109	2
	8.制御室、チェンジ・ルーム	14	15	125	107	—	—
	9.測定（各室分合計）	64	53	1,047	614	4,823	3,169
	10.建家汚染の確認等	—	—	—	—	—	—
	小 計	732*1	517*2	10,023	6,931	61,967	37,606
合計		1,033	—	13,372	6,931	114,928	37,606

*1：平行作業分 119 日は含まれない

*2：平行作業分 93 日は含まれない

表 5-2 廃棄物発生量推定の比較（除研削）

発生場所		工程 A			工程 B			
		機器搬出 (kg)	200lドラム 缶(本)	20lカートン ボックス(個)	機器搬出 (kg)	コンテナ (基)	200lドラム 缶(本)	20lカートン ボックス(個)
機器 解体	1.廃液処理室	39,230	37		11,744	20	164	
	2.固化室	6,420	245		4,644	10	2	
	3.蒸発缶室	2,460	28		8,533	14	2	
	4.廃液タンク室	13	116		35,308	32	82	
	5.機械室	10,722	25		4,700	3		
	6.その他	10,267	20		4,000	1		
小 計		69,112	471		68,929	80	250	
二次 廃 棄 物	1.廃液処理室			933				680
	2.固化室			479				258
	3.蒸発缶室			493				264
	4.廃液タンク室			1,142				810
	5.機械室			666				424
	6.その他			834				356
廃液発生量								3(m ³)
小 計				4,547				2,792
合 計		69,112	471	4,547	68,929	80	250	2,792

表 5-3 放射性廃棄物収納用角型(19m³)容器の数量

	機器	発生量(kg)	容器数 (本)
廃液処理室	小計	11,744	5
	PH 自動調節器ほか	2,919	1
	架台	6,000	1
	中和槽本体切断片 a	883	1
	中和槽本体切断片 b 他	888	1
	中和槽切断片コーン部	1,054	1
固化室	小計	4,644	1
	高圧配管類切断片他	4,644	1
蒸発缶室	小計	8,533	2
	高圧配管類切断片他	3,697	1
	蒸発缶カラム部他	5,236	1
廃液タンク室	小計	35,308	10
	高圧配管類切断片他	6,128	1
	上澄水タンク切断片胴部 含ポンプ	2,466	1
	放出予備タンク切断片胴部 含ポンプ	2,002	1
	低圧廃液貯留タンク b 切断片胴部 含ポンプ	2,339	1
	低圧廃液貯留タンク a 切断片胴部 含ポンプ	2,339	1
	低圧廃液貯留タンク c 切断片胴部 含ポンプ	2,339	1
	高圧廃液貯留タンク b 切断片胴部 含ポンプ	2,002	1
	高圧廃液貯留タンク a 切断片胴部 含ポンプ	2,002	1
	タンク類 (7 基) 切断片鏡部	2,551	1
	架台	11,140	1
機械室	小計	4,700	1
	排気ダクト他	4,700	1
廃棄物貯蔵室	小計	4,000	1
	廃液スラッジ回収装置	4,000	1
計		68,929	20

表 5-4 コストの比較

(千円)

	工程 A	工程 B	
		機器解体分	研削分
人 件 費	589,024	303,220	46,296
機 器 費	63,200	75,968	—
資 材 費	39,489	20,845	1,960
廃棄物容器費	4,840	42,500	12,560
合 計	696,553	442,533	60,816

表 5-5 研削の工期、工数、被ばく線量当量、廃棄物発生量

集計区分	工期 (日数)	工数 (人・日)	被ばく 線量当 量率 (mSv)	廃棄物発生量		
				コンクリート搬出 (kg)	200Lドラム 缶 (本)	20Lカートン ボックス (個)
1.廃液処理室	31	186	0	25,855	262	72
2.固化室	16	102	0	12,805	129	38
3.蒸発缶室	34	179	0	30,033	303	78
4.廃液タンク室	38	218	0	35,720	358	88
5.固体廃棄物貯蔵室	24	138	0	20,275	204	54
6.機械室	8	46	0			18
7.制御室	3	17	0			6
8.チェンジングルーム	2	12	0			4
9.倉庫	3	17	0			6
合 計	118*	915	0	124,688	1,256	364

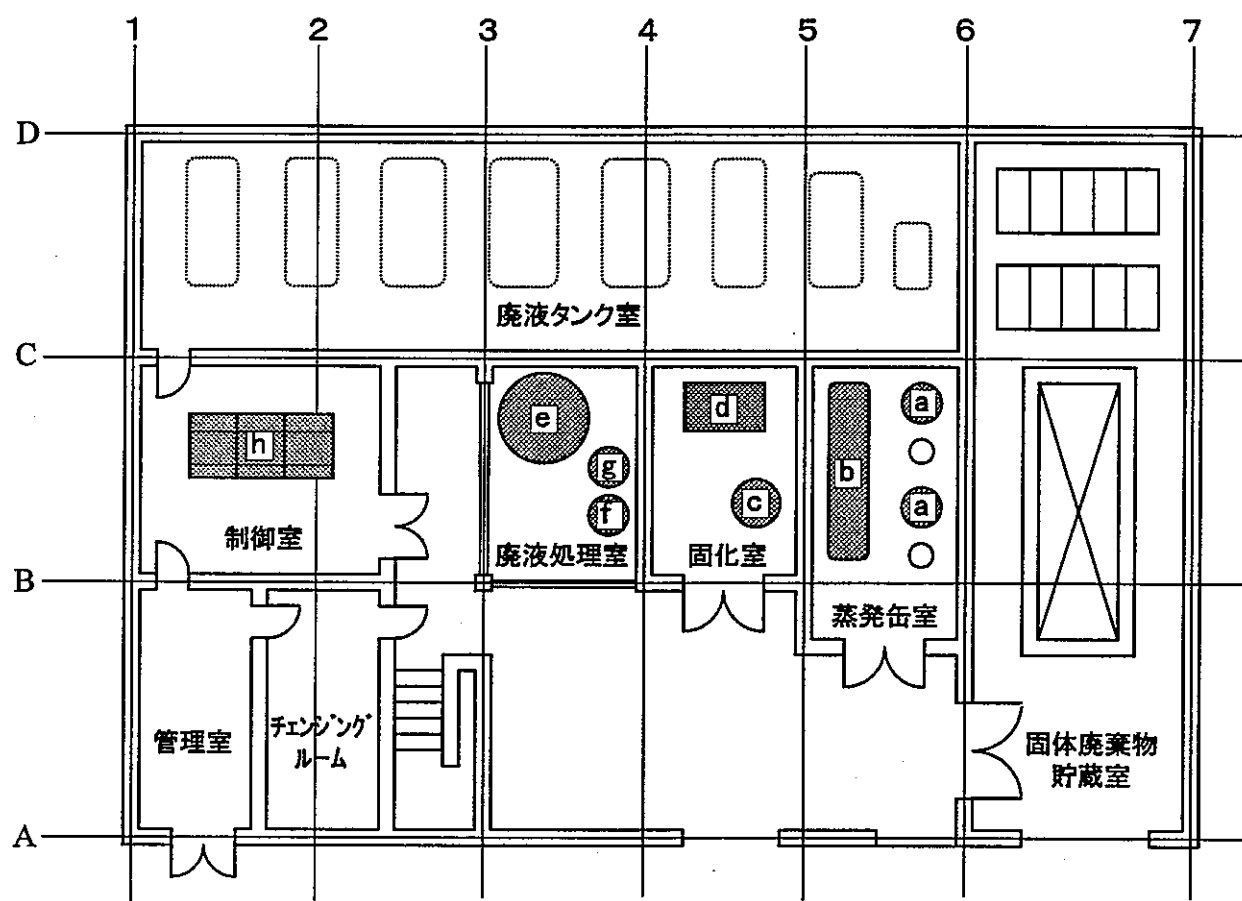
* : 平行作業 41 日を除いた日数

表 5-6 事前見積りと計算結果との作業日数等の比較

作業日数において事前見積りと計算結果との差が大きい作業項目

作業 ID	作業名称	作業人工数		作業日数	
		見積り (人・時)	計算 (人・日)	見積り (日)	計算 (日)
B-65	固化室 gh-gh 設置	400	162	10	18
B-67	高レベル配管類—後始末	8	18	1	3
B-71	低レベル配管類—後始末	20	18	1	3
B-78	添加剤ホッパー撤去	15	21	1	3
B-313	乾燥溶融固化装置本体—撤去	10	21	1	3
B-84	固化室 gh-gh 撤去	35	27	1	3
B-86	固化室—残配管撤去	20	21	1	3
B-56	中和槽周囲遮蔽体—撤去	35	27	1	3
B-57	中和槽周囲遮蔽体—廃棄物搬出	50	33	1	3
B-110	蒸気凝縮器—取外し	10	21	1	3
B-114	濃縮液受槽—取外し	20	36	1	3
B-118	蒸発缶室 gh-gh 撤去	35	27	1	3
B-120	蒸発缶室—残配管除去	20	24	1	3
B-128	廃液タンク室 gh-gh 設置	1,100	420	11	20
B-139	タンク切断用 gh-gh 設置	1,100	420	11	20
B-158	廃液タンク室—養生	10	21	1	3
B-161	廃液タンク室 gh-gh 撤去	30	27	1	3
B-164	廃液タンク室—残配管除去	20	21	1	3
B-169	廃液処理室 gh-gh 撤去	48	42	2	6
B-171	廃液処理室—残配管除去	20	21	1	3
B-176	通路(1F)gh-gh 撤去	25	21	1	3
B-300	通路地下 gh-gh 撤去	25	21	1	3
B-302	通路地下一表面測定	100	63	4	9
B-180	入気ダクト—撤去	50	36	1	3

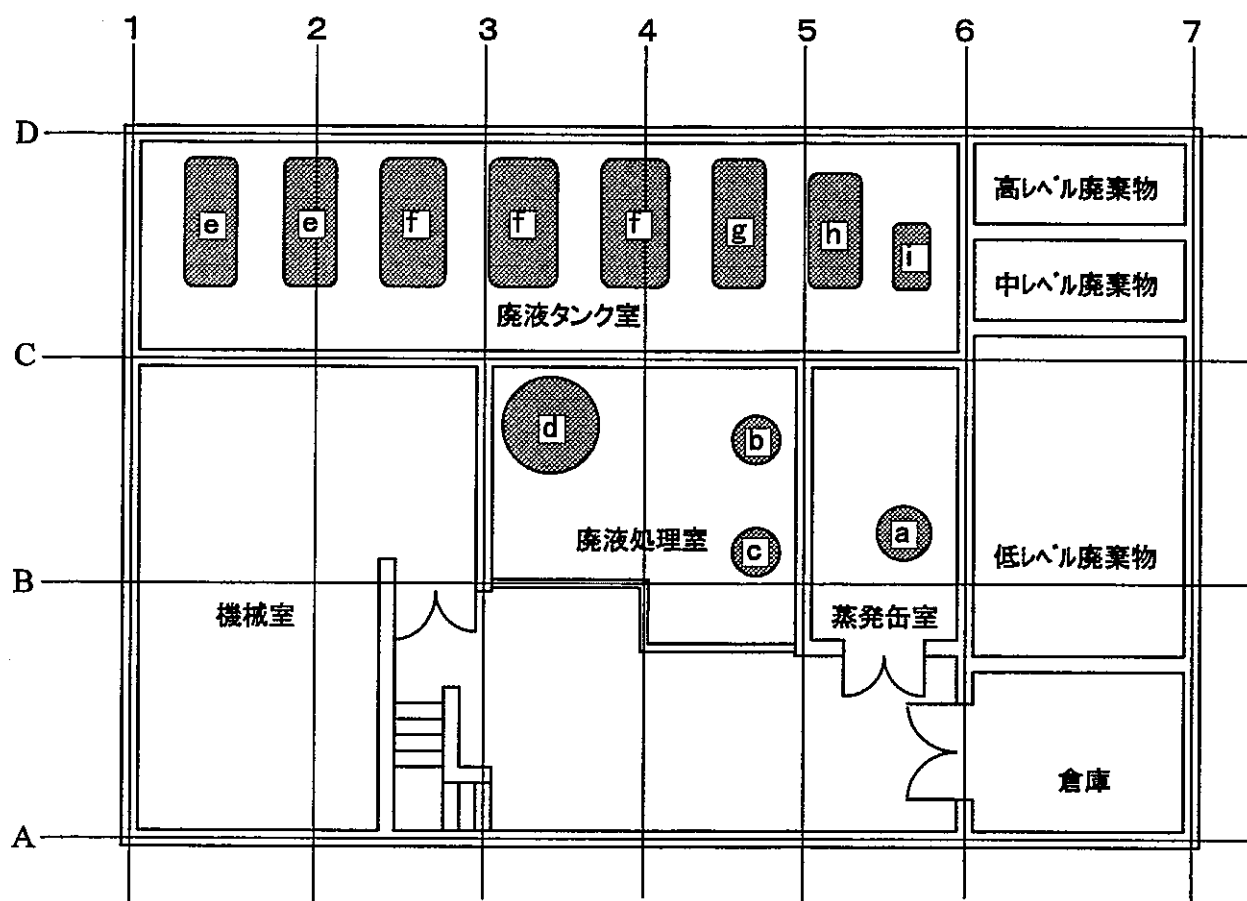
作業 ID	作業名称	作業人工数		作業日数	
		見積り (人・時)	計算 (人・日)	見積り (日)	計算 (日)
B-305	排気ダクトー撤去	50	36	1	3
B-307	排気塔ー後始末	500	280	5	14
B-200	機械室ー後始末	300	204	6	17
B-201	機械室ー表面測定	30	33	1	3
B-205	廃液スラッジ回収装置ー撤去	12	24	1	3
B-207	固体廃棄物貯蔵室ー表面測定	50	72	1	6
B-217	制御室ー汚染検査	10	21	1	3
B-258	廃液タンク室壁ーコンクリート廃棄物搬出	15	120	1	24
B-260	廃液処理室(B1F)壁ーコンクリート廃棄物搬出	15	25	1	5
B-262	蒸発缶室(B1F)壁ーコンクリート廃棄物搬出	15	45	1	9
B-264	機械室壁ーコンクリート廃棄物	15	25	1	5
B-272	廃液処理室(1F)壁ーコンクリート廃棄物搬出	15	45	1	9
B-274	固化室(1F)壁ーコンクリート廃棄物搬出	15	35	1	7
B-276	蒸発缶室(1F)壁ーコンクリート廃棄物搬	15	40	1	8
B-282	廃液処理室(1F)前通路壁ーコンクリート廃棄物搬出	15	15	1	3
B-284	固化室(1F)前通路壁ーコンクリート廃棄物搬出	15	15	1	3
B-287	固体廃棄物貯蔵室(1F)壁ーコンクリート研削	25	42	1	6
B-288	固体廃棄物貯蔵室(1F)壁ーコンクリート廃棄物搬出	15	50	1	10
B-332	固体廃棄物貯蔵室(1F)壁ーコンクリート廃棄物搬出	15	25	1	5



* 廃液タンク室及び廃液処理室は地階から1階にかけて吹き抜け

記 号	機 器 名 称
a	蒸発缶
b	蒸発凝縮器
c	固化ボックス
d	乾燥溶解装置、添加剤ホッパ
e	中和槽
f	定量槽
g	計量槽
h	操作盤

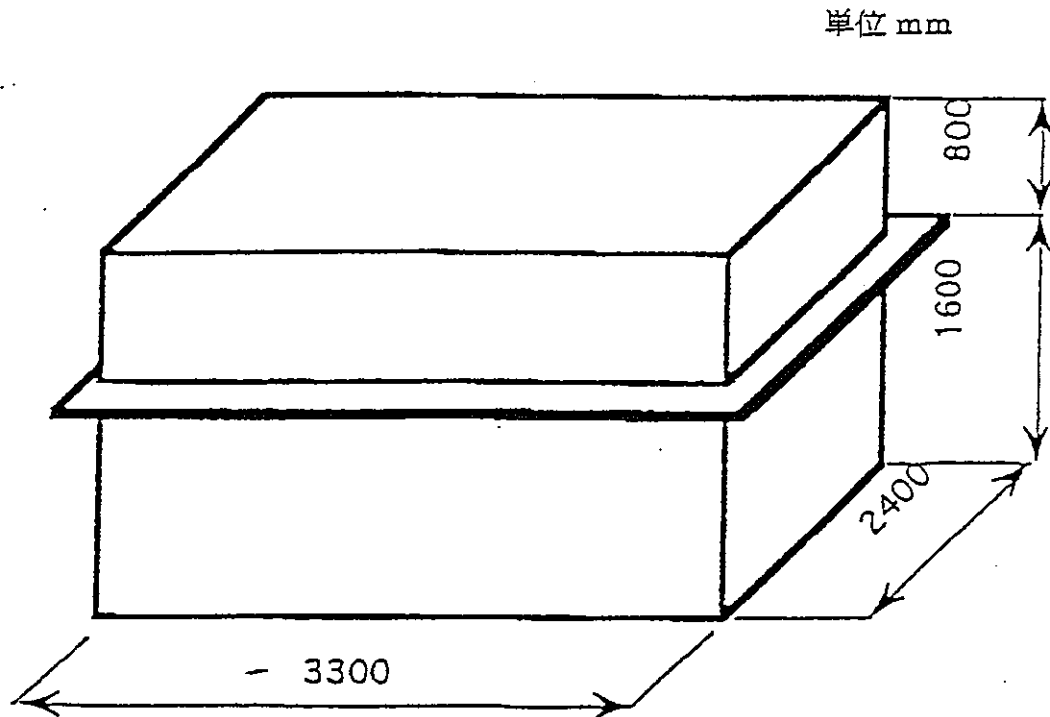
図 2 - 1 旧JWTF施設構成 (1階平面図) (1/2)



* 廃液タンク室及び廃液処理室は地階から1階にかけて吹き抜け

記 号	機 器 名 称
a	濃縮液受槽
b	蒸発缶洗浄用薬液タンク
c	蒸発缶洗浄用薬液廃液タンク
d	中和槽
e	高レベル廃液貯留タンク
f	低レベル廃液貯留タンク
g	上澄水タンク
h	放出予備タンク
i	ベントコレクションタンク

図 2 - 1 旧JWTF施設構成 (地階平面図) (2/2)



1. 廃棄物容器サイズ

3300L×2400W×2400H (容積: 19m³)

2. 19m³ 廃棄物容器の含有放射能量

- ・最大 α 含有量 3.5×10^{15}
- ・ α -B 含有量ボーダー値 3.5×10^{10}
- ・ α -A 含有量ボーダー値 3.5×10^7
- ・最大 β γ 含有量 3.5×10^{16}

3. 19m³ 廃棄物容器の充填重量

- ・金 属 30,000kg

4. 容器の表面線量率

容器の表面線量率は、2000 μ Sv/h 以下であることが必要です。これを超える場合は、鉛等により遮蔽を行い、表面線量率を 2000 μ Sv/h 以下にする必要がある。

図 2-2 旧常陽廃棄物処理建家の解体撤去計算作業用廃棄物容器

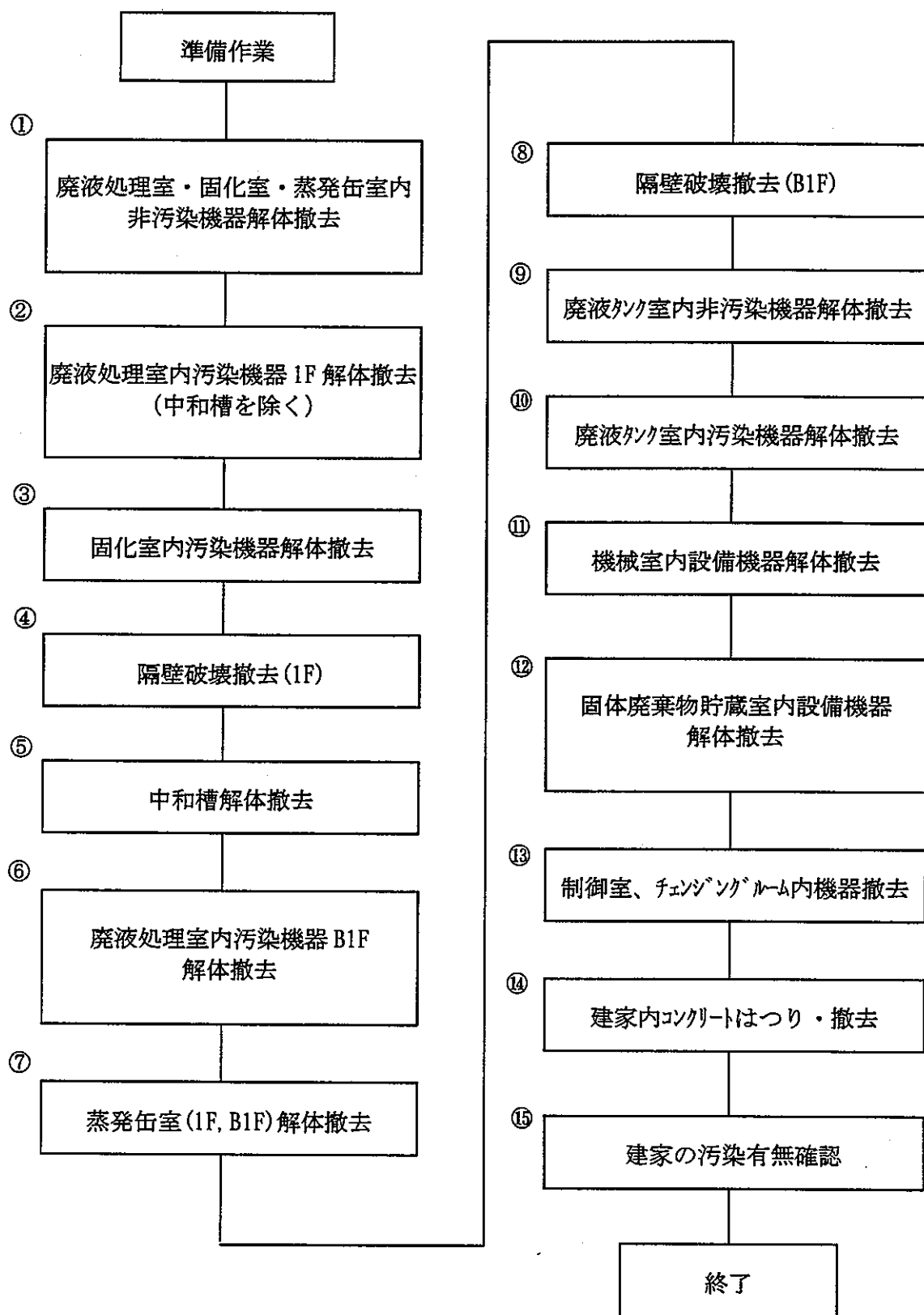
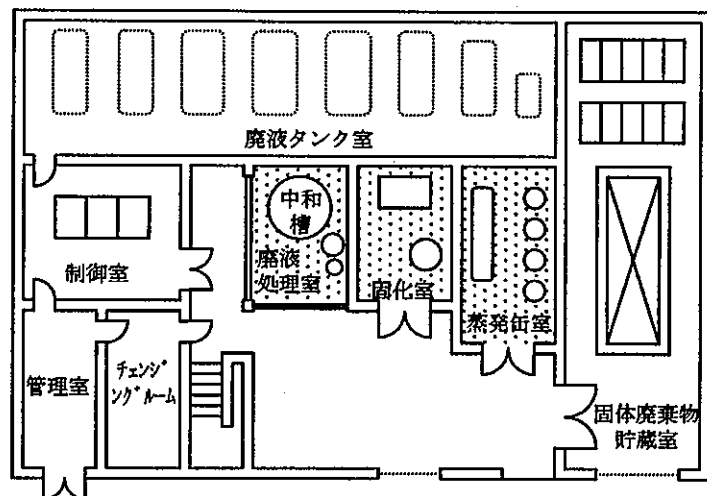


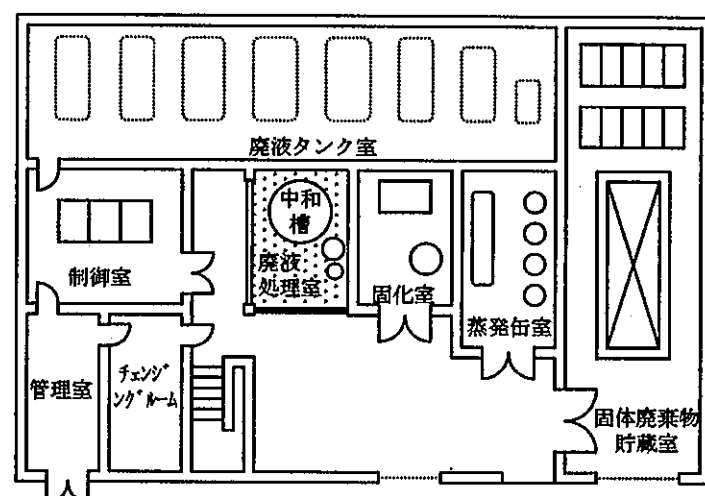
図 2 - 3 エリア (部屋) 作業順序図 (1/6)

① 廃液処理室・固化室・蒸発缶室内非汚染機器解体撤去



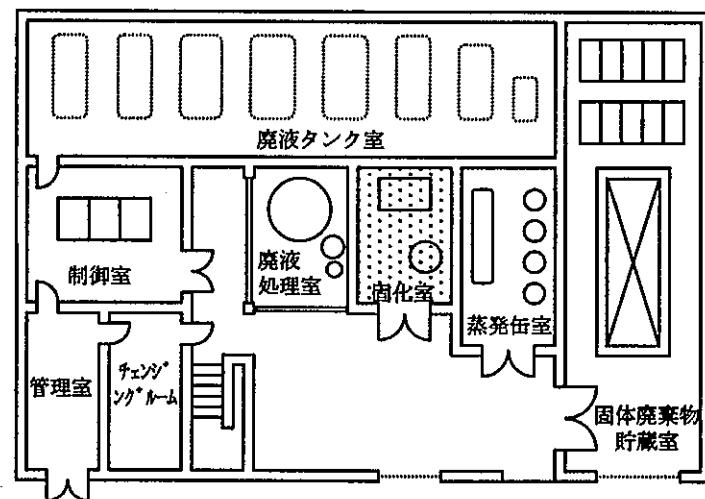
1階平面図 (1F)

② 廃液処理室内汚染機器1F解体撤去 (中和槽を除く)

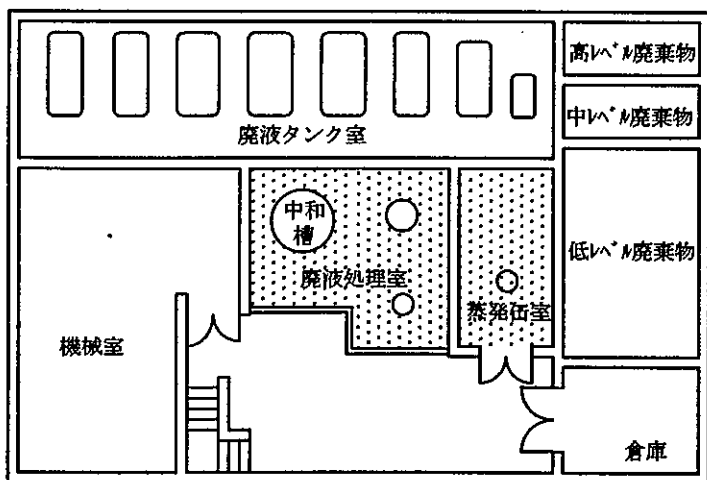


1階平面図 (1F)

③ 固化室内汚染機器解体撤去



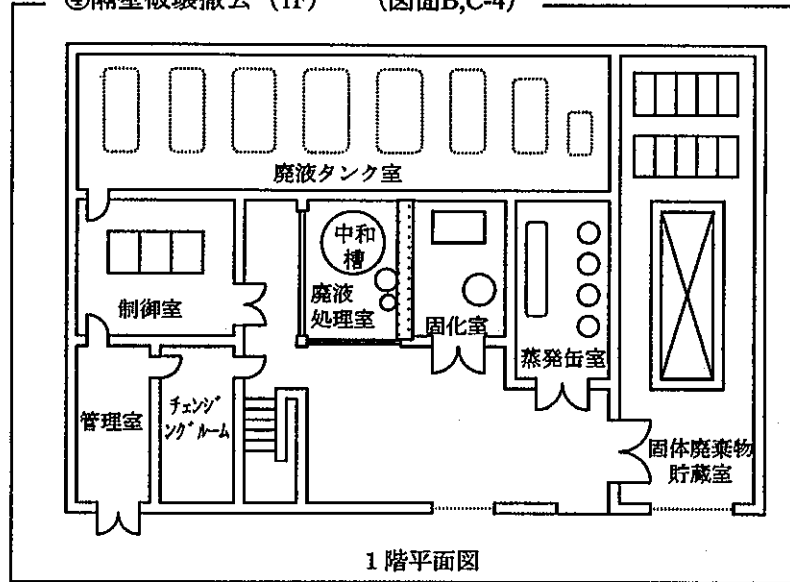
1階平面図 (1F)



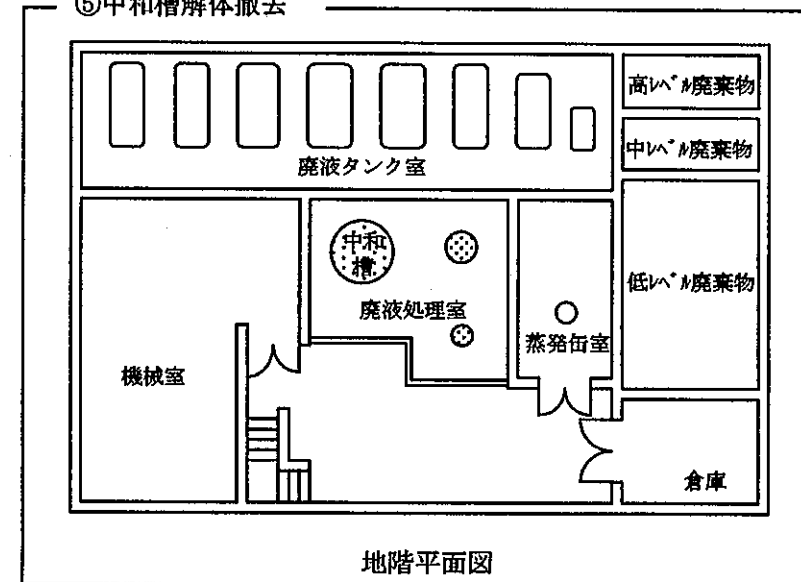
地階平面図 (B1F)

図 2-3 エリア (部屋) 作業順序図 (2/6)

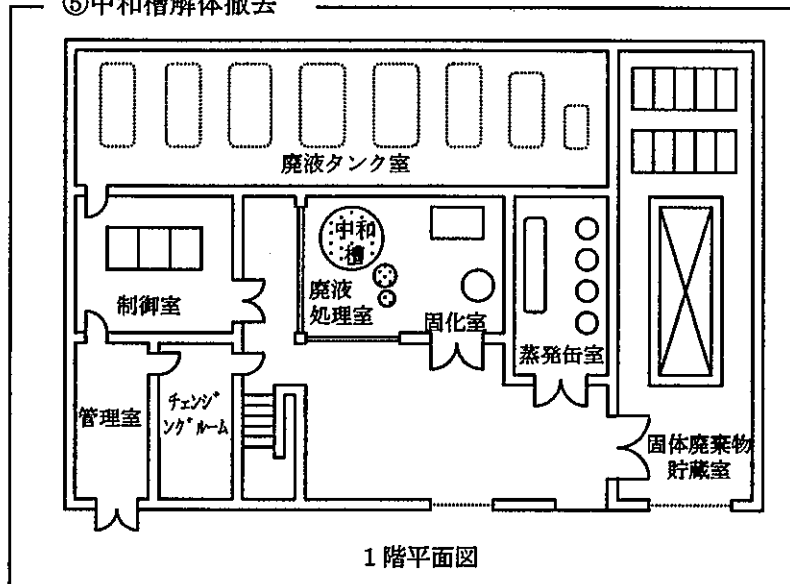
④隔壁破壊撤去 (1F) (図面B,C-4)



⑤中和槽解体撤去



⑤中和槽解体撤去



⑥廃液処理室内汚染機器B1F解体撤去

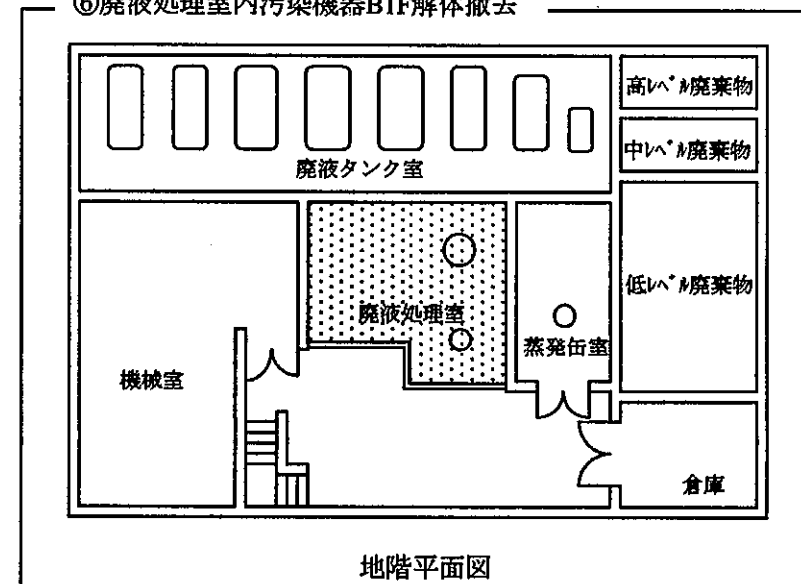
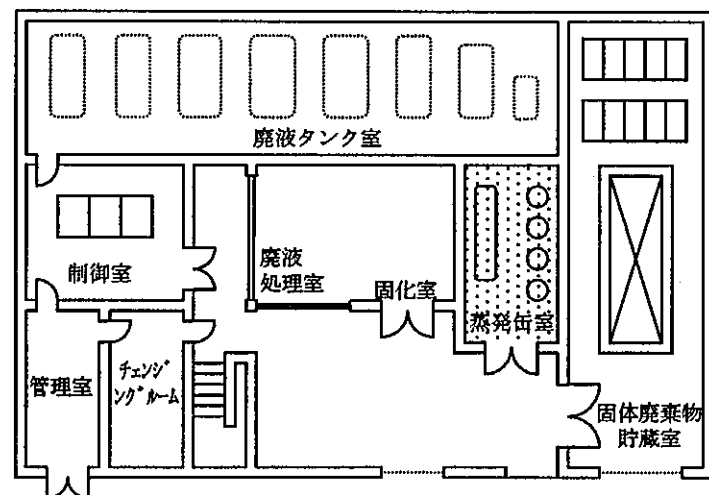
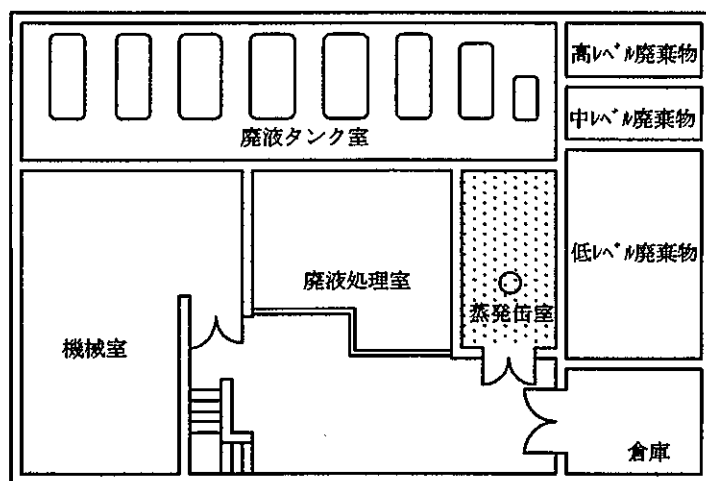


図2-3 エリア(部屋)作業順序図(3/6)

⑦蒸発缶室 (1F,B1F) 解体撤去

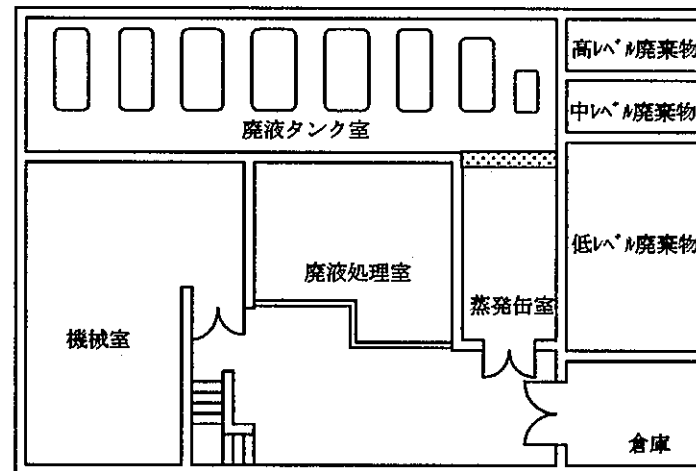


1 階平面図



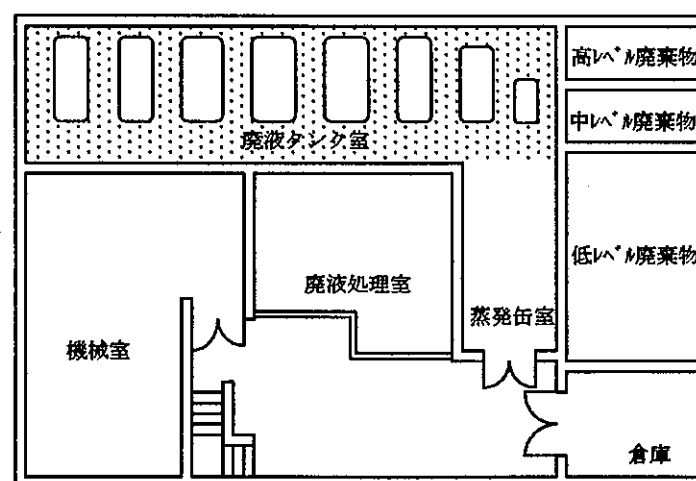
地階平面図

⑧隔壁破壊撤去 (B1F) (図面C,4-5)



地階平面図

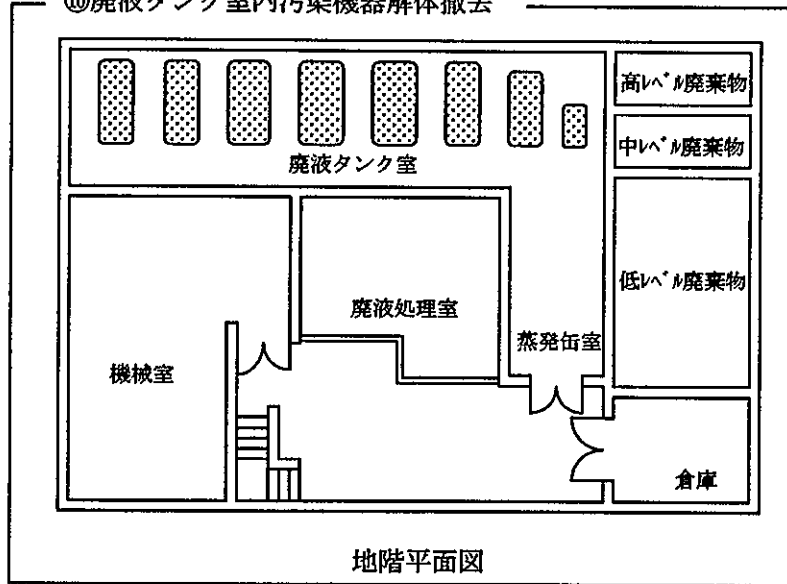
⑨廃液タンク室内非汚染機器解体撤去



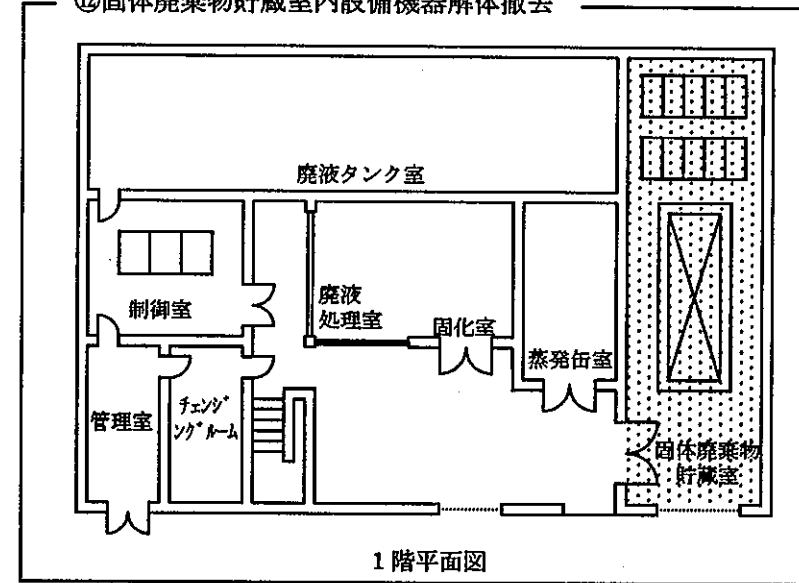
地階平面図

図 2-3 エリア (部屋) 作業順序図 (4/6)

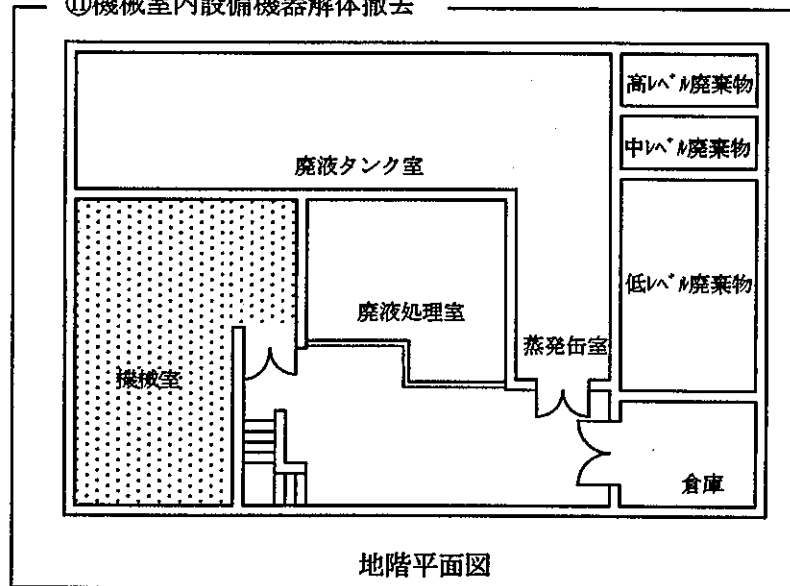
⑩廃液タンク室内汚染機器解体撤去



⑫固体廃棄物貯蔵室内設備機器解体撤去



⑪機械室内設備機器解体撤去



⑬制御室、チェンジングルーム内機器撤去

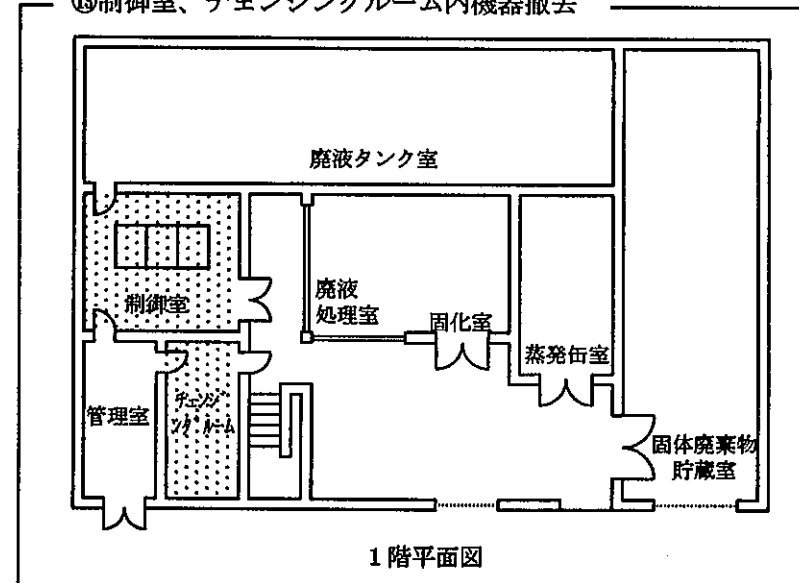
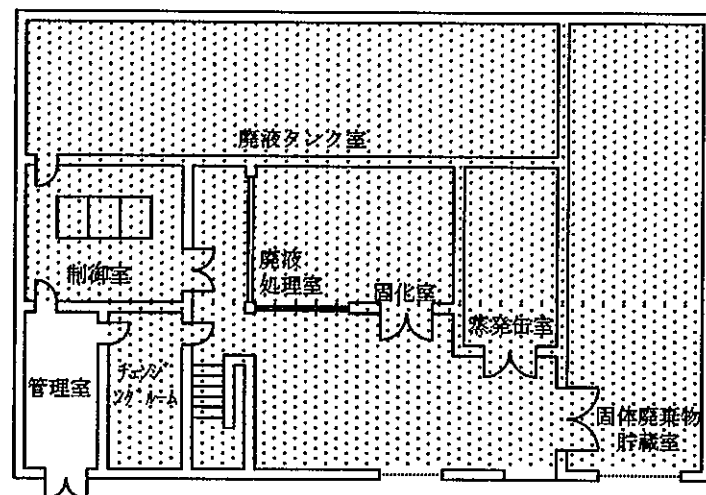
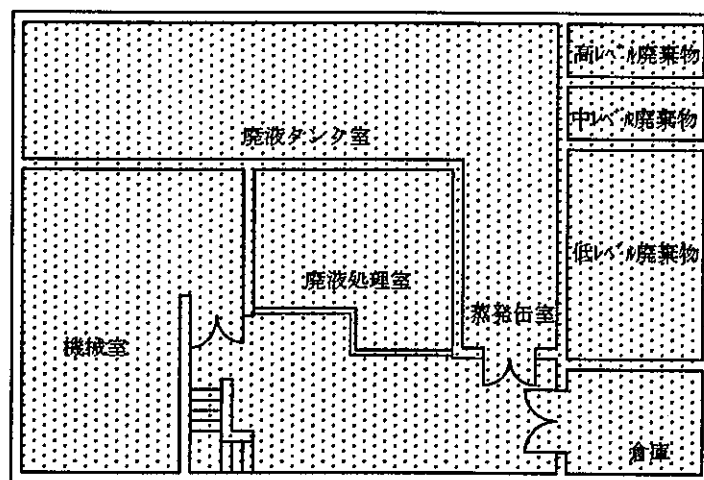


図2-3 エリア(部屋)作業順序図(5/6)

⑭ 建家内コンクリートはつり・撤去

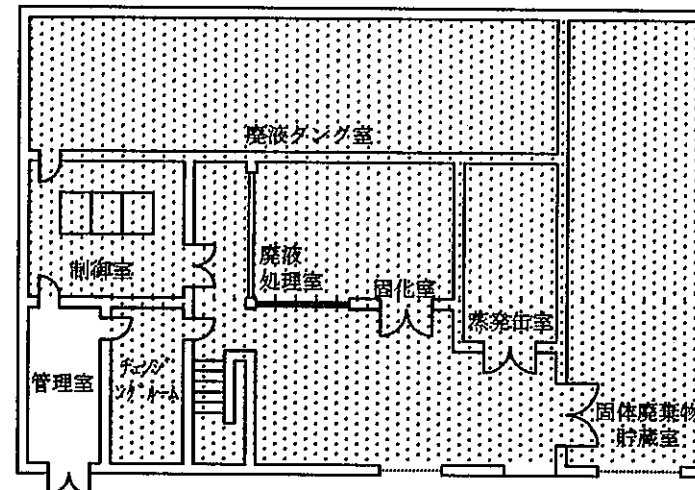


1 階平面図

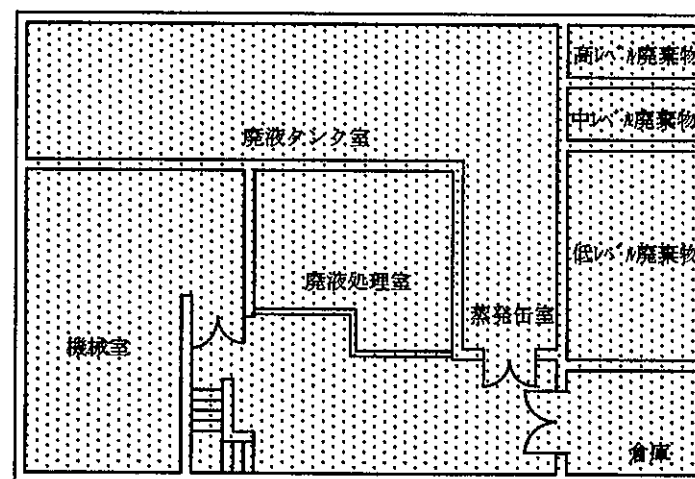


地階平面図

⑮ 建家汚染有無確認



1 階平面図



地階平面図

図 2-3 エリア (部屋) 作業順序図 (6/6)

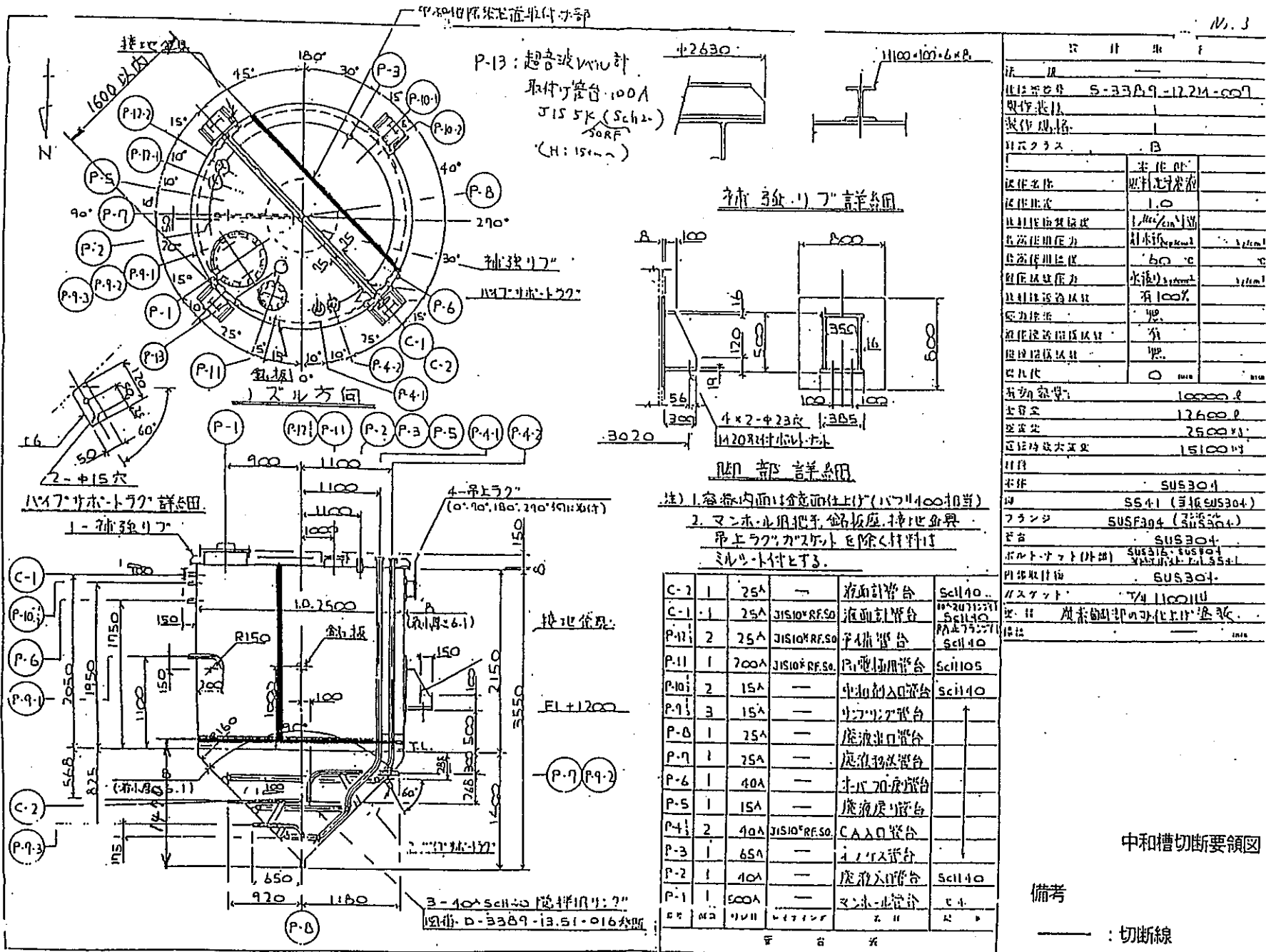


図 2-4 中和槽切斷要領

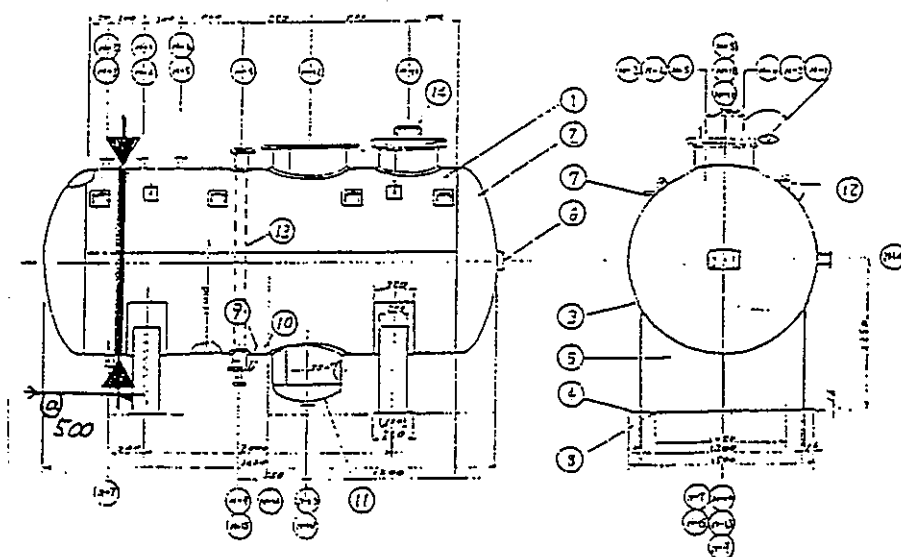
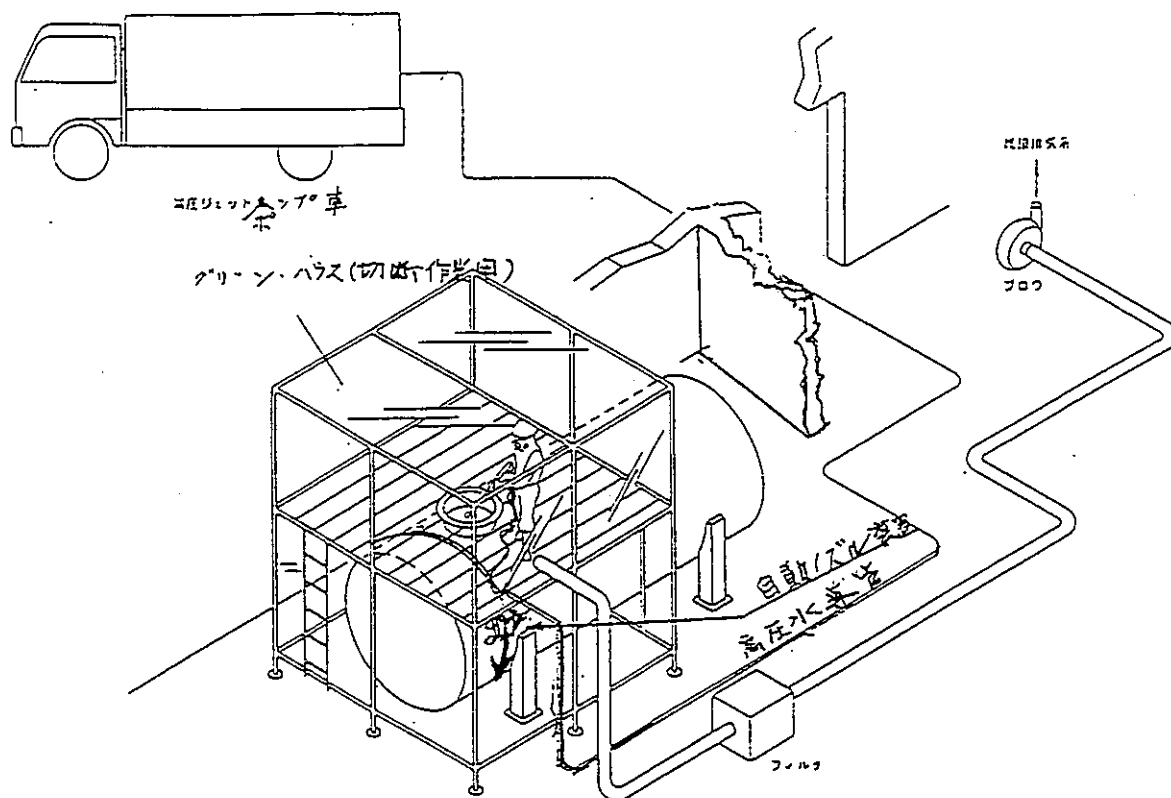


図 2-5 廃液タンク切断要領

図 4-1 解体撤去シナリオ (作業順序) (1/14)

(シナリオ I ; コンクリート研削)

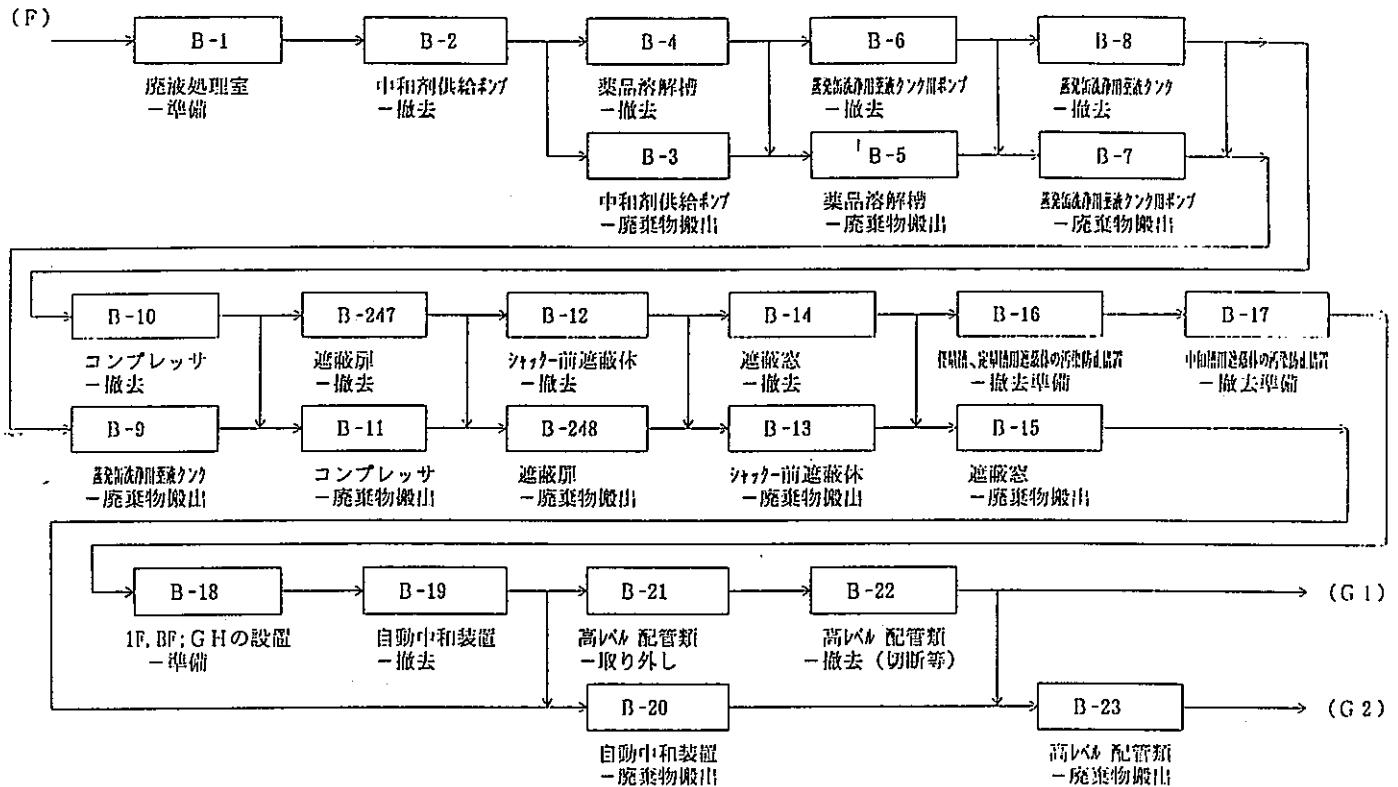


図 4-1 解体撤去シナリオ (作業順序) (2/14)

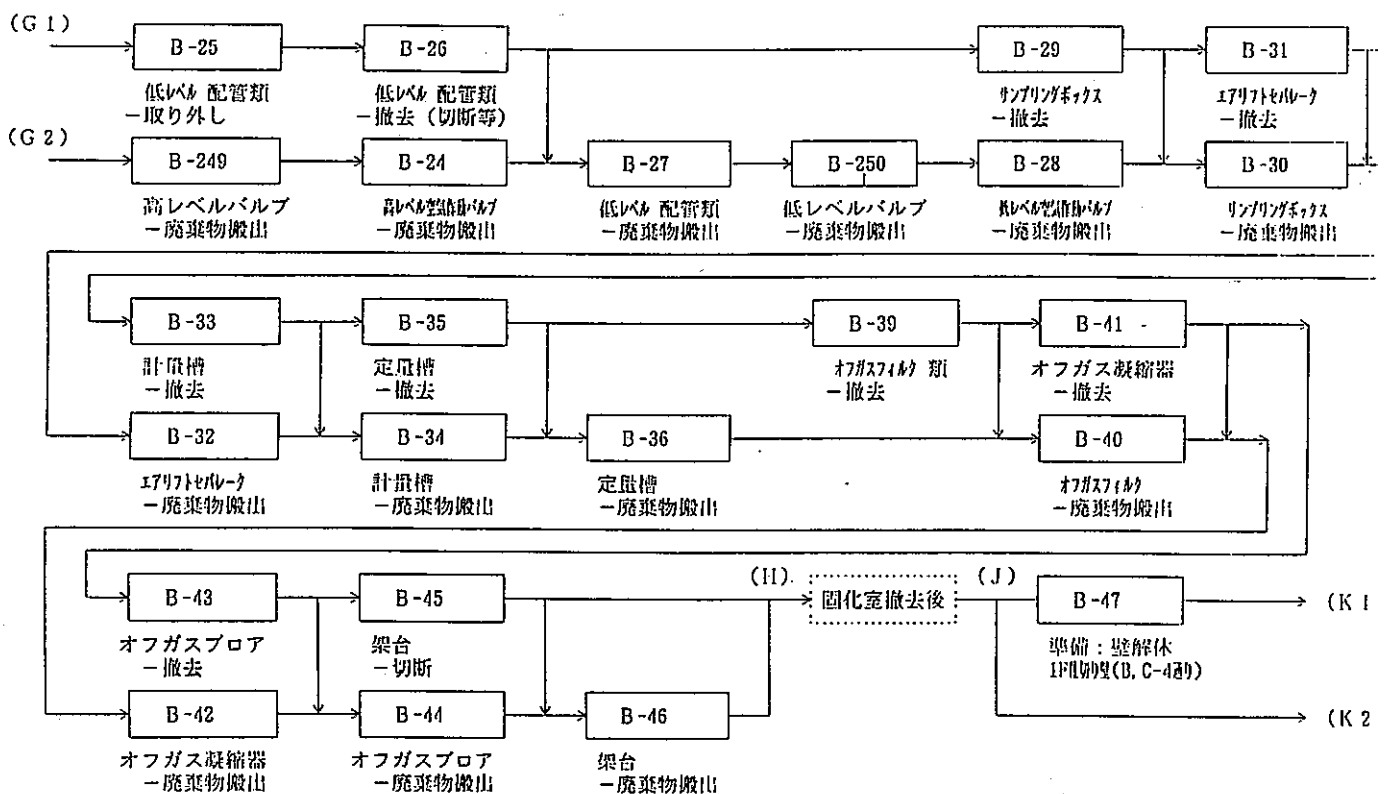


図 4-1 解体撤去シナリオ（作業順序）（3/14）

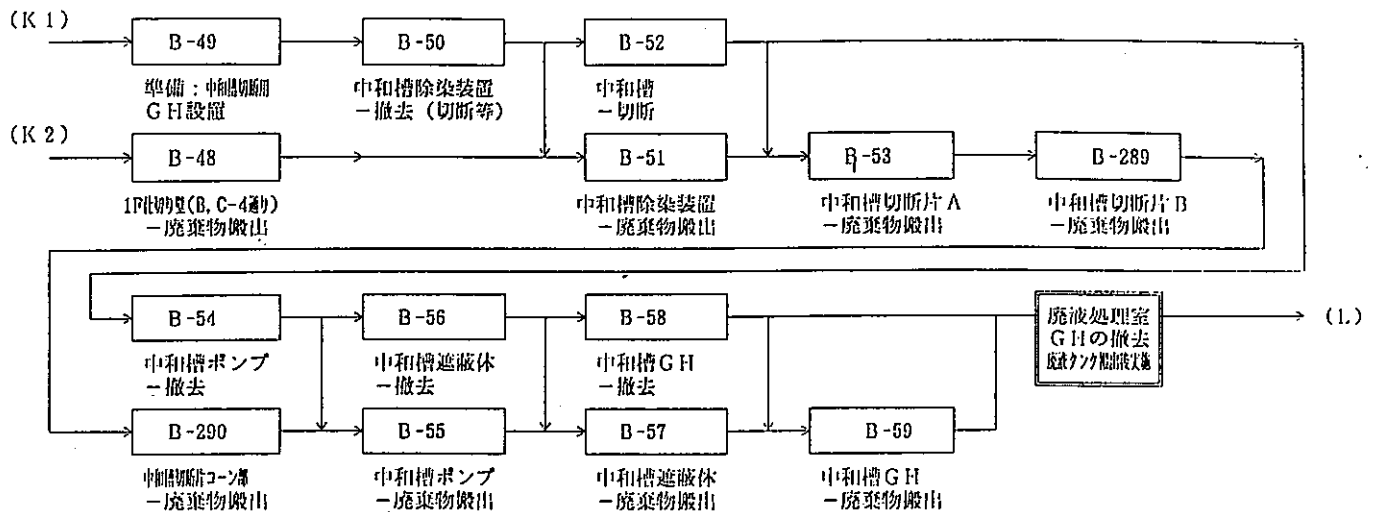


図 4-1 解体撤去シナリオ（作業順序）（4/14）

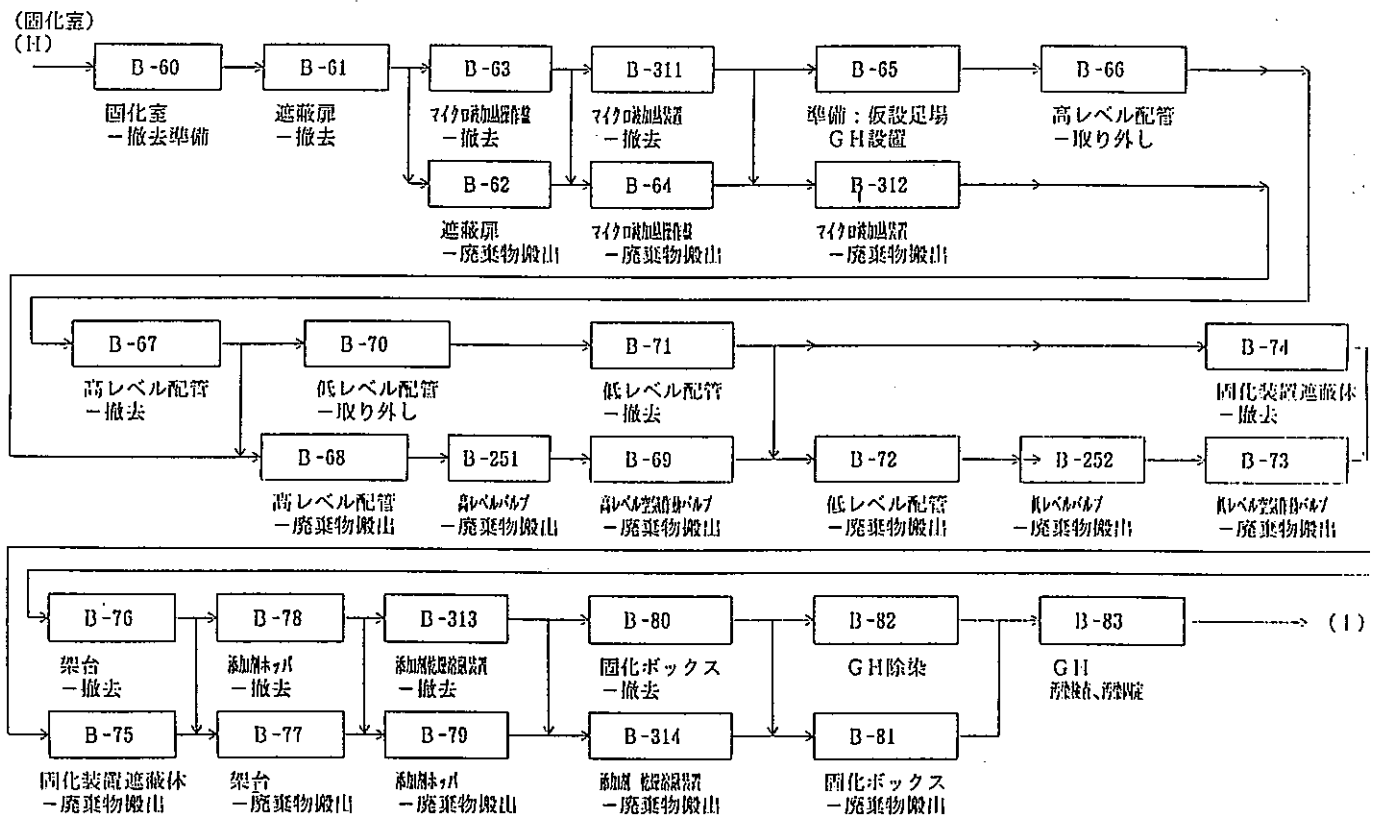


図 4-1 解体撤去シナリオ（作業順序）（5/14）

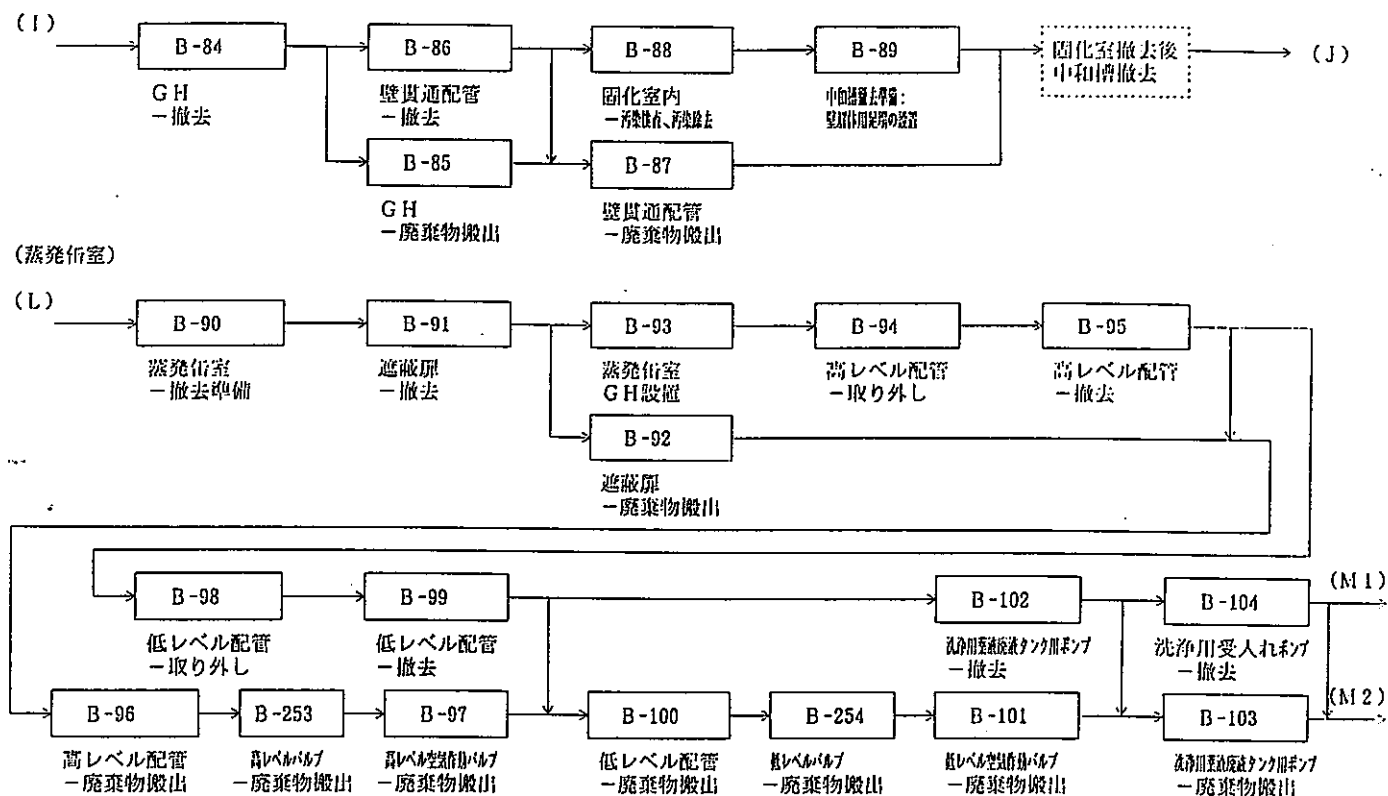
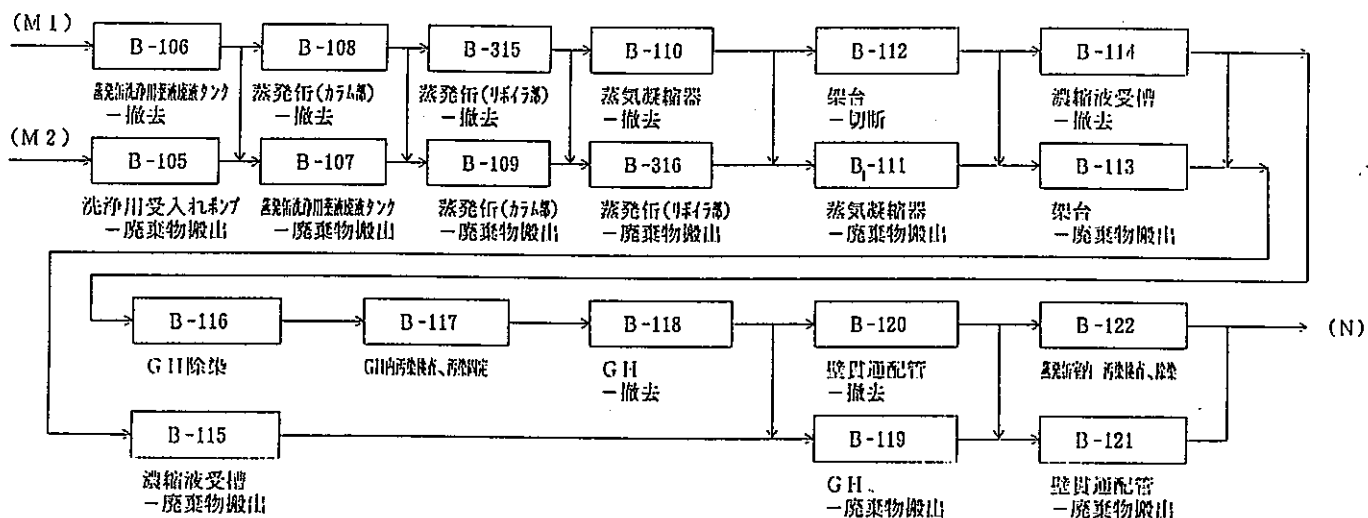
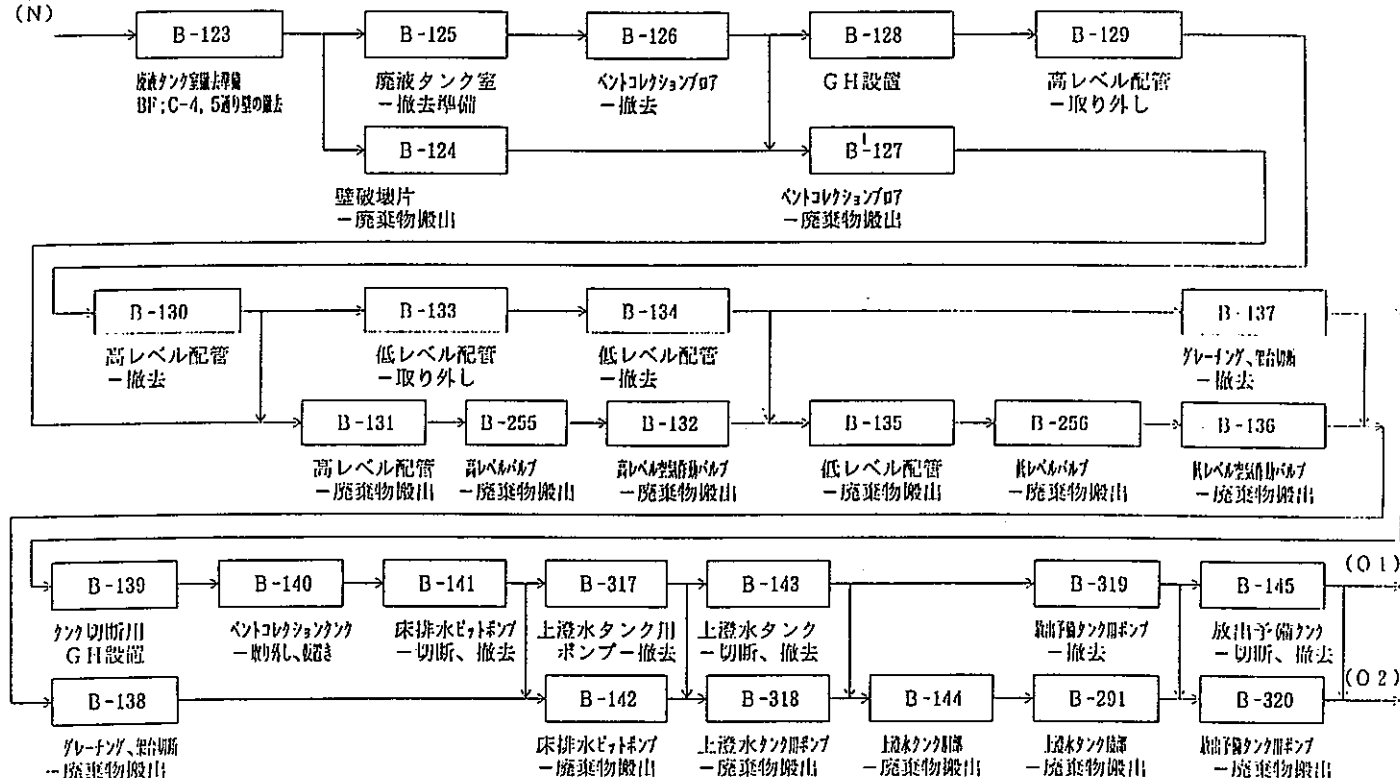


図 4-1 解体撤去シナリオ（作業順序）（6/14）



(廃液タンク室)
(N) ☐



(01)

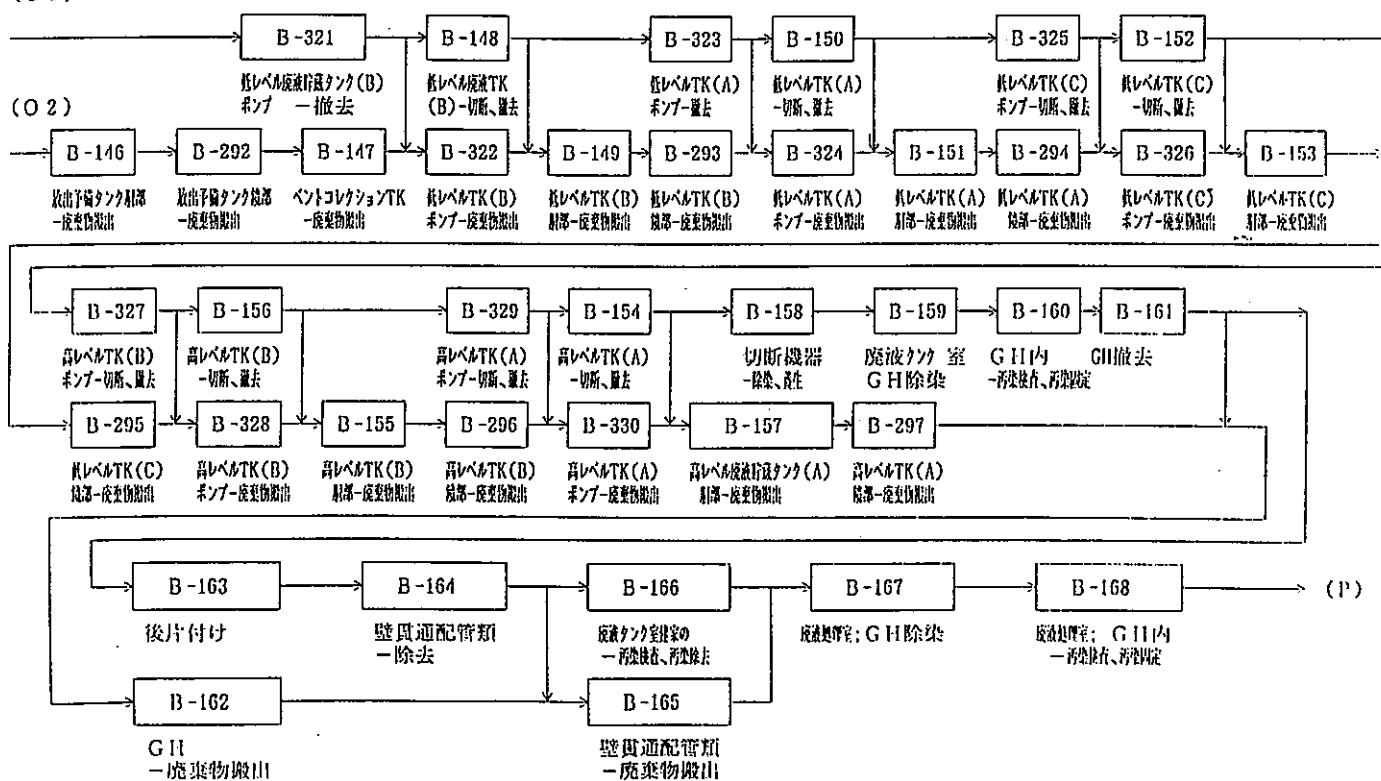


図 4-1 解体撤去シナリオ (作業順序) (9/14)

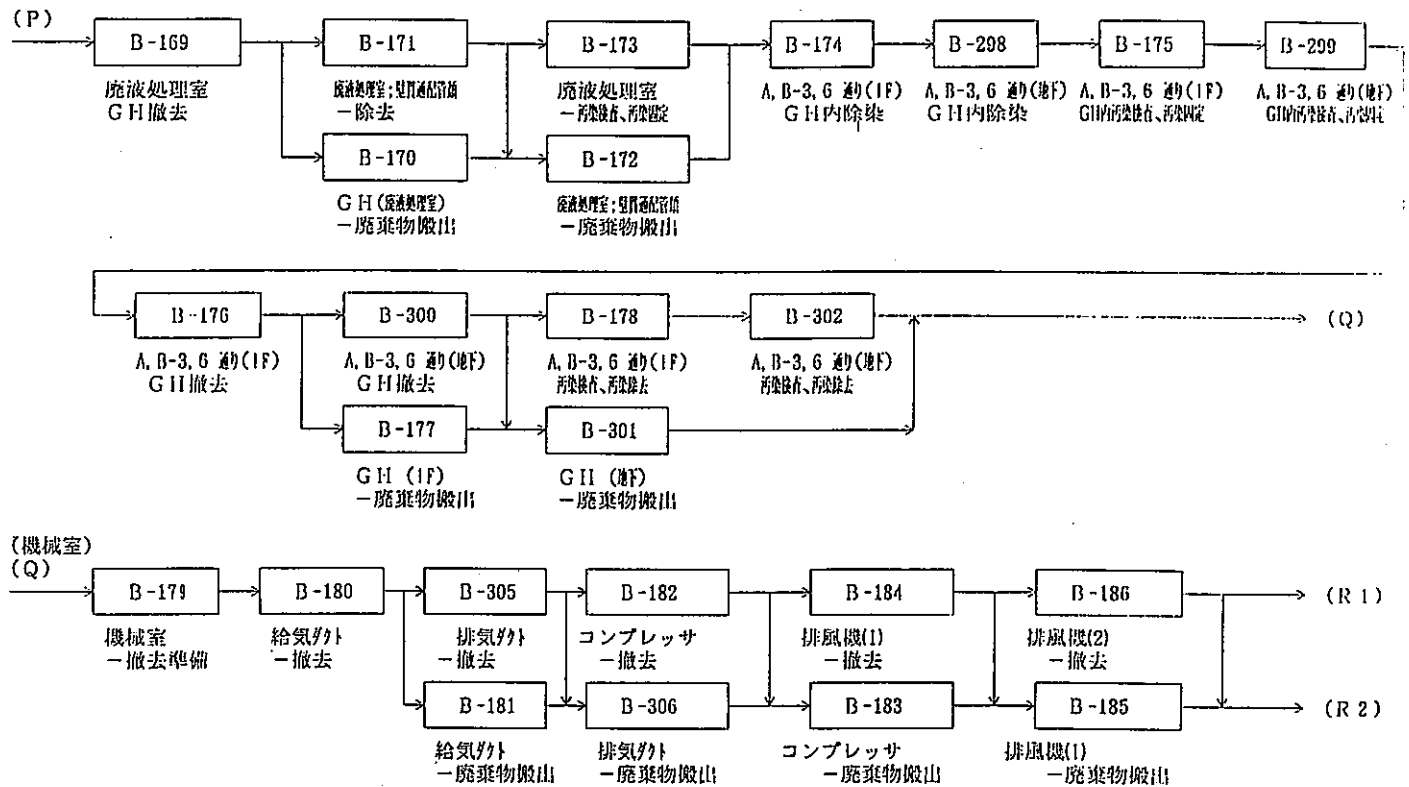


図 4-1 解体撤去シナリオ (作業順序) (10/14)

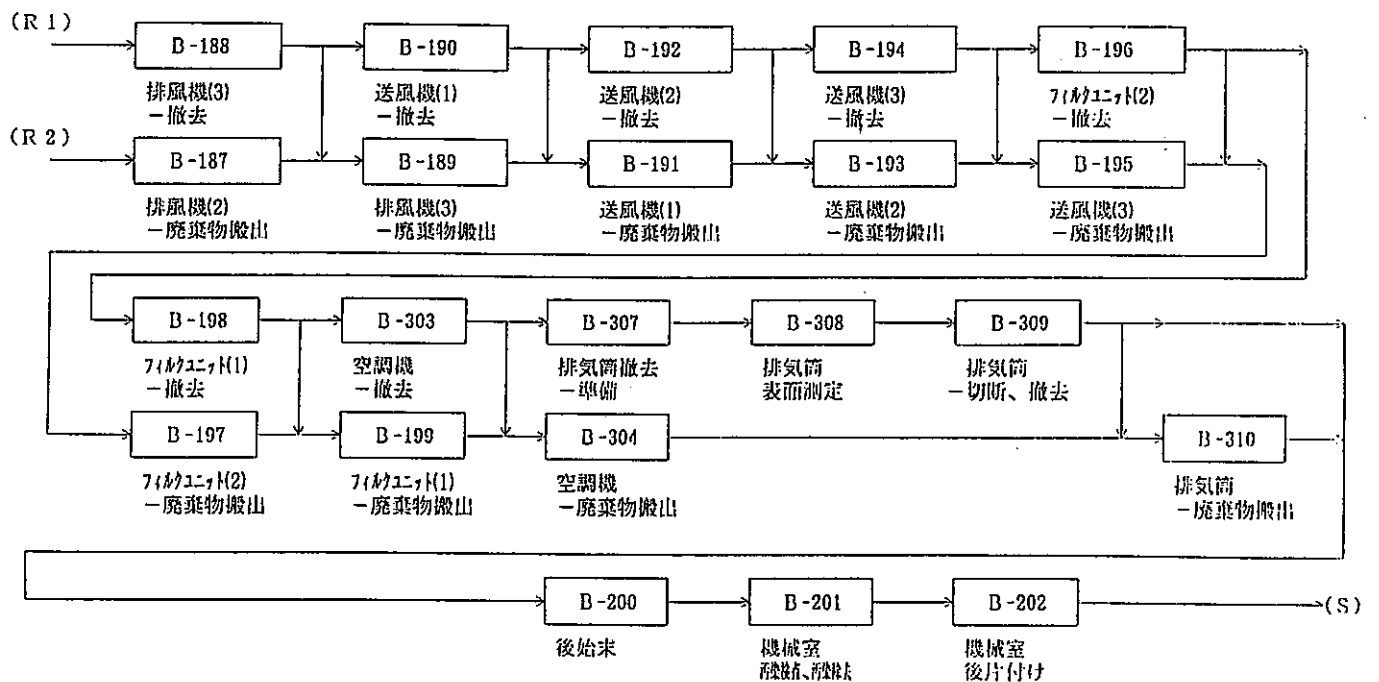
排気筒 GH
- 撤去

図 4-1 解体撤去シナリオ（作業順序）（11/14）

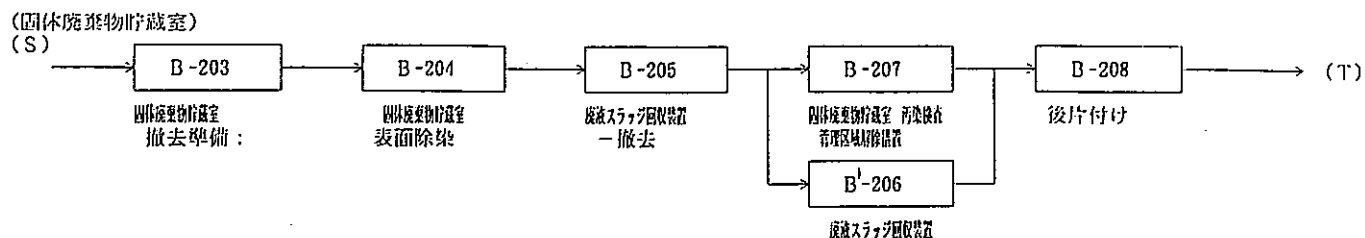


図 4-1 解体撤去シナリオ（作業順序）（12/14）

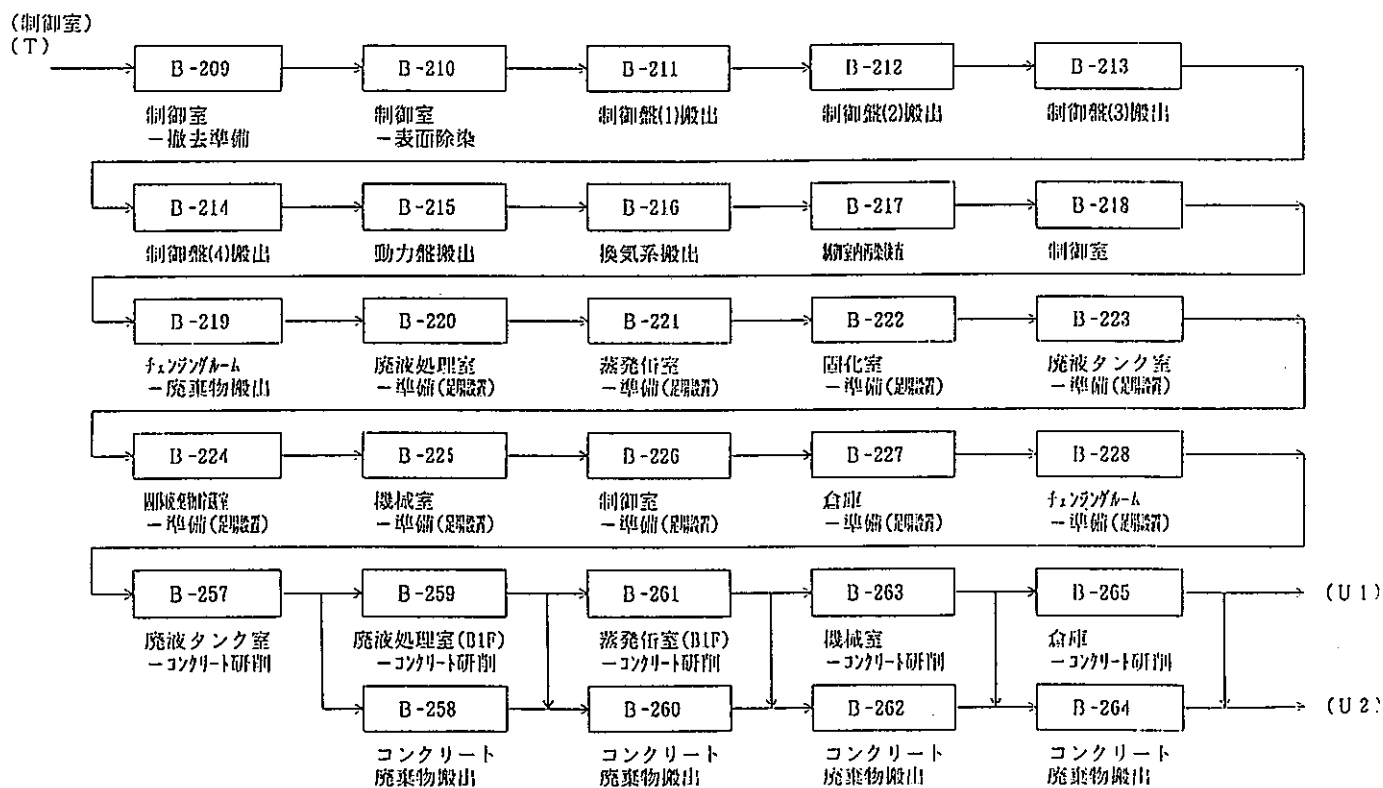


図 4-1 解体撤去シナリオ（作業順序）（13/14）

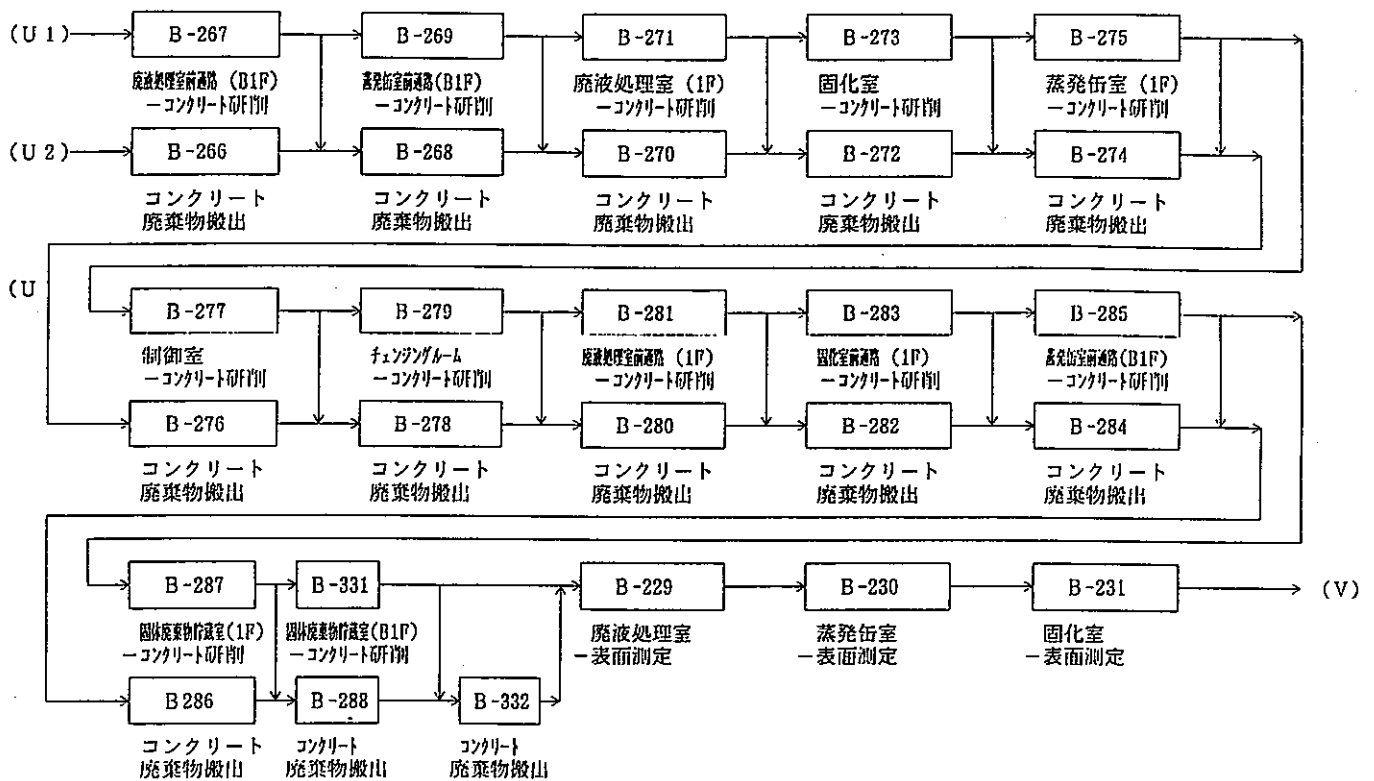
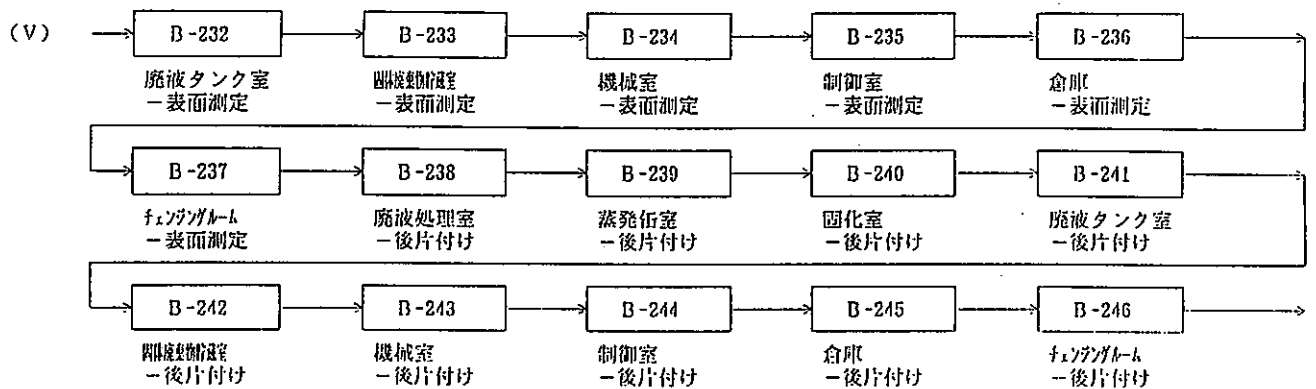


図 4-1 解体撤去シナリオ（作業順序）（14/14）



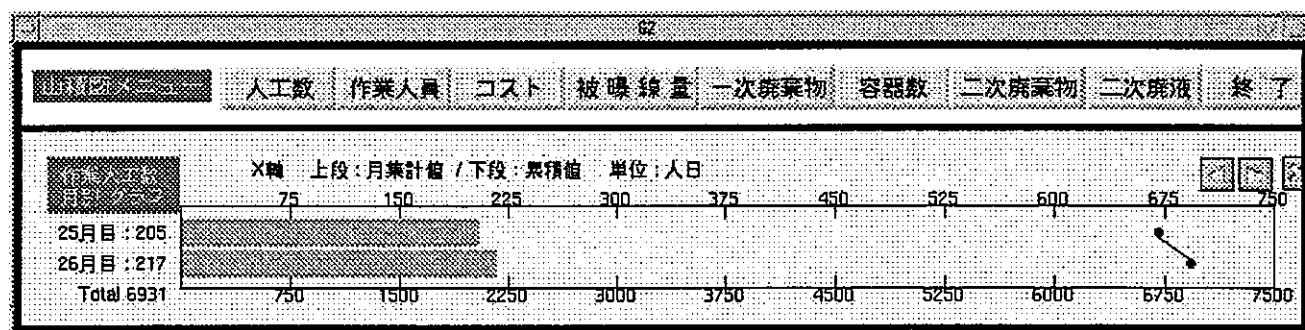
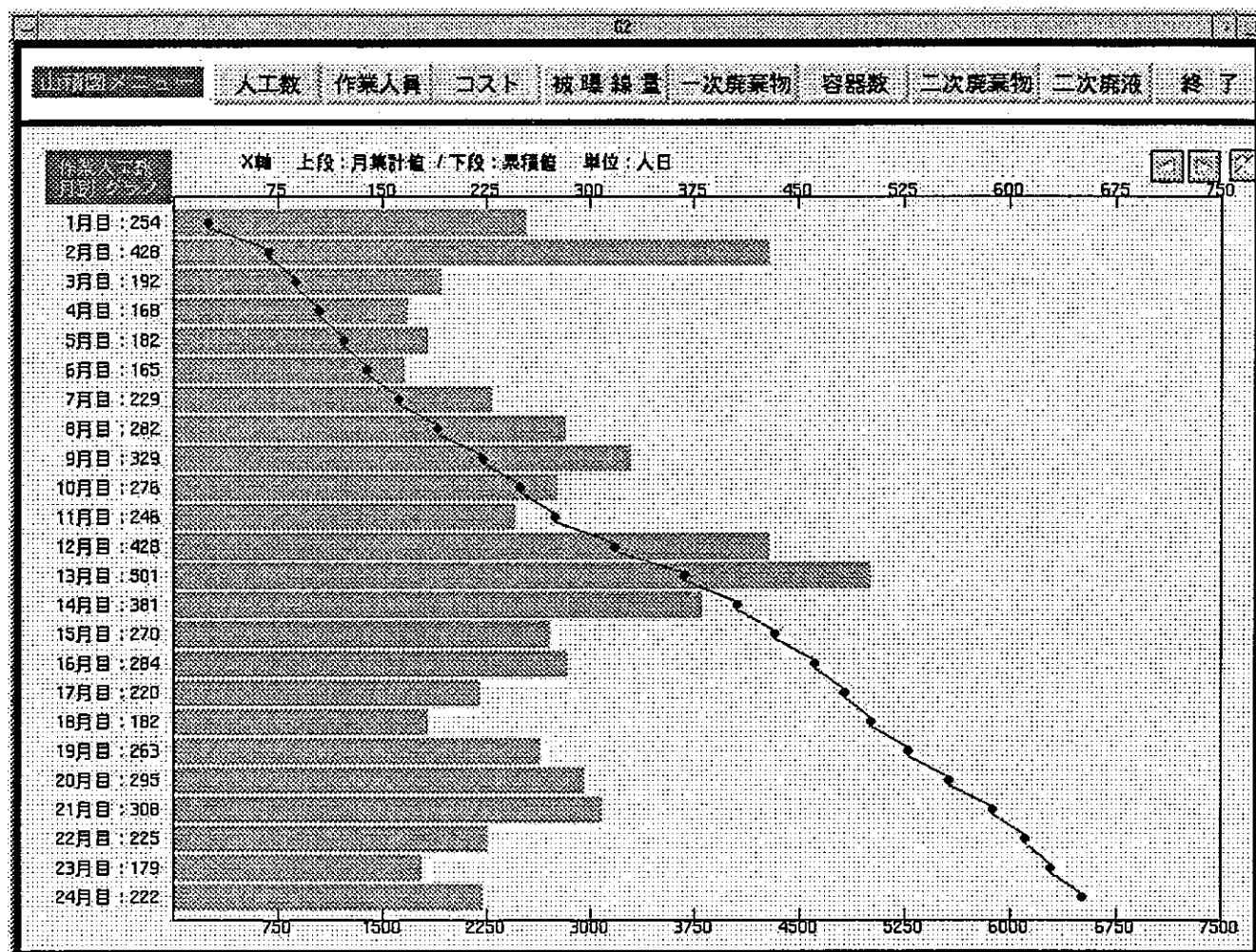


図 4-2 作業人工数山積図

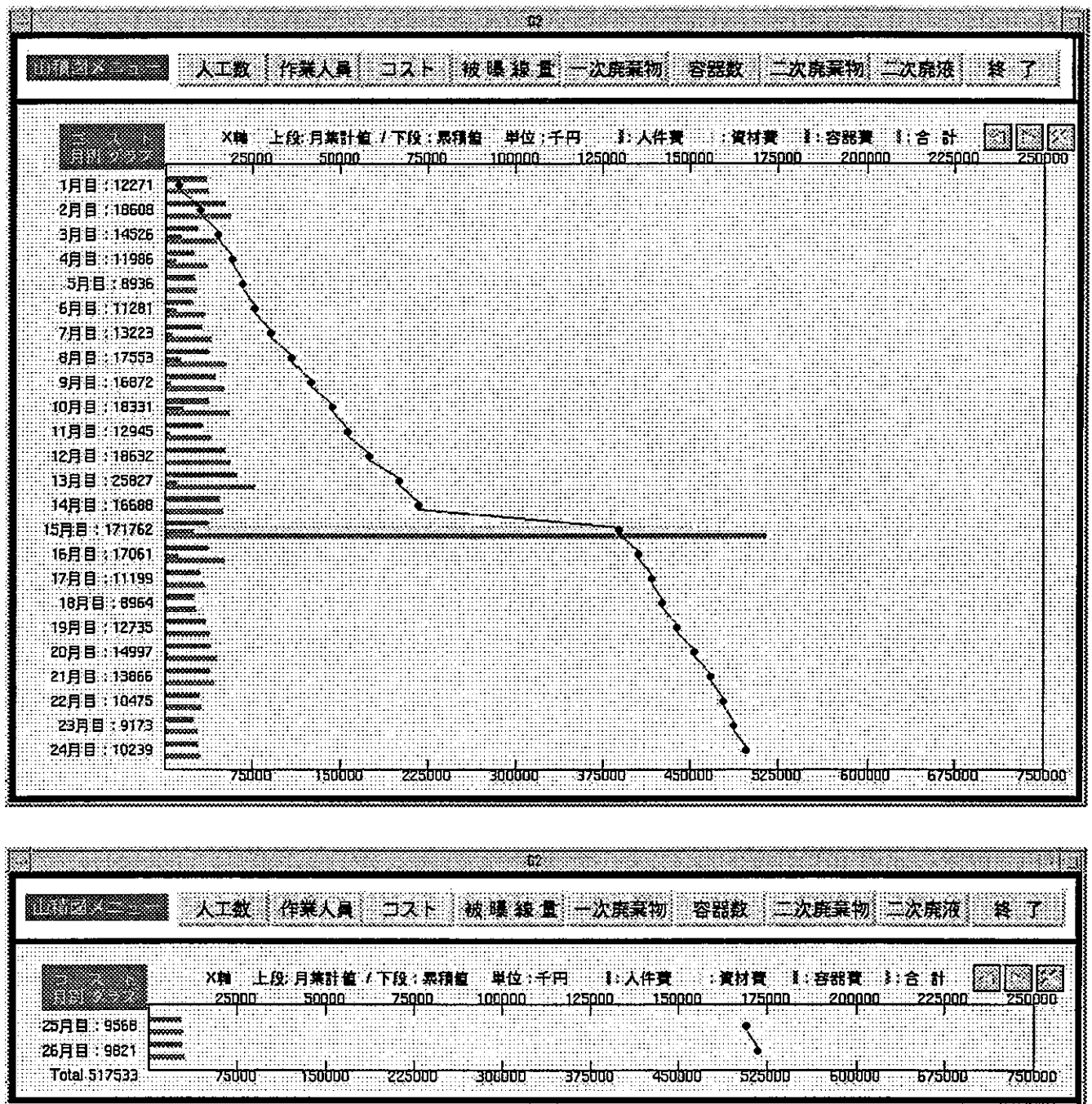


図 4-3 コスト山積図

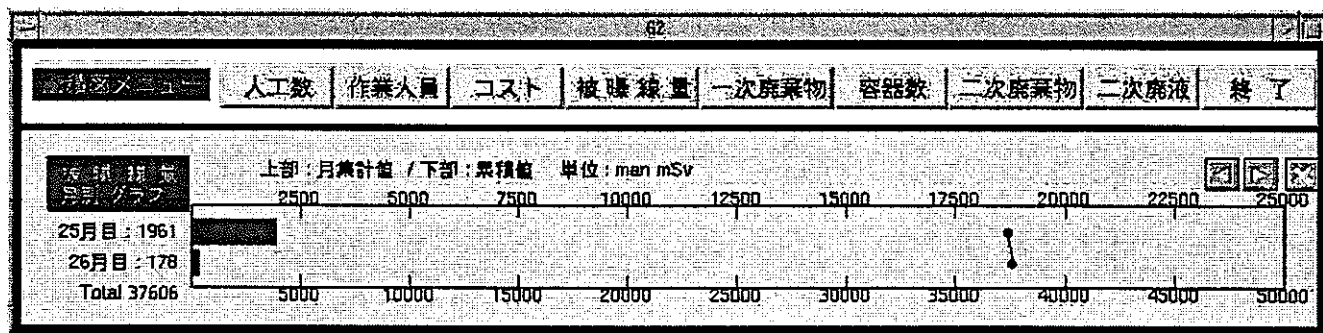
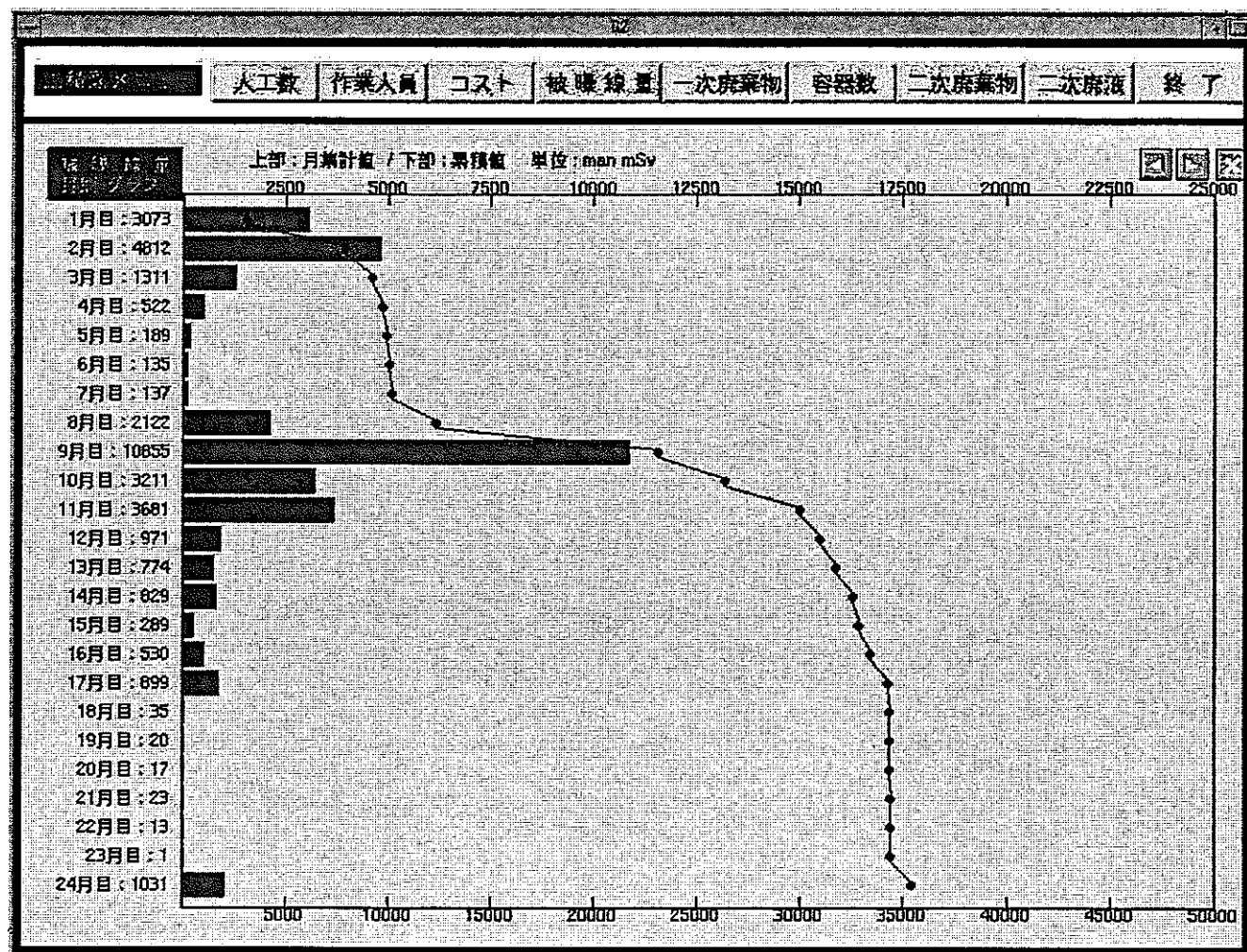


図 4-4 被ばく線量当量山積図

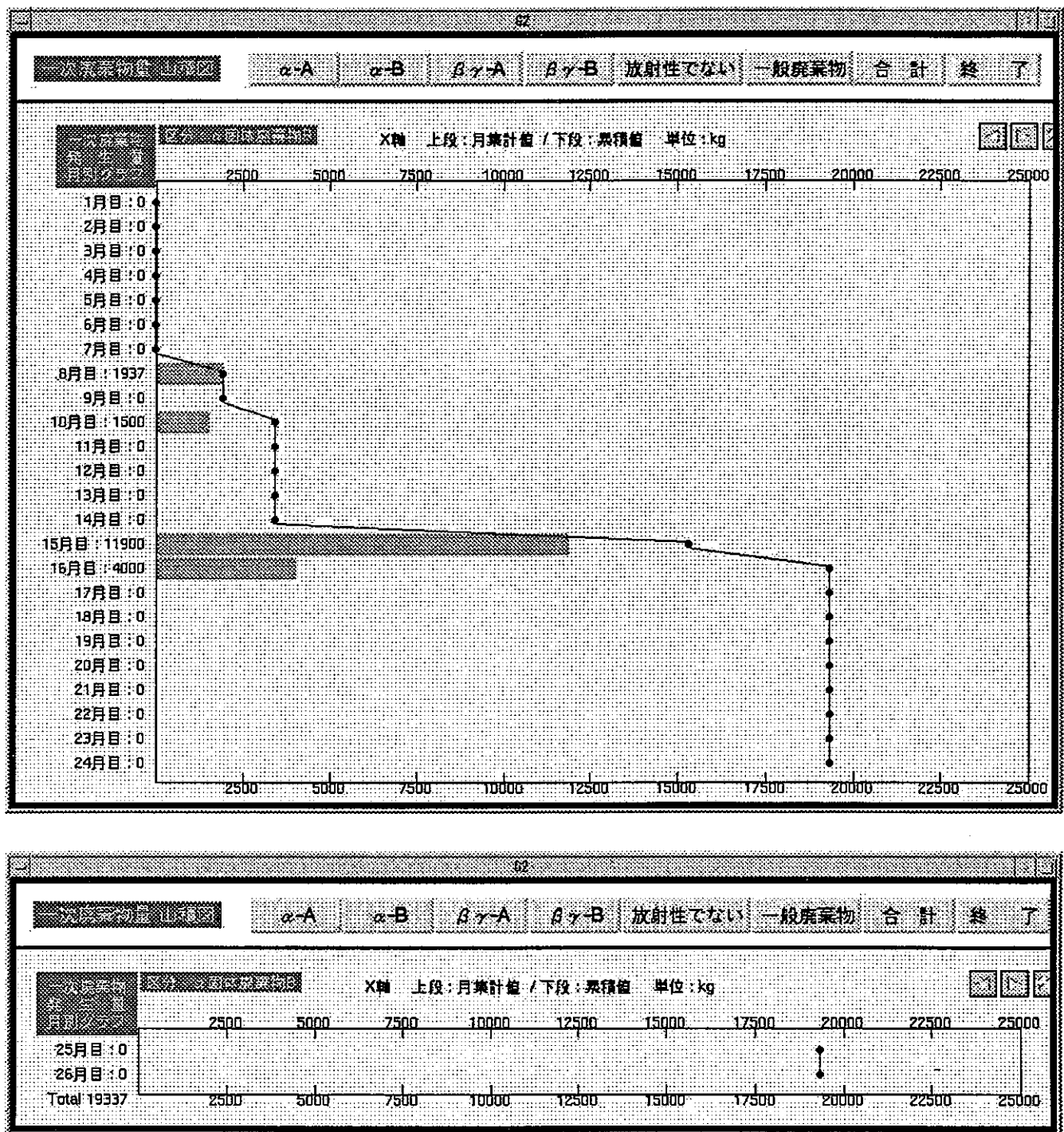


図 4-5 1 次廃棄物発生量山積図(1/4)

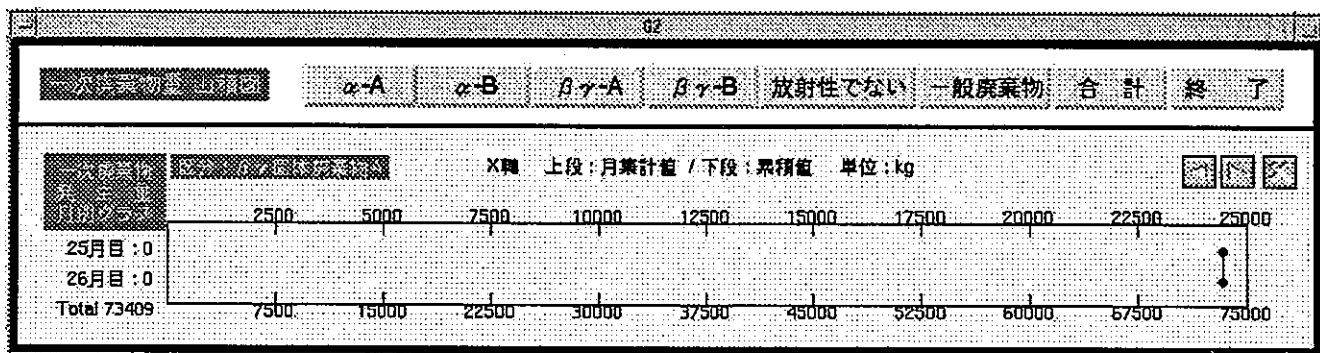
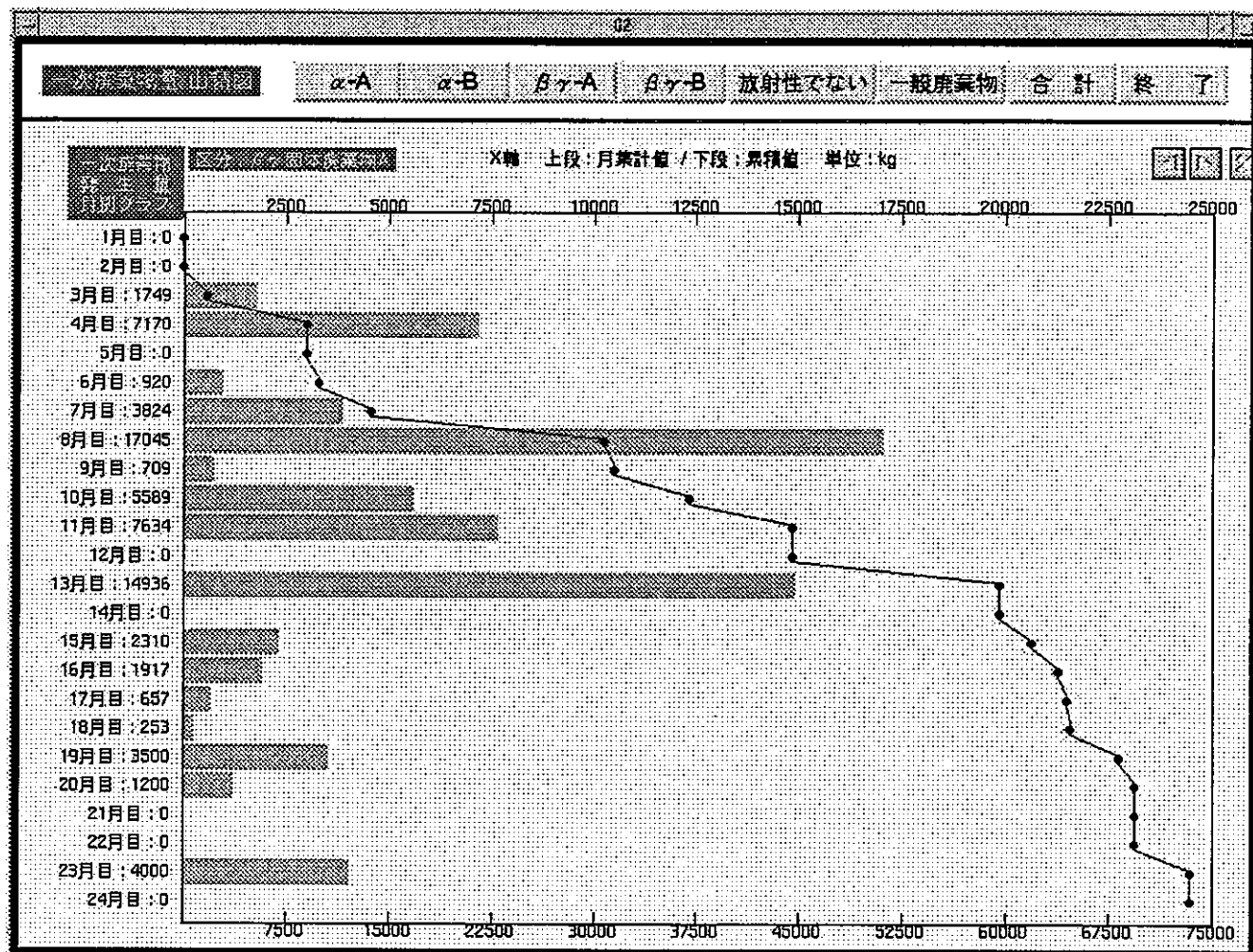


図 4-5 1 次廃棄物発生量山積図(2/4)

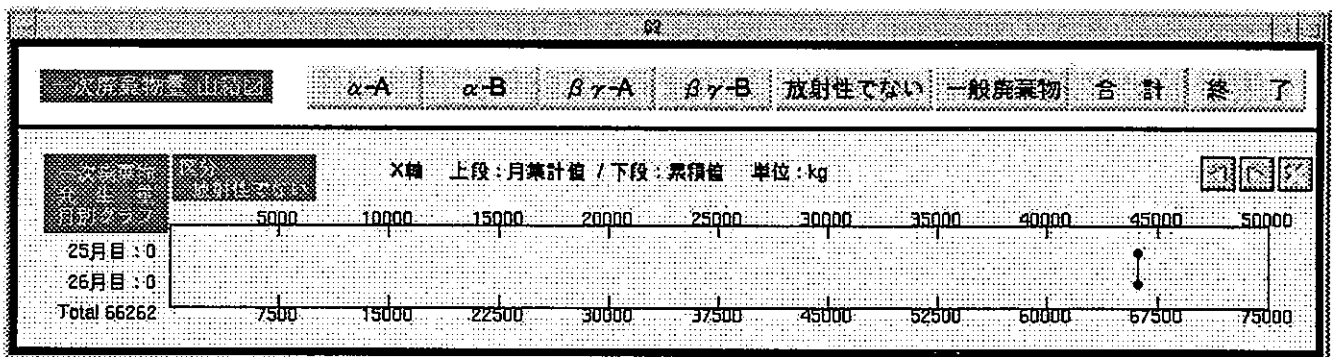
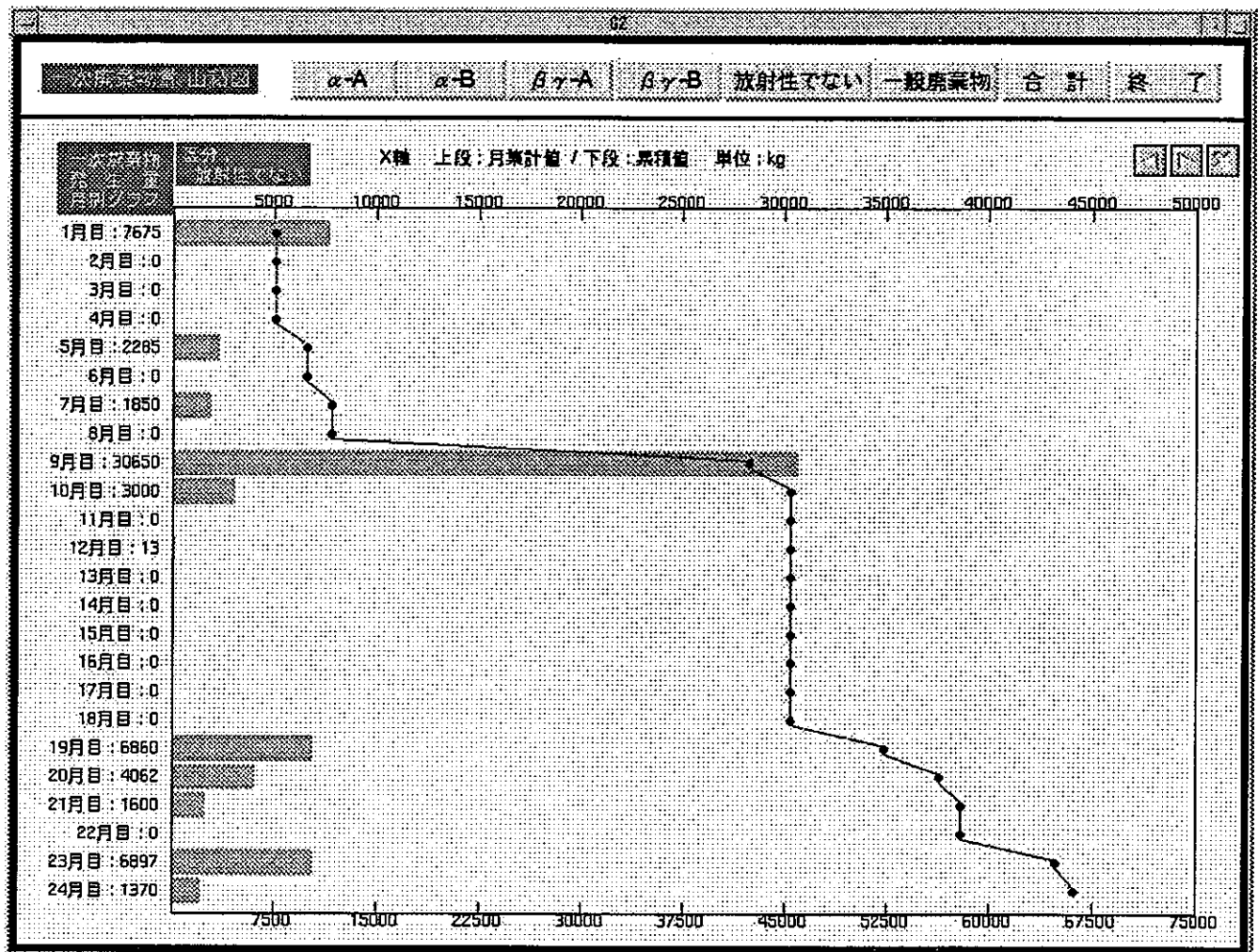


図 4-5 1 次廃棄物発生量山積図(3/4)

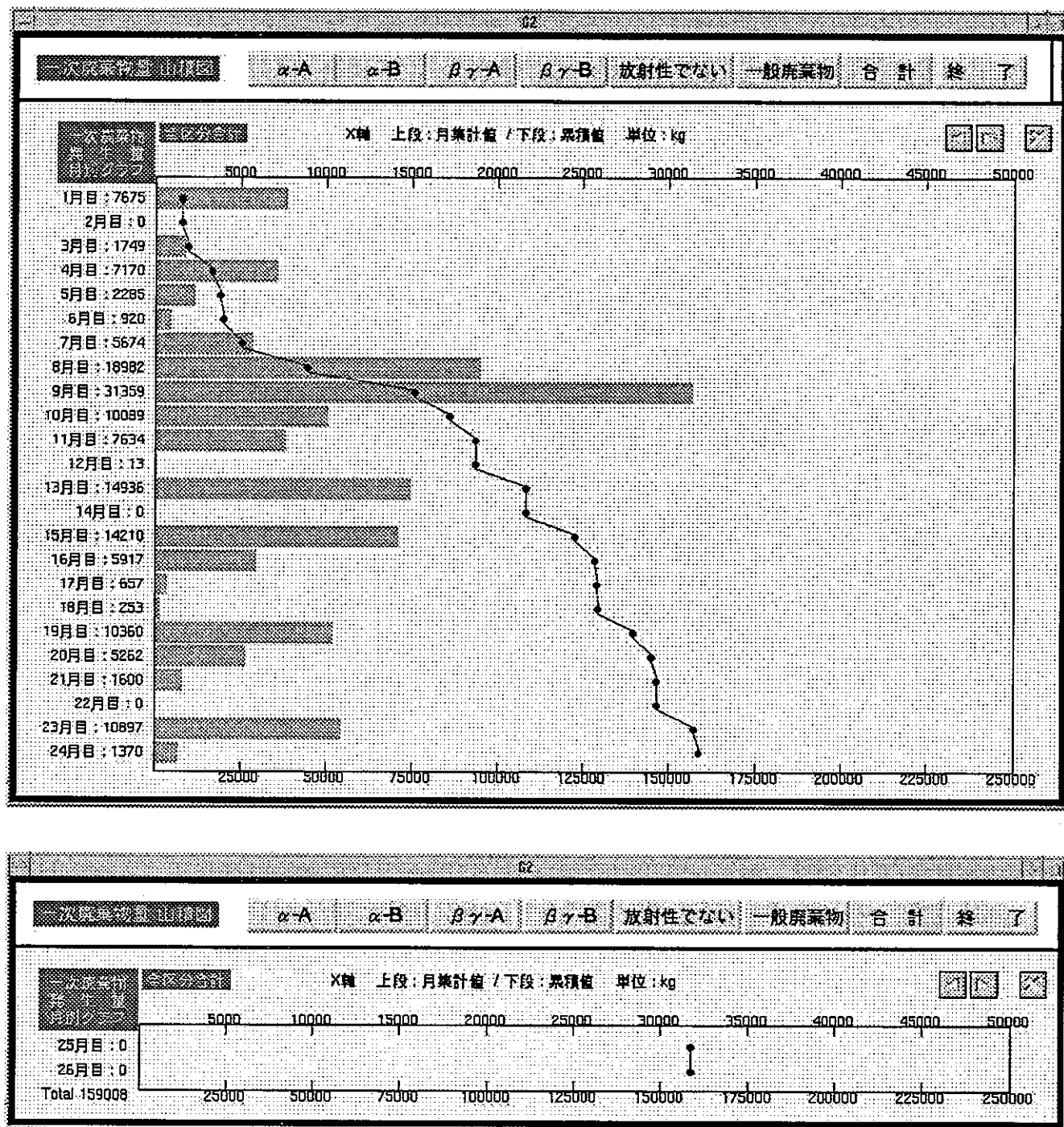


図 4-5 1次廃棄物発生量山積図(4/4)

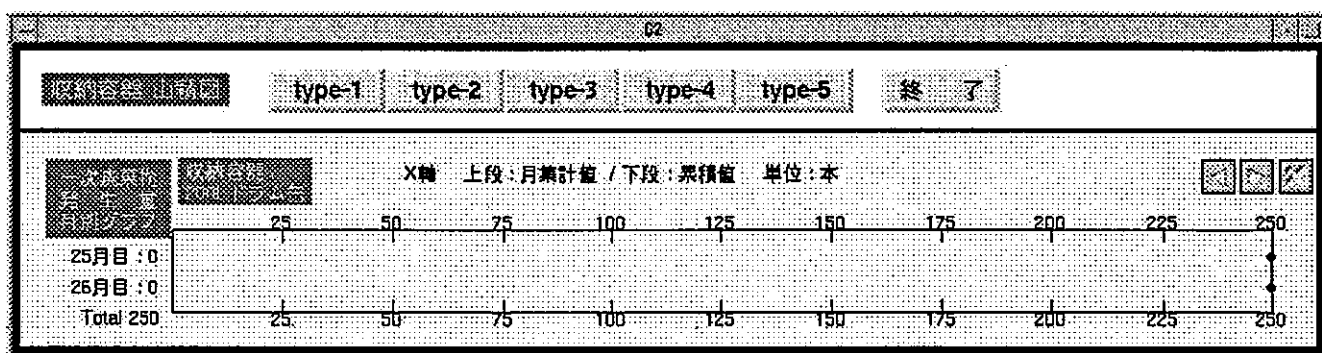
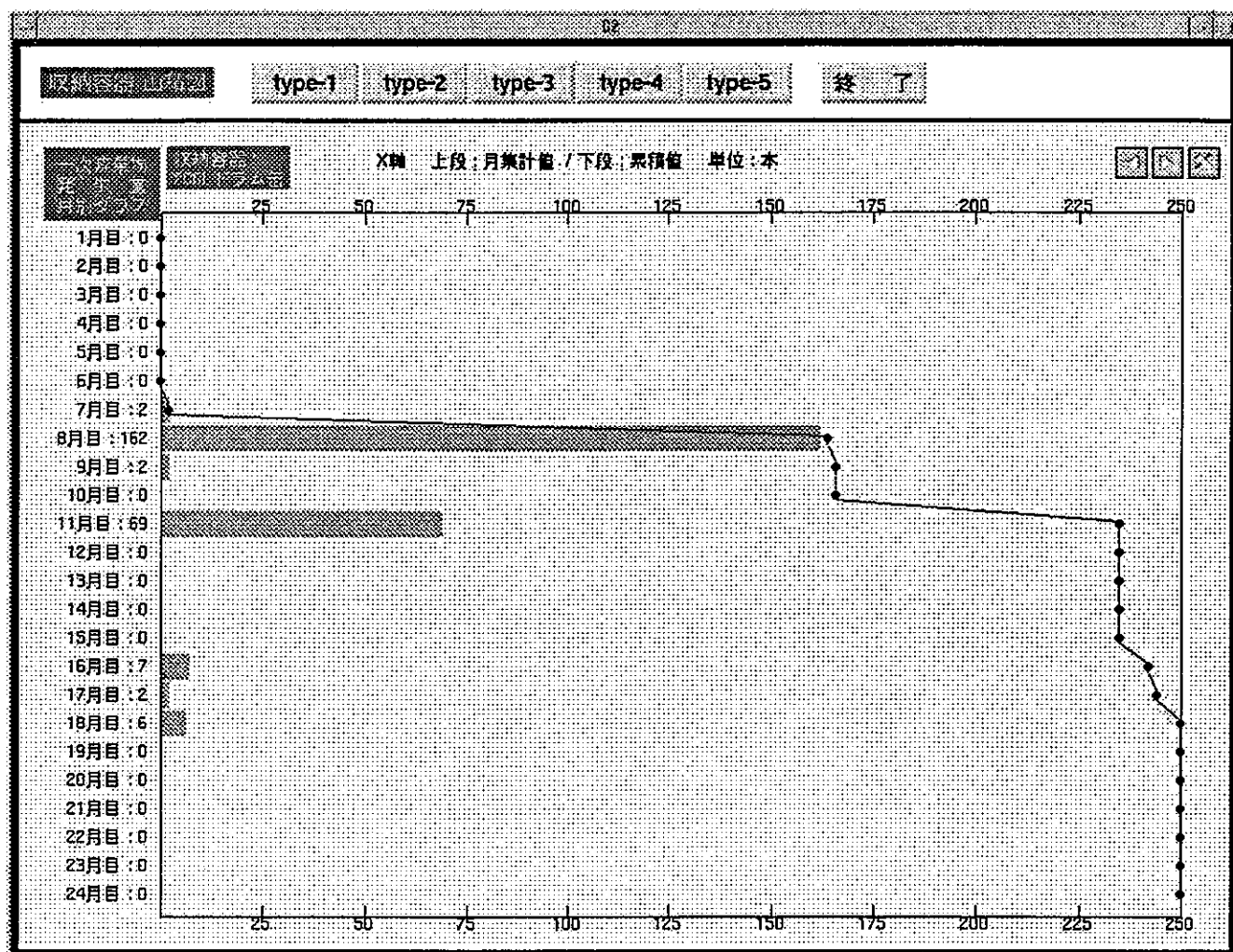


図 4-6 容器発生数山積図(1/2)

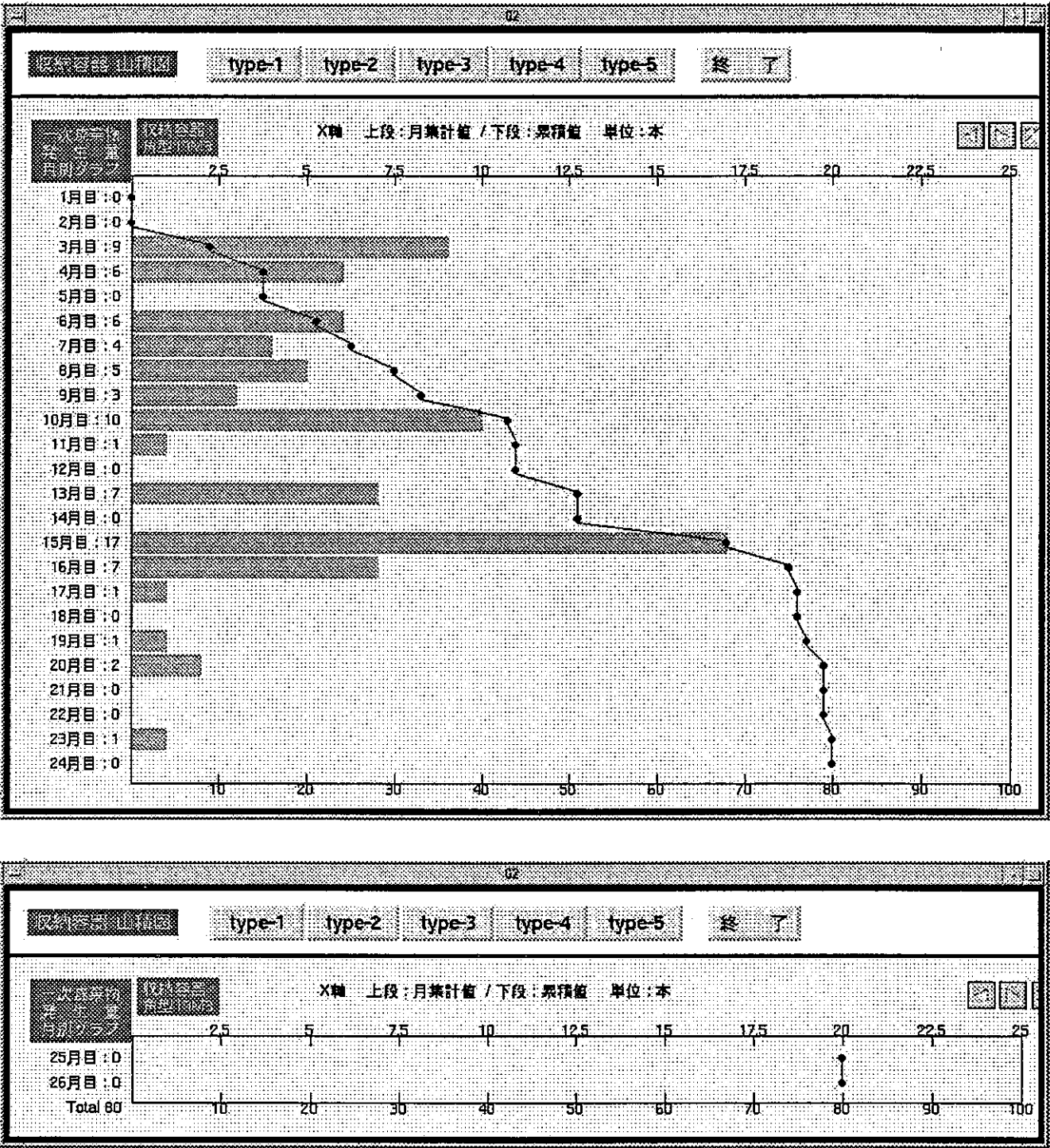


図 4-6 容器発生数山積図(2/2)

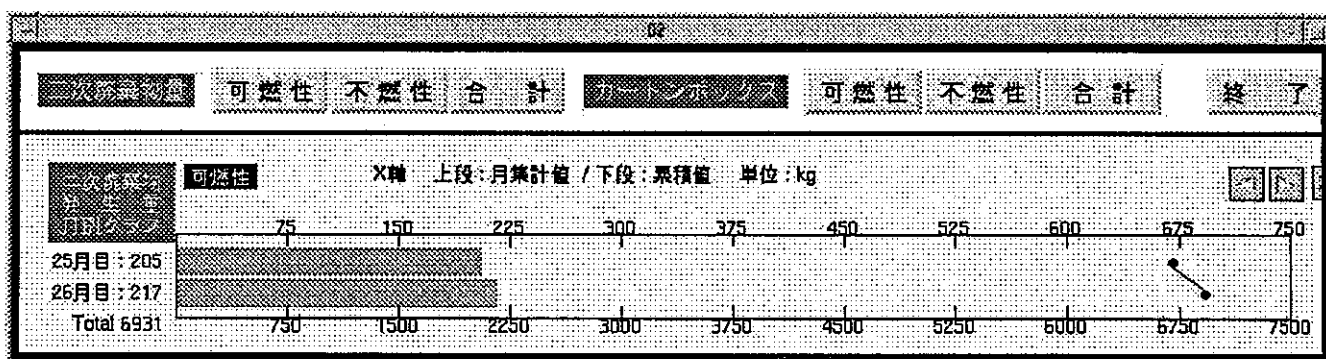
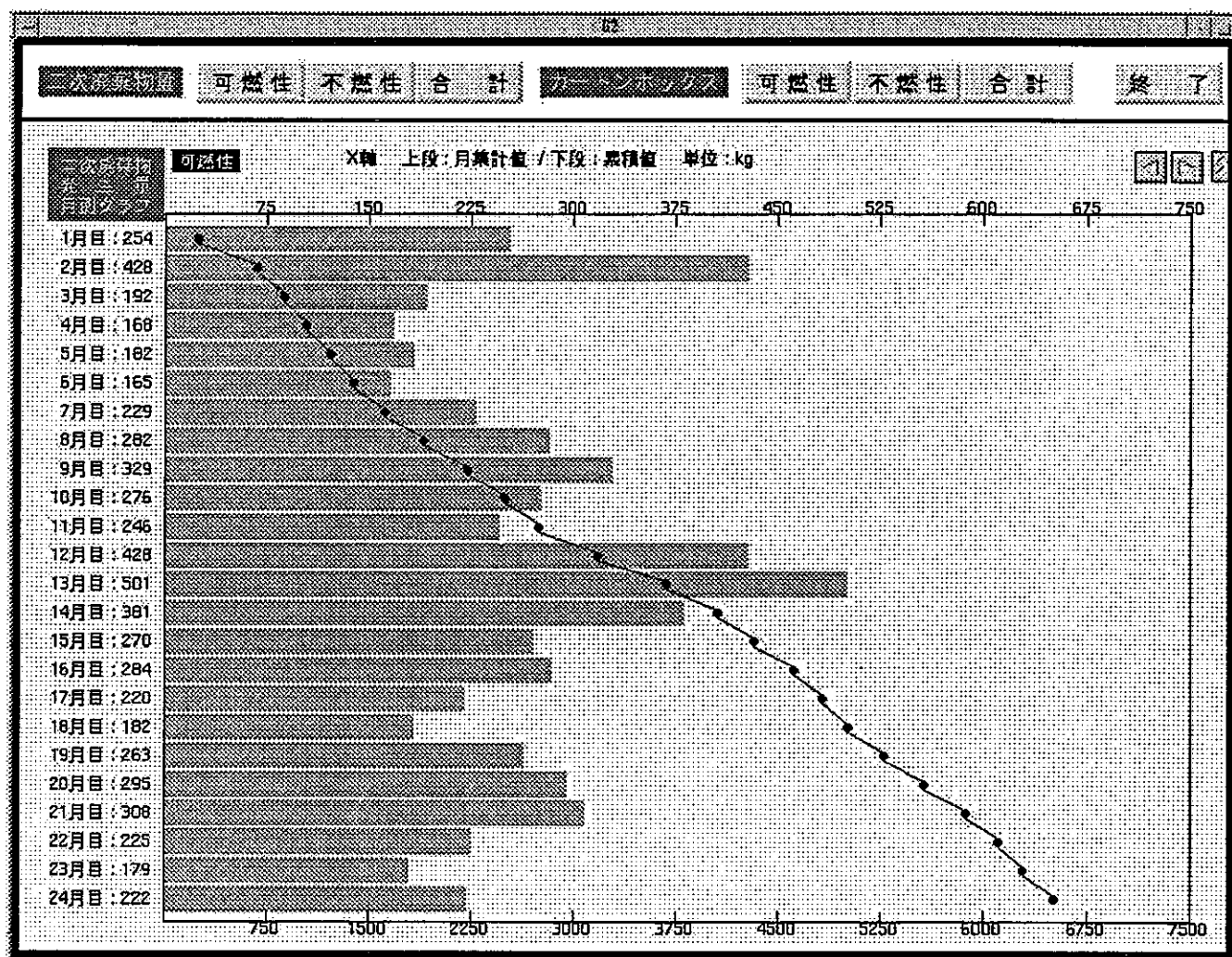


図 4-7 2 次廃棄物発生量山積図(1/3)

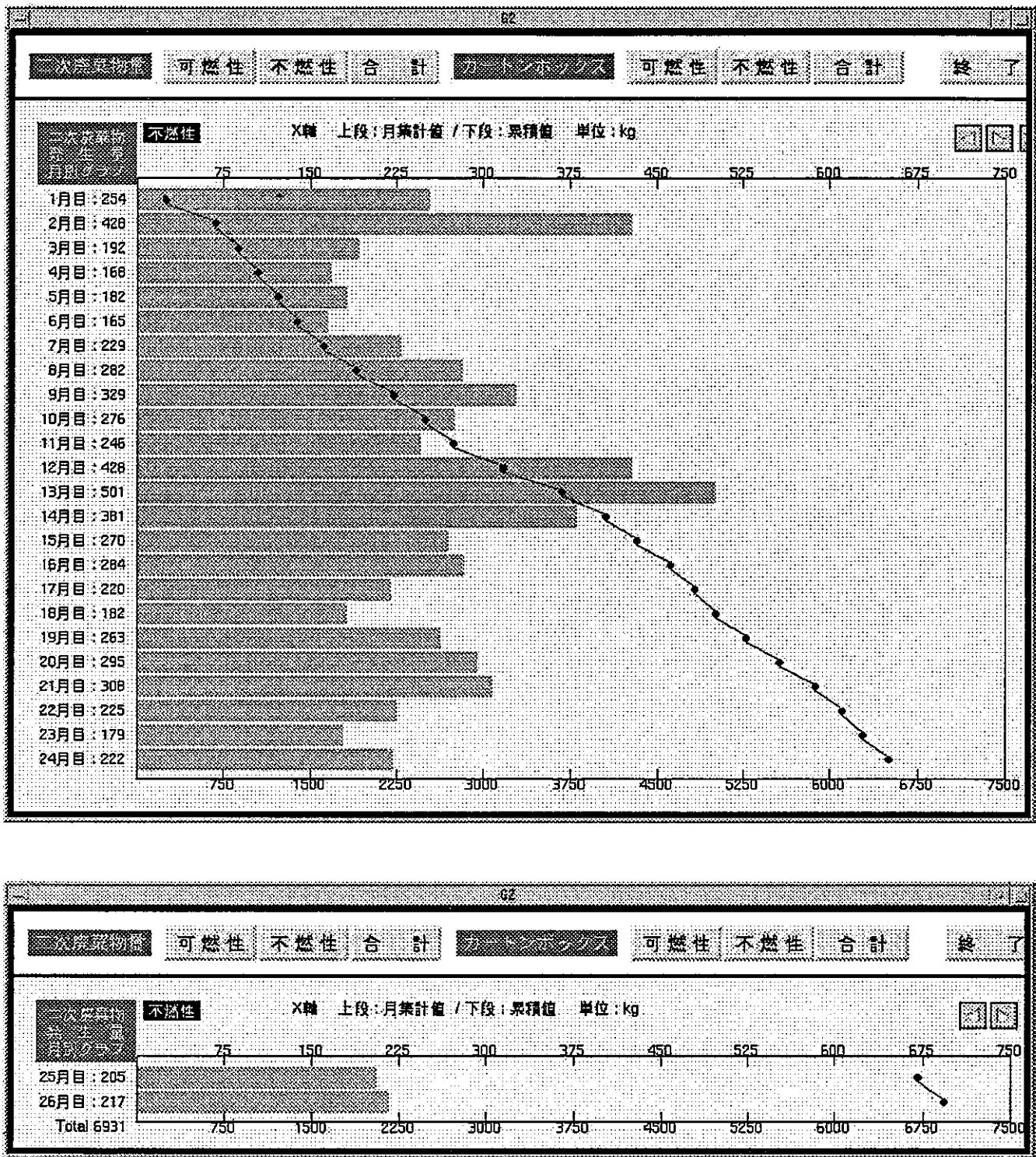


図 4-7 2 次廃棄物発生量山積図(2/3)

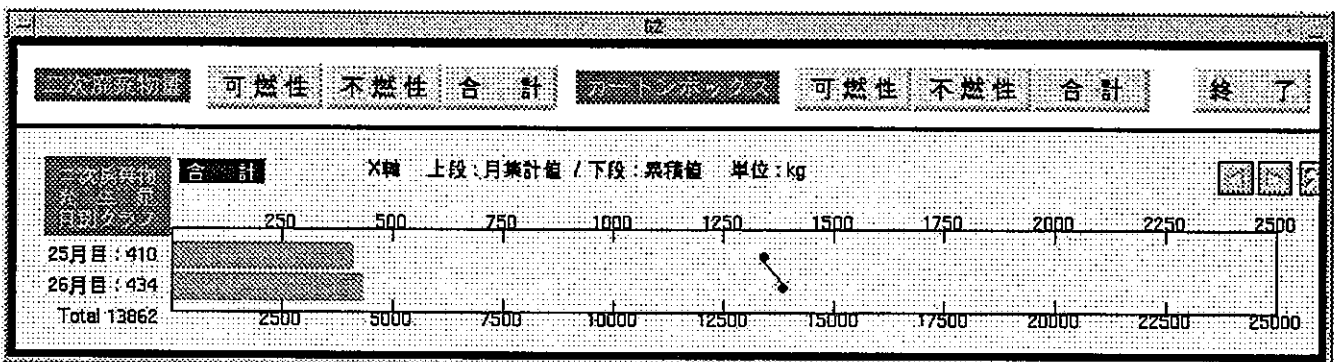
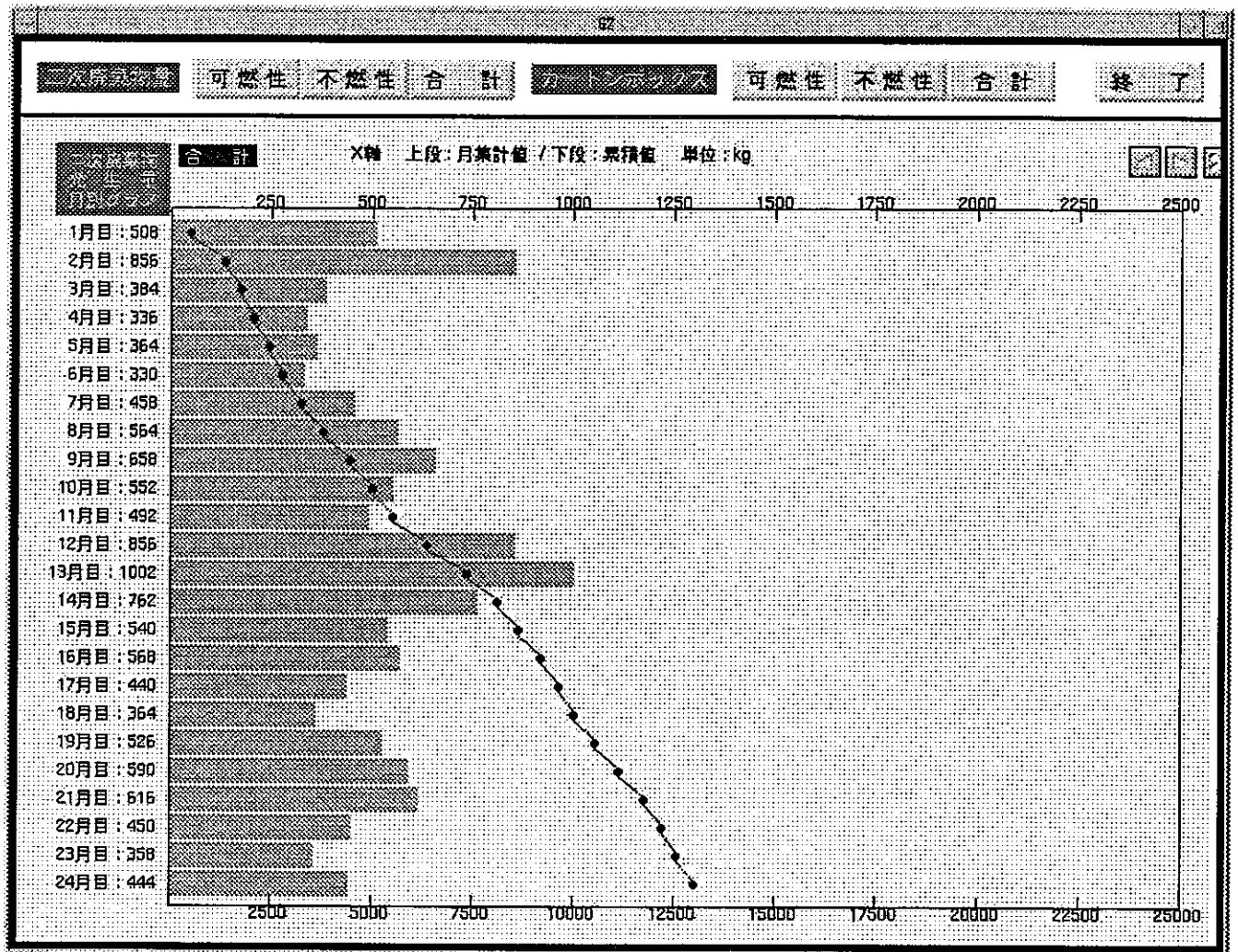


図 4-7 2 次廃棄物発生量山積図(3/3)

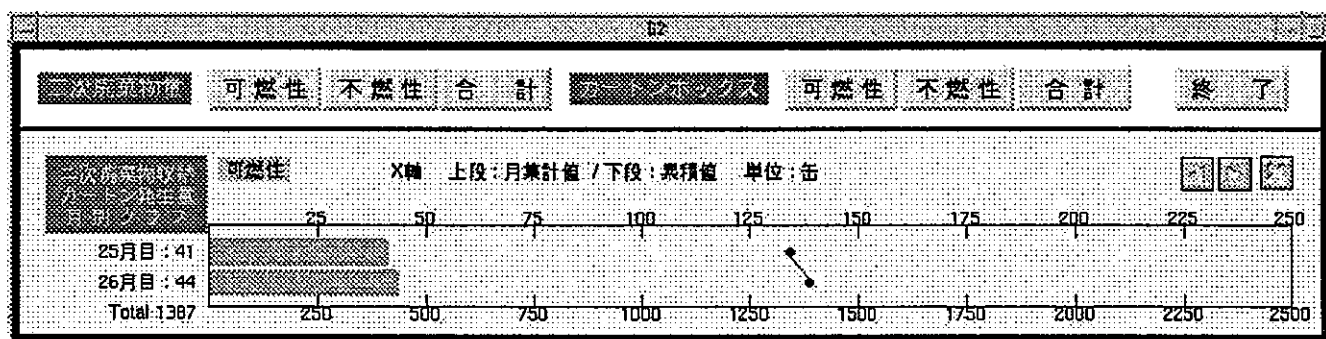
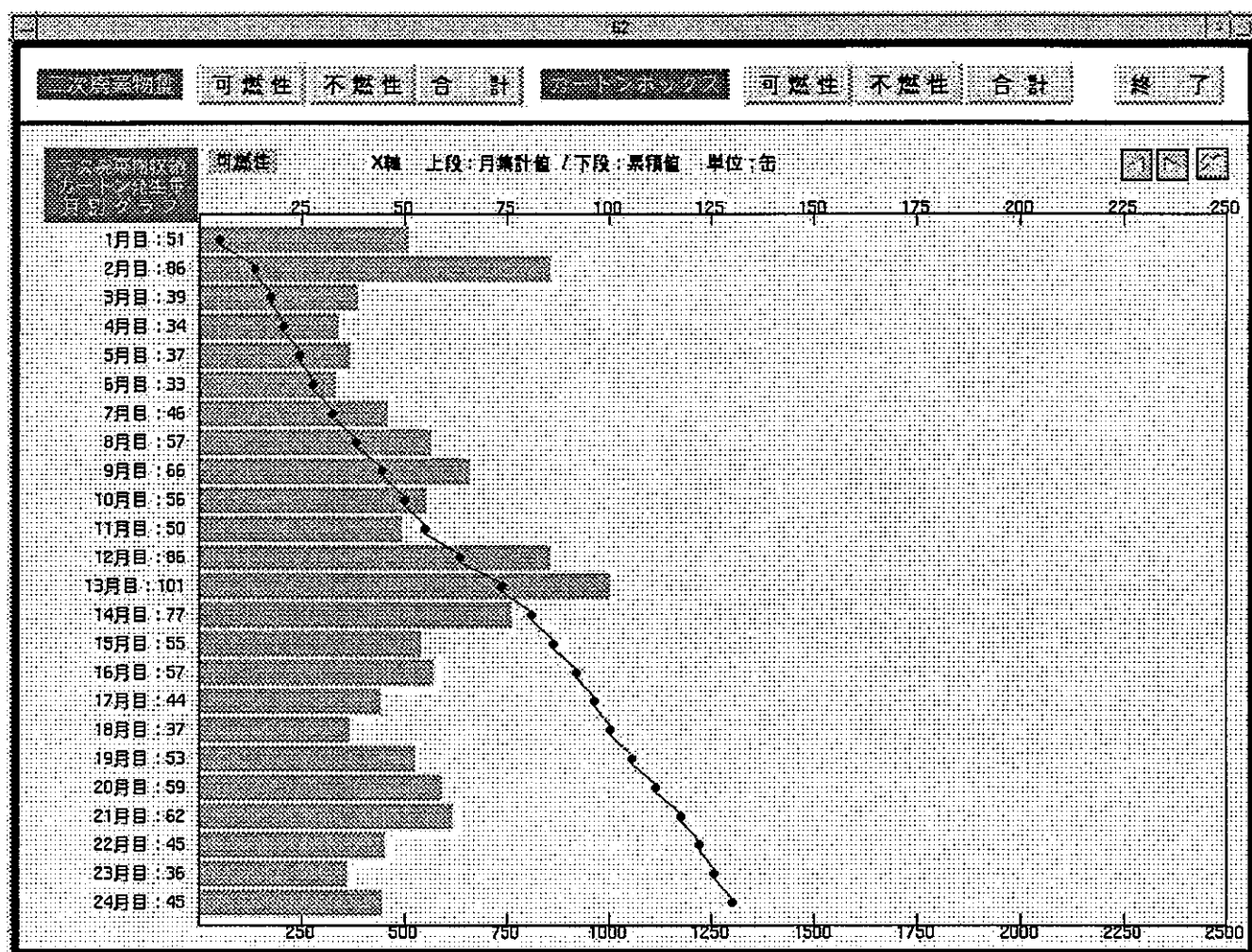


図 4-8 カートンボックス発生数山積図(1/3)

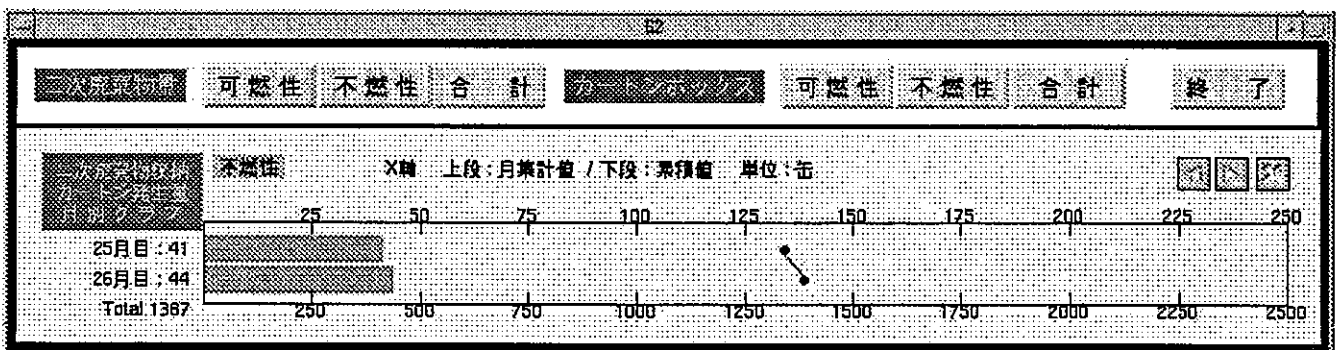
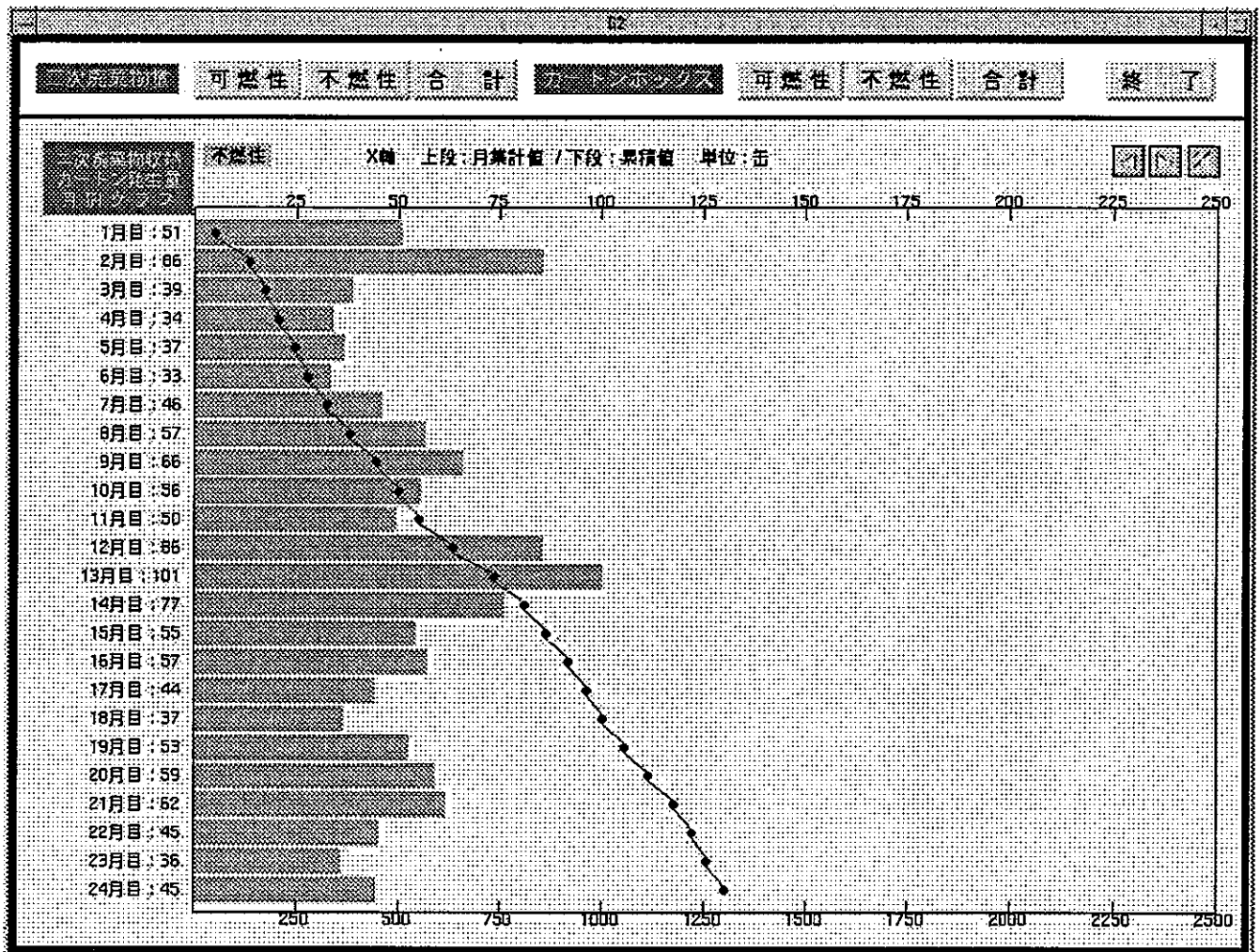


図 4-8 カートンボックス発生数山積図(2/3)

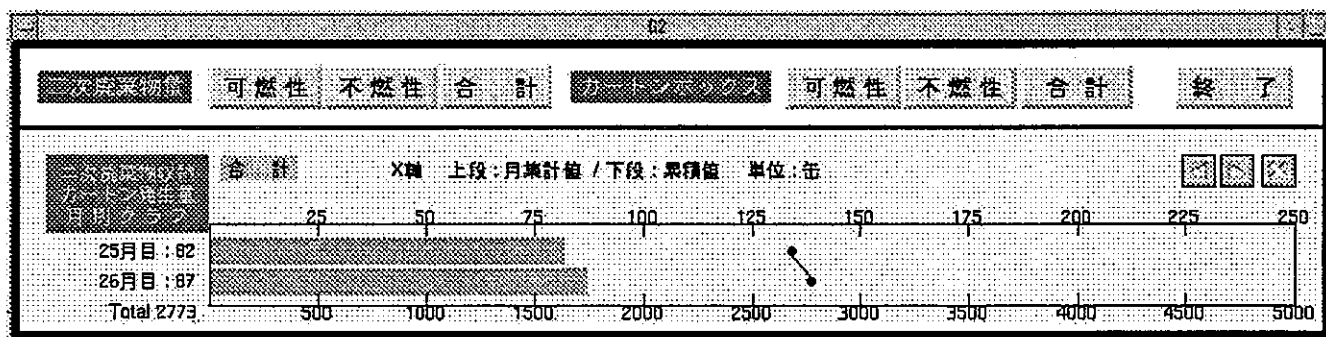
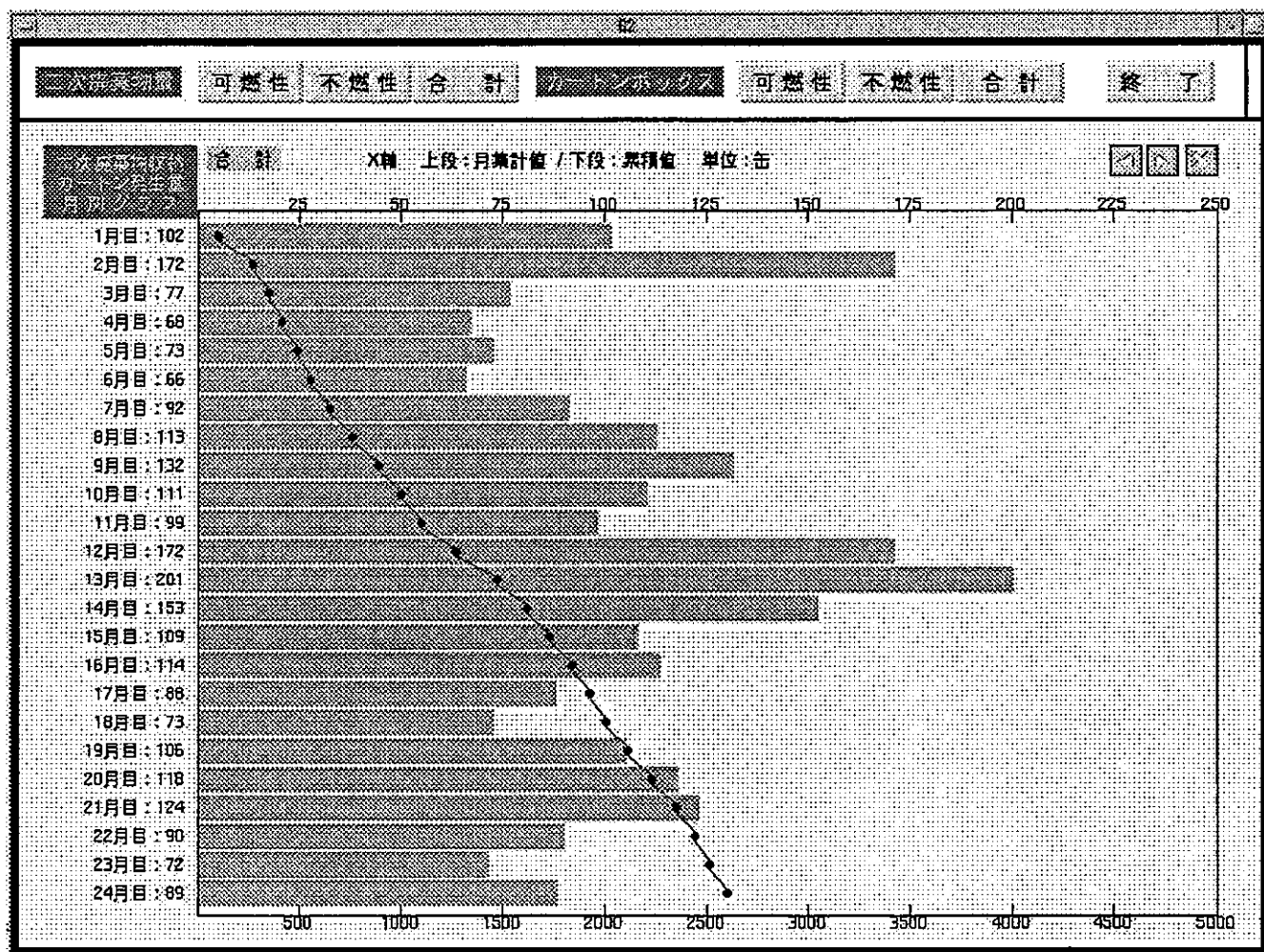


図 4-8 カートンボックス発生数山積図(3/3)

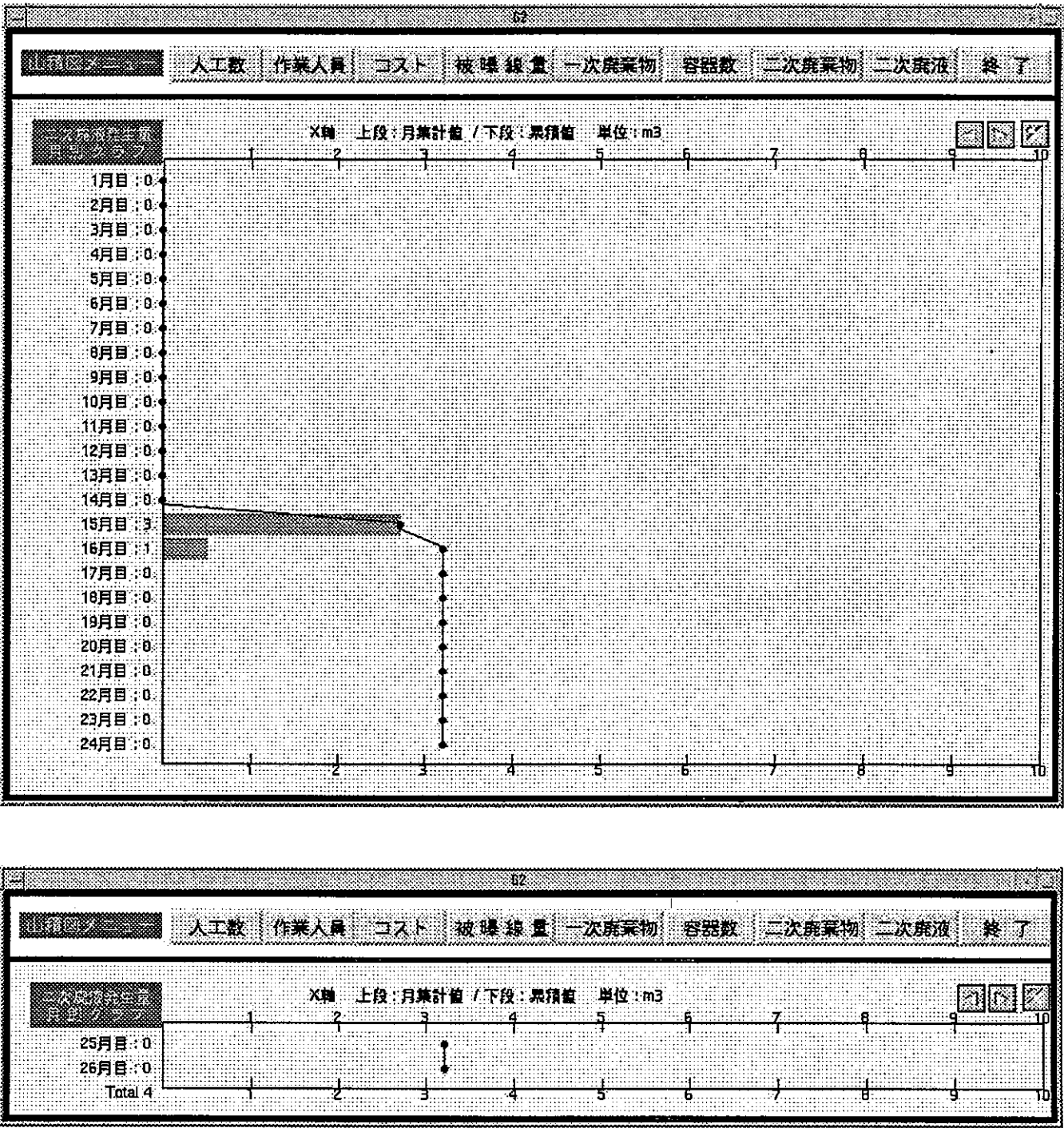


図 4-9 2 次廃液発生量山積図

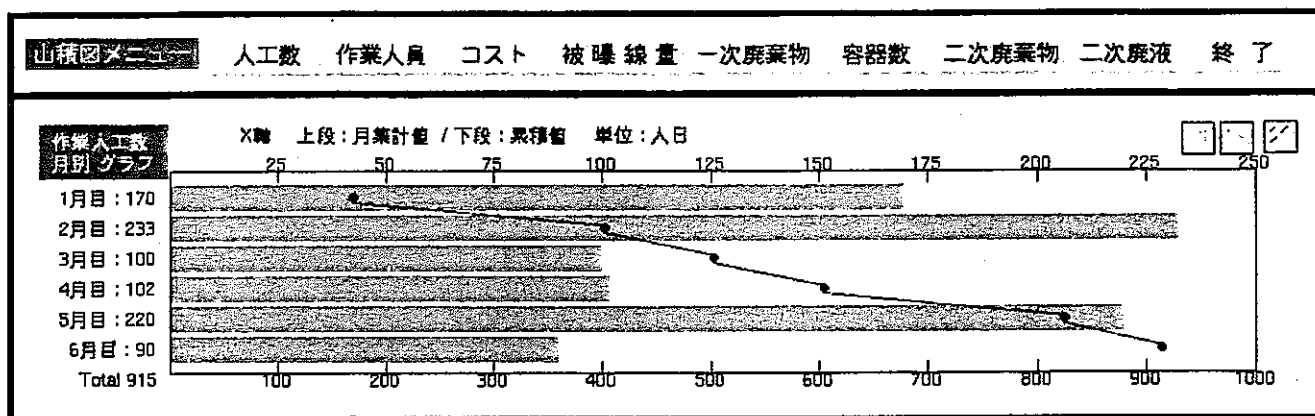


図 4-10 研削：作業人工数山積図

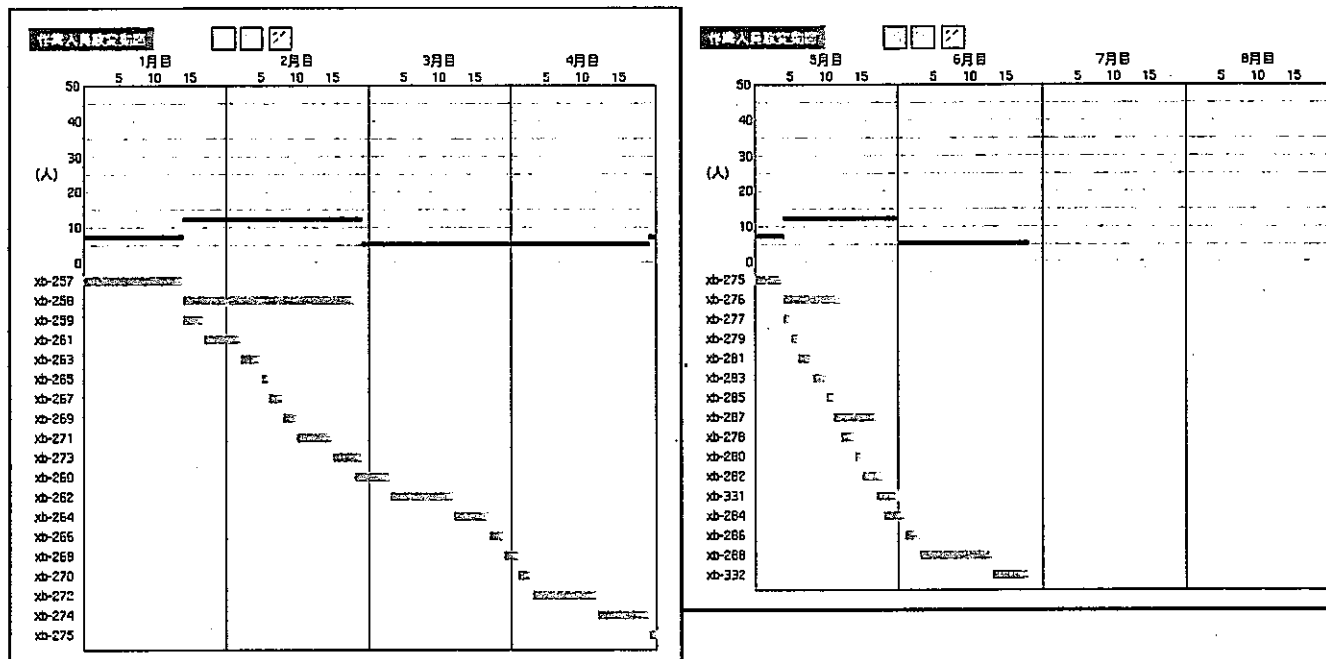


図 4-11 研削：作業人員変動図

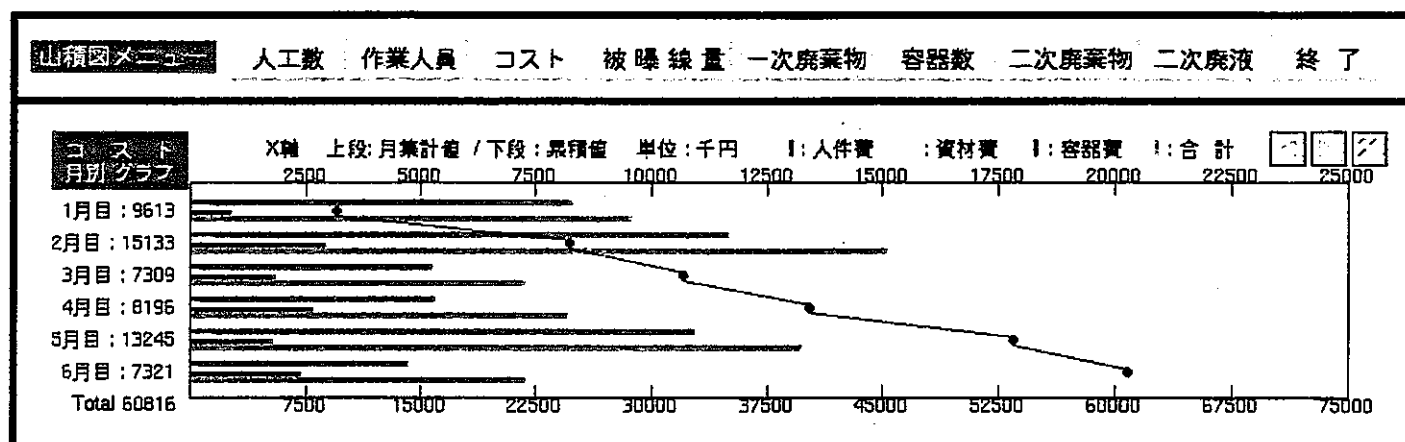


図 4-12 研削: コスト山積図

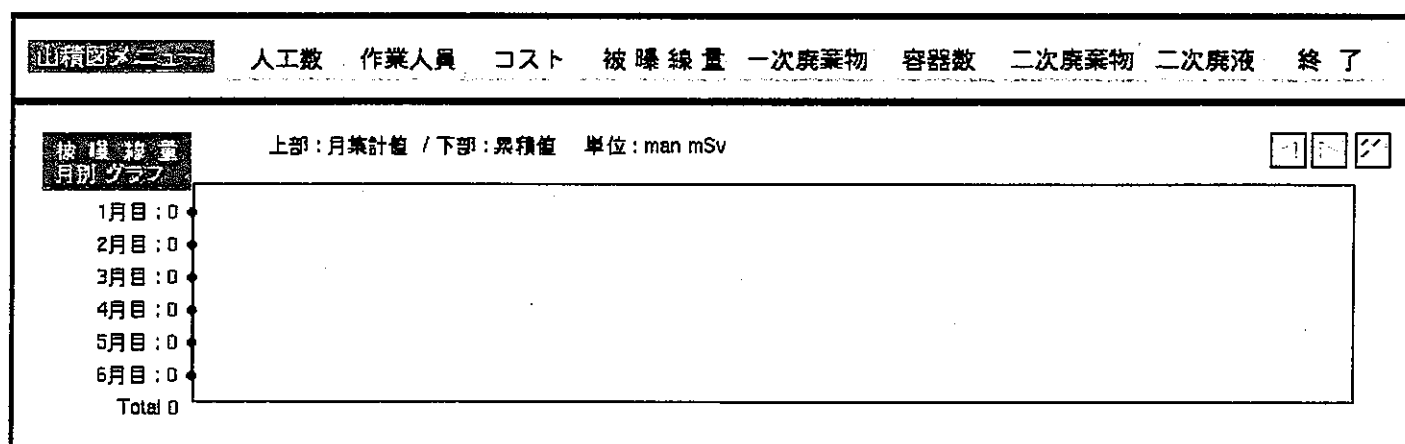


図 4.13 研削: 被ばく線量当量山積図

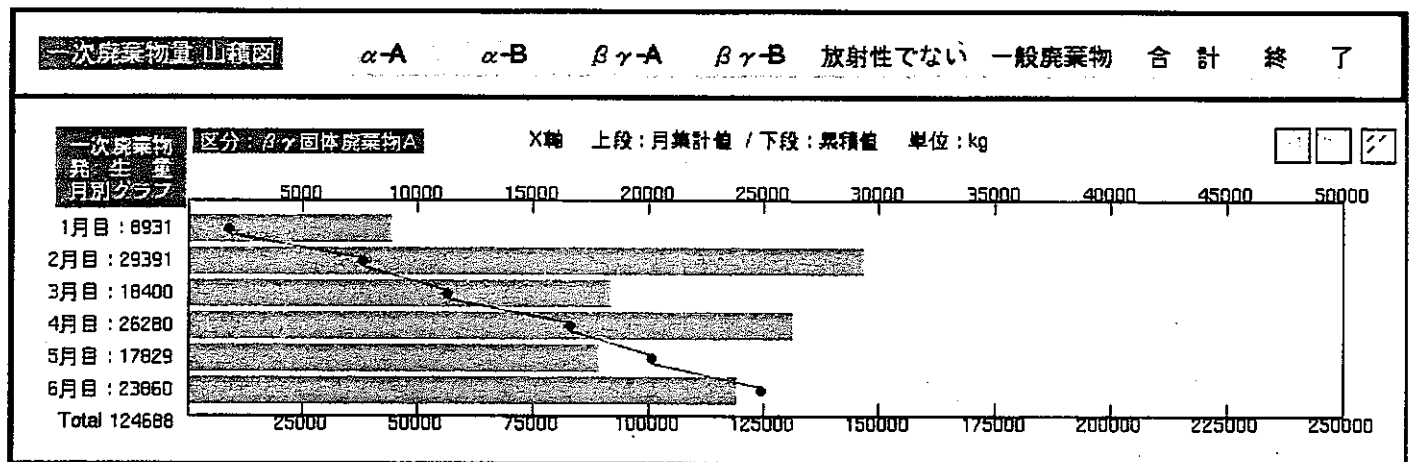


図 4-14 研削: 1次廃棄物発生量山積図(1/4)

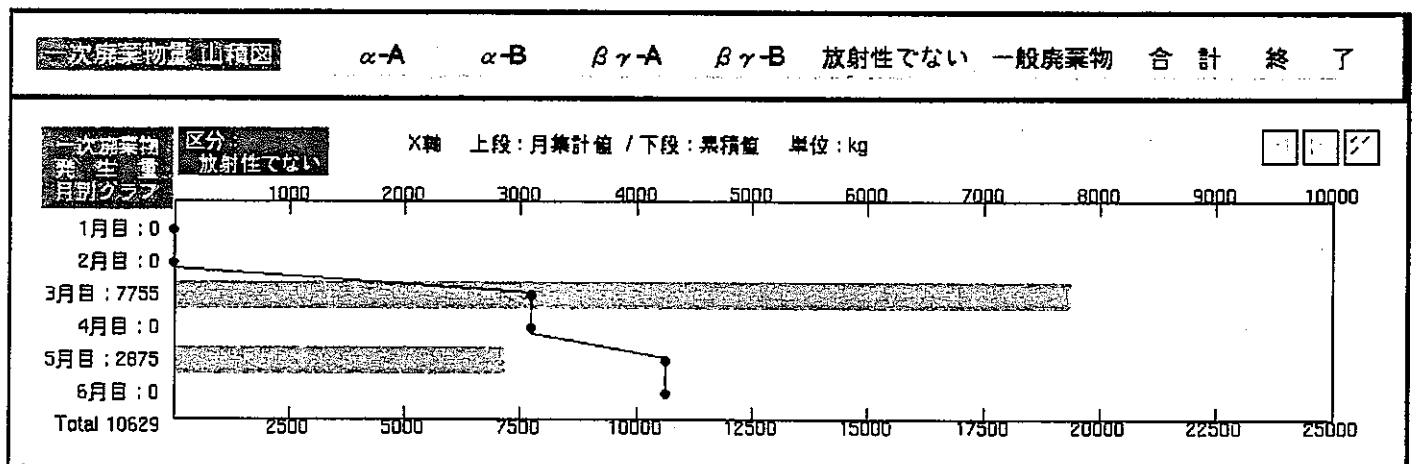


図 4-14 研削: 1次廃棄物発生量山積図(2/4)

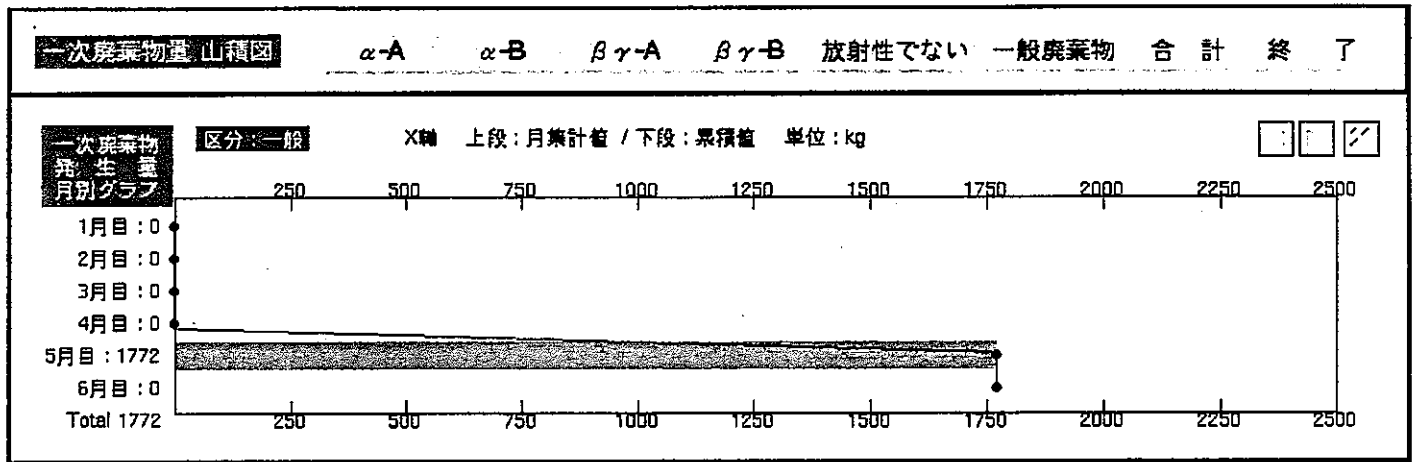


図 4-14 研削: 1次廃棄物発生量山積図(3/4)

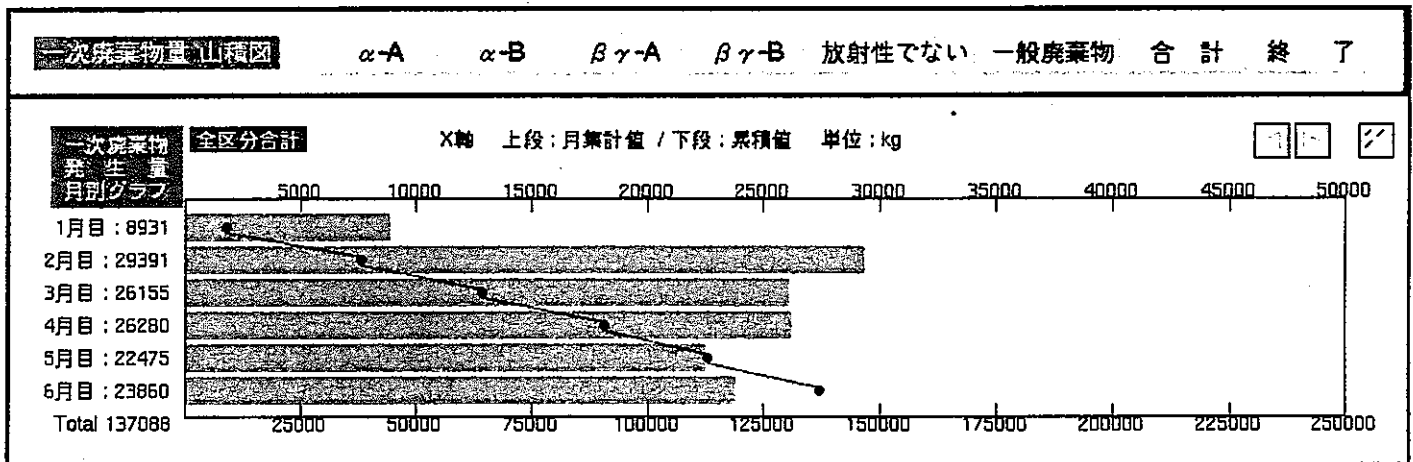


図 4-14 研削: 1次廃棄物発生量山積図(4/4)

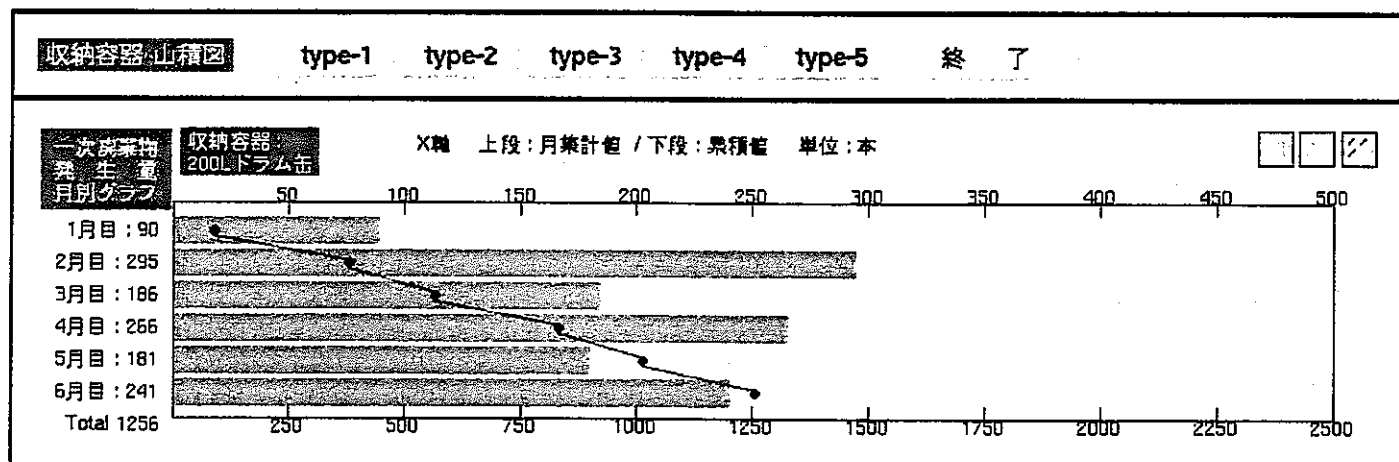


図 4-15 研削: 1 次廃棄物収納容器(200 Lドラム缶)発生数集計図

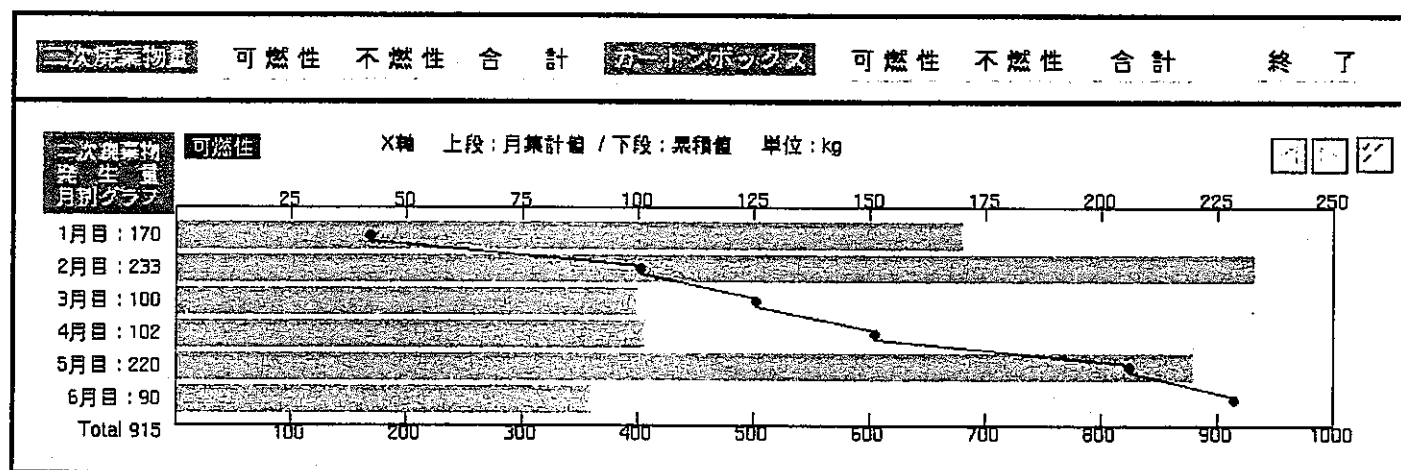


図 4-16 研削: 2 次廃棄物発生量山積図 (1/3)

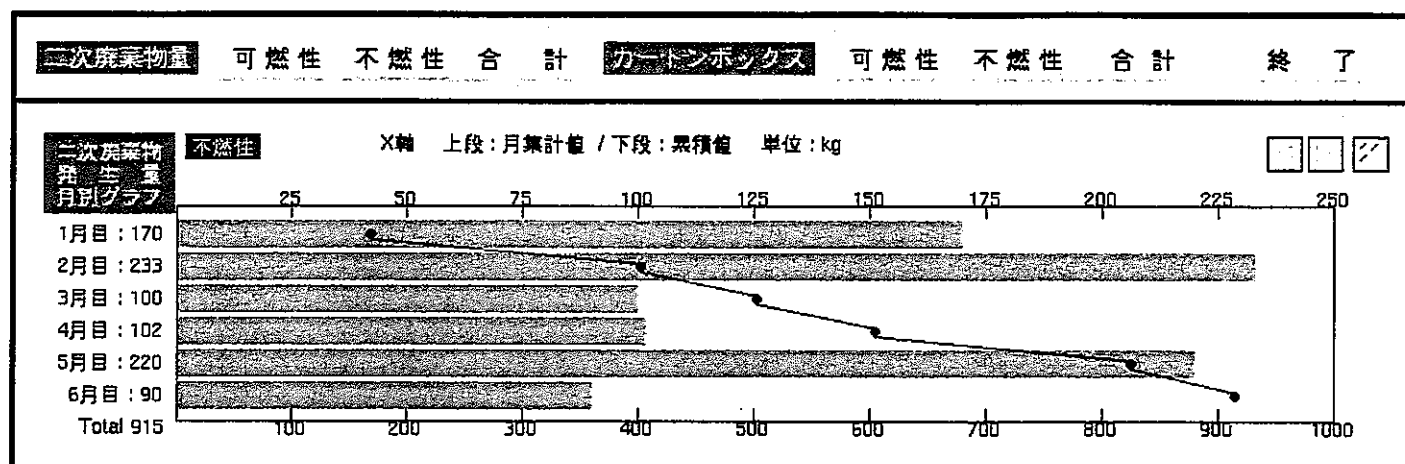


図 4-16 研削：2 次廃棄物発生量山積図 (2/3)

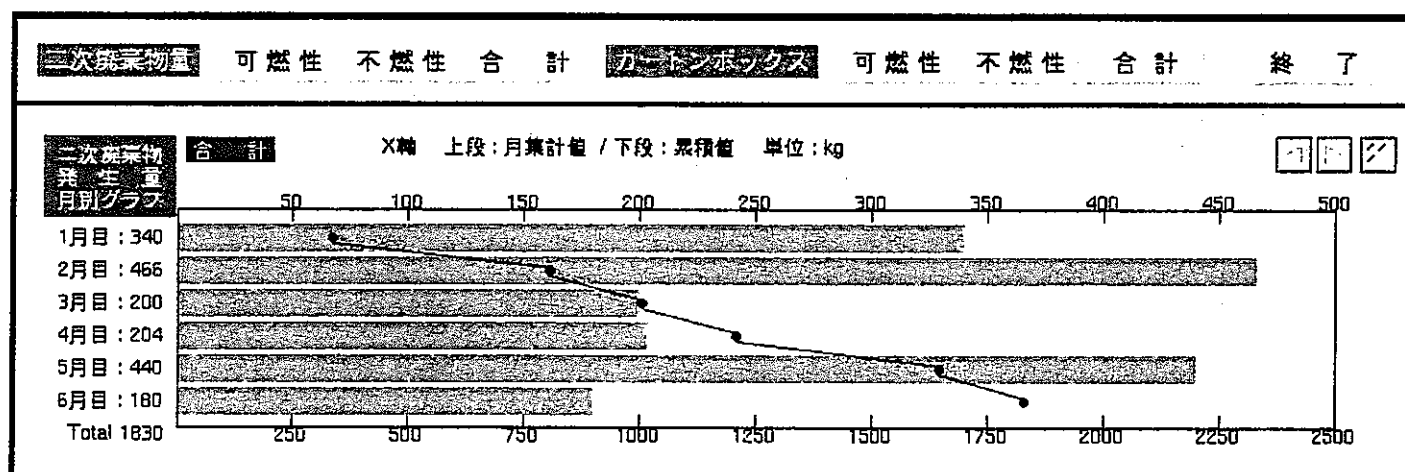


図 4-16 研削：2 次廃棄物発生量山積図 (3/3)

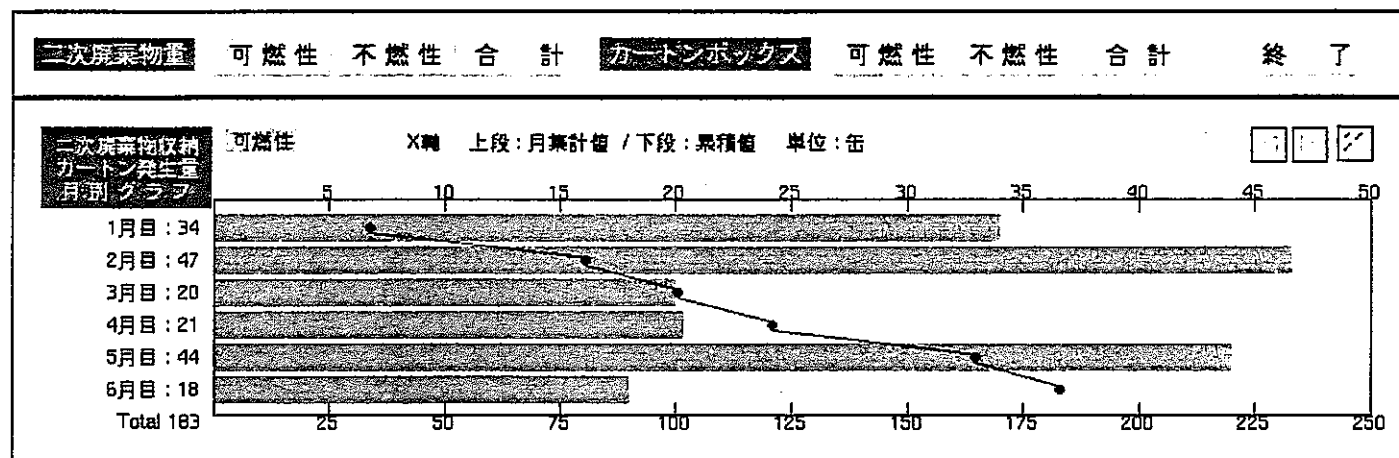


図 4-17 研削：カートンボックス発生数山積図(1/3)

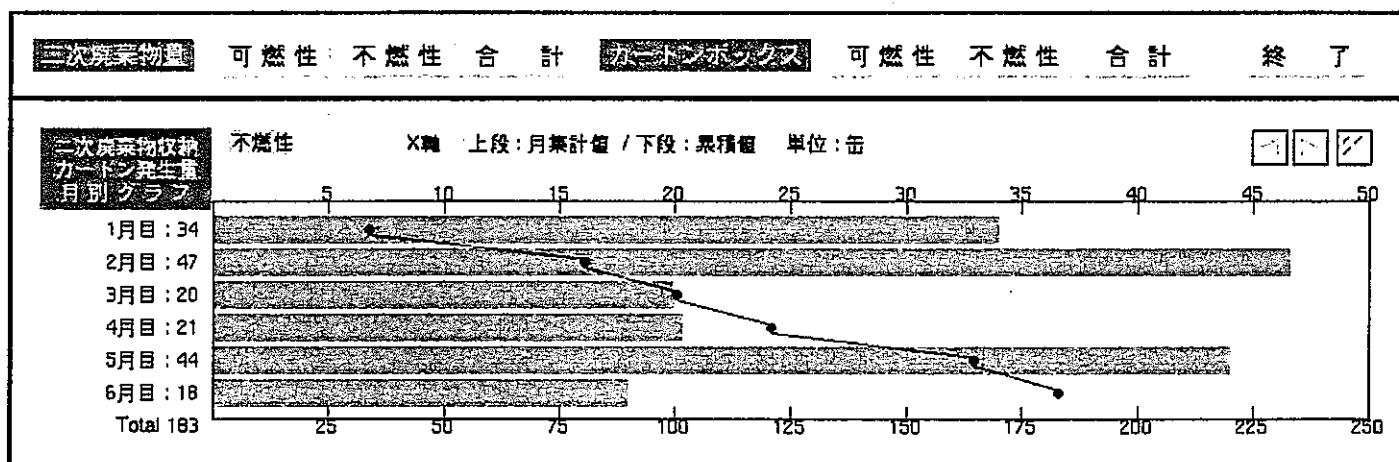


図 4-17 研削：カートンボックス発生数山積図(2/3)

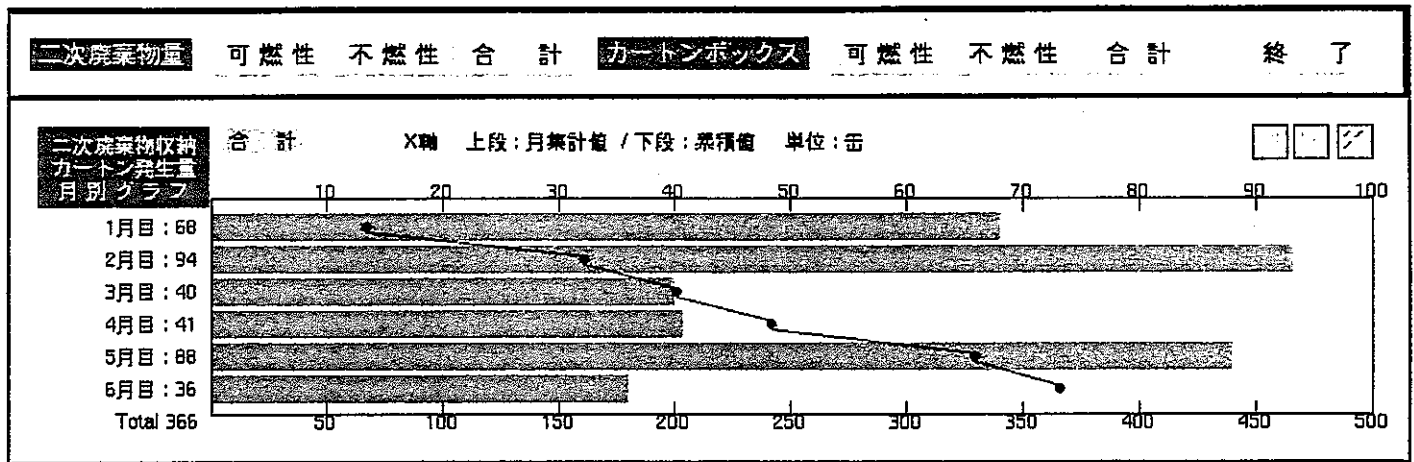


図 4-17 研削：カートンボックス発生数山積図(3/3)

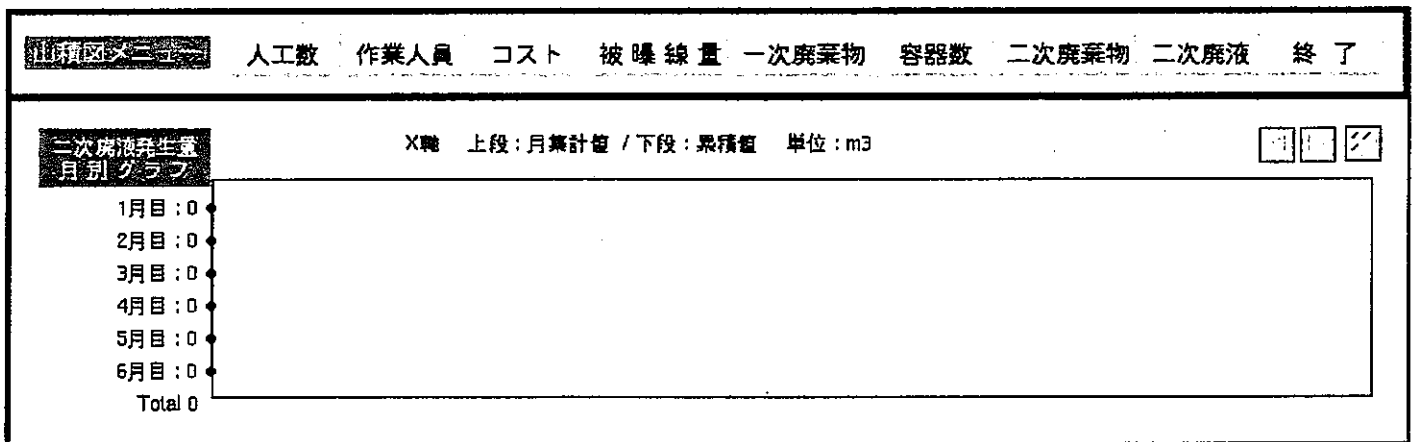


図 4-18 研削：2次廃液発生量山積図

添付資料 1

内装機器の線量当量率の算出

内装機器線量当量率は内蔵放射能インベントリからつぎの式により算出する。

$$\text{機器線量当量率} = \frac{\text{放射能インベントリ(GBq)} \times 0.245 \text{ (} \mu\text{Sv} \cdot \text{m}^2 \cdot \text{MBq}^{-1} \cdot \text{h}^{-1}\text{)}}{\text{仮想線源からの距離 (m}^2\text{)} \times \text{遮蔽効果}}$$

算出するにあたり、廃液中の核種組成は平成 7 年度末時点においても現在と変わらないという前提とし、算出方法は 1cm 線量当量率定数を用いて放射能インベントリから線量当量率を求める方法とする。この場合、線源は点線源と仮定する。0.245 は全核種混合の 1cm 線量当量率定数で、各核種組成割合と当該核種 1cm 線量当量率定数の積を求め、それを全核種合計した値である。

$$\text{全核種による1cm線量当量率(受入停止時)} = \sum_i \frac{i \text{ 核種の組成(\%)}}{100} \times \left\{ i \text{ 核種の1cm線量当量率定数} \right\} \dots\dots(1)$$

平成 2 年 6 月 15 日～平成 3 年 3 月 27 日に受け入れた燃料等の洗浄廃液の核種ごとの平均存在割合（報告書Ⅱの表 4.4.2 を引用）を用いて計算した(1) 式の結果は

$0.245 \mu\text{Sv} \cdot \text{m}^2 \cdot \text{MBq}^{-1} \cdot \text{h}^{-1}$ となる

1. 中和槽

(1) 除染後の放射能インベントリ

平成 7 年度末の線量当量率の推定値* から求めたその 1 年後の放射能インベントリの推定値 91GBq** を除染解体前のインベントリとする。

解体前除染*** により、中和槽の内蔵放射能は、0.91 GBq となる。

(2) 仮想線源の位置

中和槽上部と下部の線量当量率を考慮し点線源と仮定すれば、測定位置との距離は中和槽下部からおおよそ 70cm となる。

(3) 遮蔽効果

中和槽の材質は S U S であり、肉厚は 0.8cm である。さらに上記線量当率の測定点は、鉄遮蔽体（厚さ 3cm）の外側にあると推定する。

ガンマ線の平均エネルギーを 0.8MeV とすれば、鉄および S U S に対する線吸収係数は 0.5219 cm^{-1} であるから、遮蔽効果は $1/7.24$ である。また、鉄および S U S（厚さ合計 3.8cm）のビルドアップはおおよそ 3.0 である。

以上より中和槽の除染後における線量当量率の推定値は以下のとおりとなる。

$$\frac{0.91 \text{ GBq} \times 0.245}{0.7^2 \times 7.24^* \times 1/3 \text{ (ビルドアップ係数)}} = 0.189 \text{ mSv/hr}$$

2. 定量槽

(1) 除染後の放射能インベントリ

平成 7年度末の線量当量率の推定値* から求めたその 1年後の放射能インベントリの推定値 52GBq**を除染解体前のインベントリとする。解体前除染***により定量槽の内蔵放射能は、0.0208 GBq となる。

(2) 仮想線源の位置

定量槽は円筒形であるが放射能の蓄積はその内面である。線源をこの中心に点線源で存在すると仮定すれば、測定位置との距離はおおよそ65cmとなる。

(3) 遮蔽効果

定量槽の材質はSUSであり、厚さは0.4cmである。ガンマ線の平均エネルギーを0.8MeVとすれば、SUSに対する線吸収係数は 0.5219cm^{-1} であり、遮蔽効果は $1/1.23$ である。ただし、SUSの厚さは0.4cmと薄厚のためビルドアップ係数は無視する。

以上より定量槽の除染後における線量当量率の推定値は以下のとおりとなる。

$$\frac{0.0208 \text{ GBq} \times 0.245}{0.65^2 \times 1.23^*} = 0.0098 \text{ mSv/hr}$$

3. 計量槽

(1) 除染後の放射能インベントリ

平成 7年度末の線量当量率の推定値* から求めたその 1年後の放射能インベントリの推定値 43GBq**を除染解体前のインベントリとする。解体前除染***により計量槽の内蔵放射能は 0.0172 GBq となる。

(2) 仮想線源の位置

計量槽は円筒形であるが放射能の蓄積はその内面である。線源をこの中心に点線源で存在すると仮定すれば、測定位置との距離はおおよそ55cmとなる。

(3) 遮蔽効果

計量槽の材質はSUSであり、厚さは0.8cmである。ガンマ線の平均エネルギーを0.8Mevとすれば、SUSに対する線吸収係数は 0.5219cm^{-1} であり、遮蔽効果は $1/1.52$ である。ただし、SUSの厚さは0.8cmと薄厚のためビルドアップ係数は無視する。

以上より計量槽の除染後における線量当量率の推定値は以下のとおりとなる。

$$\frac{0.0172 \text{ GBq} \times 0.245}{0.55^2 \times 1.52^*} = 0.0092 \text{ mSv/hr}$$

4. 蒸発缶

1) カラム部

(1) 除染後の放射能インベントリ

平成7年度末の線量当量率の推定値*から求めたその1年後の放射能インベントリの推定値35GBq **除染解体前の蒸発缶カラム部のインベントリとする。解体前除染***により蒸発缶カラム部の内蔵放射能は0.35となる。

(2) 仮想線源の位置

蒸発缶は加熱部と蒸発部からなるが、仮想線源を点線源とみなしこれら全体の中心部に線源があるものと仮定する。この場合、測定位置は中心部からおおよそ1mの距離となる。

(3) 遮蔽効果

蒸発缶の材質はSUSであり、厚さは0.6cmである。ガンマ線の平均エネルギーを0.8Mevとすれば、SUSに対する線吸収係数は 0.5219cm^{-1} であり、遮蔽効果は $1/1.37$ である。ただし、SUSの厚さは0.6cmと薄厚のためビルドアップ係数は無視する。

以上より蒸発缶カラム部の除染後における線量当量率の推定値は以下のとおりとなる。

$$\frac{0.35 \text{ GBq} \times 0.245}{1^2 \times 1.37^*} = 0.063 \text{ mSv/hr}$$

* SUS(厚さ0.6cm)の遮蔽効果

2) リボイラ部

(1) 除染後の放射能インベントリ

平成 7 年度末の線量当量率の推定値* から求めたその 1 年後の放射能インベントリの推定値 19GBq** を除染解体前の蒸発缶リボイラ部のインベントリとする。解体前の除染*** により蒸発缶リボイラ部の内蔵放射能は 0.19 となる。

(2) 仮想線源の位置

カラム部と同様測定位置は中心部からほぼ 1m の距離とする。

(3) 遮蔽効果

遮蔽効果はカラム部同様 1/1.37 である。

以上より蒸発缶リボイラ部の除染後における線量当量率の推定値は以下の通りとなる。

$$\frac{0.19 \text{ GBq} \times 0.245}{1^2 \times 1.37} = 0.034 \text{ mSv/hr}$$

5. 濃縮液受槽

(1) 除染後の放射能インベントリ

平成 7 年度末の線量当量率の推定値* から求めたその 1 年後の放射能インベントリ推定値 25 GBq ** を 除染解体前の濃縮液受槽のインベントリとする。解体前の除染*** により内蔵放射能は 2.5 となる。

(2) 仮想線源の位置

濃縮液受槽は円筒形であるが放射能の蓄積はその内面である。線源をこの中心に点線源で存在すると仮定すれば、測定位置との距離はおよそ 95 cm となる。

(3) 遮蔽効果

濃縮液受槽の材質は S U S であり、厚さは 0.6cm である。ガンマ線の平均エネルギーを 0.8 Mev とすれば、S U S に対する線吸収係数は 0.5219 cm^{-1} であり遮蔽効果は 1/1.37 である。ただし、S U S の厚さは 0.6cm と薄厚のためビルドアップ係数は無視する。

以上より濃縮液受槽の除染後における線量当量率の推定値は以下のとおりと

なる。

$$\frac{2.5 \text{ GBq} \times 0.245}{0.95^2 \times 1.37^*} = 0.50 \text{ mSv/hr}$$

6. 蒸発缶洗浄用薬液廃タンク

(1) 除染後の放射能インベントリ

平成 7年度末の線量当量率の推定値* から求めたその 1年後の放射能インベントリ推定値 33GBq**を除染解体前の蒸発缶洗浄用薬液廃タンクのインベントリとする。解体前の除染*** により内蔵放射能は 3.3GBq となる。

(2) 仮想線源の位置

蒸発缶洗浄用薬液廃タンクは円筒形であるが放射能の蓄積はその内面である。線源をこの中心に点線源で存在すると仮定すれば、測定位置との距離はおよそ70 cm となる。

(3) 遮蔽効果

蒸発缶薬液廃タンクの材質はS U Sであり、厚さは 0.6cm である。ガンマ線の平均エネルギーを 0.8Mev とすれば、S U Sに対する線吸収係数は 0.5219cm^{-1} であり、遮蔽効果は $1/1.37$ である。ただし、S U Sの厚さは 0.6cmと薄厚のためビルドアップ係数は無視する。

以上より蒸発缶洗浄用薬液廃タンクの除染後における線量当量率の推定値は以下のとおりとなる。

$$\frac{3.3 \text{ GBq} \times 0.245}{0.7^2 \times 1.37^*} = 1.2 \text{ mSv/hr}$$

7. 乾燥熔融固化装置本体

(1) 除染後の放射能インベントリ

平成 7年度末の線量当量率推定値* から求めたその 1年後の放射能インベントリ推定値 1.3GBq **を除染解体前の乾燥熔融固化装置本体のインベントリとする。解体前の除染*** により内蔵放射能は 0.13 GBq となる。

(2) 仮想線源の位置

乾燥熔融固化装置の放射能分布は、そのほとんどがオープン部の下部の電気炉

内に集中しているものと予想される。電気炉は比較的小型であるためこれを点線源とみなし、測定位置を電気炉中心部から 70cm であると推定する。

(3) 遮蔽効果

乾燥溶融固化装置本体の材質は S U S であり、さらに電気炉部分は耐火レンガ、遮蔽体等で覆われている。これらを合わせて S U S の厚さは 1cm に相当するものと仮定する。ガンマ線の平均エネルギーを 0.8Mev とすれば、S U S に対する線吸収係数は 0.5219 cm^{-1} であり遮蔽効果は $1/1.69$ である。ただし、S U S の厚さは 1cm と薄厚のためビルドアップ係数は無視する。

以上より乾燥溶融固化装置本体の除染後における線量当量率推定値は以下のとおりとなる。

$$\frac{0.13 \text{ GBq} \times 0.245}{0.7^2 \times 1.69} = 0.038 \text{ mSv/hr}$$

8. 高レベル廃液貯留タンク

1) 高レベル廃液貯留タンク A

(1) 除染後の放射能インベントリ

平成 7 年度末の線量当量率推定値* から求めたその 1 年後の放射能インベントリ推定値 4.6GBq ** を除染解体前の高レベル廃液貯留タンク A のインベントリとする。解体前の除染*** により内蔵放射能は 0.46GBq となる。

(2) 仮想線源の位置

仮想線源を点線源とみなし、タンク下部からおよそ 50cm の位置に線源があると仮定する。

(3) 遮蔽効果

高レベル廃液貯留タンク A の材質は S S であり、内側にゴムライニングがされている。S S の厚さは 0.6cm である。ガンマ線の平均エネルギーを 0.8Mev とすれば、S S に対する線吸収係数は 0.5219 cm^{-1} であり遮蔽効果は $1/1.37$ である。ただし、S S の厚さは 0.6cm と薄厚のためビルドアップ係数は無視する。またゴムライニングは遮蔽効果がないものとする。

以上より高レベル廃液貯留タンク A の除染後における線量当量率の推定値は以

下のとおりとなる。

$$\frac{0.46 \text{ GBq} \times 0.245}{0.5^2 \times 1.37} = 0.329 \text{ mSv/hr}$$

1) 高レベル廃液貯留タンク B

(1) 除染後の放射能インベントリ

平成 7年度末の線量当量率推定値* から求めたその 1年後の放射能インベントリ推定値 2.9GBq **を除染解体前の高レベル廃液貯留タンク Bのインベントリとする。解体前の除染*** により内蔵放射能は 0.29GBq となる。

(2) 仮想線源の位置

タンク Aと同様タンク下部からおよそ 50cm の位置に線源があると仮定する。

(3) 遮蔽効果

タンク Aと同様遮蔽効果は 1/1.37 である。

以上より高レベル廃液貯留タンクの除染後における線量当量率の推定値は以下のとおりとなる。

$$\frac{0.29 \text{ GBq} \times 0.245}{0.5^2 \times 1.37} = 0.207 \text{ mSv/hr}$$

9. 低レベル廃液貯留タンク

(1) 除染後の放射能インベントリ

平成 7年度末の線量当量率推定値* から求めたその 1年後の各タンクの放射能インベントリ推定値 1.8 GBq**を除染解体前の低レベル廃液貯留タンクのインベントリとする。解体前の除染*** により内蔵放射能は 0.18 GBq となる。

(2) 仮想線源の位置

高レベル廃液貯留タンク同様に各タンクともタンク下部から 50cm の位置に仮想線源があると仮定する。

(3) 遮蔽効果

各タンクはいずれも材質が S S で、内側にゴムライニングがされ、S Sの厚さが 0.6cmであるので、遮蔽効果は 1/1.37 である。

以上より各低レベル廃液貯留タンクの除染後における線量当量率の推定値は以

下のとおりとなる。

$$\frac{0.18 \text{ GBq} \times 0.245}{0.5^2 \times 1.37^{**}} = 0.13 \text{ mSv/hr}$$

10. 上澄水タンク、放出予備タンク

(1) 除染後の放射能インベントリ

平成 7 年度末の線量当量率推定値* から求めたその 1 年後の両タンクの放射能インベントリ推定値 1.7GBq **を除染解体前のインベントリとする。 解体前の除染*** により各タンクの内蔵放射能は 0.17GBq となる。

(2) 仮想線源の位置

その他のタンク同様に、タンク下部から 50cm の位置に仮想線源があると仮定する。

(3) 遮蔽効果

いずれのタンクも材質は S S であり、内側にゴムライニングがされ、S S の厚さは 0.6 cm であるので、ほかのタンク同様に遮蔽効果は 1/1.37 である。

以上より上澄水タンクおよび放出予備タンクの除染後における線量当量率の推定値は以下のとおりとなる。

$$\frac{0.17 \text{ GBq} \times 0.245}{0.5^2 \times 1.37^{**}} = 0.12 \text{ mSv/hr}$$

11. ベントコレクションタンク

(1) 除染後の放射能インベントリ

平成 7 年度末の線量当量率推定値* から求めたその 1 年後のベントコレクションタンクの放射能インベントリ 0.4GBq **を除染解体前のインベントリとする。 解体前の除染*** によりベントコレクションタンクの内蔵放射能は 0.04GBq となる。

(2) 仮想線源の位置

その他のタンク同様に、タンク下部から 50cm の位置に仮想線源があると仮定する。

(3) 遮蔽効果

タンクの材質はS Sであり、内側にゴムライニングがされ、S Sの厚さは 0.6 cm であるので、遮蔽効果は 1/1.37 である。

以上よりベントコレクションタンクの除染後における線量当量率の推定値は以下のとおりとなる。

$$\frac{0.04 \text{ GBq}}{0.5^2} \times \frac{0.245}{1.37^{**}} = 0.03 \text{ mSv/hr}$$

*) 平成7年度末の線量当量率は平成2年時点の値の1.5倍とした。(報告書Ⅱ・表-4.2.1 より 引用)

旧「常陽」廃棄物処理建家の解体評価計算作業 報告書 (表3-3 内装機器データベース 機器線量当量率を引用)

**) 1年後の推定値は平成7年における全核種放射線量から算出した。(報告書Ⅱ・表-4.2.4 より引用)

旧「常陽」廃棄物処理建家の解体評価計算作業 報告書 (表3-3 内装機器データベース 放射能インベントリβγを引用)

***)解体撤去のシナリオでは機器を除染した後に解体することになっている。

旧「常陽」廃棄物処理建家の解体評価計算作業 報告書 (表4-2 計算データ の 適用除染技術、適用DFを引用)

添付資料 2 内装機器データベースの一部変更

- ・変更機器： 1. 中和槽本体切断片（円筒部の縦割り半円筒部とコーン部に3分割）
- 2. 高レベル廃液貯留タンク切断片（側面を胴部と鏡部に分割）
- 3. 低レベル廃液貯留タンク切断片（ “ ）
- 4. 上澄水タンク切断片 （ “ ）
- 5. 放出予備タンク切断片 （ “ ）

- ・変更内容： 1. 寸法および機器表面積

平板として機器表面積を求めることにするので寸法を長さとし幅を決める。

(1) 長さには、切断されたタンク類の側面の実の長さまたは高さを用いる。

(2) 幅の求め方

a) タンク（円筒型）

タンクの表面積計算式は、蓋、底部および側面の面積の和である。

即ち、 $(\phi/2)^2 \times 2 \times \pi + \phi \times \pi \times H$ となる。

ここで、タンクを胴部と鏡部とに分割し、分割された切断片の表面積を平板として計算するので、幅の寸法を決めなければならない。

寸法を W , 外径を ϕ , 長さを H とすれば、つぎの関係の式が成り立つ。

$$(\phi/2)^2 \times 2 \times \pi + \phi \times \pi \times H = H W \dots\dots\dots (1)$$

(1) 式の左辺は切断片の蓋または底部の表面積と側面の表面積の和を表し、右辺は平板の表面積を表す。

$$W = \frac{\phi \pi \times (\phi/4 + H)}{H}$$

となり、寸法が求められる。

b) 中和槽

中和槽の表面積は、円筒型にモデル化し、円筒の表面積計算式を用いて計算される。そのため、実の表面積よりも大きくなる。

中和槽は円筒部分とコーンの部分とに分割し、更に円筒部分は中心をやや外した位置で縦方向に分割する。分割された切断片の表面積は平板として計算する。

i. コーン部

コーン部分は、円筒にモデル化し、幅の寸法を求める。

この場合、コーンの高さを円筒の長さとする。

幅の寸法は、(1) 式から求められる。

ii. 円筒部

円筒部分は、縦に切断するので、切断片は半円筒型になる。

円筒部切断片の表面積は、蓋半分の面積と側面の面積の和である。蓋の中心部にはノズルがあるため、切断は中心をやや外すことになるので、切断片の表面積を平板として計算するには、幅 W はつぎの式から求める。

$$H \times l(\text{弧の長さ}) + 1/2 r^2 (1/r - \sin 1/r) = H W \dots\dots(2)$$

半径を r 、弧の長さ $l = r\theta$ 、 θ は中心角でラジアンで表す。

(2) 式の左辺は、側面の表面積と蓋の弓形部分の表面積である。コーン部、半円筒部 2 個の表面積の和か、中和槽全体の表面積になる。

2. 重量

設備機器の重量は決められているので、切断片の重量は表面積×厚み×材質の密度であるが、各切断片の重量の和が内装機器データベースの重量と一致するよう各切断片の表面積比で按分し重量とした。

3. 放射能インベントリ $\beta \gamma$

除染後の機器の放射能インベントリを各切断片の表面積比で按分し、切断片のインベントリとした。

DF: 中和槽 100

タンク類 10

4. 機器線量当量率

切断片（線源）を点線源と仮定し、作業位置を切断片から 10cm の距離とすれば、その位置における線量当量率はつぎの式から求めることができる。

$$\text{当量線量率(mSv/h)} = \frac{\text{放射能インベントリ(MBq)} \times 0.245 (\mu\text{Sv} \cdot \text{m}^2 \cdot \text{MBq}^{-1} \cdot \text{h}^{-1})}{0.01(\text{m}^2) \times 10^3}$$